



Hewlett Packard
Enterprise

HPE ProLiant Compute DL360 Gen12サーバーユーザーガイド

部品番号: 30-619DBC1F-001-ja-JP
発行: 2025年3月
版数: 1

HPE ProLiant Compute DL360 Gen12サーバーユーザーガイド

摘要

このガイドは、サーバーおよびストレージシステムのインストール、管理、トラブルシューティングの担当者を対象としています。Hewlett Packard Enterpriseでは、読者がコンピューター機器の保守の資格を持ち、高電圧製品の危険性について理解し、ラック設置時の重量および安定性に関する注意事項に精通していることを前提としています。

部品番号: 30-619DBC1F-001-ja-JP

発行: 2025年3月

版数: 1

© Copyright 2025 Hewlett Packard Enterprise Development LP

ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外の情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

商標

Intel®、Intelロゴ、およびXeon®は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。

Kensington®はACCO Brandsの登録商標です。

Linux®は、Linus Torvaldsの米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft®およびWindows®は、米国および/またはその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標または商標です。

VMware®、VMware NSX®、VMware vCenter®、およびVMware vSphere®は、VMware, Inc. およびその子会社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

すべてのサードパーティのマークは、それぞれの所有者に帰属します。

目次

- コンポーネントの識別
 - フロントパネルのコンポーネント
 - iLOサービスポート
 - フロントパネルのLEDとボタン
 - UIDボタンの機能
 - フロントパネルのLED電源障害コード
 - Systems Insight DisplayのLED
 - Systems Insight Display LEDの組み合わせについての説明
 - リアパネルのコンポーネント
 - リアパネルのLED
 - コンポーネントのタッチポイント
 - システムボードのコンポーネント
 - システムメンテナンススイッチの説明
 - DIMMラベルの識別
 - DIMMスロット位置
 - ドライブベイの番号
 - ドライブバックプレーンの命名
 - OCP NIC 3.0スロットの番号
 - HPEのベーシックドライブのLEDの定義
 - EDSFF SSDのLEDの定義
 - ファン番号
 - ファンとヒートシンクの要件
 - ヒートシンクおよびプロセッサソケットのコンポーネント
 - クローズドループ液冷ヒートシンクのコンポーネント
 - HPE NS204i-uブートデバイスV2のコンポーネント
 - HPE NS204i-uブートデバイスV2のLEDの定義
 - ライザーボードのコンポーネント
 - ライザースロットの番号
- セットアップ
 - HPEインストレーションサービス
 - サーバーをセットアップする
 - 動作要件
 - 空間および通気要件
 - 温度要件
 - 電源要件
 - アース要件
 - ラックに関する警告と注意事項
 - サーバーに関する警告と注意事項
 - 静電気対策
- 操作
 - Intel VROCのサポート
 - サーバーのUID LED
 - UIDボタンを使用したサーバーヘルスの概要の表示
 - ディスプレイ装置のセットアップ

- Trusted Platform Module 2.0
- Trusted Platform Module 2.0のガイドライン
- システムバッテリーの情報
- ハードウェアオプション
 - Hewlett Packard Enterprise製品のQuickSpecs
 - ハードウェアオプションの取り付けのガイドライン
 - 取り付け前の手順
 - サーバーデータバックアップ
 - サーバーの電源を切る
 - ラックからサーバーを引き出す
 - ケーブルマネジメントアームを解放する
 - ラックからサーバーを取り外す
 - ベゼルを取り外す
 - アクセスパネルを取り外す
 - 中央カバーを取り外す
 - ファンフレームを取り外す
 - プライマリPCIeライザーケースを取り外す
 - ホットプラグ対応SAS/SATA/NVMeドライブの取り外し
 - ホットプラグ対応E3.Sドライブを取り外す
 - Systems Insight Displayにアクセスする
 - 取り付け後の手順
 - プライマリPCIeライザーケースを取り付ける
 - ファンフレームを取り付ける
 - 中央カバーを取り付ける
 - アクセスパネルを取り付ける
 - サーバーをラックに取り付ける
 - サーバーの電源を入れる
 - 冷却
 - ファンモードの動作
 - 冗長ファンサポートの要件
 - 高性能ファンの取り付け
 - ドライブ
 - ドライブの取り付けのガイドライン
 - ホットプラグ対応SAS、SATA、またはNVMeドライブの取り付け
 - E3.Sドライブの取り付け
 - ドライブケース
 - 混合ドライブタイプ構成での4 E3.Sドライブケースの取り付け
 - 混合ドライブタイプ構成での2 SFF (2.5型) ドライブケースの取り付け
 - 8 SFF (2.5型) ドライブ構成での2 SFF (2.5型) ドライブケースの取り付け
 - Energy Pack
 - HPE Smartストレージバッテリー
 - HPE Smartストレージハイブリッドキャパシター
 - Smartストレージバッテリー/キャパシターの取り付け
 - GPU
 - プライマリライザーケースへのGPUの取り付け
 - 管理

- Systems Insight Displayの取り付け
- シリアルポートオプションの取り付け
- メディアデバイス
 - 4 LFF (3.5型) ディスプレイポート/USBオプションの取り付け
 - 4 LFF (3.5型) オプティカルディスクドライブの取り付け
 - 8 SFF (2.5型) ディスプレイポート/USB/オプティカルドライブブランクオプションの取り付け
 - 8 SFF (2.5型) オプティカルディスクドライブの取り付け
 - 混合ドライブタイプ構成のディスプレイポート/USB/オプティカルドライブブランクオプションとオプティカルドライブの取り付け
- メモリ
 - HPE Smartメモリの速度と取り付け情報
 - DIMMの取り付けに関するガイドライン
 - DIMMブランクの取り付け
 - DIMMの取り付け
- ネットワーク
 - リアOCPネットワークアダプターの取り付け
 - PCIeネットワークアダプターの取り付け
- OSブートデバイス
 - ブートデバイスドライブの取り付け
 - 内部またはライザーケージブートデバイスの取り付け
 - 混合ドライブタイプ構成でのフロントパネルブートデバイスの取り付け
- 電源装置
 - ホットプラグ対応電源装置に関する計算
 - 電源装置に関する警告と注意事項
 - DC電源装置に関する警告と注意事項
 - DC電源装置のワイヤーの色
 - 冗長ホットプラグ対応電源装置の取り付け
 - DC電源装置の取り付け
 - DC電源ケーブルのDC電源への接続
- プロセッサとヒートシンク
 - プロセッサに関する注意事項
 - 高性能ヒートシンクの取り付け
 - 直接液冷キットの接続
- ラックレールとCMA
 - ラックマウントインターフェイス
 - ラックレールのオプション
 - レール識別マーカー
 - ラックレールの取り付け
 - サーバーのラックへの取り付け
 - ラックレールの面ファスナーストラップの取り付け
 - ケーブルマネジメントアームの取り付け
- ライザーとライザーケージ
 - プライマリPCIライザーケージオプション
 - スロット1への拡張ボードの取り付け
 - スロット2への拡張ボードの取り付け
 - セカンダリPCIライザーオプション

- セカンダリロープロファイルライザーオプションの取り付け
 - セカンダリフルハイトライザーオプションの取り付け
 - セカンダリライザーケージへの拡張ボードの取り付け
- セキュリティ
 - ベゼルの取り付け
 - シャーシ侵入検知スイッチオプションの取り付け
- ストレージコントローラー
 - タイプpストレージコントローラーの取り付け
 - タイプoストレージコントローラーの取り付け
- ケーブル接続
 - ケーブル接続のガイドライン
 - ケーブル配線図
 - 内部ケーブル管理
 - ストレージのケーブル接続
 - 4 LFF (3.5型) ドライブバックプレーンのケーブル接続
 - 8 SFF (2.5型) ドライブバックプレーンのケーブル接続
 - 8 + 2 SFF (2.5型) ドライブバックプレーンのケーブル接続
 - 4 EDSFF ドライブバックプレーンのケーブル接続
 - ドライブボックス1のケーブル接続
 - ドライブボックス2のケーブル接続
 - ドライブボックス3のケーブル接続
 - ドライブボックス4のケーブル接続
 - ドライブボックス5のケーブル接続
 - 2 SFF (2.5型) ドライブバックプレーンのケーブル接続
 - ドライブボックス1のケーブル接続
 - ドライブボックス2のケーブル接続
 - ドライブボックス3のケーブル接続
 - ドライブボックス4のケーブル接続
 - ドライブボックス5のケーブル接続
 - ストレージコントローラーのバックアップ電源ケーブル接続
 - ドライブの電源ケーブル接続
 - Energy Packのケーブル接続
 - オプティカルディスクドライブのケーブル接続
 - フロントディスプレイポート/USBのケーブル接続
 - ブートデバイスの内部のケーブル接続
 - OCP帯域幅有効化のケーブル接続
 - シリアルポートのケーブル接続
 - シャーシ侵入検知スイッチのケーブル接続
 - フロントI/Oのケーブル接続
 - Systems Insight Displayのケーブル接続
 - 液冷モジュールのケーブル接続
- 構成関連情報
 - ファームウェアまたはシステムROMのアップデート
 - サーバーの構成
 - ストレージコントローラーの構成
 - HPE NS204i-uブートデバイスV2の管理

- オペレーティングシステムの展開
- セキュリティの構成
- サーバー管理
- Linuxベースのハイパフォーマンスコンピューティングクラスターの管理
- **トラブルシューティング**
 - NMI機能
 - フロントパネルのLED電源障害コード
 - トラブルシューティングの資料
- **安全、保証および規制に関する情報**
 - 規定に関する情報
 - Notices for Eurasian Economic Union (ユーラシア経済連合)
 - Turkey RoHS material content declaration
 - Ukraine RoHS material content declaration
 - 保証情報
- **仕様**
 - 環境仕様
 - 機械仕様
 - 電源装置の仕様
 - HPE 800 W FS Platinum LHパワーサプライ (HPE 800 W Flex Slot Platinum Hot-plug Low Halogen Power Supply)
 - HPE 1000 W FS Titaniumパワーサプライ (HPE 1000 W Flex Slot Titanium Hot-plug Power Supply)
 - HPE 1600 W FS Platinum LHパワーサプライ (HPE 1600 W Flex Slot Platinum Hot-plug Low Halogen Power Supply)
 - HPE 1600 W FS DC-48Vパワーサプライ (HPE 1600 W Flex Slot -48 VDC Hot-plug Power Supply)
 - HPE 1800-2200 W FS Titaniumパワーサプライ (HPE 1800-2200 W Flex Slot Titanium Power Supply)
- **サポートと他のリソース**
 - Hewlett Packard Enterpriseサポートへのアクセス
 - HPE製品登録
 - アップデートへのアクセス
 - カスタマーセルフリペア (CSR)
 - リモートサポート
 - ドキュメントに関するご意見、ご指摘

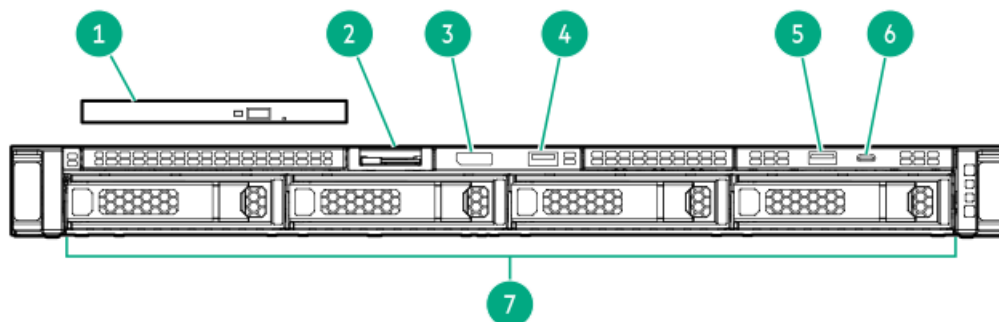
コンポーネントの識別

サブトピック

[フロントパネルのコンポーネント](#)
[フロントパネルのLEDとボタン](#)
[リアパネルのコンポーネント](#)
[リアパネルのLED](#)
[コンポーネントのタッチポイント](#)
[システムボードのコンポーネント](#)
[ドライブベイの番号](#)
[ドライブバックプレーンの命名](#)
[OCP NIC 3.0スロットの番号](#)
[HPEのベーシックドライブのLEDの定義](#)
[EDSFF SSDのLEDの定義](#)
[ファン番号](#)
[ヒートシンクおよびプロセッサソケットのコンポーネント](#)
[クローズドループ液冷ヒートシンクのコンポーネント](#)
[HPE NS204i-uブートデバイスV2のコンポーネント](#)
[HPE NS204i-uブートデバイスV2のLEDの定義](#)
[ライザーボードのコンポーネント](#)
[ライザースロットの番号](#)

フロントパネルのコンポーネント

4 LFF (3.5型)

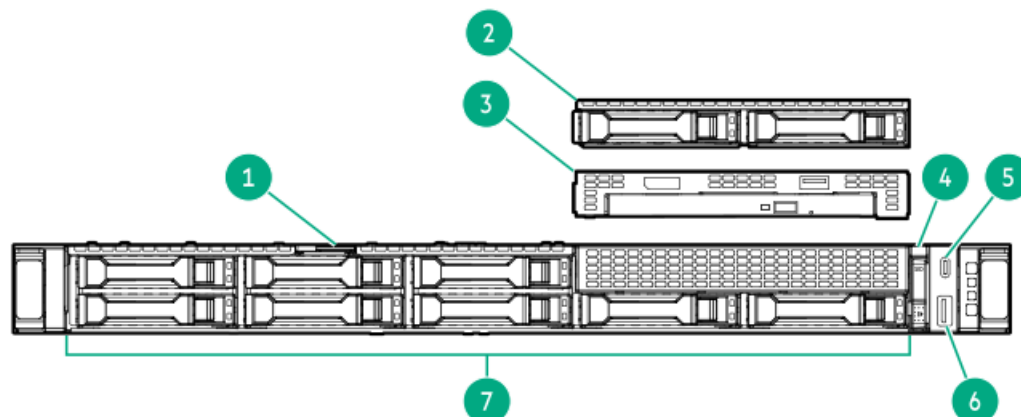


番号	説明
1	オプティカルドライブ (オプション) ¹
2	シリアル番号/iLO情報プルタブ ²
3	ディスプレイポート (オプション)
4	USB 2.0ポート (オプション)
5	USB 3.2 Gen 1ポート
6	iLOサービスポート (USBタイプC) ³
7	ドライブベイ

¹ このオプションはブランクの代わりに取り付けられます。

- ² シリアル番号/iLO情報プルタブは両面仕様です。片面には、サーバーのシリアル番号とお客様の資産タグラベルが記載されています。反対の面には、デフォルトiLOアカウント情報が記載されています。
- ³ オペレーティングシステムは、このポートをUSBポートとして認識しません。

8 + 2 SFF (2.5型)

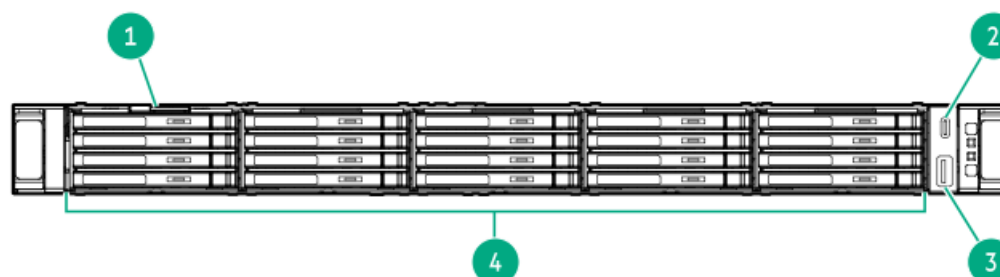


番号	説明
1	シリアル番号/iLO情報プルタブ ¹
2	2 SFF (2.5型) サイドバイサイドドライブケーシアセンブリ (オプション) ²
3	ディスプレイポート / USB 2.0 / オプティカルドライブ (オプション) ²
4	Systems Insight Display (オプション) ³
5	iLOサービスポート (USBタイプC) ⁴
6	USB 3.2 Gen 1ポート
7	ドライブベイ

- ¹ シリアル番号/iLO情報プルタブは両面仕様です。片面には、サーバーのシリアル番号とお客様の資産タグラベルが記載されています。反対の面には、デフォルトiLOアカウント情報が記載されています。
- ² このオプションはブラנקの代わりに取り付けられます。
- ³ このSystems Insight Displayは、8 SFF (2.5型) ドライブ構成でのみサポートされます。
- ⁴ オペレーティングシステムは、このポートをUSBポートとして認識しません。

20 E3.S

ドライブボックスは、混合ドライブタイプ構成のハードウェアオプションをサポートしています。



番号	説明
1	シリアル番号/iLO情報プルタブ ¹
2	iLOサービスポート (USBタイプC) ²
3	USB 3.2 Gen1ポート
4	ドライブベイ

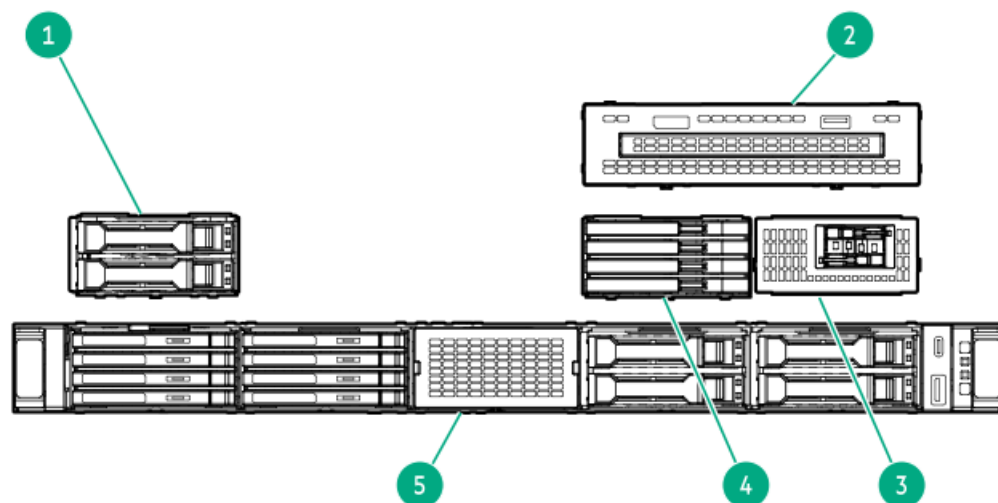
¹ シリアル番号/iLO情報プルタブは両面仕様です。片面には、サーバーのシリアル番号とお客様の資産タグラベルが記載されています。反対の面には、デフォルトiLOアカウント情報が記載されています。

² オペレーティングシステムは、このポートをUSBポートとして認識しません。

混合ドライブタイプ構成とオプション

混合ドライブタイプをサポートするサーバーでは、ドライブボックスごとに異なるドライブケージオプションまたはメディアデバイスオプションを取り付けることができます。

サポートされるフロントドライブケージオプションについて詳しくは、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト (<https://www.hpe.com/info/quickspecs>) にある製品のQuickSpecsを参照してください。



番号	説明
1	積み重ね式2 SFF (2.5型) ドライブケージアセンブリ (オプション) ¹
2	ディスプレイポート / USB 2.0 / オプティカルドライブ (オプション) ^{1, 2}
3	フロントパネルブートデバイスイネーブルメントキット (オプション) ^{1, 3}
4	積み重ね式4 E3.Sドライブケージアセンブリ (オプション) ¹
5	ドライブボックスブランク

¹ このオプションはブランクの代わりに取り付けられます。
² メディアデバイスオプションはボックス4~5でサポートされます。
³ フロントパネルブートデバイスはボックス5でサポートされます。

サブトピック

iLOサービスポート

iLOサービスポート

iLOサービスポートは、サーバーの前面にある、iLOのラベルが付けられているUSBポートです。

サーバーに物理的にアクセスできる場合、iLOサービスポートを使用して次のことができます。

- サポートされているUSBフラッシュドライブにActive Health Systemログをダウンロードします。

この機能を使用する場合、接続されているUSBフラッシュドライブにホストOSはアクセスできません。

- 標準のUSB Type A – Type CケーブルまたはUSB Type C – Type Cケーブルを使用してホストシステム (Windows/Mac/Linuxラップトップまたはデスクトップ) を接続し、以下にアクセスします。
 - iLOのWebインターフェイス
 - リモートコンソール
 - iLO RESTful API
 - CLI

iLOサービスポートを使用すると、次のようになります。

- 操作がiLOイベントログに記録されます。
- iLOサービスポートのステータスを示すようにサーバーのUIDが点滅します。

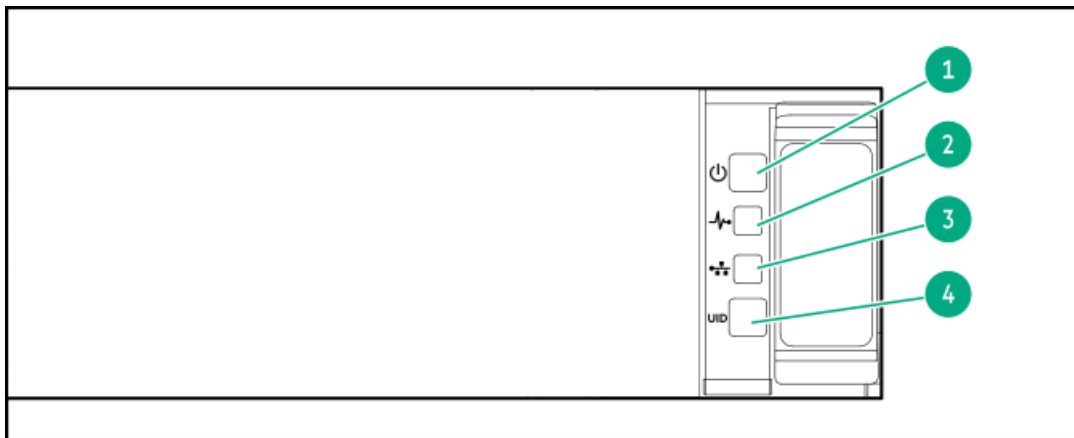
RESTクライアントとiLO RESTful APIを使用してiLOサービスポートのステータスを取得することもできます。

- iLOサービスポートを使用してサーバー内のデバイスまたはサーバー自体を起動することはできません。
- iLOサービスポートに接続してサーバーにアクセスすることはできません。
- 接続されているデバイスにサーバーからアクセスすることはできません。

iLOサービスポートについて詳しくは、iLOユーザーガイドを参照してください。

<https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks>

フロントパネルのLEDとボタン



番号	説明	ステータス
1	電源ボタンおよびシステム電源LED ¹	緑色で点灯 = システムに電源が入っています 緑色で点滅 = 電源投入シーケンスを実行中です オレンジ色で点灯 = システムはスタンバイ状態です 消灯 = 電源が供給されていません¹
2	ヘルスLED ¹	緑色で点灯 = 正常 緑色で点滅 = iLOが再起動しています。 オレンジ色で点滅 = システムの機能が劣化しています 赤色で点滅 = システムに重大な障害が発生しています²
3	NICステータスLED ^{1, 3}	緑色で点灯 = ネットワークにリンクされています 緑色で点滅 = ネットワーク動作中 消灯 = ネットワークが動作していません
4	UIDボタン/LED ⁴	青色で点灯 = 動作しています。 青色で点滅： 1 Hz = リモート管理またはファームウェアアップグレードが進行中 4 Hz = iLOの手動再起動シーケンス開始 8 Hz = iLOの手動再起動シーケンス実行中 消灯 = 動作していません。

- ¹ 電源が供給されていない、電源コードが接続されていない、電源装置が搭載されていない、電源装置が故障している、または電源ボタンケーブルが接続されていません。
- ² ヘルスLEDが劣化状態またはクリティカル状態を示している場合は、システムIMLを確認するか、またはiLOを使用してシステムヘルスステータスを確認してください。
- ³ NICステータスLEDは、スキャンチェーン機能のないOCP NICアダプター、またはPCIe NICアダプターからのNIC LED ACT/LINK表示をサポートしません。
- ⁴ この表で説明されている4つのLEDがすべて同時に点滅する場合は、電源障害が発生しています。

サブトピック

UIDボタンの機能

フロントパネルのLED電源障害コード

Systems Insight DisplayのLED

Systems Insight Display LEDの組み合わせについての説明

UIDボタンの機能

サーバーの電源が入らないときにUIDボタンを使用すると、ラック内の特定のサーバーを識別したり、サーバーヘルスマリーを表示したりすることができます。詳しくは、[Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト](#)にある最新のHPE iLOユーザーガイド参照してください。

フロントパネルのLED電源障害コード

次の表は、電源障害コードと影響を受けているサブシステムのリストを提供します。すべての電源障害がすべてのサーバーに適用されるわけではありません。

サブシステム	LEDの動作
システムボード	1回の点滅
プロセッサ	2回の点滅
メモリ	3回の点滅
ライザーボードのPCIeスロット	4回の点滅
OCPアダプター	5回の点滅
ストレージコントローラー	6回の点滅
システムボードPCIeのスロット	7回の点滅
電源バックプレーン	8回の点滅
ストレージバックプレーン	9回の点滅
電源装置	10回の点滅
ライザーボードに取り付けられたPCIe拡張カード	11回の点滅
シャーシ	12回の点滅
GPUカード	13回の点滅

Systems Insight DisplayのLED

Systems Insight Display (SID) のLEDは、システムボードのコンポーネントを表しています。このディスプレイによって、アクセスパネルが取り付けられてもコンポーネントの問題の診断が可能になります。

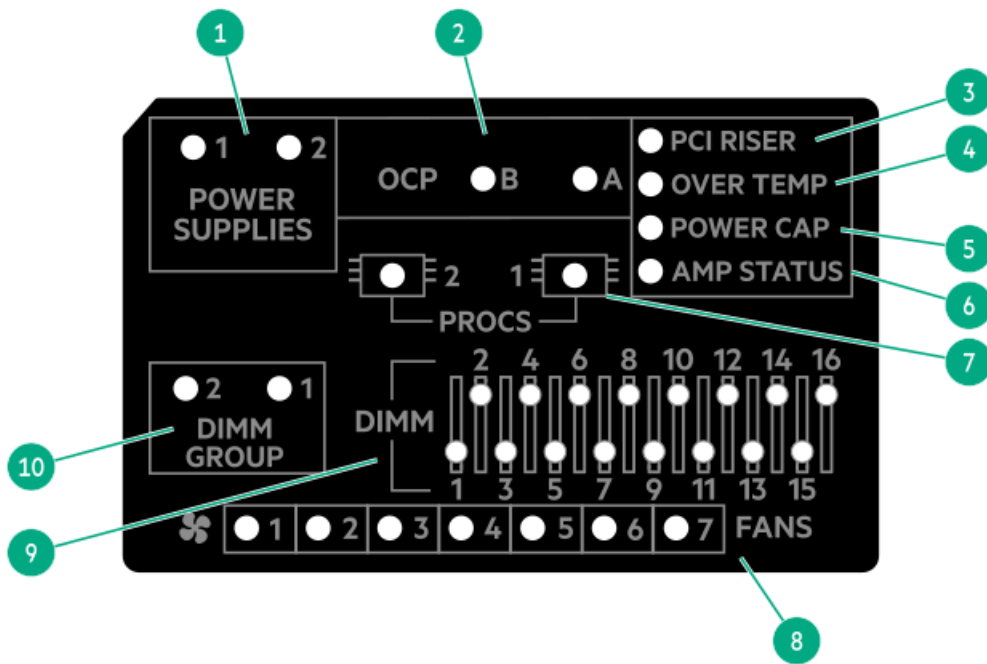


重要

複数のDIMMスロットLEDが点灯している場合は、さらにトラブルシューティングが必要です。他のすべてのDIMMを取り外して、DIMMの各バンクをテストしてください。バンクにある各DIMMを正常に動作しているDIMMと交換して、障害のあるDIMMを特定してください。

メモリの取り付けルールについては、関連するメモリのテクニカルペーパーを参照してください。

<https://www.hpe.com/docs/server-memory>



番号	LED	ステータス	説明
1	電源装置LED	消灯	正常
		オレンジ色で点灯	以下に示す1つ以上の状態が発生していません。 - 電源サブシステムの劣化 - 電源装置の障害 - 入力電源の切断
2	OCP LED	緑色で点灯	ネットワークにリンクされています
		緑色で点滅	ネットワークは動作中です
		消灯	ネットワークにリンクされていません
3	PCIライザーLED	消灯	正常
		オレンジ色で点灯	PCIライザーケーシングが正しく取り付けられていません
4	温度超過LED	消灯	正常
		オレンジ色で点灯	高温を検出
5	消費電力上限LED	緑色で点灯	消費電力上限が適用されます
		消灯	以下に示す1つ以上の状態が発生していません。 - システムはスタンバイ状態です - 上限が設定されていません
6	AMP ¹	緑色で点灯	AMPモードが有効です
		オレンジ色で点灯	フェイルオーバー
		オレンジ色で点滅	構成が無効です
		消灯	AMPモードが無効
7	プロセッサLED	消灯	正常
		オレンジ色で点灯	プロセッサに障害が発生しています
8	ファンLED	消灯	正常
		オレンジ色で点灯	ファンに障害が発生しているか、またはファンが認識されていません
9	DIMM LED	消灯	正常
		オレンジ色で点灯	DIMMに障害が発生しているか、または構成に問題があります
10	DIMMグループLED	消灯	正常
		オレンジ色で点灯	DIMMグループに障害が発生しているか、または構成に問題があります

¹ アドバンスドメモリプロテクション (AMP) を有効にするには、UEFIユーザーガイド (<https://www.hpe.com/support/hpeuefisystemutilities-quicklinks>) を参照してください。

フロントパネルのヘルスLEDがオレンジ色または赤色に点灯した場合は、サーバーの動作で問題が発生していることを示します。これらのLEDの組み合わせについては、[Systems Insight Display LEDの組み合わせについての説明](#)を参照してください。

Systems Insight Display LEDの組み合わせについての説明

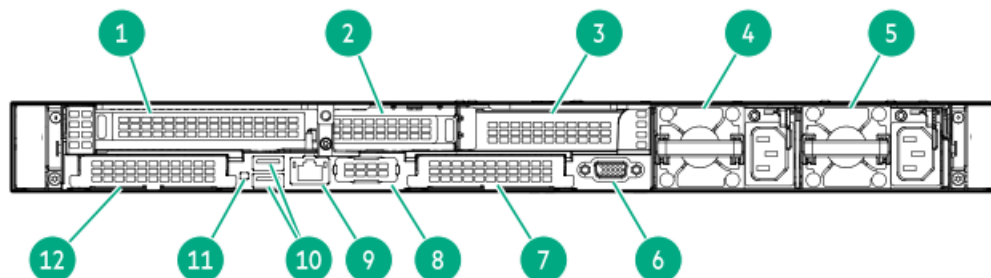
以下のLEDの状態の組み合わせによってシステムのステータスを確認することができます。

- SIDのLED
- システム電源LED
- ヘルスLED

SID LEDステータス	ヘルスLEDステータス	システム電源LEDステータス	定義
電源装置（オレンジ色で点灯）	赤色で点滅	オレンジ色で点灯	以下に示す1つ以上の状態が発生しています。 • 取り付けられている電源装置が1台のみであり、その電源装置がスタンバイ状態になっています。 • 電源装置の障害です。 • システムボードの障害。
	オレンジ色で点滅	緑色で点灯	以下に示す1つ以上の状態が発生しています。 • 冗長電源装置が取り付けられており、1台の電源装置のみが機能しています。 • 冗長電源装置にAC電源コードが接続されていません。 • 冗長電源装置の障害です。 • POSTの実行中に電源装置の不一致が検出されたか、またはホットプラグによる追加のため電源装置が一致しなくなりました。
PCIライザー（オレンジ色で点灯）	赤色で点滅	緑色で点灯	PCIライザーケースが適切に取り付けられていません。
温度超過（オレンジ色で点灯）	オレンジ色で点滅	緑色で点灯	ヘルスドライバーが注意温度レベルを検出しました。
	赤色で点滅	オレンジ色で点灯	サーバーは、ハードウェアの温度がクリティカルなレベルに達したことを検出しました。
消費電力上限（緑色で点灯）	–	緑色で点灯	電力が使用可能です。
消費電力上限（緑色で点灯）	–	緑色で点滅	電源投入を待っています
消費電力上限（オレンジ色で点滅）	–	オレンジ色で点灯	電力が使用できません。
消費電力上限（消灯）	–	オレンジ色で点灯	スタンバイ
プロセッサ（オレンジ色で点灯）	赤色で点滅	オレンジ色で点灯	以下に示す1つまたは複数の状態が発生している可能性があります。 • ソケットXのプロセッサに障害が発生しました。 • プロセッサXがソケットに取り付けられていない。 • プロセッサXはサポートされていない。 • POST実行中に、故障したプロセッサをROMが検出しました。
	オレンジ色で点滅	緑色で点灯	ソケットXのプロセッサが障害発生の前段階にあります。
ファン（オレンジ色で点灯）	オレンジ色で点滅	緑色で点灯	1つのファンが故障したか取り外されています。
	赤色で点滅	緑色で点灯	2つ以上のファンが故障したか取り外されています。
DIMM（オレンジ色で点灯）	赤色で点滅	緑色で点灯	1つ以上のDIMMが故障しました。
	オレンジ色で点滅	緑色で点灯	スロットXのDIMMが障害発生の前段階にあります。

リアパネルのコンポーネント

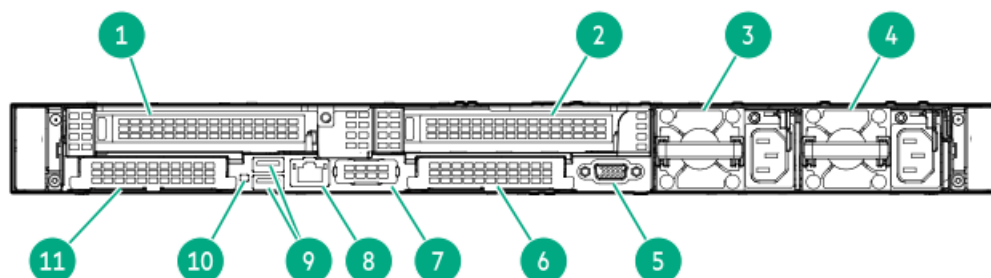
3つのPCIeスロットを備えたリアパネル



番号	説明
1	スロット1 PCIe5 ¹
2	スロット2 PCIe5 ²
3	スロット3 PCIe5 (オプション - 2つ目のプロセッサが必要) ³
4	電源装置2 (PS2)
5	電源装置1 (PS1)
6	ビデオ (VGA) ポート
7	OCP 3.0スロットB (スロット15)
8	シリアルポート (オプション)
9	iLOマネジメントポート
10	USB 3.2 Gen 1ポート
11	リアUIDボタン / LED
12	OCP 3.0スロットA (スロット14)

- ¹ このスロットはフルハイトPCIeフォームファクターをサポートします。
² このスロットはロープロファイルPCIeフォームファクターをサポートします。
³ このスロットには、ロープロファイルライザーキットオプション (P48903-B21) が必要です。

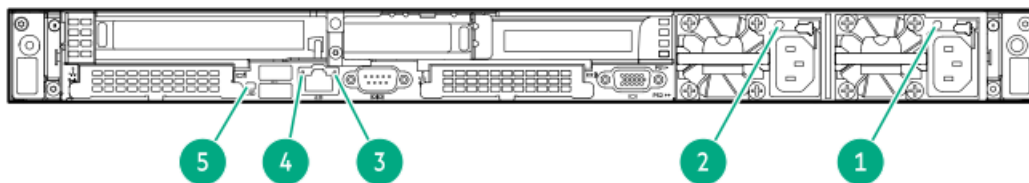
2つのPCIeスロットを備えたリアパネル



1	スロット1 PCIe5 ¹
2	スロット2 PCIe5 (オプション - 2つ目のプロセッサが必要) ²
3	電源装置2 (PS2)
4	電源装置1 (PS1)
5	ビデオ (VGA) ポート
6	OCP 3.0スロットB (スロット15)
7	シリアルポート (オプション)
8	iLOマネジメントポート
9	USB 3.2 Gen 1ポート
10	リアUIDボタン / LED
11	OCP 3.0スロットA (スロット14)

- ¹ このスロットはフルハイトPCIeフォームファクターをサポートします。
² このスロットには、フルハイトライザーキットオプション (P72598-B21) が必要です。

リアパネルのLED



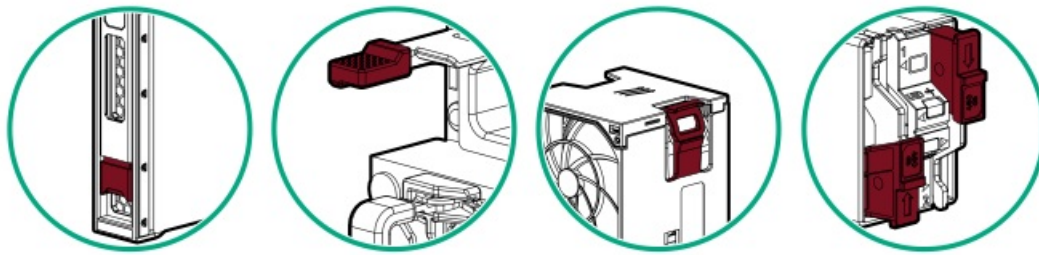
番号	説明	ステータス
1	電源装置1のLED	緑色で点灯 = 正常 消灯 = 以下に示す、1つまたは複数の状態が発生しています。 • AC電源が供給されていない • 電源装置に障害が発生している • 電源装置がスタンバイモードに入っている • 電源装置が電流制限を超えた。 • 電源コードが接続されていない
2	電源装置2のLED	緑色で点灯 = 正常 消灯 = 以下に示す、1つまたは複数の状態が発生しています。 • AC電源が供給されていない • 電源装置に障害が発生している • 電源装置がスタンバイモードに入っている • 電源装置が電流制限を超えた。 • 電源コードが接続されていない
3	iLO/標準NIC動作LED	緑色で点灯 = 動作しています。 緑色で点滅 = 動作しています。 消灯 = 動作していません。
4	iLO/標準NICリンクLED	緑色で点灯 = 接続されています。 消灯 = リンクされていません。
5	UID LED	青色で点灯 = 確認機能が使用されています。 青色で点滅 = システムはリモートで管理されています。 消灯 = 確認機能が使用されていません。

コンポーネントのタッチポイント

特定のコンポーネントは色分けされています。これらの色は、取り外しプロセスで触れることが推奨される部分を表し、コンポーネントを取り外す前にシステムのシャットダウンが必要かどうかを示します。

以下の図に参考例を示します。

HPEホットプラグレッド

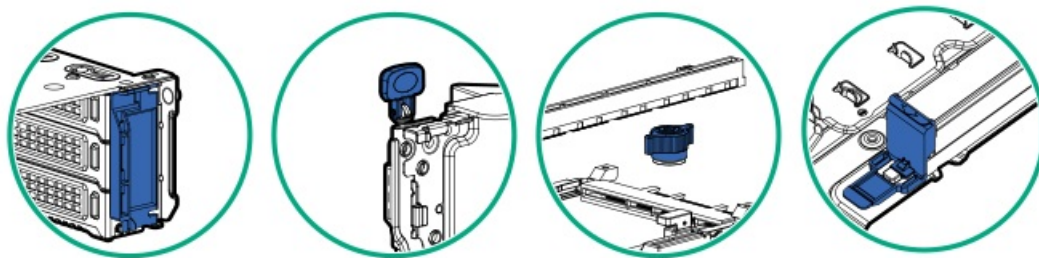


ホットプラグレッドは、ホットプラグ対応のコンポーネントを示します。これらのコンポーネントは、システムの実行中に取り外したり取り付けたりすることができ、そうしてもシステムがシャットダウンすることはありません。

コンポーネントの例：

- 冗長電源構成の電源装置
- ホットプラグ対応ファン
- ホットプラグ対応ドライブ
- ホットプラグ対応ブートデバイス内のM.2 SSD

HPEタッチポイントブルー

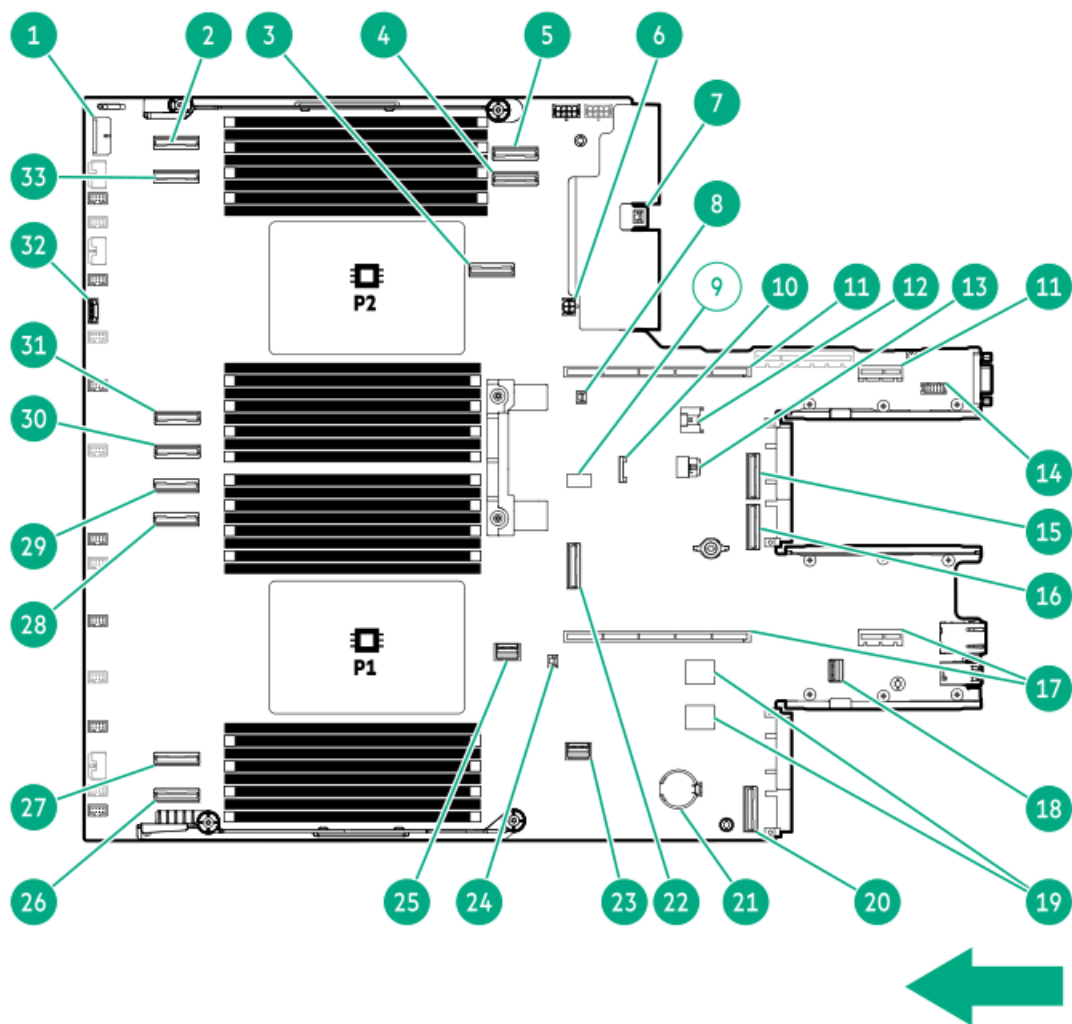


タッチポイントブルーは、コールドプラグ対応のコンポーネントを示します。これらのコンポーネントではシステムのシャットダウンが必要です。これを怠ると、システム障害やデータ損失が発生する可能性があります。コールドプラグ対応のコンポーネントは、非電気コンポーネントのタッチポイントを示す場合もあります。

コンポーネントの例：

- ストレージデバイス
- ファンケージ
- システムボード
- Energy Pack

システムボードのコンポーネント



番号	説明
1	ボックス1ドライブバックプレーン電源コネクタ
2	MCIOポート8
3	MCIOポート11
4	MCIOポート10
5	MCIOポート9
6	SmartNIC 4ピン電源コネクタ ¹
7	シャーシ侵入検知スイッチコネクタ
8	ストレージバックアップ電源コネクタ2
9	<u>システムメンテナンススイッチ</u>
10	SIDコネクタ
11	セカンダリライザーコネクタ
12	Energy Packコネクタ
13	NS204i-u電源コネクタ
14	シリアルポートコネクタ
15	OCP B内部ポート1
16	OCP B内部ポート2
17	プライマリライザーコネクタ
18	フロントディスプレイポート/USB 2.0コネクタ
19	内部デュアルUSB 3.2 Gen1ポート
20	OCP A内部ポート1
21	システムバッテリー
22	MCIOポート12
23	フロントI/OコネクタおよびUSB 3.2 Gen 1ポートコネクタ
24	ストレージバックアップ電源コネクタ1
25	NS204i-u信号コネクタ
26	MCIOポート1
27	MCIOポート2
28	MCIOポート3
29	MCIOポート4
30	MCIOポート5
31	MCIOポート6
32	冷却モジュールコネクタ
33	MCIOポート7

¹ 利用可能なSmartNIC 4ピン電源ケーブルオプションはありません。

サブトピック

システムメンテナンススイッチの説明

DIMMラベルの識別

DIMMスロット位置

システムメンテナンススイッチの説明

位置	デフォルト機能	
S1 ¹	オフ	• オフ - iLO 7セキュリティは有効です。 • オン - iLO 7セキュリティは無効です。
S2	オフ	予約済み
S3	オフ	予約済み
S4	オフ	予約済み
S5 ¹	オフ	• オフ - 電源投入時パスワードは有効です。 • オン - 電源投入時パスワードは無効です。
S6 ^{1, 2, 3}	オフ	• オフ - 動作していません • オン - 製造時のデフォルト設定を復元します
S7	オフ	予約済み
S8	オフ	予約済み
S9	オフ	予約済み
S10	オフ	予約済み
S11	オフ	予約済み
S12	オフ	予約済み

- ¹ 冗長ROMにアクセスするには、S1、S5、およびS6をオンに設定します。
- ² システムメンテナンススイッチのS6をオンの位置に設定すると、すべての構成設定を製造時のデフォルト設定に復元できるようになります。
- ³ システムメンテナンススイッチのS6をオンの位置に設定してセキュアブートを有効にすると、一部の構成は復元できません。詳しくは、サーバーの構成を参照してください。

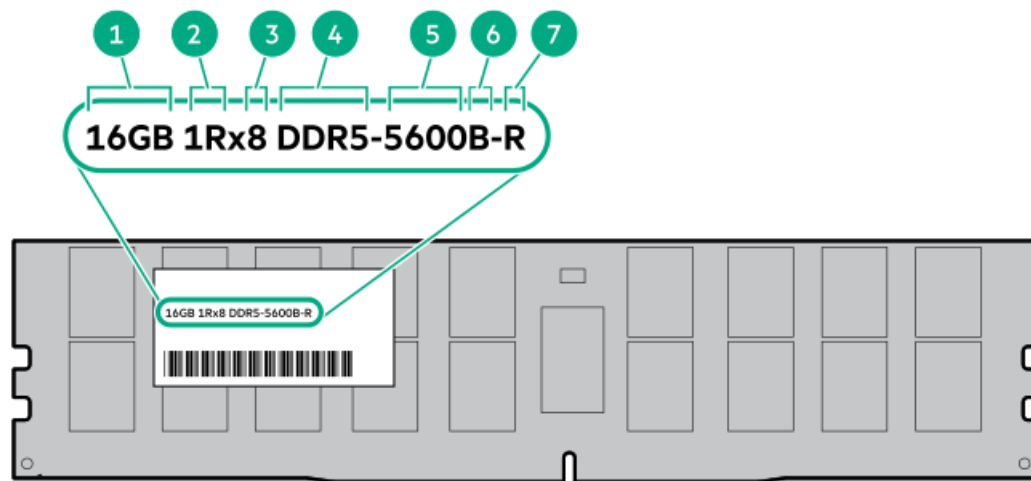
DIMMラベルの識別

ラベルには、DIMMに関する情報が記載されています。次のようなDIMMに関するその他の情報については、

- メモリ速度やサーバー固有のDIMM取り付けルール
- 製品の特長、仕様、オプション、構成、および互換性

次のWebサイトを参照してください。

<https://www.hpe.com/docs/server-memory>

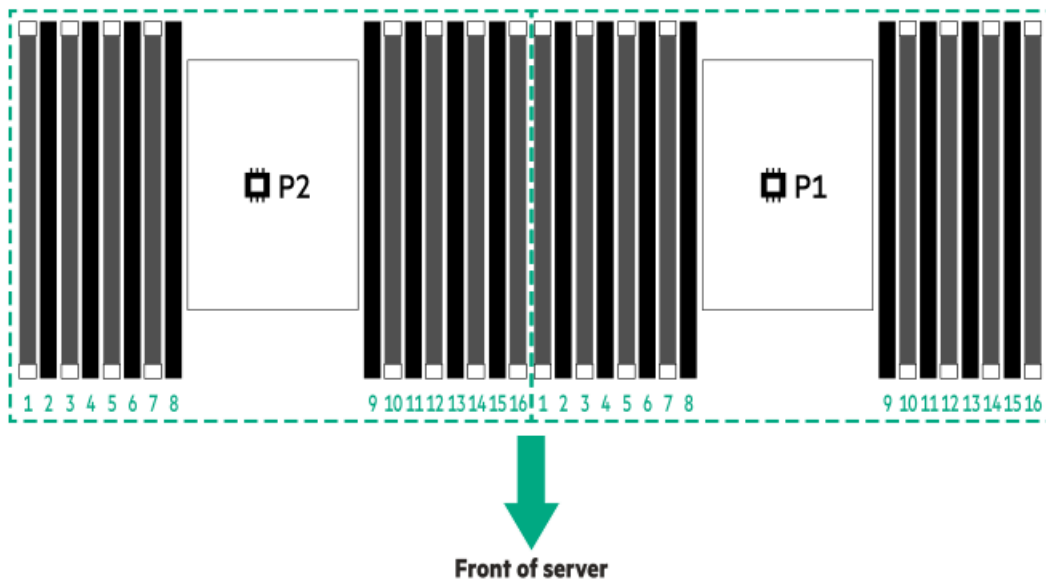


番号	説明	例
1	容量 ¹	16 GB 32 GB 64 GB 96 GB 128 GB 256 GB
2	ランク	1R - シングルランク 2R - デュアルランク 4R - クアッドランク 8R - オクタールランク
3	DRAM上のデータ幅	x4 - 4ビット x8 - 8ビット
4	メモリ世代	PC5 - DDR5
5	メモリの最大速度 ¹	4800 MT/s 5600 MT/s 6400 MT/s
6	CASレイテンシ	B - 42-42-42 B - 50-42-42 (128 GBおよび256 GB容量の場合)
7	DIMMタイプ	E - UDIMM (バッファなし、ECC付き) R - RDIMM (レジスター付き)

¹ メモリの最大速度および容量は、メモリの種類、メモリ構成、およびプロセッサモデルの総合的な組み合わせによって決まります。

DIMMスロット位置

DIMMスロットは、各プロセッサごとに順番に番号（1～16）が付けられています。



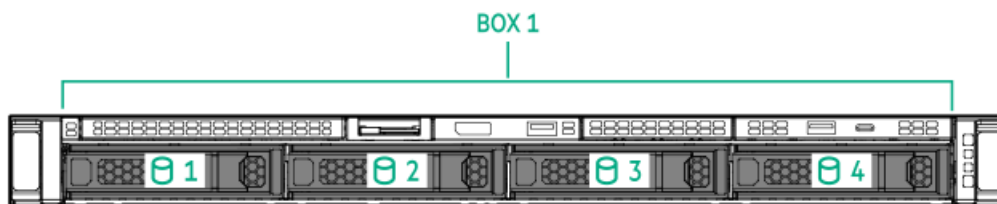
ドライブベイの番号



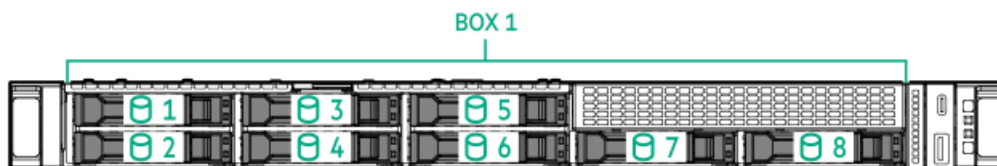
注意

ドライブが取り付けられていない状態でサーバーを購入した場合、一部のドライブベイが空で、他のドライブベイにドライブブランクが装着されている場合があります。システムの適切な冷却を維持するため、ドライブまたはドライブブランクが取り付けられていない状態でサーバーを動作させないでください。

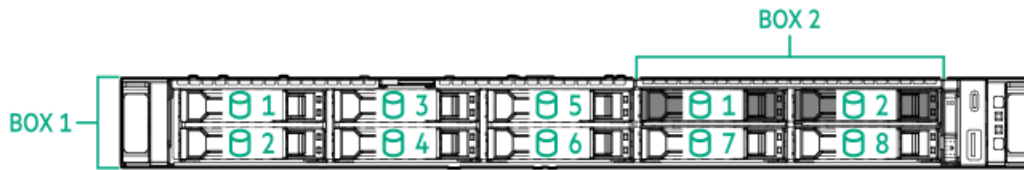
4 LFF (3.5型) ドライブベイの番号



8 SFF (2.5型) ドライブベイの番号



8 + 2 SFF (2.5型) ドライブベイの番号



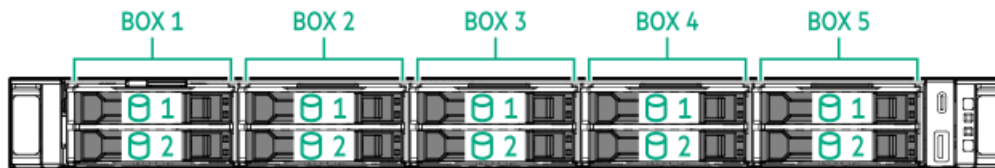
20 E3.Sドライブベイの番号

この構成は、フロントドライブケースで混合ドライブタイプをサポートします。



10 SFF（2.5型）ドライブベイの番号

この構成は、フロントドライブケースで混合ドライブタイプをサポートします。



ドライブバックプレーンの命名

このトピックでは、ドライブバックプレーンの命名で示されている機能について説明します。この命名規則は、HPE Gen11サーバーリリースから採用されています。サーバーは、このトピックに記載されているすべての機能をサポートしているとは限りません。サーバー固有のサポート情報については、サーバーのガイドを参照してください。

- ドライブバックプレーンのサポートについては、ドライブベイの番号を参照してください。
- ドライブバックプレーンのケーブル接続については、ストレージのケーブル接続を参照してください。



番号	説明	値
1	ドライブベイの数	バックプレーンでサポートされているドライブベイの数。
2	ドライブのフォームファクター	LFF (3.5型) – ラージフォームファクター
		SFF (2.5型) – スモールフォームファクター
		E3.S – Enterprise and Datacenter Standard Form Factor (EDSFF E3.S)
3	レーンあたりの最大リンク速度 (GT/s)	12G
		16G
		24G
		32G
4	ポートリンク幅とインターフェイス	x1 NVMe/SAS – U.3 NVMe、SAS、またはSATA ¹
		x4 NVMe/SAS – U.3 NVMe、SAS、またはSATA ²
		x4 NVMe – U.2 NVMe ³
		x4 NVMe – E3.S
5	Universal Backplane Manager (UBM) モデル	UBMモデルは、バックプレーンで使用するUBMファームウェアを定義します。 UBMモデルの例：UBM2、UBM3など
6	ドライブキャリアのタイプ	BC – ベーシックキャリア (SFF (2.5型))
		LP – ロープロファイルキャリア (LFF (3.5型))
		EC – E3.Sキャリア

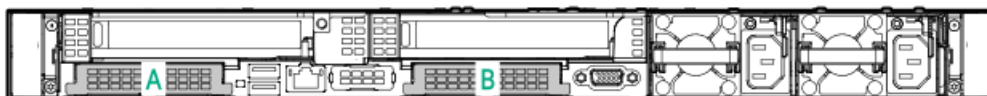
- ¹ x1 U.3 NVMe、SAS、およびSATAドライブに対するトライモードコントローラーのサポート。システムボード接続は、SATAドライブのみをサポートします (Gen12では利用できません)。
- ² x4 U.3 NVMe、x2 (スプリッターケーブル経由) U.3 NVMe、またはx1 SASおよびSATAドライブに対するCPU直接接続またはトライモードコントローラーのサポート。
- ³ x4 U.2 NVMeドライブに対するCPU直接接続またはトライモードコントローラーのサポート。

OCP NIC 3.0スロットの番号

このサーバーは、最大2つのOCP NIC 3.0 SFF (2.5型) スロットをリアパネルでサポートします。

リアOCP NIC 3.0スロット

リアOCP NIC 3.0スロットはシステムの標準です。



番号	スロット番号	サポートされるオプション
1	スロット14 OCP A PCIe5 x16 ¹ 、 ²	- OCP NICアダプター - タイプ0ストレージコントローラー
2	スロット15 OCP B PCIe5 x16 ³ 、 ⁴ 、 ⁵	

- ¹ OCP NICアダプターを1つ取り付ける場合は、スロット14 OCP Aに取り付けます。
- ² スロット14 OCP Aは、デフォルトでプロセッサ1からのx8接続をサポートします。x16接続にアップグレードするには、OCP A x16有効化ケーブルオプション (P72201-B21) が必要です。

- 3 シングルプロセッサ構成でスロット15 OCP B x8接続をサポートするには、CPU1からOCP-Bへのケーブルオプション (P72203-B21) が必要です。
- 4 デュアルプロセッサ構成でスロット15 OCP B x8接続をサポートするには、CPU2からOCP-Bへのケーブルオプション (P72205-B21) が必要です。
- 5 デュアルプロセッサ構成でx16接続にアップグレードするには、OCP B x16有効化ケーブルオプション (P72207-B21) が必要です。

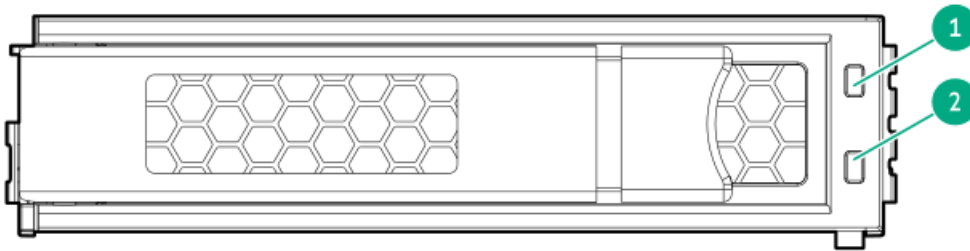
HPEのベーシックドライブのLEDの定義

HPEのベーシックドライブキャリアには、次のLEDがあります。

- オレンジ色/青色のLED - ストレージコントローラーと連動するドライブバックプレーンによって管理され、ドライブのステータスを示すために使用されます。
- 緑色のLED - ドライブ自体によって管理され、ドライブ動作中を示します。

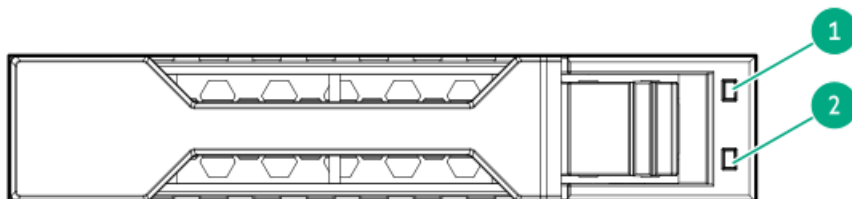
LFF (3.5型) ロープロファイルドライブキャリア

LFF (3.5型) ロープロファイルドライブキャリアはホットプラグSASまたはSATAをサポートしています。



SFF (2.5型) ベーシックドライブキャリア

SFF (2.5型) ベーシックドライブキャリアはホットプラグU.3 NVMeドライブをサポートしています。



番号	LED	状態	定義
1	障害/位置確認	オレンジ色で点灯	このドライブが故障したか、サポートされていないか、無効です。
		青色で点灯	ドライブは正常に動作しており、管理アプリケーションによって識別されています。
		オレンジ色/青色で点滅（毎秒1回点滅）	ドライブに障害が発生したか、このドライブの障害予測アラートが受信されました。また、このドライブが管理アプリケーションによって識別されました。
		オレンジ色で点滅（毎秒1回点滅）	このドライブの障害予測アラートを受信しています。できるだけ早くドライブを交換してください。
		消灯	ドライブは正常に動作しており、管理アプリケーションによって識別されていません。
2	オンライン/動作	緑色で点灯	ドライブはオンラインで、アクティブです。
		緑色で点滅（毎秒1回点滅）	ドライブの動作として以下のいずれかを示します。 - RAIDの再構築または実行 - ストリップサイズの移行の実行 - 容量拡張の実行 - 論理ドライブの拡張の実行 - 消去 - スペア部品のアクティブ化操作
		緑色で点滅（毎秒4回点滅）	ドライブは正常に動作しており、アクティブです。
		消灯	ドライブで、RAIDコントローラーによる構成が行われていないか、またはスペアドライブです。

EDSFF SSDのLEDの定義

EDSFFドライブキャリアには、次の2つのLEDがあります。

- オレンジ色/青色のLED - ストレージコントローラーと連動するドライブバックプレーンによって管理され、ドライブのステータスを示すために使用されます。
- 緑色のLED - ドライブ自体によって管理され、ドライブ動作中を示します。

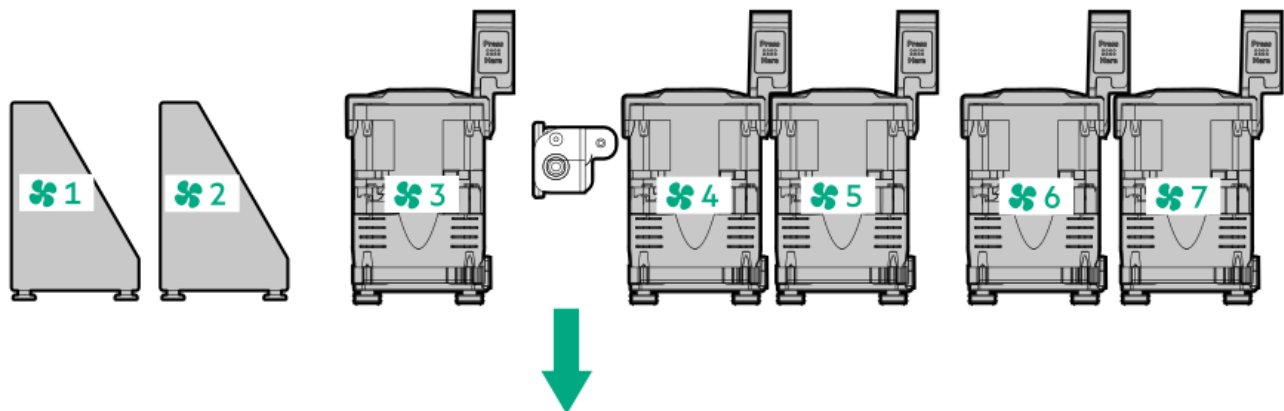


番号	LED	状態	定義
1	障害/位置確認	オレンジ色で点灯	このドライブが故障したか、サポートされていないか、無効です。
		青色で点灯	ドライブは正常に動作しており、管理アプリケーションによって識別されています。
		オレンジ色/青色で点滅（毎秒1回点滅）	ドライブに障害が発生したか、このドライブの障害予測アラートが受信されました。また、ドライブは管理アプリケーションによって識別されています。
		オレンジ色で点滅（毎秒1回点滅）	このドライブの障害予測アラートが受信されました。できるだけ早くドライブを交換してください。
		消灯	ドライブは正常に動作しており、管理アプリケーションによって識別されていません。
2	オンライン/動作	緑色で点灯	ドライブはオンラインで、アクティブです。
		緑色で点滅（毎秒4回点滅）	ドライブは正常に動作しており、アクティビティがあります。
		消灯	電源が供給されていません。

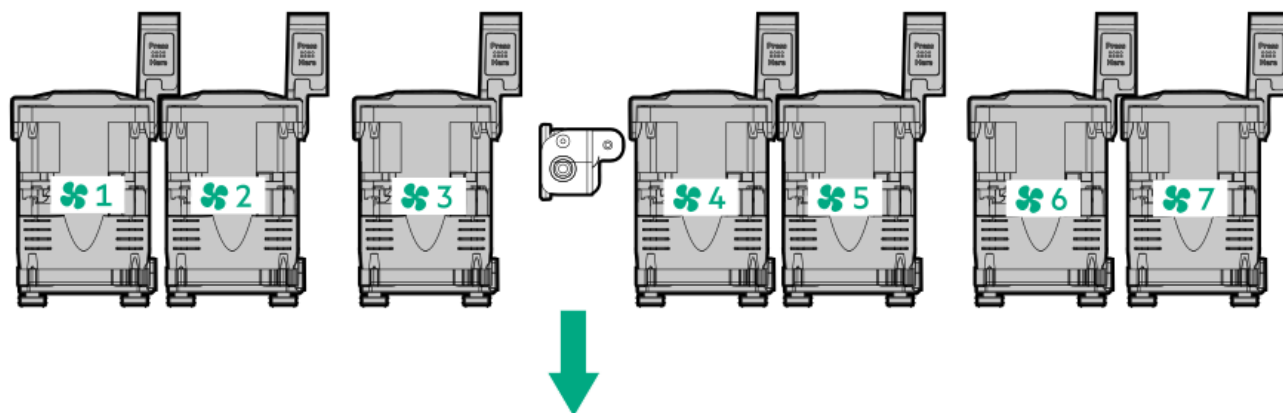
ファン番号

矢印は、サーバーの前面方向を示します。

シングルプロセッサ



シングルまたはデュアルプロセッサ



サブトピック

ファンとヒートシンクの要件

ファンとヒートシンクの要件

ファンとヒートシンクのタイプ

ハードウェア構成	ファンのタイプ	ヒートシンクタイプ
1プロセッサ構成	–	
プロセッサ-TDP ≤ 185 W	標準ファン	標準ヒートシンク
	液冷ヒートシンクとファン*	
プロセッサ-TDP 186~270 W	高性能ファン	高性能ヒートシンク
	液冷ヒートシンクとファン*	
デュアルプロセッサ構成	–	
プロセッサ-TDP ≤ 185 W	標準ファン	標準ヒートシンク
プロセッサ-TDP 186~270 W	高性能ファン	高性能ヒートシンク
プロセッサ-TDP 271~350 W	液冷ヒートシンクとファン	

*TDP ≤ 270 Wのプロセッサが搭載されている場合は、1プロセッサ構成で液冷ヒートシンクとファンがサポートされません。

一部のハードウェアオプションでは、特定のタイプのファンまたはヒートシンクが必要になります。

ハードウェアオプション	ファンのタイプ	ヒートシンクタイプ
SAS/SATAドライブ	標準ファン	標準ヒートシンクまたは高性能ヒートシンク
E3.S / NVMe / SAS4ドライブ / HPE NS204i-uブートデバイスV2	高性能ファン	標準ヒートシンクまたは高性能ヒートシンク
256 GB以上の容量のDIMM*	高性能ファン	標準ヒートシンクまたは高性能ヒートシンク
100/200 Gb速度のタイプpイーサネットアダプターまたはタイプo InfiniBandアダプター	高性能ファン	標準ヒートシンクまたは高性能ヒートシンク
100/200 Gb速度のOCP NIC 3.0アダプター	高性能ファン	標準ヒートシンクまたは高性能ヒートシンク
GPUカード	高性能ファン	標準ヒートシンクまたは高性能ヒートシンク

* DIMMブランクが必要です。DIMMブランクの要件について詳しくは、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト (<https://www.hpe.com/info/quickspecs>) にある製品のQuickSpecsを参照してください。

ファンの取り付け



注意

サーバーコンポーネントの損傷を防止するために、シングルプロセッサ構成では、必ずファンベイ1と2にファンブランクを取り付けてください。



注意

装置の損傷を防止するために、最適な数のファンが取り付けられていない場合は、サーバーを長時間動作させないでください。サーバーが起動する場合がありますが、必要なファンが取り付けられて稼働していない状態でサーバーを動作させないでください。

空冷

プロセッサ構成	ファンベイ1	ファンベイ2	ファンベイ3~7
1プロセッサ構成	ファンブランク	ファンブランク	標準ファン
	高性能ファン	高性能ファン	高性能ファン
デュアルプロセッサ構成	標準ファン	標準ファン	標準ファン
	高性能ファン	高性能ファン	高性能ファン

クローズドループ液冷と直接液冷

冷却用コンポーネント	ファンベイ1~7
クローズドループ液冷ヒートシンクとファン	液冷ファン
直接液冷キット	高性能ファン

サーバーは可変ファン回転速度で動作します。温度が上昇し、ファンの回転速度を上げてサーバーを冷却する必要が発生するまでは、ファンは最小限の速度で回転します。1つのシングルローターファンが故障すると、冗長性が失われます。2つのシングルローターファンまたは1つのデュアルローターファンが故障すると、サーバーはシャットダウンを開始します。サーバーは、温度に関連した以下の場合にシャットダウンします。

- 注意レベルの温度が検出された場合、iLO 7は、POST実行時およびOSで、通常の方法のシャットダウンを実行します。通常のシャットダウンが行われる前にサーバーハードウェアが重大レベルの温度を検出した場合、サーバーが即時シャットダウンを実行します。
- 高温シャットダウン機能がBIOS/プラットフォーム構成（RBSU）で無効に設定されている場合、注意レベルの温度が検出されても、iLO 7は通常の方法のシャットダウンを実行しません。この機能が無効に設定されている場合でも、重大な温度レベルが検出されると、サーバーハードウェアは即時シャットダウンを実行します。



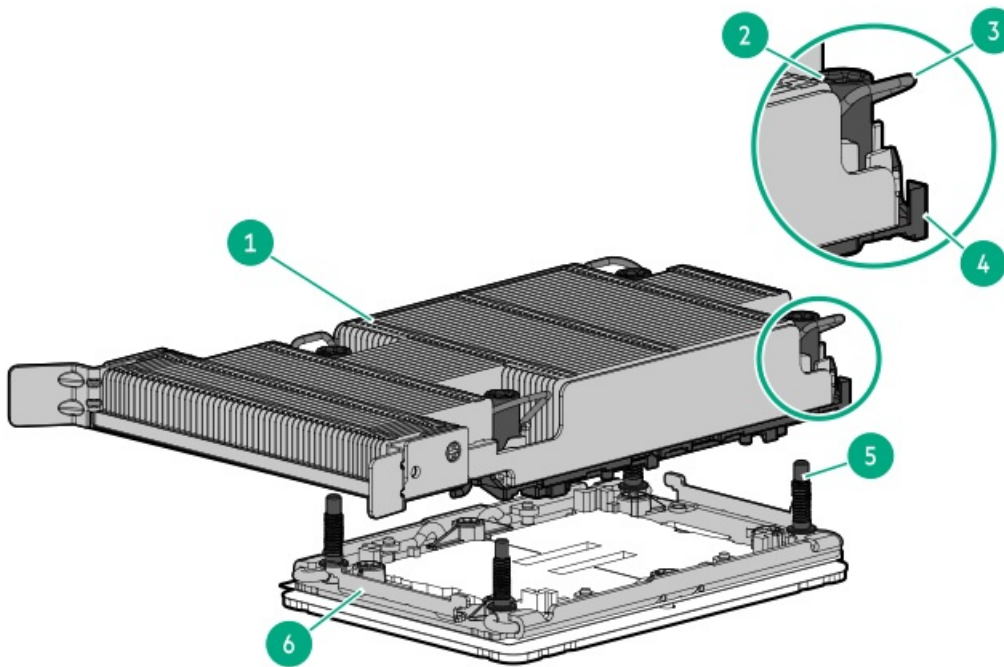
注意

BIOS/プラットフォーム構成（RBSU）で高温シャットダウン機能が無効に設定されている場合、高温イベントによりサーバーコンポーネントが損傷する場合があります。

ASHRAE準拠の構成には高性能ファンが必要です。ASHRAEについて詳しくは、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト (<https://www.hpe.com/support/ASHRAEGen12>) を参照してください。

ヒートシンクおよびプロセッサソケットのコンポーネント

高性能ヒートシンクが示されています。ご使用のヒートシンクは違って見える場合があります。



番号	説明
1	プロセッサヒートシンクモジュール ¹
2	ヒートシンクナット
3	ヒートシンクラッチ
4	プロセッサキャリアラッチ
5	調整ネジ
6	ボルスタープレート

¹ このモジュールは、キャリアに固定済みのプロセッサに接続されたヒートシンクで構成されています。

クローズドループ液冷ヒートシンクのコンポーネント



注意

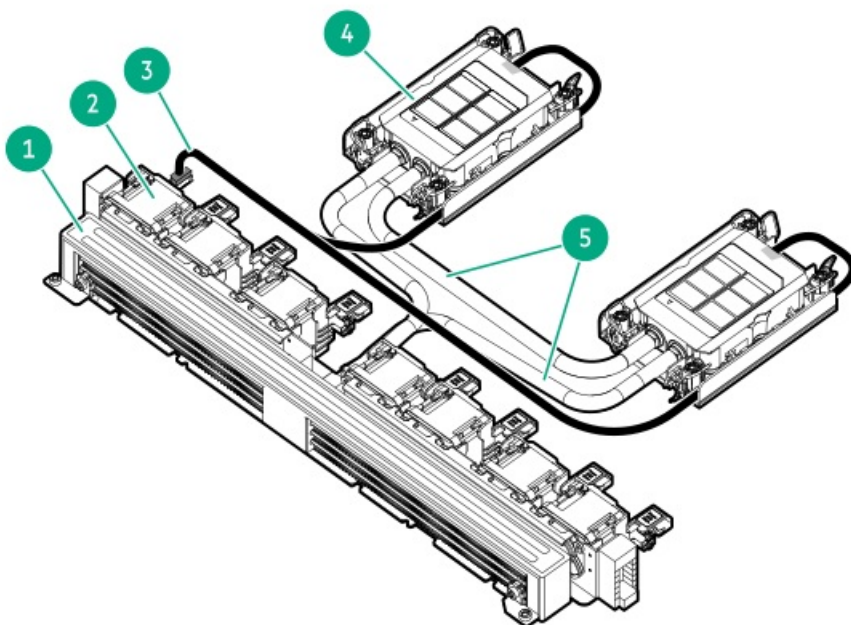
ヒートシンクのクーラント漏れ

- クローズドループ液冷（CLLC）ヒートシンクのチューブには、クーラントがあらかじめ充填されています。iLOは、クーラント漏れが発生した場合に自動的に検出し、以下を実行します。
 - iLOメールアラートを送信します
 - イベントをインテグレートドマネジメントログ（IML）に記録します
 - 漏れイベントがクリアされるまでサーバーの電源がオンにならないようにし、システムリカバリのためにREST APIを実行します。詳しくは、iLOのユーザーガイド (<https://www.hpe.com/support/hpeilo-docs-quicklinks>) を参照してください。
- クーラント漏れが発生した場合は、サーバーメンテナンスガイド (<https://www.hpe.com/info/dl360gen12-msg>) のAppendix I: Server coolant spill responseの推奨手順に従ってください。CLLCヒートシンクのクーラントを交換しないでください。サービスに関するお問い合わせは、お近くのサービスプロバイダーにお問い合わせください。



注記

液冷モジュール内のクーラントには腐食防止添加剤が含まれており、時間が経つと劣化してシステムに漏れが生じる可能性があります。HPEでは、システムを保護するためにモジュールを5年ごとに交換することをお勧めします。詳細については、各地域のHPEの担当者までお問い合わせください。

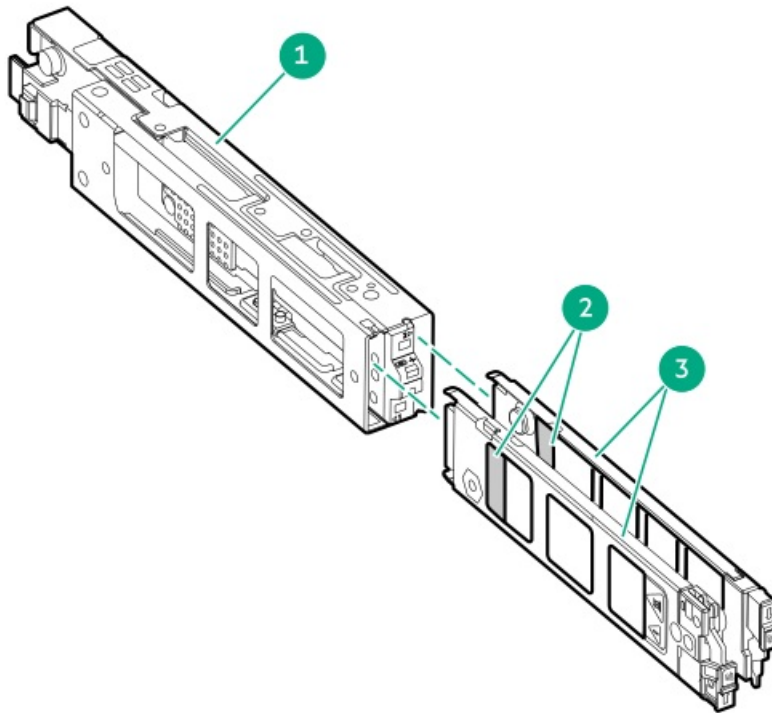


番号	説明
1	ラジエータ
2	ファン
3	電源および信号ケーブル
4	ポンプ-コールドプレート ¹
5	クーラントチューブ

¹ 液冷ヒートシンクには、冗長性のために2つのポンプがあります。

クローズドループ液冷ヒートシンクとファンのキットは工場に取り付けられるオプションです。

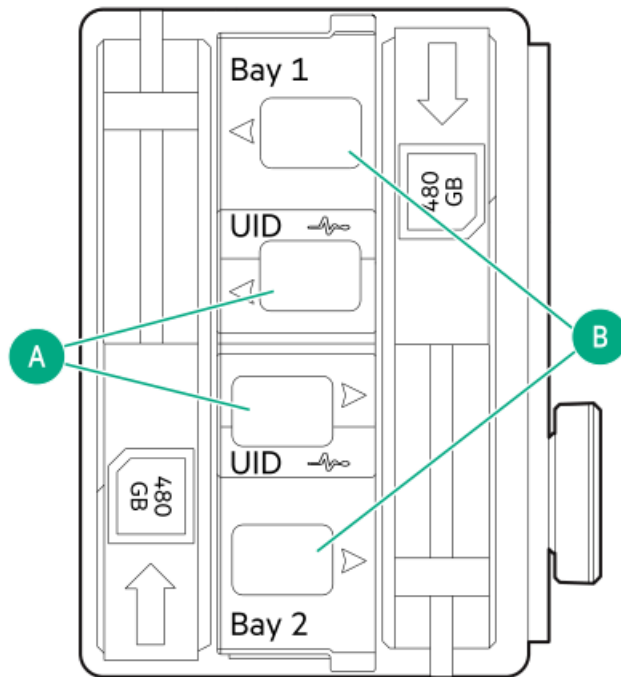
HPE NS204i-uブートデバイスV2のコンポーネント



番号	説明
----	----

1	ブートデバイスケージ
2	M.2スロット
3	ブートデバイスキャリア

HPE NS204i-uブートデバイスV2のLEDの定義



注記

ベイ番号はSSDキャリアハンドルに記載されています。

番号	LED	ステータス	定義
A	障害または位置 確認	オレンジ色で点灯	ドライブが故障したか、サポートされていないか、無効です。
		青色で点灯	ドライブは正常に動作しています。
		オレンジ色または青色 で点滅（1秒に1回点滅）	ドライブに障害が発生したか、ドライブの障害予測アラートが受信 されました。
		オレンジ色で点滅（毎 秒1回点滅）	ドライブの障害予測アラートが受信されました。できるだけ早くド ライブを交換してください。
		消灯	ドライブは正常に動作しており、アプリケーションによって識別さ れていません。
B	オンライン/動作	緑色で点灯	ドライブはオンラインで、アクティビティはありません。
		緑色で点滅（毎秒1回点 滅）	ドライブは以下のいずれかを実行中です。 - RAIDの再構築または実行 - 消去
		緑色で点滅（毎秒4回点 滅）	ドライブは正常に動作しており、アクティブです。
		消灯	ドライブでは、RAIDコントローラーによる構成は行われていま せん。

ライザーボードのコンポーネント

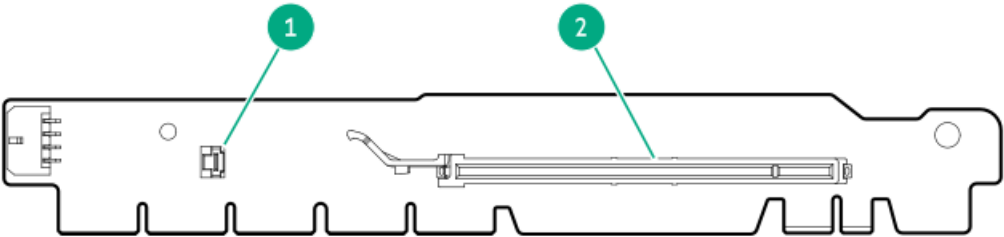
すべてのライザーロットはPCIe5 x16（16、8、4、1）であり、最大消費電力はそれぞれ75 Wです。

プライマリライザー

このライザーボードは、3スロット構成のスロット1および2、または2フルハイトスロット構成のスロット1をサポートしま

す。

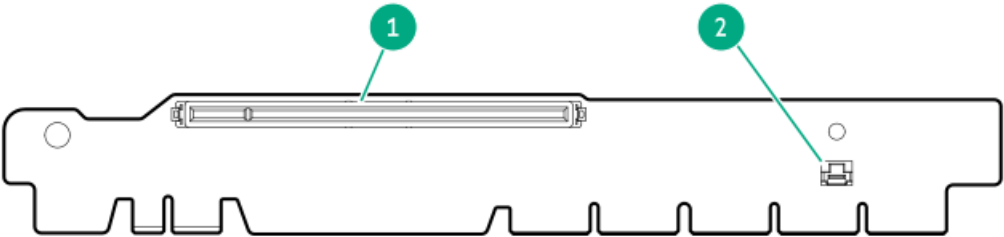
- フロント：スロット1



番号	説明	サポートされるフォームファクター
1	コントローラストレージバックアップ電源コネクター	－
2	PCIe5 x16 (16、8、4、1)	フルハイト、最大9.5インチ（またはハーフレングス）

- 背面：3スロット構成のスロット2

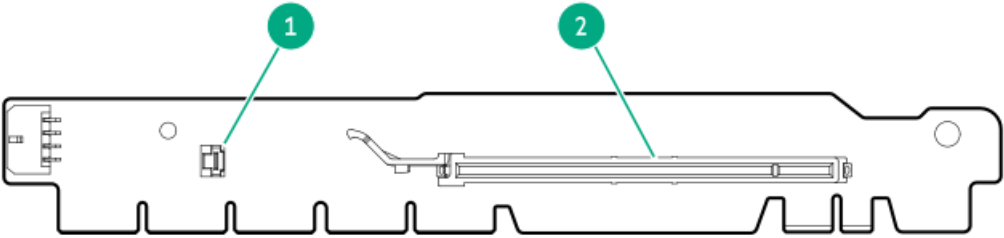
このスロットは、2フルハイトスロット構成ではサポートされません。



番号	説明	サポートされるフォームファクター
1	PCIe5 x16 (16、8、4、1)	ハーフハイト、ハーフレングス（ロープロファイル）*
2	コントローラストレージバックアップ電源コネクター	－

セカンダリフルハイトライザー

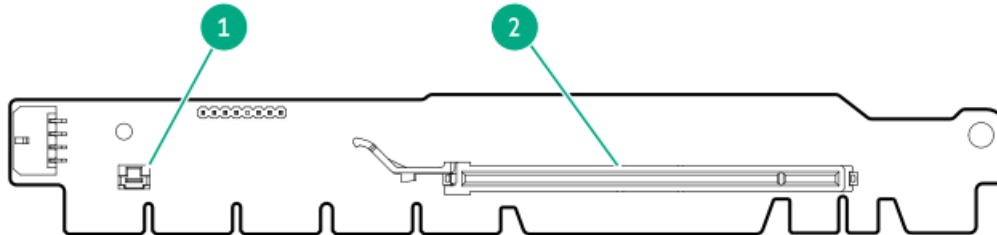
このライザーボードは、2フルハイトスロット構成のスロット2をサポートし、セカンダリx16フルハイトライザーキット (P72598-B21) に含まれています。



番号	説明	サポートされるフォームファクター
1	コントローラストレージバックアップ電源コネクター	–
2	PCIe5 x16 (16、8、4、1)	フルハイト、最大9.5インチ (またはハーフレングス)

セカンダリロープロファイルライザー

このライザーボードは、3スロット構成のスロット3をサポートし、セカンダリx16ロープロファイルライザーキット (P48903-B21) に含まれています。

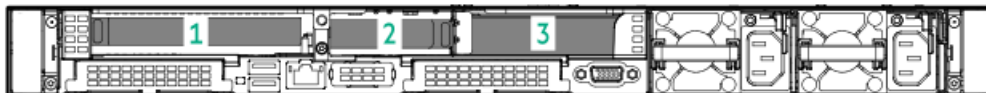


番号	説明	サポートされるフォームファクター
1	コントローラストレージバックアップ電源コネクター	–
2	PCIe5 x16 (16、8、4、1)	ハーフハイト、ハーフレングス (ロープロファイル)

ライザー Slots の番号

3スロット構成

スロット3には、2つ目のプロセッサが必要です。



2フルハイトスロット構成

スロット2には、2つ目のプロセッサが必要です。



セットアップ

サブトピック

HPEインストレーションサービス

HPEインストレーションサービスでは、Hewlett Packard Enterprise製品、ソフトウェア製品、HPEまたはHPE製品販売店によって販売される他のベンダーのHPEサポート対象製品の基本的な設置、インストールを提供しています。インストレーションサービスは、HPEおよびHPEサポート対象製品を安心してお使いいただけるように設計されたHPEスペシャリストによるHPE導入サービスです。

HPEインストレーションサービスには以下の利点があります。

- HPE認定テクニカルスペシャリストによるインストール。
- 製品仕様に基づき確実かつ迅速なインストール。
- サービス実施のスケジュール調整。
- お客様は本来の業務に集中することが可能。
- HPE認定テクニカルスペシャリストによるインストールが必要な製品について、保証期間内は完全補償。

HPEインストレーションサービスのサービス仕様およびお取引条件は下記Webサイトを参照してください：

<https://www.hpe.com/jp/supportservices-tc>

サーバーをセットアップする

前提条件

- ベストプラクティスとして、Hewlett Packard Enterpriseでは、初めてサーバーを使用する前に、最新のファームウェア、ドライバー、およびシステムソフトウェアをインストールすることをお勧めします。以下のオプションがあります。
 - HPE Compute Ops Managementは、統合された単一のブラウザーベースのインターフェイスを介して、エッジからクラウドまでの運用を安全に合理化し、主要なライフサイクルタスクを自動化する、先進的なSoftware-as-a-Serviceプラットフォームです。HPE Compute Ops Managementの使用について詳しくは、<https://www.hpe.com/info/com-docs>を参照してください。
 - Intelligent Provisioningのファームウェアアップデートオプションを使用します。Intelligent Provisioningは、HPE ProLiantサーバーに組み込まれているサーバー展開ツールです。Intelligent Provisioningにアクセスするには、サーバーのブートプロセス中にF10キーを押します。詳しくは、Intelligent Provisioningのユーザーガイド (<https://www.hpe.com/support/hpeintelligentprovisioning-quicklinks>) を参照してください。
 - Service Pack for ProLiantをダウンロードします。SPPは、単一のISOイメージとして提供される統合されたシステムソフトウェアおよびファームウェアアップデートソリューションです。このソリューションは、Smart Update Managerを展開ツールとして使用します。
 - 推奨されるSPPのダウンロード方法は、<https://www.hpe.com/servers/spp/custom>でSPPカスタムダウンロードを作成することです。

このオプションでは、不要なOSおよびサーバーモデルのファームウェアとドライバーを除外することによって、SPPのサイズを縮小できます。

- SPPIは、<https://www.hpe.com/servers/spp/download>にあるSPPダウンロードページからもダウンロードすることができます。

- ご使用のOSまたは仮想化ソフトウェアがサポートされていることを確認します。

<https://www.hpe.com/support/Servers-Certification-Matrices>

- このサーバーは、タイプoおよびタイプsストレージコントローラーオプションをサポートします。ストレージ構成にはIntel Virtual RAID on CPU (Intel VROC)を使用してください。Intel VROCを使用する予定の場合は、サーバーをセットアップする前に、この重要な情報を確認してください。

- サーバーの動作要件を確認します。

- 安全性とコンプライアンス情報を確認します。

<https://www.hpe.com/support/safety-compliance-enterpriseproducts>

手順

1. サーバーの箱を開けて内容を確認します。

- サーバー
- 電源コード
- ラックマウント用ハードウェア部品（オプション）
- ドキュメント

2. (オプション) ハードウェアオプションを取り付けます。

3. サーバーをラックに取り付けます。

4. サーバーの管理方法を決定します。

- ローカル管理の場合：KVMスイッチを使用するか、キーボード、モニター、およびマウスを接続します。
- リモート管理の場合：リモートコンソールを使用してiLO Webインターフェイスに接続します。

- a. 次のことを確認します。

- iLOに、リモートコンソール機能を使用するライセンスが付与されている。
iLOのライセンスがない場合は、HPEのWebサイトを参照してください。

<https://www.hpe.com/jp/servers/ilo>

- iLO管理ポートが、安全なネットワークに接続されている。

- b. ブラウザーを使用して、iLOのWebインターフェイスに移動し、ログインします。

<https://<iLOホスト名またはIPアドレス>>

以下の点に注意してください。

- ホスト名はシリアルプルタブにあります。
- DHCPサーバーにIPアドレスを割り当てると、ブート画面にIPアドレスが表示されます。
- 静的IPアドレスが割り当てられている場合は、そのIPアドレスを使用します。
- デフォルトのログイン認証情報は、シリアルラベルプルタブにあります。

- c. iLOログイン名とパスワードを入力して、ログインをクリックします。

- d. ナビゲーションツリーで、リモートコンソール&メディアリンクをクリックしてから、リモートコンソールを起動します。

5. 電源ボタンを押します。

リモートで管理する場合は、iLOの仮想電源ボタンを使用します。

6. サーバーの初期セットアップを構成します。
7. ストレージをセットアップします。
8. OSまたは仮想化ソフトウェアを展開します。
9. OSのインストール後、ドライバをアップデートします。
10. サーバーを登録します。

動作要件

取り付けの準備と計画を行う際には、次の動作要件を必ず守ってください。

- 空間および通気要件
- 温度要件
- 電源要件
- アース要件

環境要件については、環境仕様を参照してください。

サブトピック

空間および通気要件

温度要件

電源要件

アース要件

空間および通気要件

サーバーを屋内の商用ラックに設置する際には、修理をしやすくし、また通気をよくするために、次の空間および通気要件に従ってください。

- ラックの前面に63.50 cm (25.00インチ)
- ラックの背面に76.20 cm (30.00インチ)
- ラックの背面から別のラックまたはラック列の背面の間に121.90cm (48.00インチ)

次の注意事項に従ってください。

- サーバーは、冷気をラックの前面から吸収して、内部の熱気を背面から排出します。ラックの前面ドアと背面ドアは、周囲の空気がキャビネット内に入るように適切に換気されている必要があります。キャビネットから内部の熱気を逃がすために、背面ドアは十分に換気されている必要があります。



注意

不十分な冷却や装置の損傷を防止するため、通気用開口部は塞がないようにしてください。



注意

ラック内の縦方向のスペースにサーバーやラックコンポーネントが設置されていない場合、コンポーネント間の隙間が原因でラック全体およびサーバー周辺の空気の流れが変動することがあります。適切な通気を維持するために、コンポーネントを取り付けない棚は、すべてブランクパネルでカバーしてください。ブランクパネルなしでラックを使用すると、冷却が不適切になり、高温による損傷が発生する可能性があります。

- 他社製ラックを使用する場合、適切な通気を確保し装置の損傷を防ぐため、以下の追加要件に従ってください。
 - 正面および背面ドア-42Uラックに正面および背面ドアがある場合、ラックの上部から下部にかけて5,350平方cm（830平方インチ）の通気孔（通気に必要な64パーセントの開口部と同等）を均等に確保し、十分な通気が行われるようにします。
 - 側面 - 取り付けたラックコンポーネントとラックのサイドパネルの間は、7.00 cm（2.75インチ）以上空けてください。

温度要件

装置が安全で正常に動作するように、通気がよく温度管理の行き届いた場所にシステムを取り付けまたは配置してください。

ほとんどのサーバー製品で推奨している最大周囲動作温度（TMRA）は、35° C（95° F）です。ラックを設置する室内の温度は、35° C（95° F）を超えてはなりません。



注意

他社製オプションをインストールする場合に装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。

- オプションの装置によって、サーバー周囲の通気が妨げられたり、内部のラック温度が許容される上限を超えて上昇したりすることがないようにしてください。
- 製造元のTMRAを超えないでください。

電源要件

この装置は、資格のある電気技師が情報技術機器の取り付けについて規定したご使用の地域の電気規格に従って取り付けしなければなりません。この装置は、NFPA 70, 1999 Edition（全国的な電気規約）およびNFPA-75, 1992（電気コンピューター/データ処理装置の保護に関する規約）の適用対象となる取り付けで動作するように設計されています。オプションの電源の定格については、製品の定格ラベルまたはそのオプションに付属のユーザードキュメントを参照してください。



警告

けが、火災、または装置の損傷を防止するために、ラックに電源を供給するAC電源分岐回路の定格負荷を超えないようにしてください。施設の配線および取り付け要件については管轄する電力会社にお問い合わせください。



注意

サーバーを不安定な電源および一時的な停電から保護するために、UPS（無停電電源装置）を使用してください。UPSは、電源サージや電圧スパイクによって発生する損傷からハードウェアを保護し、停電中でもシステムが動作を継続できるようにします。

アース要件

適切な動作および安全のために、このサーバーは正しくアースされている必要があります。米国では、必ず地域の建築基準だけでなく、NFPA 70、National Electric Code第250項に従って装置を設置してください。カナダでは、Canadian Standards Association, CSA C22.1, Canadian Electrical Codeに従って装置を取り付ける必要があります。その他のすべての国では、International Electrotechnical Commission (IEC) Code 364の第1部から第7部など、地域または全国的な電気配線規約に従って装置を取り付ける必要があります。さらに、取り付けに使用される分岐線、コンセントなどの配電装置はすべて、指定または認可されたアース付き装置でなければなりません。

同じ電源に接続された複数のサーバーから発生する高圧漏れ電流を防止するために、Hewlett Packard Enterpriseでは、建物の分岐回路に固定的に接続されているか、工業用プラグに接続される着脱不能コードを装備した、PDUを使用することをお勧めします。NEMAロック式プラグまたはIEC 60309に準拠するプラグは、この目的に適しています。サーバーに一般的な電源延長コードを使用することは推奨されません。

ラックに関する警告と注意事項



警告

すべてのコンポーネントが取り外されると、サーバーの重量は14.87 kg (32.71ポンド) になります。すべてのコンポーネントを取り付けると、サーバーの重量は最大で21.38 kg (47.04ポンド) になります。

ラックソリューションを構成する前に、必ず、ラックメーカーの重量制限と仕様を確認してください。これに従わないと、けがをしたり、装置や施設の損傷が発生する可能性があります。



警告

サーバーはかなりの重量があります。けがや装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。

- 手動での装置の取り扱いに関する、地域の労働衛生および安全に関する要件およびガイドラインに従ってください。
- サーバーの取り付けおよび取り外し作業中には、特に本体がレールに取り付けられていない場合、必ず適切な人数で製品を持ち上げたり固定したりする作業を行ってください。サーバーの重量は14.87 kg (32.71ポンド) を超えているため、サーバーを持ち上げてラックに取り付ける際は、必ず2人以上で作業を行ってください。サーバーを胸より高く持ち上げるときは、サーバーの位置を合わせるためにさらに人数が必要になる場合があります。
- サーバーをラックへ取り付ける、またはサーバーをラックから取り外す際には、サーバーがレールに固定されていないと、不安定になるので注意してください。
- コンポーネントをラックの外部に引き出す前に、ラックを安定させてください。また、コンポーネントは1つずつ引き出してください。一度に複数のコンポーネントを引き出すと、ラックが不安定になる場合があります。
- レールマウントされたコンポーネントの上に物を積み重ねたり、ラックから引き出したときに作業台として使用したりしないでください。



警告

けがや装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。

- ラックには適切な転倒防止措置が施されています。この措置には、ラックの製造元や該当する規約によって規定されている、ボルトによる床への固定、転倒防止脚、安定器、またはそれらの組み合わせがあります。
- 水平ジャック (脚) は床まで延びています。
- ラックの全重量が水平ジャック (脚) にかかっています。
- 1つのラックだけを設置する場合は、ラックに固定脚を取り付けてください。
- 複数ラックの取り付けではラックを連結してください。



警告

けがや装置の損傷を防止するために、ラックを降ろすときには、次の点に注意してください。

- 荷台からラックを降ろす際は、2人以上で作業を行ってください。42Uラックは何も載せていない場合でも重量が115 kgで、高さは2.1 mを超えることがあるため、キャスターを使って移動させるときに不安定になる可能性があります。
- ラックを傾斜路に沿って移動する際は、ラックの正面に立たないで、必ず、両側から支えてください。



注意

最も重いアイテムがラックの最下部になるように、常にラックの取り付けを計画してください。最も重いアイテムを最初に取り付け、下から上へとラックへの搭載を続けてください。



注意

ラックにサーバーを取り付ける前に、ラックの制限事項の範囲を適切に定めてください。また、取り付けを続行する前に、以下の点を考慮してください。

- サーバーの静止時と変化時の積載能力を完全に理解し、ラックの重量に対応できることを確認する必要があります。
- サーバーのケーブル配線、取り付けと取り外し、およびラックドアの作動のための十分な隙間が存在することを確認します。

サーバーに関する警告と注意事項



警告

けが、感電、または装置の損傷を防止するために、電源コードを抜き取って、サーバーに電源が供給されないようにしてください。電源ボタンを押してもシステムの電源を完全に切ることはできません。AC電源コードを抜き取るまで、電源装置の一部といくつかの内部回路はアクティブのままです。



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。



警告

Energy Packを取り外した後に、火災や火傷のリスクを低減するために：

- Energy Packを分解したり、つぶしたり、穴を開けたりしないでください。
- 外部接点をショートさせないでください。
- Energy Packを火や水の中に投じないでください。
- 爆発または可燃性の液体やガスの漏れにつながる可能性があるため、Energy Packを低い空気圧にさらさないでください。
- Energy Packを60° C以上の高温にさらさないでください。

電源が切断された後でも、バッテリー電圧が1秒から160秒間は残る可能性があります。



注意

サーバーを不安定な電源および一時的な停電から保護するために、UPSを使用してください。UPSは、電源サージや電圧スパイクによって発生する損傷からハードウェアを保護し、停電中でもサーバーが動作を継続できるようにします。



注意

電子部品の損傷を防止するために、正しくアースを行ってから取り付け、取り外し、または交換手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。



注意

データ損失を防ぐために、Hewlett Packard Enterpriseではハードウェアオプションの取り付けまたは取り外しを行う前、またはサーバーメンテナンスやトラブルシューティング手順を実行する前に、サーバーのすべてのデータをバックアップすることをお勧めします。



注意

アクセスパネルを開けたまま、または取り外したまま長時間サーバーを動作させないでください。この状態でサーバーを動作させると、通気が正しく行われず、冷却機構が正常に動作しなくなるため、高温によって装置が損傷する可能性があります。

静電気対策

システムをセットアップしたり、コンポーネントを取り扱う際に従わなければならない注意事項を必ず守ってください。人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。その結果、システムまたはコンポーネントの耐用年数が短くなることがあります。

静電気による損傷を防止するには、次の点に注意してください。

- 運搬や保管の際は、静電気防止用のケースに入れ、手で直接触れることは避けます。
- 静電気に弱い部品は、静電気防止措置のなされている作業台に置くまでは、専用のケースに入れたままにしておきます。
- 部品をケースから取り出す前に、まずケースごと、アースされている面に置きます。
- ピン、リード線、または回路には触れないようにします。
- 静電気に弱い部品に触れなければならないときには、常に自分の身体に対して適切なアースを行います。静電気に弱い部品を取り扱うときには、以下のうち1つ以上の方法でアースを行ってください。
 - すでにアースされているワークステーションまたはコンピューターシャーシにアースバンドをつなぎます。アース

バンドは柔軟な帯状のもので、アースコード内の抵抗は、1 MΩ ±10%です。アースを正しく行うために、アースバンドを肌に密着させてください。

- 立って作業する場合、かかとやつま先にアースバンドを付けます。導電性または静電気拡散性の床の場合、両足にアースバンドを付けます。
- 作業用具は導電性のものを使用します。
- 折りたたみ式の静電気防止マットなどが付いた携帯式作業用具もあります。

上記のような、適切なアースを行うための器具がないときは、製品販売店にお問い合わせください。

静電気の詳細および製品のインストールの支援については、製品販売店にお問い合わせください。

操作

サブトピック

[Intel VROCのサポート](#)

[サーバーのUID LED](#)

[ディスプレイ装置のセットアップ](#)

[Trusted Platform Module 2.0](#)

[Trusted Platform Module 2.0のガイドライン](#)

[システムバッテリーの情報](#)

Intel VROCのサポート

Intel Virtual RAID on CPU (Intel VROC)は、エンタープライズレベルのハイブリッドRAIDサポートを提供します。以下の情報に注意してください。

- Intel VROCは、直接接続されたNVMe SSDにRAIDサポートを提供します。
- Intel VROCドライバーが必要です。OS固有のドライバーのダウンロードについては、次のページを参照してください。

<https://www.hpe.com/support/VROC-UG>

- NVMeデバイスでIntel VROCを有効にする予定の場合は、Intel VROCハイブリッドRAIDライセンスを確保してください。Intel VROCライセンスについて詳しくは、サーバーのQuickSpecsを参照してください。

<https://www.hpe.com/info/quickspecs>

- Intel VROCではサーバー起動モードをUEFIモードに設定する必要があります。
- デフォルトでは、Intel VROC RAIDサポートは無効になっています。OS起動前環境では、UEFIシステムユーティリティを使用してIntel VROCを有効にし、VROC RAIDボリュームを作成します。これらのタスクはIntelligent Provisioningではサポートされていません。
- VROC RAIDボリュームは、同じインターフェイスとフォームファクターのドライブを使用する必要があります。
- Intel VROCでは、次のツールを通じたRAID管理がサポートされています。
 - 任意のOS : UEFIシステムユーティリティ
 - Windows : Intel VROC GUIおよびIntel VROC CLI
 - Linux : `mdadm` CLI

Intel VROCの機能と構成について詳しくは、[ストレージコントローラーの構成](#)を参照してください。

サーバーのUID LED

UID LEDを使用すると、特定のサーバーが他の機器と共に高密度のラックに展開されている場合に、オンサイト担当のサポート技術者がその識別や場所の特定をすばやく行うのに役立ちます。また、リモート管理、ファームウェアのアップグレード、または再起動シーケンスが進行中かどうかを識別するためにも使用できます。

サブトピック

UIDボタンを使用したサーバーヘルスの概要の表示

UIDボタンを使用したサーバーヘルスの概要の表示

前提条件

- 外部モニターが接続されています。
- iLO Webインターフェイスのアクセス設定ページで、外部モニターにサーバーヘルスを表示機能が有効になっています。

このタスクについて

UIDボタンを使用すると、iLOのサーバーヘルスサマリー画面を外部モニターに表示できます。この機能は、サーバーの電源がオンまたはオフのときに使用できます。この機能は、サーバーが起動しない場合のトラブルシューティングに使用してください。



注意

UIDボタンを押して放します。5秒以上押し続けると、正常なiLOの再起動またはハードウェアiLOの再起動を開始します。ハードウェアiLO再起動中にデータの損失やNVRAMの破損が発生する可能性があります。

手順

1. UIDボタンを押して放します。

外部モニターにサーバーヘルスサマリー画面が表示されます。詳しくは、iLOトラブルシューティングガイドを参照してください。

<https://www.hpe.com/support/hpeilo-docs-quicklinks>

2. 再度UIDボタンを押して、サーバーヘルスサマリー画面を閉じます。

ディスプレイ装置のセットアップ

このサーバーでは、VGAポートとDisplayPort 1.1aの両方がサポートされています。ディスプレイデバイスを接続する前に、以下の点に注意してください。

- 表示出力モード：
 - VGAポートとDisplayPortの両方を使用して2台のディスプレイデバイスをサーバーに接続すると、同じ画像が両方のデバイスにミラーリングされます。
 - iLOチップセットの内蔵ビデオコントローラーは、デュアルディスプレイモードや画面拡張モードをサポートしていません。デュアルディスプレイを有効にするには、互換性のあるグラフィックスカードを取り付けます。
- DisplayPort用にHDMIまたはDVIアダプターを使用する場合は、アクティブタイプのアダプターを使用してください。DP++の記号でマークされたパッシブタイプのアダプターはサポートされていません。

可能な限り、同じディスプレイ接続のタイプを使用してください。例えば、モニターにVGAポートしかない場合は、サーバーのVGAポートを使用します。他のアダプター、変換ケーブル、またはドングルを使用すると、表示品質が低下した

り、接続の遅延が発生したりする可能性があります。

Trusted Platform Module 2.0

Trusted Platform Module 2.0 (TPM) とは :

- システムボードに組み込まれています
- プラットフォームの認証に使用されるアーティファクトを安全に保存するハードウェアベースのシステムセキュリティ機能です。これらのアーティファクトには、パスワード、証明書、暗号鍵などが含まれます
- 特定のオペレーティングシステム (Microsoft Windows Server 2012 R2以降など) でサポートされます

オペレーティングシステムサポートについて詳しくは、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト (<https://www.hpe.com/info/quickspecs>) にある製品のQuickSpecsを参照してください。

Microsoft WindowsのBitLockerドライブ暗号化機能について詳しくは、MicrosoftのWebサイト (<https://www.microsoft.com>) を参照してください。

Trusted Platform Module 2.0のガイドライン



注意

- 必ず、このセクションに記載されているTPMのガイドラインに従ってください。ガイドラインに従わないと、ハードウェアが損傷したり、データアクセスが中断したりする場合があります。
 - サーバーの変更やOSでのTPMのサスペンドまたは無効化のための手順に従っていないと、TPMを使用しているOSですべてのデータアクセスがロックされる場合があります。これには、システムまたはオプションファームウェアのアップデート、ハードウェア (システムボードやドライブなど) の交換、TPMのOS設定の変更が含まれます。
 - OSのインストール後にTPMモードを変更すると、データ消失などの問題の原因となります。
- TPMを構成するには、UEFIシステムユーティリティを使用します。システムユーティリティ画面で、システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバーセキュリティ > Trusted Platform Moduleオプションを選択します。詳しくは、UEFIユーザーガイドを参照してください。
- <https://www.hpe.com/support/hpeuefisystemutilities-quicklinks>
- Microsoft Windows BitLockerドライブ暗号化機能を使用する場合は、常にリカバリキーまたはパスワードを保持してください。システム整合性が侵害された可能性をBitLockerが検出した後にリカバリモードに入るには、リカバリキーまたはパスワードが必要です。
 - HPEは、TPMの不適切な使用によって発生したデータアクセスのブロックについては、責任を負いかねます。操作手順については、オペレーティングシステムに付属の暗号化テクノロジー機能のドキュメントを参照してください。

システムバッテリーの情報

サーバーには、リアルタイムクロックに電力を供給する二酸化マンガンリチウム、五酸化バナジウム、またはアルカリバッテリーが内蔵されています。



警告

このバッテリーの取り扱いを誤ると火災が発生したり、やけどをしたりする危険性があります。けがを防ぐために、次の点に注意してください。

- バッテリーを再充電しないでください。
- 60° C以上の高温にさらさないでください。
- 爆発または可燃性の液体やガスの漏れにつながる可能性があるため、バッテリーを低い空気圧にさらさないでください。
- バッテリーを分解したり、つぶしたり、穴を開けたりすることは絶対におやめください。また、外部接点をショートさせたり、水や火の中に捨てないでください。

ハードウェアオプション

サブトピック

Hewlett Packard Enterprise製品のQuickSpecs

ハードウェアオプションの取り付けのガイドライン

取り付け前の手順

取り付け後の手順

冷却

ドライブ

ドライブケース

Energy Pack

GPU

管理

メディアデバイス

メモリ

ネットワーク

OSブートデバイス

電源装置

プロセッサとヒートシンク

ラックレールとCMA

ライザーとライザーケース

セキュリティ

ストレージコントローラー

Hewlett Packard Enterprise製品のQuickSpecs

製品について詳しく知るには、Hewlett Packard Enterprise Webサイト (<https://www.hpe.com/info/quickspecs>) を検索して製品のQuickSpecsを参照してください。

- サポートされるオプション
- サポートされている構成
- コンポーネントの互換性
- 新機能
- 仕様

- 部品番号

ハードウェアオプションの取り付けのガイドライン



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。



注意

データ損失を防ぐために、Hewlett Packard Enterpriseではハードウェアオプションの取り付けまたは取り外しを行う前、またはサーバーメンテナンスやトラブルシューティング手順を実行する前に、サーバーのすべてのデータをバックアップすることをお勧めします。



注意

電子部品の損傷を防止するために、正しくアースを行ってから取り付け、取り外し、または交換手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

- サーバーを初期化する前にハードウェアオプションを取り付けます。
- 複数のオプションを取り付ける場合は、すべてのハードウェアオプションの取り付け手順をよく読んで類似の手順を確認してから、効率よく取り付け作業を行うようにしてください。
- ハードウェアオプションの取り付け時に内部ケーブル接続を行う場合は、ケーブル接続のガイドラインを参照してください。

取り付け前の手順

サブトピック

サーバーデータバックアップ

サーバーの電源を切る

ラックからサーバーを引き出す

ケーブルマネジメントアームを解放する

ラックからサーバーを取り外す

ベゼルを取り外す

アクセスパネルを取り外す

中央カバーを取り外す

ファンフレームを取り外す

プライマリPCIeライザーケージを取り外す

ホットプラグ対応SAS/SATA/NVMeドライブの取り外し

ホットプラグ対応E3.Sドライブを取り外す

Systems Insight Displayにアクセスする

サーバーデータバックアップ

データ損失を防ぐために、ハードウェアオプションの取り付けまたは取り外しを行う前、またはサーバーメンテナンスやトラブルシューティング手順を実行する前に、サーバーのすべてのデータをバックアップしてください。

このコンテキストでのサーバーデータは、ハードウェアのメンテナンスまたはトラブルシューティング手順の完了後、システムを通常の動作環境に戻すために必要になる可能性がある情報を指します。これには、次のような情報が含まれる可能性があります。

- ユーザーデータファイル
- ユーザーアカウント名とパスワード
- アプリケーションの設定とパスワード
- コンポーネントドライバとファームウェア
- TPMリカバリキー/パスワード
- BIOS構成設定 - UEFIシステムユーティリティのバックアップおよびリストア機能を使用します。詳しくは、UEFIユーザーガイド (<https://www.hpe.com/support/hpeuefisystemutilities-quicklinks>) を参照してください。
 - カスタムデフォルトシステム設定
 - 電源オンおよびBIOS管理者アクセス、不揮発性メモリ、およびサーバー構成ロック (HPE Trusted Supply Chain サーバー用) に必要なパスワードを含むセキュリティパスワード
 - サーバーシリアル番号と製品ID
- iLO関連データ - iLOバックアップおよびリストア機能を使用します。詳しくは、iLOのユーザーガイド (<https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks>) を参照してください。
 - iLOのライセンス
 - お客様のiLOユーザー名、パスワード、およびDNS名
 - iLO構成設定

サーバーの電源を切る

アップグレードやメンテナンスの手順でサーバーの電源を切る前に、重要なサーバーデータとプログラムのバックアップを実行してください。



重要

サーバーがスタンバイモードになっていても、システムへの補助電源の供給は続行します。

以下のいずれかの方法で、サーバーの電源を切ります。

- 電源ボタンを押して離します。
この方法は、サーバーがスタンバイモードに入る前に、アプリケーションとOSの制御されたシャットダウンを有効にします。また、OS構成またはポリシーによって管理されるシャットダウン動作を有効にすることもできます。
- 電源ボタンを4秒以上押したままにして、強制的にサーバーをスタンバイモードにします。
この方法は、正しい順序でアプリケーションとOSを終了せずに、サーバーを強制的にスタンバイモードにします。アプリケーションが応答しなくなった場合は、この方法で強制的にシャットダウンすることができます。
- iLO 7経由の仮想電源ボタンを使用します。
この方法は、サーバーがスタンバイモードに入る前に、アプリケーションとOSを正しい順序でリモートでシャットダウンします。

手順を続行する前に、サーバーがスタンバイモード（システム電源LEDがオレンジ色）になっていることを確認してください。

ラックからサーバーを引き出す

前提条件

- T-25トルクスドライバーを使用して輸送用ネジを緩めることが必要な場合があります。
- 以下を確認してください。
 - ラックに関する警告と注意事項
 - サーバーに関する警告と注意事項

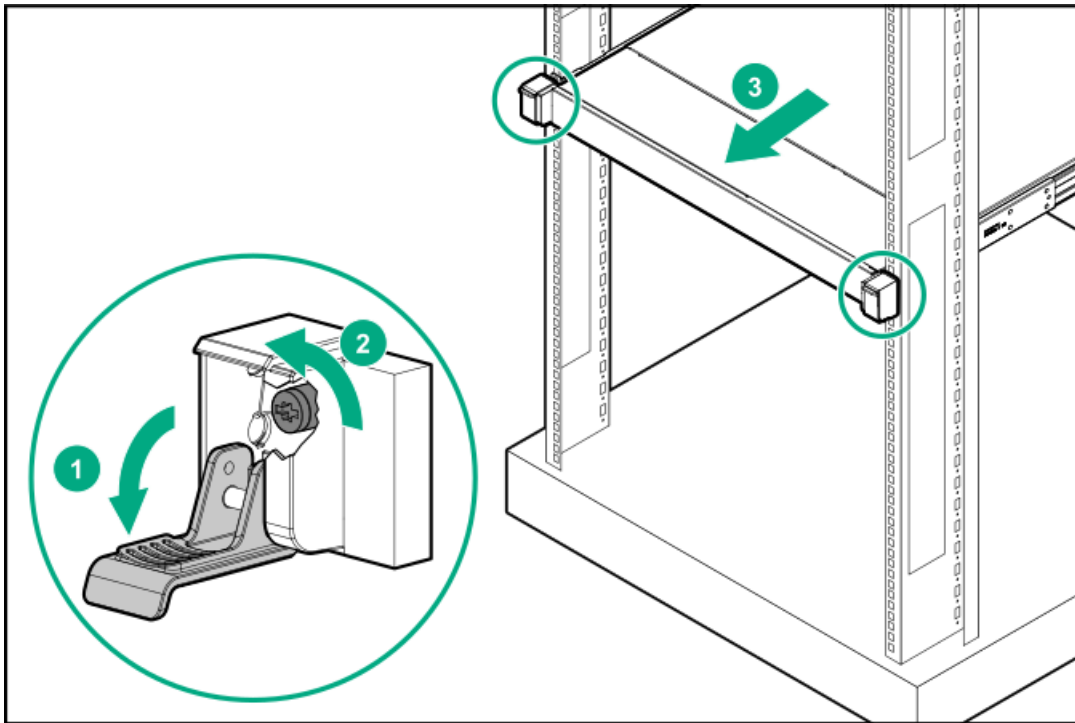
手順

サーバーをラックから引き出します。



警告

けがや装置の損傷の危険を防止するため、何らかのコンポーネントをラックから引き出す前に、ラックが十分に安定していることを確認してください。



ケーブルマネジメントアームを解放する

このタスクについて

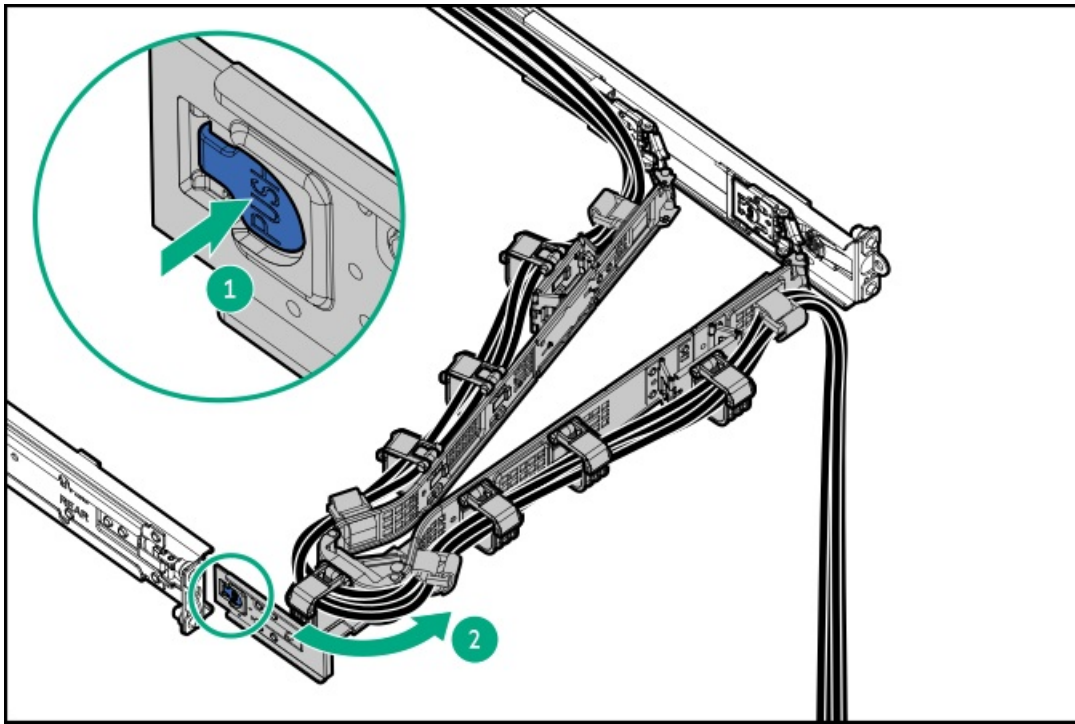


注意

ケーブルマネジメントラッチまたはレールリリースラッチを押す際には、けがをしないように十分に注意してください。レールまたはラッチに指をはさむ場合があります。

手順

ケーブルマネジメントアームを解放し、動かしてラックから取り外します。



ラックからサーバーを取り外す

前提条件

この手順を実行する前に、以下を参照してください。

- [ラックに関する警告と注意事項](#)
- [サーバーに関する警告と注意事項](#)

このタスクについて

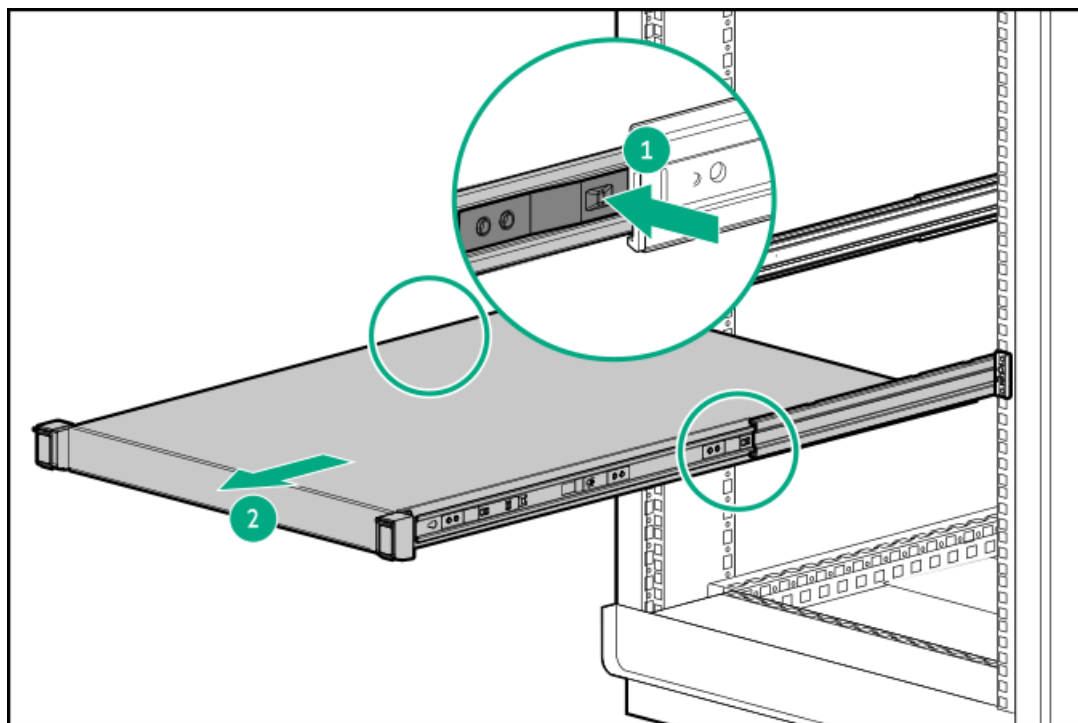


警告

けがや装置の損傷の危険を防止するため、何らかのコンポーネントをラックから引き出す前に、ラックが十分に安定していることを確認してください。

手順

1. [サーバーの電源を切ります。](#)
2. [ケーブルマネジメントアームを解放します。](#)
3. リアパネルからケーブルを取り外します。
4. [サーバーをラックから引き出します。](#)
5. ラックからサーバーを取り外します。

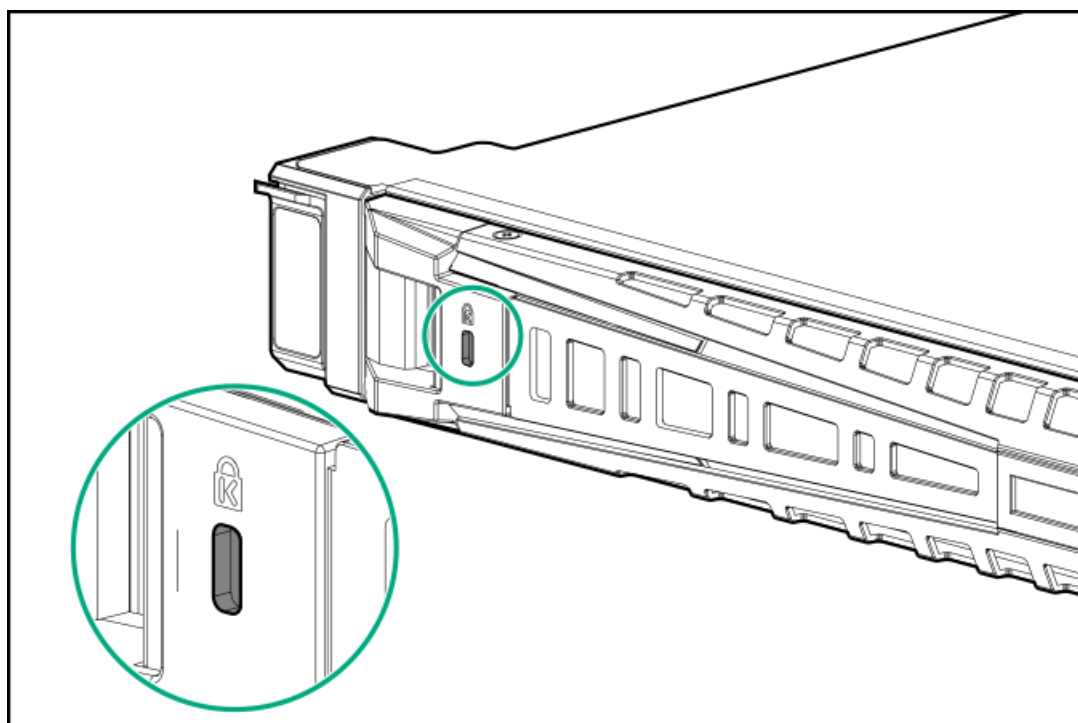


6. サーバーを安定した水平な面に置きます。

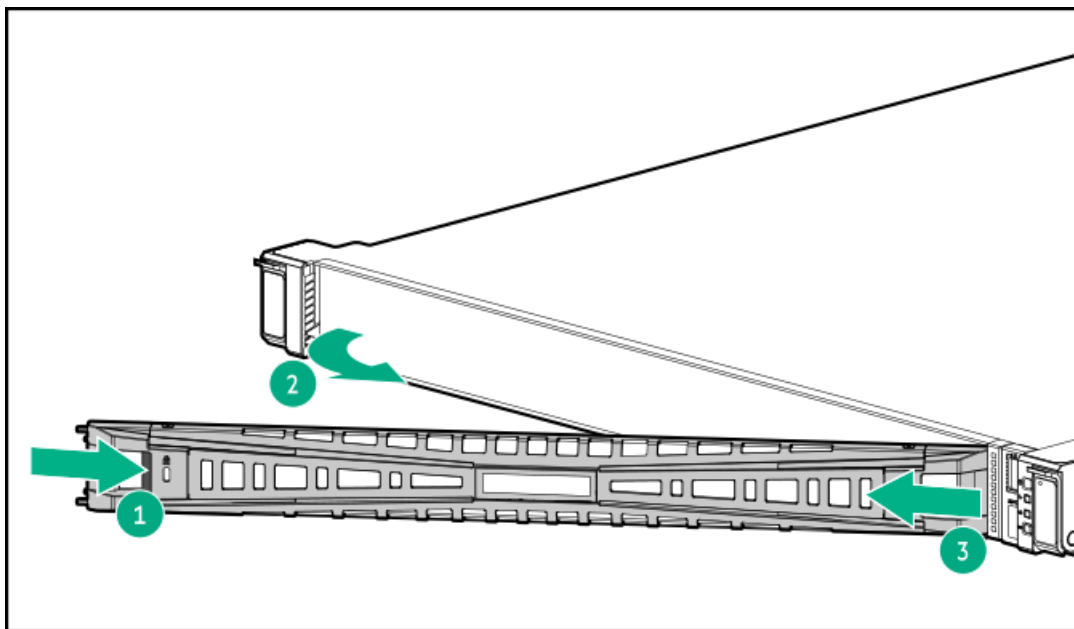
ベゼルを取り外す

手順

1. Kensingtonセキュリティロックが取り付けられている場合は、取り外します。



2. ベゼルを取り外します。



アクセスパネルを取り外す

このタスクについて



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブや内部システムコンポーネントが十分に冷めてから手を触れてください。

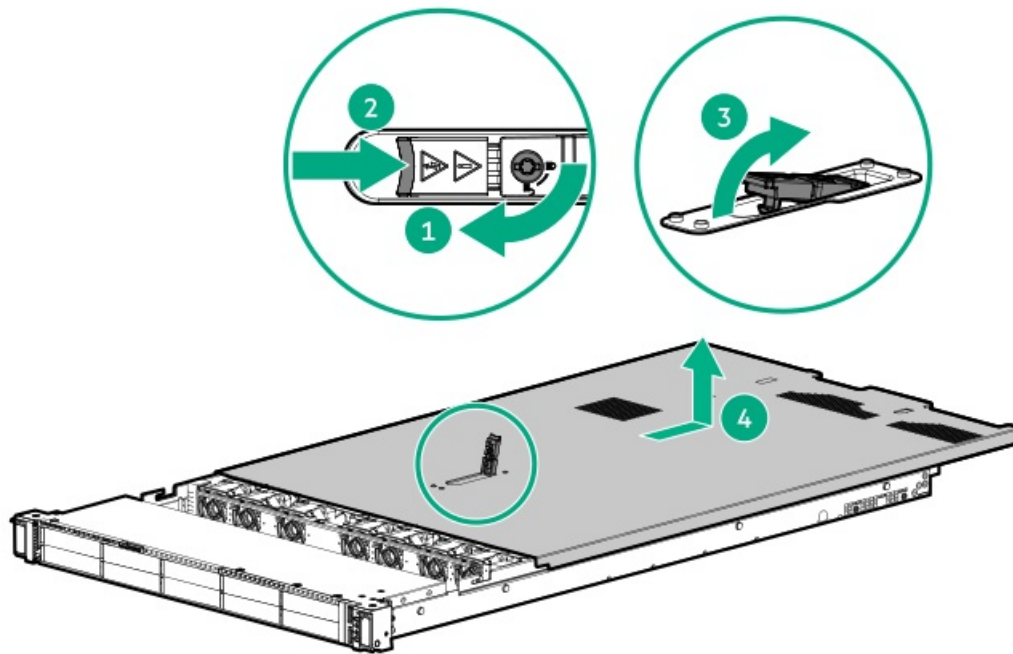


注意

アクセスパネルを開けたまま、または取り外したまま長時間サーバーを動作させないでください。このような状態でサーバーを動作させると、通気が正しく行われないために冷却機構が正常に機能しなくなり、高温によって装置が損傷する場合があります。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. サーバーをラックから引き出します。
3. ロック用ラッチを開くかロックを解除し、アクセスパネルをシャーシの背面側にスライドさせて、アクセスパネルを取り外します。



中央カバーを取り外す

このタスクについて

中央カバーは、10 SFF (2.5型) / 20 E3. Sサーバー、または混合ドライブタイプ構成を使用するサーバーで使用できます。



注意

適切な冷却を確保するために、サーバーを動作させるときは、アクセスパネル、バッフル、拡張スロットカバー、およびブランクを必ず取り付けてください。

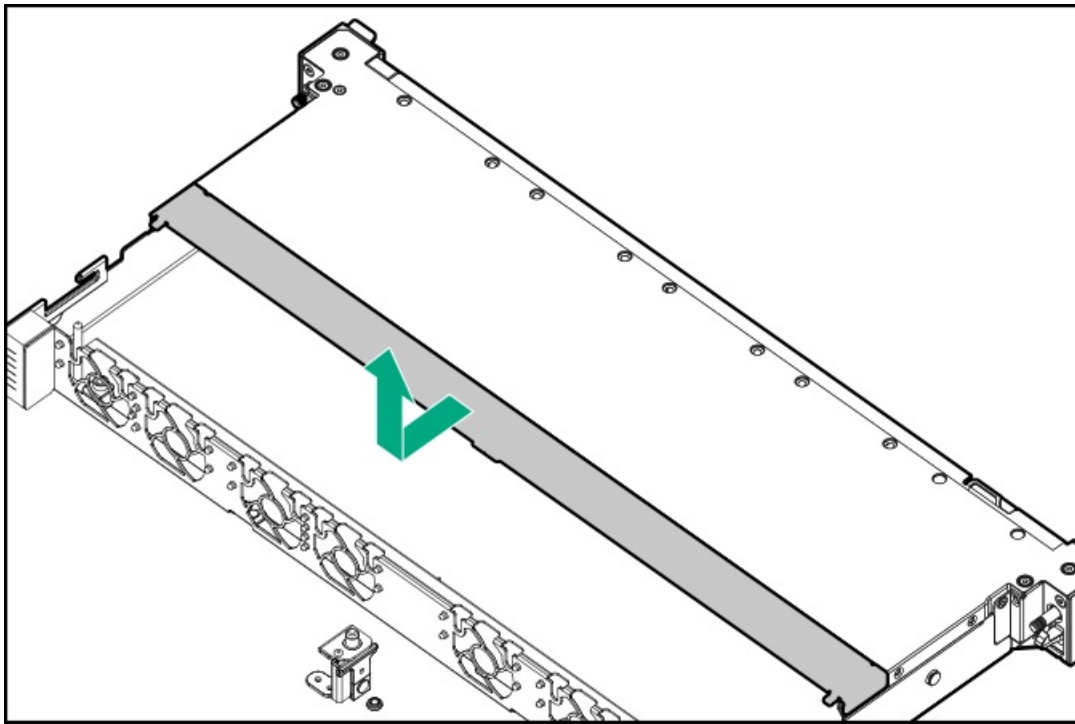


注意

電子部品の損傷を防止するために、正しくアースを行ってから取り付け、取り外し、または交換手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
4. サーバーをラックから引き出します。
5. アクセスパネルを取り外します。
6. 中央カバーの両側を持って、サーバーから取り外します。



ファンフレームを取り外す

前提条件

この手順を実行する前に、T-15トルクスドライバーを用意しておきます。

このタスクについて

ファンフレームは、液冷ヒートシンクとファンのキットが取り付けられているサーバーでは使用できません。

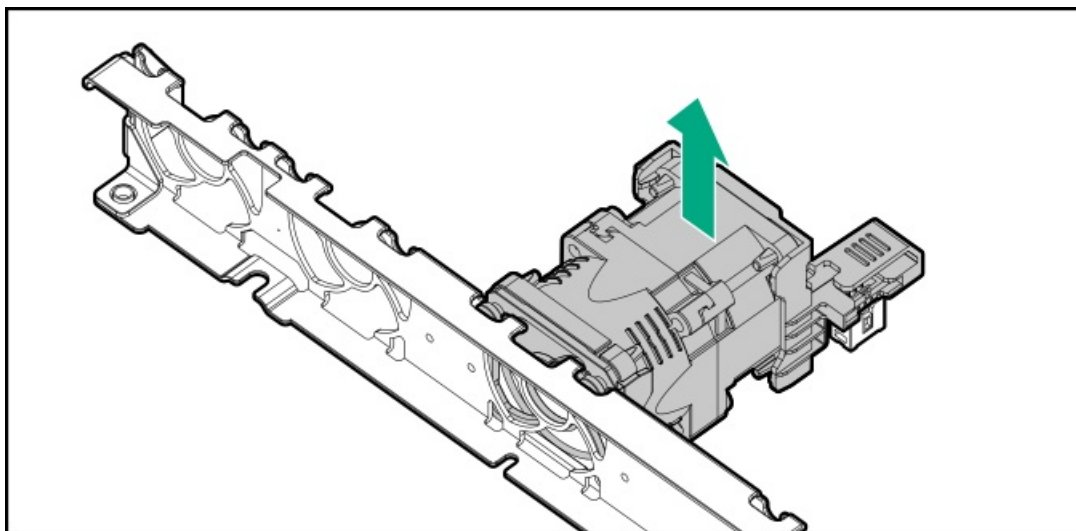


注意

電子部品の損傷を防止するために、正しくアースを行ってから取り付け、取り外し、または交換手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

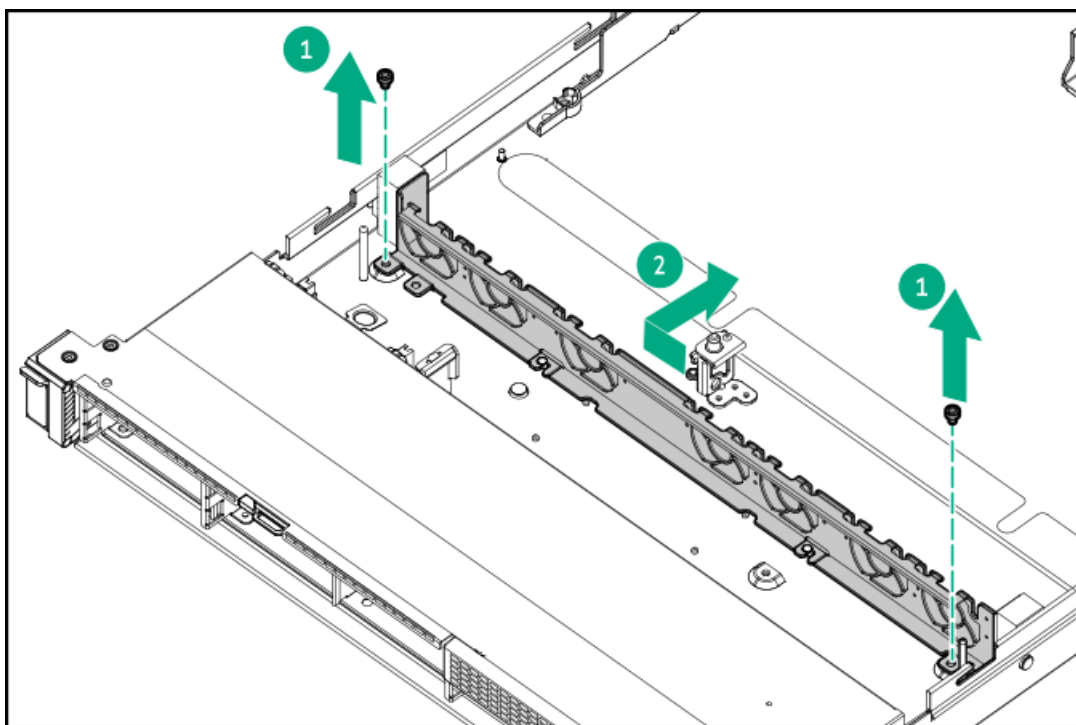
手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な面に置きます。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. ファンを取り外します。



8. ネジを外してファンフレームを取り外します。

ネジとファンフレームは保管しておいてください。これらのネジは、内部コンポーネントの交換または取り付け後にファンフレームを固定するために使用されます。



プライマリPCIeライザーケージを取り外す

このタスクについて



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。

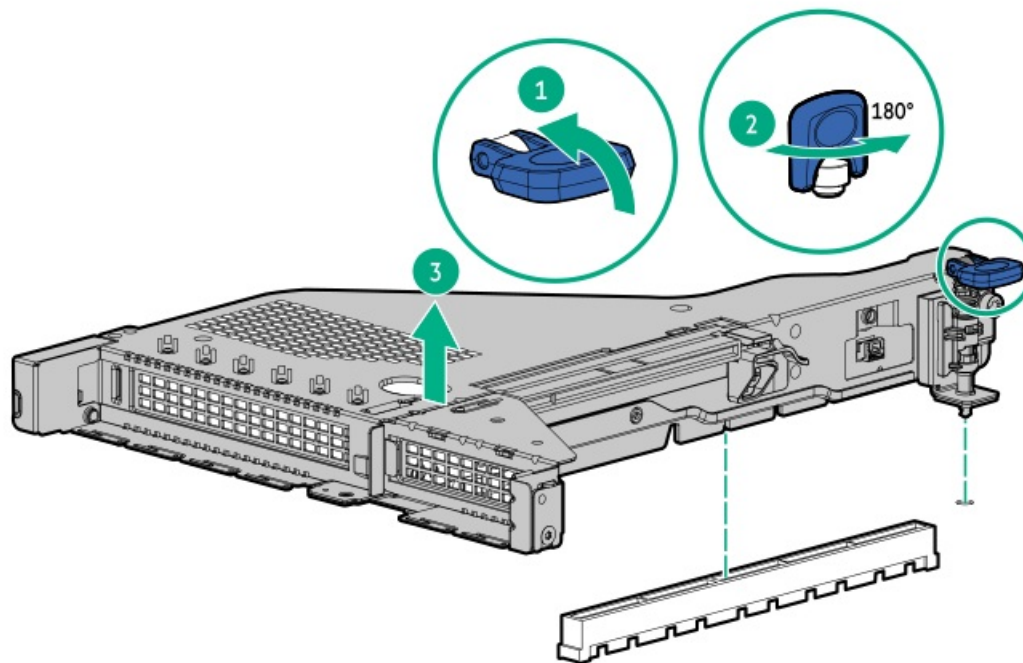


注意

電子部品の損傷を防止するために、正しくアースを行ってから取り付け、取り外し、または交換手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. 以下のいずれかを実行します。
 - a. サーバーをラックから引き出します。
 - b. サーバーをラックから取り外します。
4. アクセスパネルを取り外します。
5. PCIライザーケージを取り外します。



ホットプラグ対応SAS/SATA/NVMeドライブの取り外し



注意

適切な冷却を確保するために、サーバーを動作させるときは、アクセスパネル、バッフル、拡張スロットカバー、およびブラנקを必ず取り付けてください。サーバーがホットプラグ対応コンポーネントをサポートしている場合は、アクセスパネルを開ける時間を最小限に抑えてください。

1. ホットプラグ対応ドライブのLEDの定義からドライブのステータスを確認します。

2. ドライブ上のすべてのサーバーデータのバックアップを取ります。
3. ドライブを取り外します。

図 1. SFF (2.5型) ドライブ

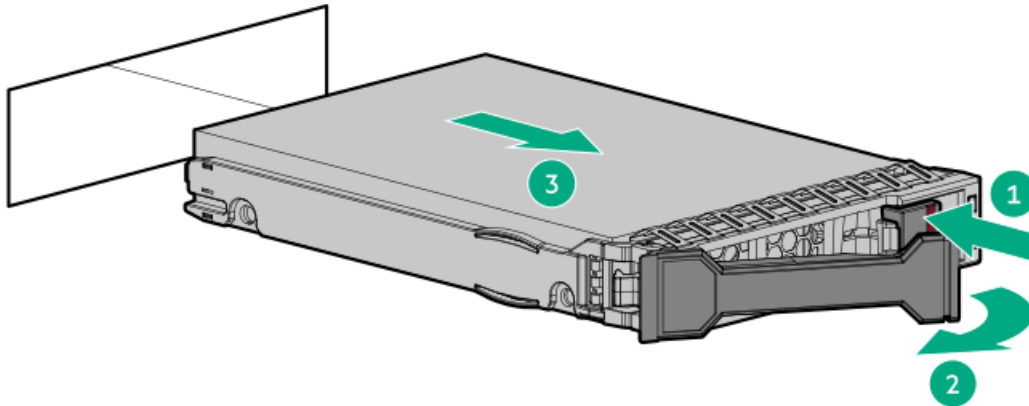
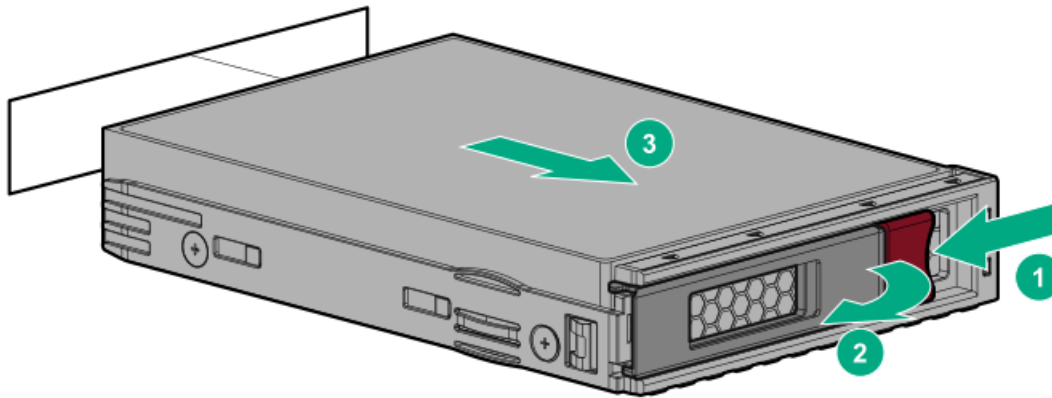


図 2. LFF (3.5型) ドライブ



ホットプラグ対応E3.Sドライブを取り外す

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

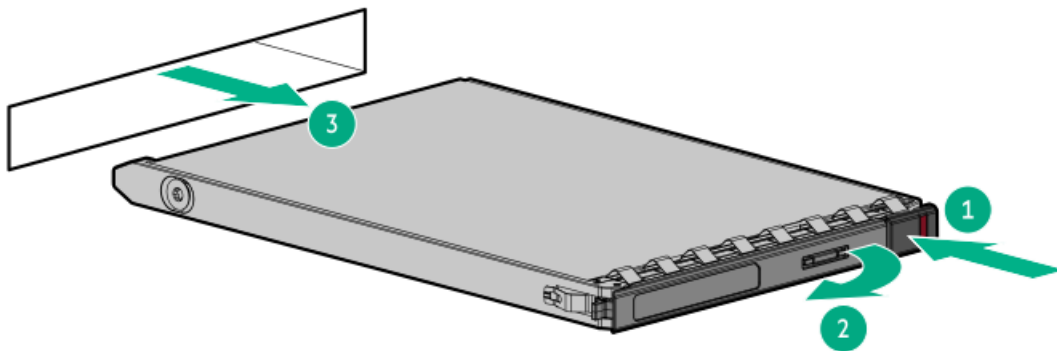


注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

手順

1. すべてのサーバーデータをバックアップします。
2. 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
3. ドライブのLEDステータスを確認し、ドライブを取り外すことができるかどうかを判断します。
4. ドライブを取り外します。



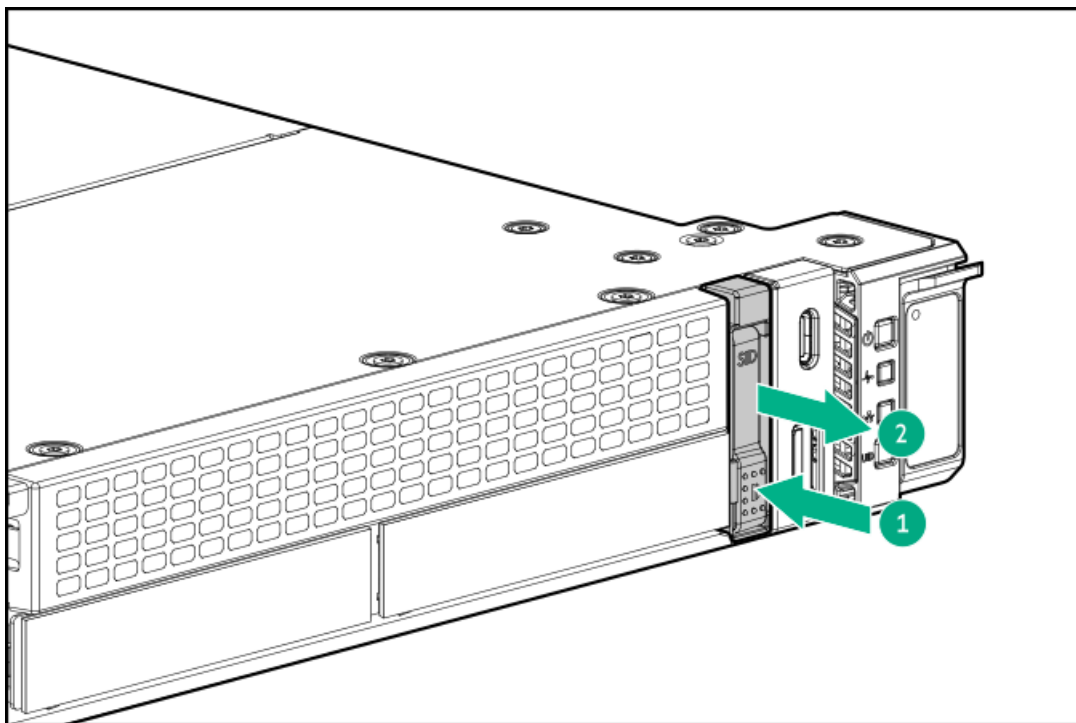
Systems Insight Displayにアクセスする

このタスクについて

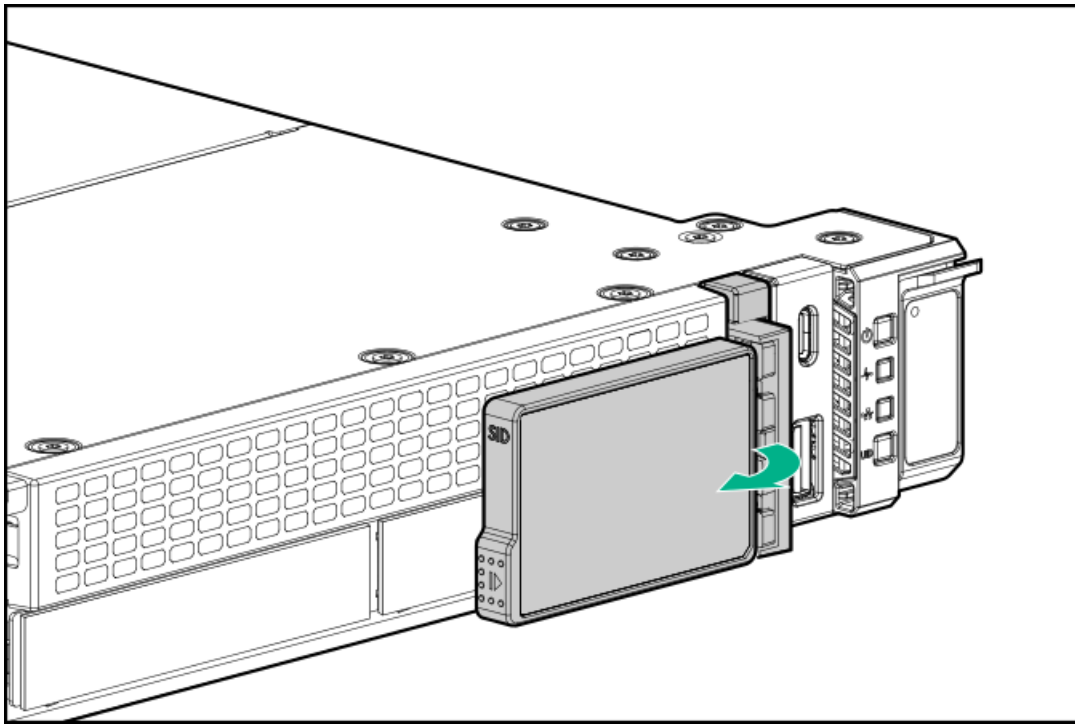
Systems Insight Displayは、8 SFF（2.5型）ドライブ構成でのみ使用できます。

手順

1. パネルを押してロックを解放します。



2. ディスプレイを取り出したら、ディスプレイを回転させ、LEDを表示します。



取り付け後の手順

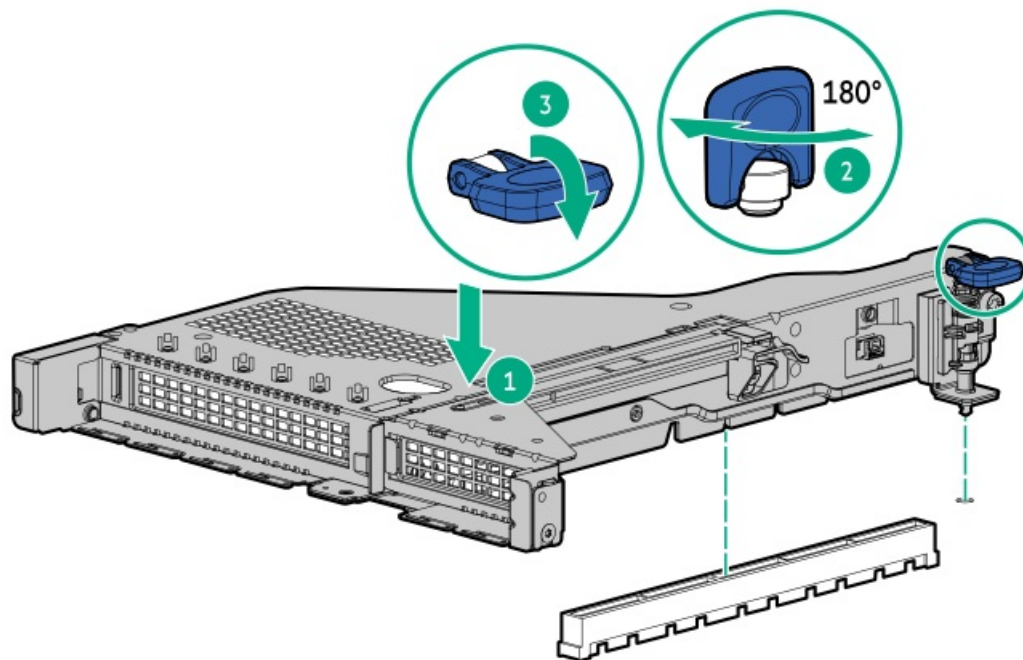
サブトピック

- プライマリPCIeライザーケージを取り付ける
- ファンフレームを取り付ける
- 中央カバーを取り付ける
- アクセスパネルを取り付ける
- サーバーをラックに取り付ける
- サーバーの電源を入れる

プライマリPCIeライザーケージを取り付ける

手順

1. PCIライザーケージを取り付けます。



2. アクセスパネルを取り付けます。
3. サーバーをラックに取り付けます。
4. 各電源コードをサーバーに接続します。
5. 各電源コードを電源ソースに接続します。
6. サーバーの電源を入れます。

ファンフレームを取り付ける

前提条件

この手順を実行する前に、T-15トルクスドライバーを用意しておきます。

このタスクについて

ファンフレームは、液冷ヒートシンクとファンのキットが取り付けられているサーバーでは使用できません。

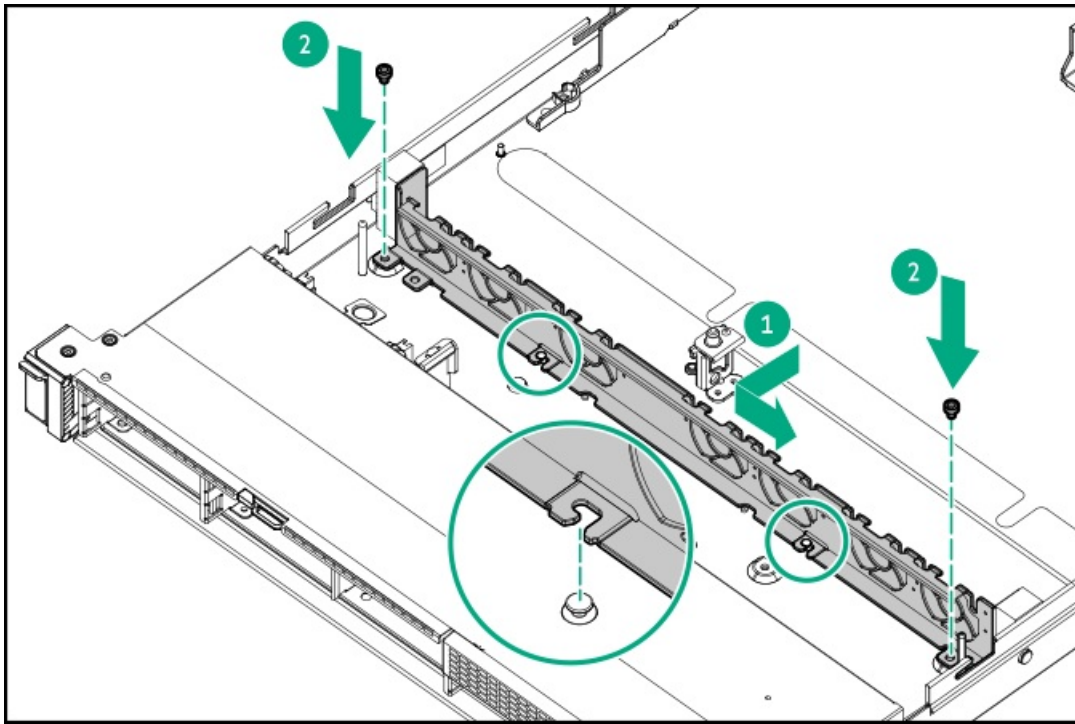


注意

電子部品の損傷を防止するために、正しくアースを行ってから取り付け、取り外し、または交換手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

手順

ファンフレームをスライドさせてスプールとかみ合わせ、ネジを取り付けます。



中央カバーを取り付ける

このタスクについて

中央カバーは、混合ドライブタイプ構成で使用できます。



注意

適切な冷却を確保するために、サーバーを動作させるときは、アクセスパネル、バッフル、拡張スロットカバー、およびブランクを必ず取り付けてください。

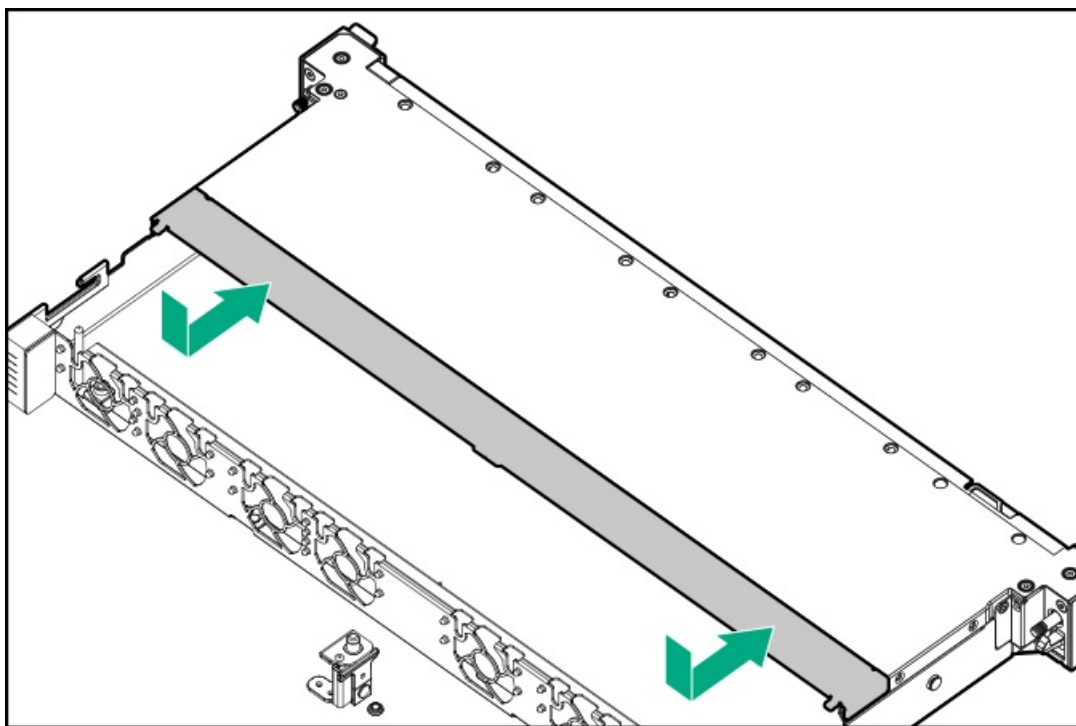


注意

電子部品の損傷を防止するために、正しくアースを行ってから取り付け、取り外し、または交換手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

手順

1. 中央カバーの両側を持って、サーバーに取り付けます。

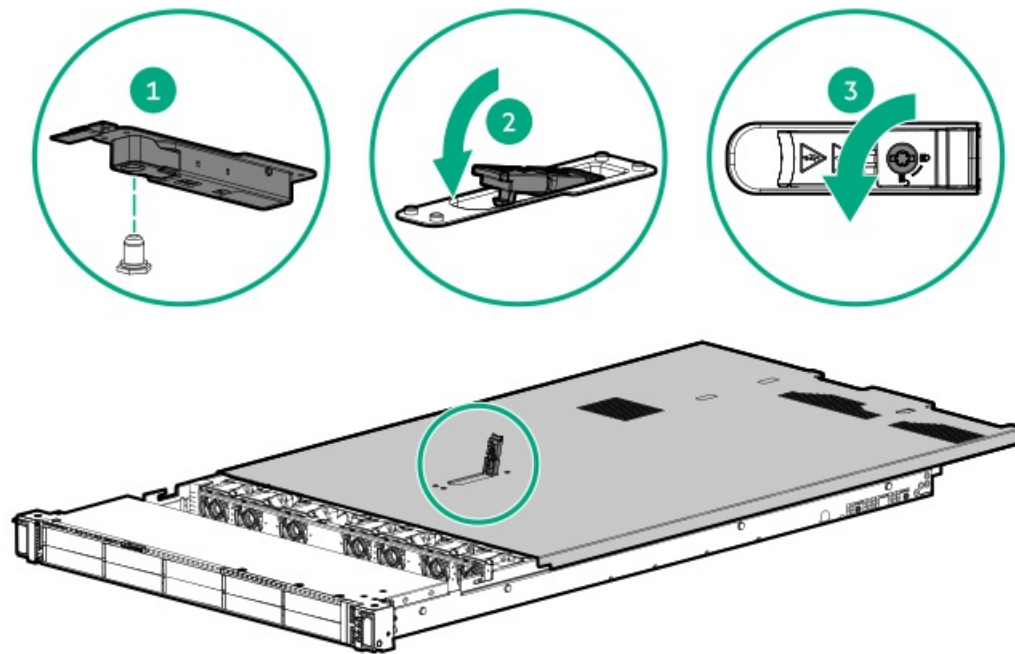


2. アクセスパネルを取り付けます。

アクセスパネルを取り付ける

手順

1. ラッチを開いたまま、アクセスパネルをサーバーの上に置きます。
アクセスパネルの位置をずらして、サーバーの背面側から約1.25 cm (0.5インチ) 出るようにしてください。
2. ラッチを押し下げます。
アクセスパネルが完全に閉じるまでスライドさせます。
3. 必要に応じて、ラッチのセキュリティネジを締めます。



サーバーをラックに取り付ける

前提条件

- ラックへの取り付け中は、必ず適切な人数でサーバーを持ち上げたり固定したりする作業を行ってください。サーバーを胸より高く持ち上げるときは、サーバーを設置するために作業者がさらに2人必要になる場合があります。1人がサーバーの重量を支え、別の2人がサーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
- この手順を実行する前に、以下を参照してください。
 - [空間および通気要件](#)
 - [ラックに関する警告と注意事項](#)
 - [サーバーに関する警告と注意事項](#)
- 完全に実装されたサーバーは重量があります。Hewlett Packard Enterpriseでは、外部シャーシコンポーネントを取り外してから、ラックにサーバーを取り付けることをお勧めします。
- この手順を実行する前に、T-25トルクスドライバーを用意しておきます。

手順

1. サーバーをラックに取り付けます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

サーバーの電源を入れる

手順

- 電源ボタンを押します。
- iLO 7経由の仮想電源ボタンを使用します。

冷却

サブトピック

- [ファンモードの動作](#)
- [冗長ファンサポートの要件](#)
- [高性能ファンの取り付け](#)

ファンモードの動作

デフォルトの7ファン構成は、冗長ファンのサポートを提供します。冗長ファンモードで、ファンローターが故障または欠落している場合：

- システムは非冗長ファンモードに切り替わります。システムは、このモードで動作します。
- システムヘルスLEDがオレンジ色に点滅します。

2番目のファンローターの障害またはファンの欠落が発生した場合、オペレーティングシステムは正常にシャットダウンします。

ファンの冗長性の最小要件について詳しくは、[冗長ファンサポートの要件](#)を参照してください。

冗長ファンサポートの要件

ファン冗長性のサポートを提供するには、サーバーで機能しているファンローターの数 の最小要件が満たされている必要があります。ファンの要件については次の表を参照してください。

ファン構成	ローターの総数	冗長性に必要なファンローター	動作に必要なファンローター
標準ファン7台（デュアルローター）	14	14	13
高性能ファン7台（デュアルローター）			
標準ファン5台（デュアルローター）*	10	10	9
液冷ファン7台（シングルローター）	7	7	6

*これは、1プロセッサ構成を使用するサーバーでサポートされます。

高性能ファンの取り付け

前提条件

ファンとヒートシンクの要件を確認します。

このタスクについて

標準ファンと高性能ファンの取り付けと取り外しの手順は同じです。

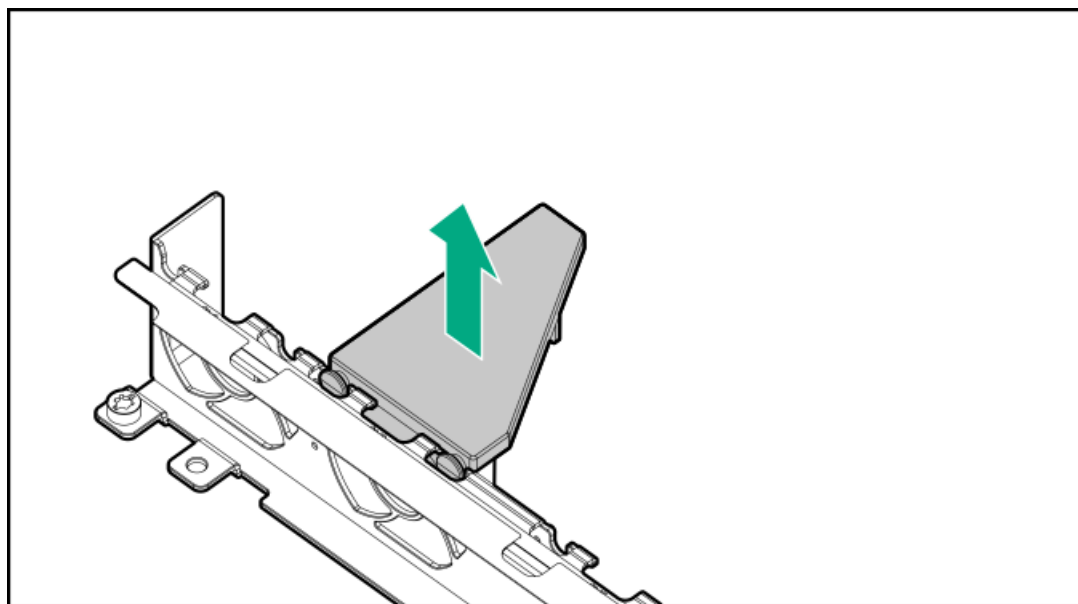


重要

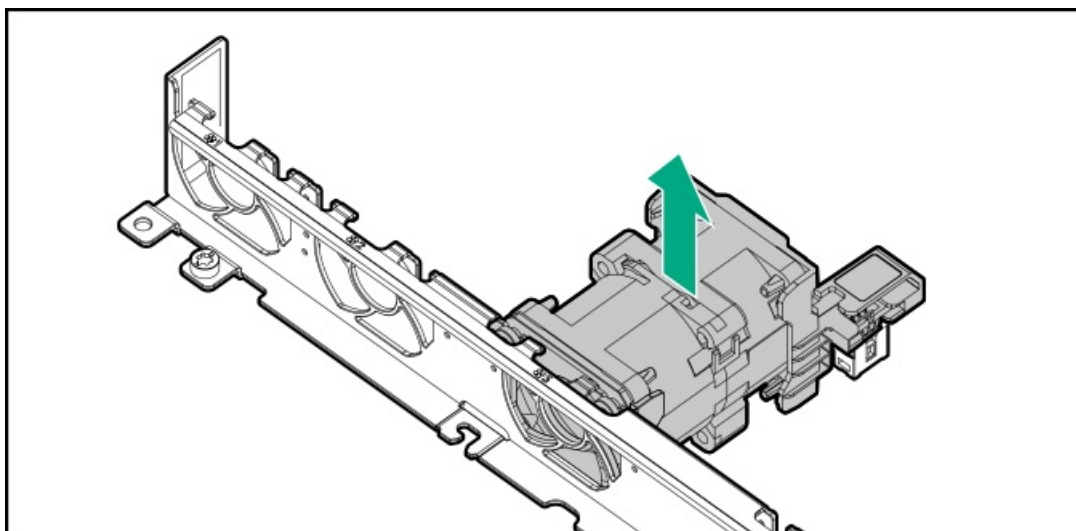
同じサーバー内に標準ファンと高性能ファンを混在させないでください。

手順

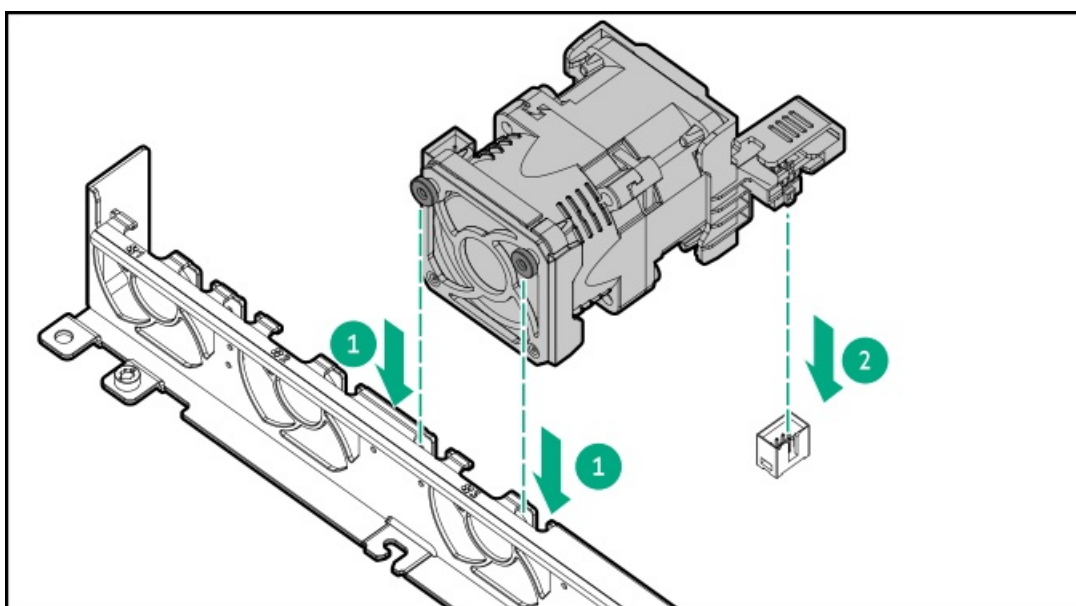
1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. 以下のいずれかを実行します。
 - a. サーバーをラックから引き出します。
 - b. サーバーをラックから取り外します。
4. アクセスパネルを取り外します。
5. ファンブランクをすべて取り外します。



6. すべての標準ファンを取り外します。



7. 高性能ファンを取り付けます。



8. アクセスパネルを取り付けます。
9. サーバーをラックに戻します。
10. 各電源コードをサーバーに接続します。
11. 各電源コードを電源ソースに接続します。
12. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

ドライブ

サブトピック

ドライブの取り付けのガイドライン

ホットプラグ対応SAS、SATA、またはNVMeドライブの取り付け

ドライブの取り付けのガイドライン

次の一般的なガイドラインに従ってください。

- システムがすべてのドライブ番号を自動的に設定します。



注意

ドライブが取り付けられていない状態でサーバーを購入した場合、一部のドライブベイが空で、他のドライブベイにドライブブランクが装着されている場合があります。システムの適切な冷却を維持するため、ドライブまたはドライブブランクが取り付けられていない状態でサーバーを動作させないでください。

- ドライブを1台しか使用しない場合、最も小さいドライブ番号のベイに取り付けてください。ドライブ番号については、ドライブベイの番号を参照してください。
- このサーバーでは、同じドライブボックス内でのドライブタイプの混合はサポートしていません。
- NVMeドライブを取り付ける場合は、同じタイプのドライブを取り付けてください。NVMeドライブの混在はサポートされていません。
- すべてのドライブを同じドライブアレイにまとめる場合は、以下の基準を満たす必要があります。
 - すべてのハードディスクドライブ、またはすべてがソリッドステートドライブでなければなりません。
 - ストレージの容量効率を最大限に高めるには、各ドライブを同じ容量にしてください。

ホットプラグ対応SAS、SATA、またはNVMeドライブの取り付け

前提条件

取り付け前に、ファンとヒートシンクの要件を確認してください。

このタスクについて

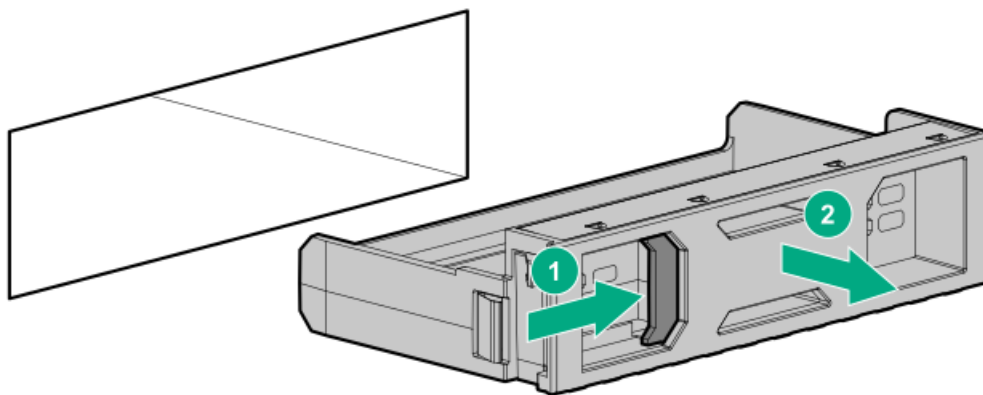


注意

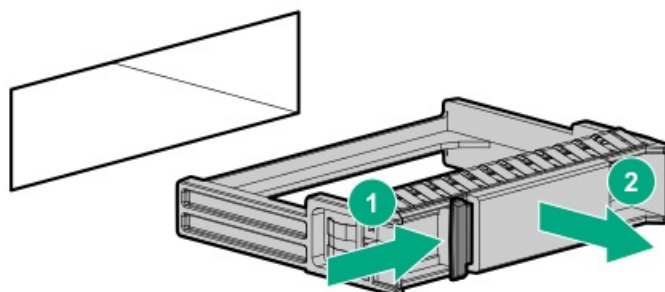
不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

手順

1. すべてのサーバーデータをバックアップします。
2. 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
3. 次のドライブブランクを取り外します。
 - LFF (3.5型) ドライブブランク

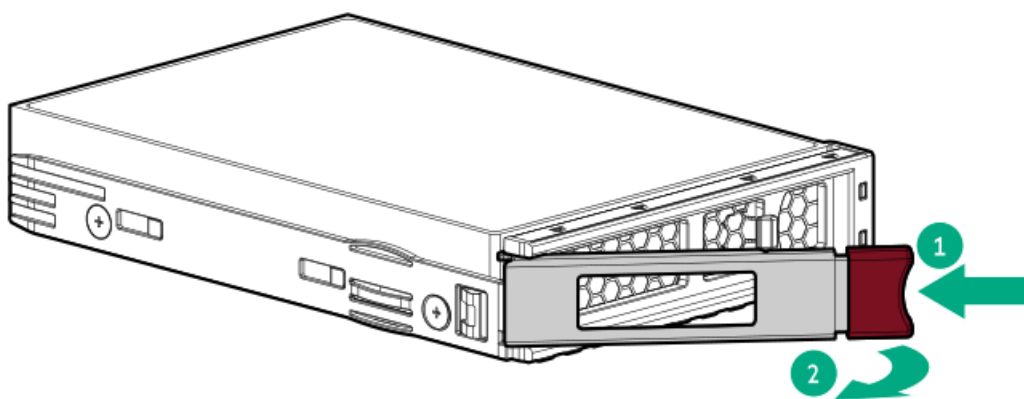


- SFF (2.5型) ドライブブランク

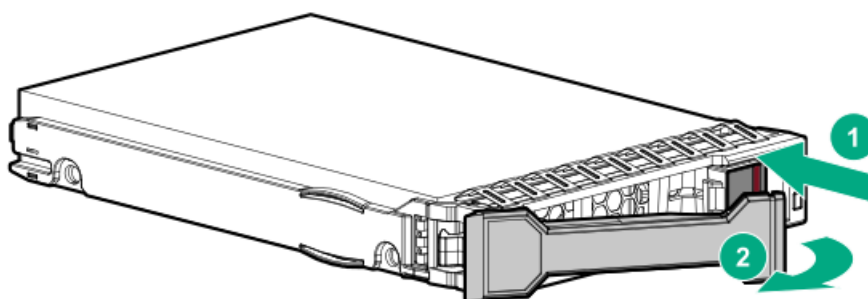


4. ドライブを準備します。

- LFF (3.5型) ドライブ

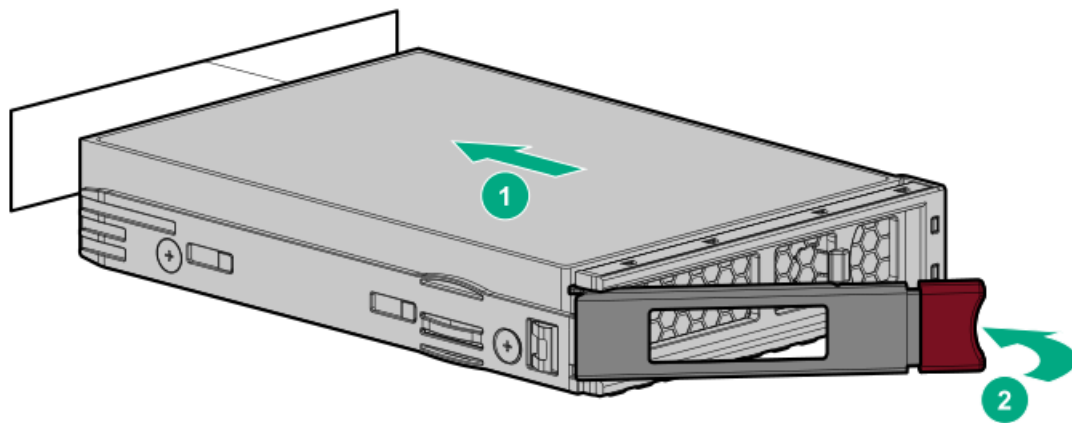


- SFF (2.5型) ドライブ

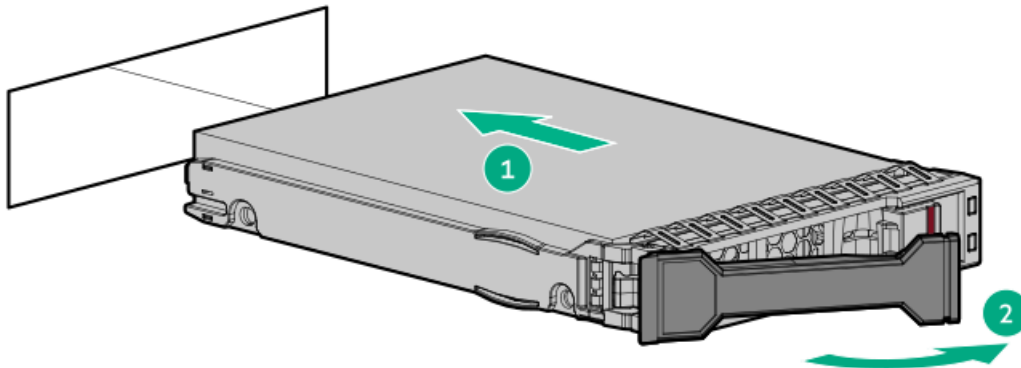


5. ドライブを取り付けます。

- LFF (3.5型) ドライブ



- SFF (2.5型) ドライブ



6. ドライブLEDの定義から、ドライブのステータスを確認します。
7. 取り外している場合は、フロントベゼルを取り付けます。
8. ドライブアレイを構成するには、関連するストレージコントローラーガイドを参照してください。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

E3. Sドライブの取り付け

前提条件

取り付け前に、ファンとヒートシンクの要件を確認してください。

このタスクについて



注意

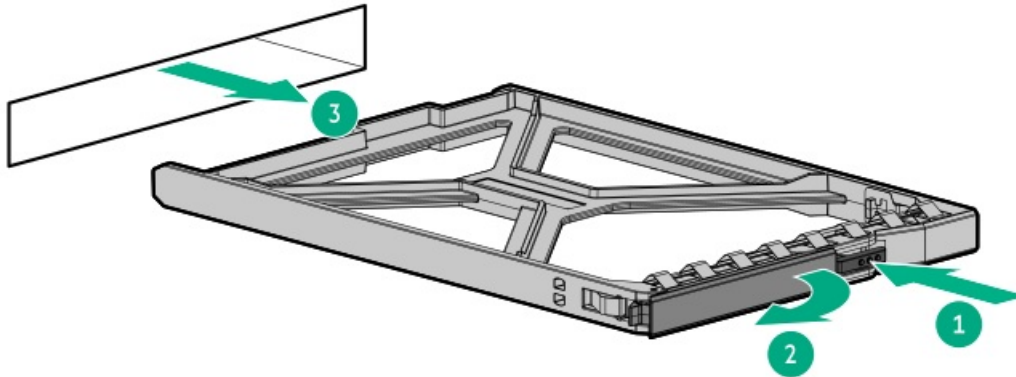
不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

手順

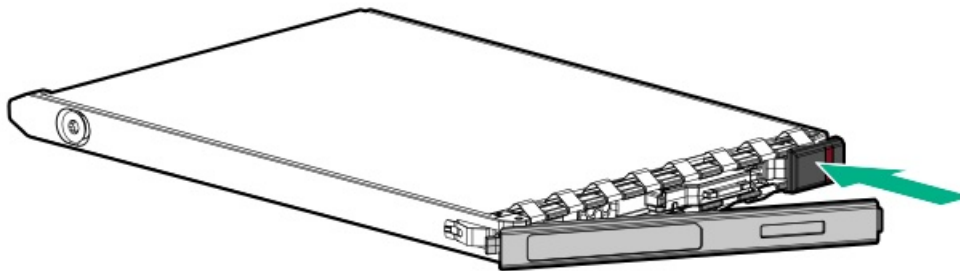
1. すべてのサーバーデータをバックアップします。
2. 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
3. ドライブのLEDステータスを確認し、ドライブを取り外すことができるかどうかを判断します。

4. ドライブブラックを取り外します。

ブラックは、将来使用できるように保管しておいてください。

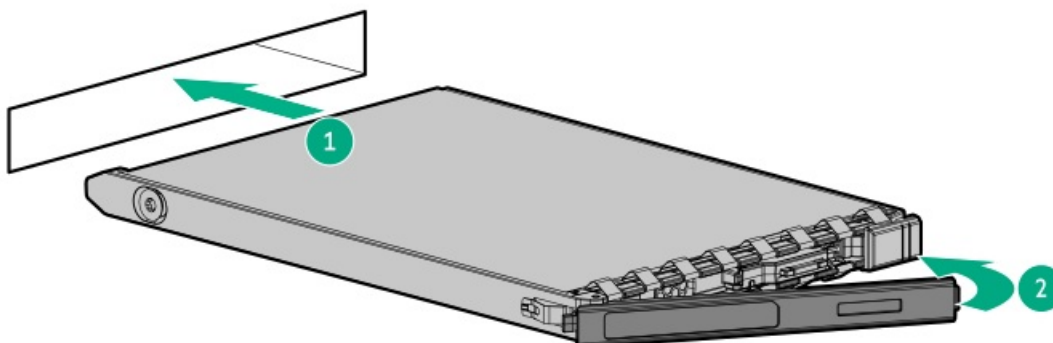


5. ドライブを準備します。



6.  **注記**
ドライブが正常に取り付けられたことを確認するには、ラッチがドライブケースにかみ合っていることを確認します。

ドライブを取り付けます。



7. ドライブLEDの定義から、ドライブのステータスを確認します。
8. 取り外している場合は、フロントベゼルを取り付けます。
9. ドライブアレイを構成するには、関連するストレージコントローラーガイドを参照してください。

ドライブケース

サブトピック

混合ドライブタイプ構成での4 E3.Sドライブケースの取り付け

混合ドライブタイプ構成での2 SFF (2.5型) ドライブケースの取り付け

8 SFF (2.5型) ドライブ構成での2 SFF (2.5型) ドライブケースの取り付け

混合ドライブタイプ構成での4 E3.Sドライブケースの取り付け

前提条件

- 次のものがすべて揃っていることを確認してください。
 - オプションキットに含まれているコンポーネント
 - T-10トルクスドライバー
 - 4 E3.Sドライブまたはドライブブランク
- ファンとヒートシンクの要件を確認します。

このタスクについて

4 E3.Sドライブケースは、混合ドライブタイプ構成のドライブボックス1~5でサポートされます。



注意

ハードウェアエラーが認識されたために、DIMM、バックプレーン、拡張カード、ライザーボード、またはその他の類似のPCAコンポーネントを交換する前に、まずコンポーネントがスロットにしっかりと装着されていることを確認してください。

交換用コンポーネントを取り付ける場合：

- 静電気防止の注意事項に従ってください。
- PCAは両端だけを持つようにしてください。
- PCAのコンポーネントやコネクタに触れないでください。
- PCAを曲げたり折ったりしないでください。



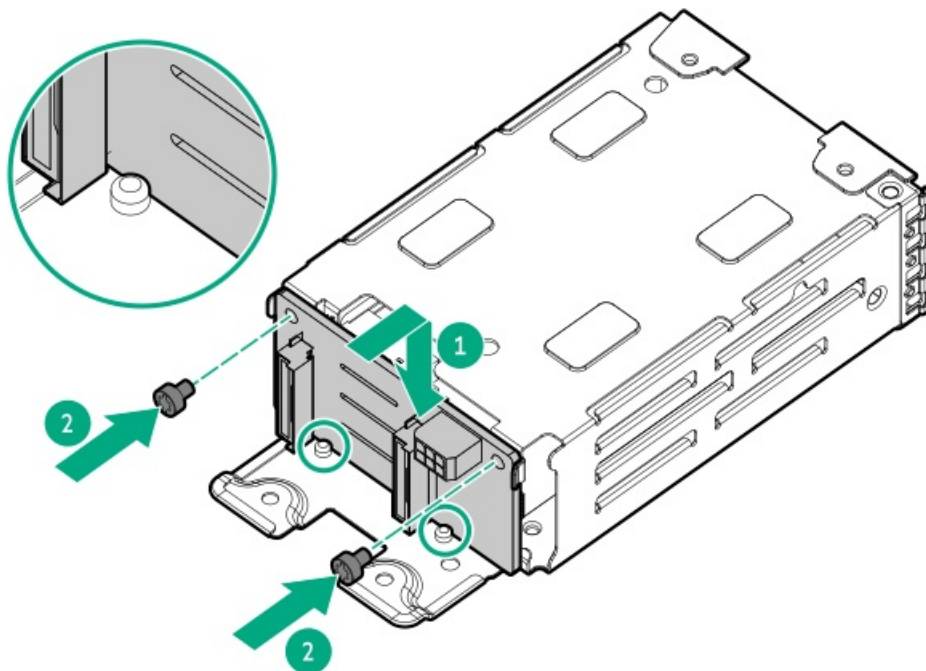
注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

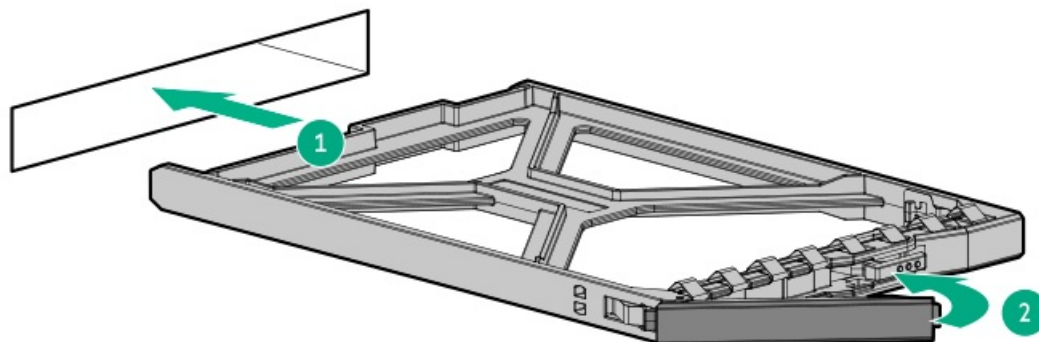
手順

1. すべてのサーバーデータをバックアップします。
2. 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
3. サーバーの電源を切ります。
4. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
5. 以下のいずれかを実行します。
 - a. サーバーをラックから引き出します。

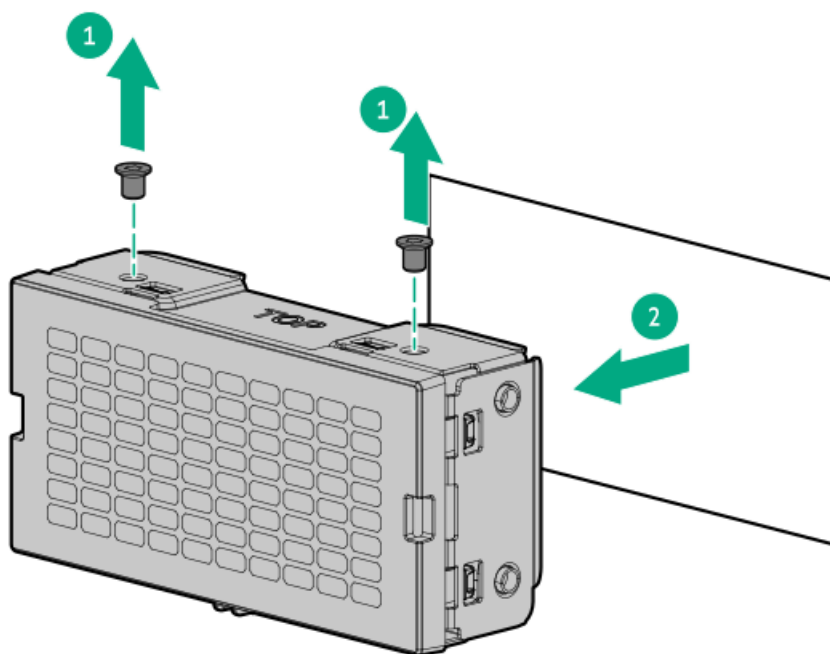
- b. サーバーをラックから取り外します。
6. サーバーを平らで水平な面に置きます。
7. アクセスパネルを取り外します。
8. 4 E3.Sドライブバックプレーンを4 E3.Sドライブページに取り付けます。



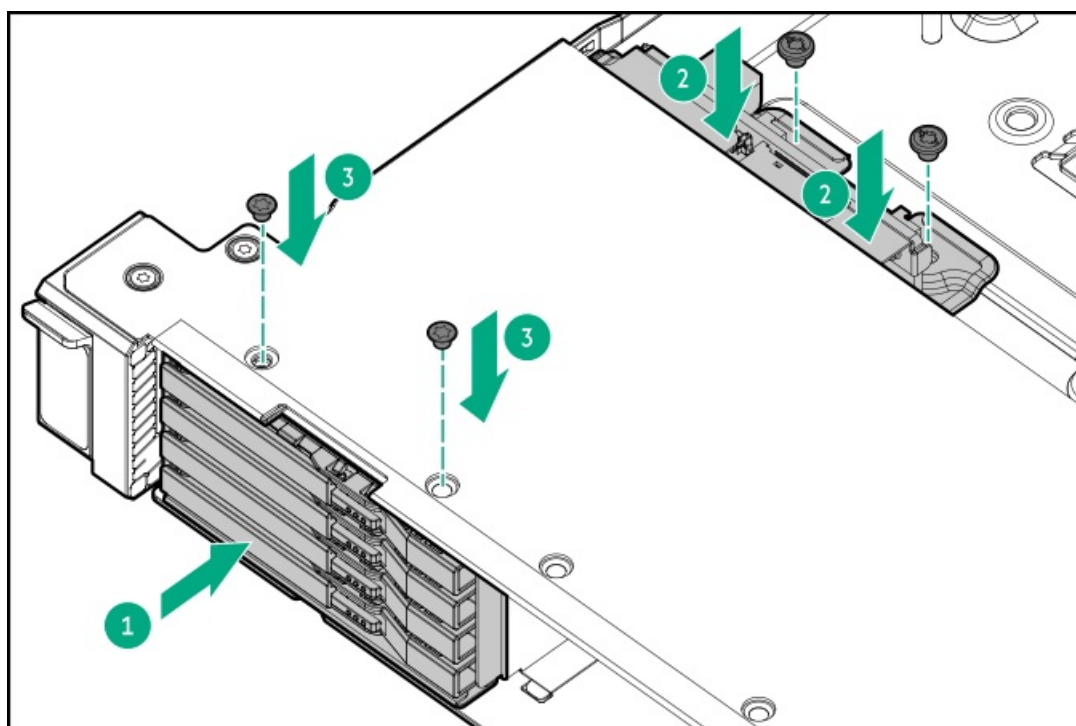
9. 以下のいずれかを実行します。
- ドライブを取り付けます。
 - ドライブブランクを取り付けます。



10. ドライブボックスブランクを取り外します。



11. 4 E3.Sドライブケースを取り付けます。



12. 電源ケーブルを4 E3.Sドライブバックプレーンに接続します。

13. データケーブルを接続します。

14. アクセスパネルを取り付けます。

15. サーバーをラックに取り付けます。

16. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。

17. 各電源コードをサーバーに接続します。

18. 各電源コードを電源ソースに接続します。

19. 取り外している場合は、フロントベゼルを取り付けます。

20. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

混合ドライブタイプ構成での2 SFF（2.5型）ドライブページの取り付け

前提条件

- 次のものがすべて揃っていることを確認してください。
 - オプションキットに含まれているコンポーネント
 - T-10トルクスドライバー
 - 2 SFF（2.5型）ドライブまたはドライブブラנק
- ファンとヒートシンクの要件を確認します。

このタスクについて

2 SFF（2.5型）ドライブページは、混合ドライブタイプ構成のドライブボックス1～5でサポートされます。



注意

ハードウェアエラーが認識されたために、DIMM、バックプレーン、拡張カード、ライザーボード、またはその他の類似のPCAコンポーネントを交換する前に、まずコンポーネントがスロットにしっかりと装着されていることを確認してください。

交換用コンポーネントを取り付ける場合：

- 静電気防止の注意事項に従ってください。
- PCAは両端だけを持つようにしてください。
- PCAのコンポーネントやコネクタに触れないでください。
- PCAを曲げたり折ったりしないでください。



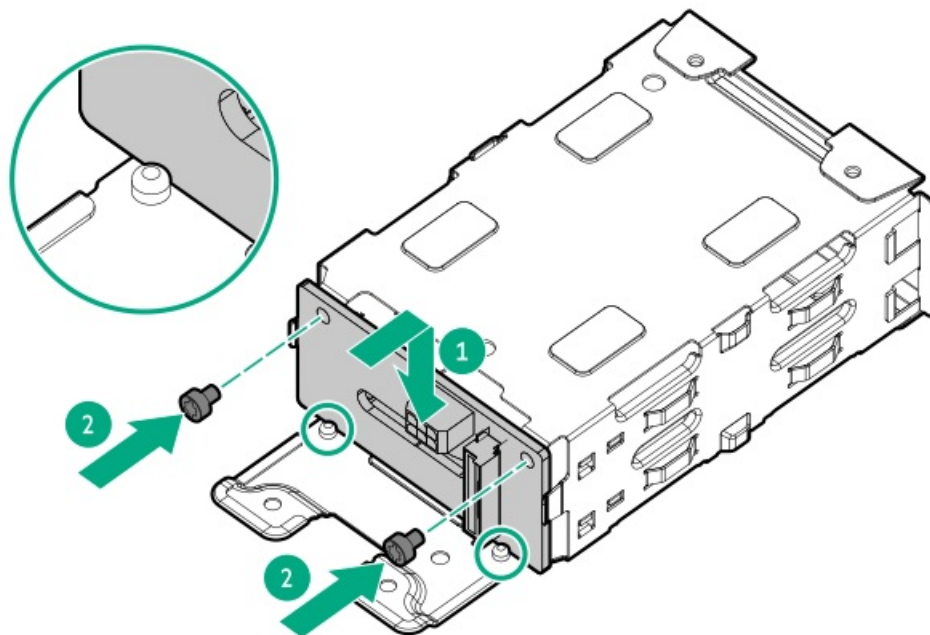
注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブラנקのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

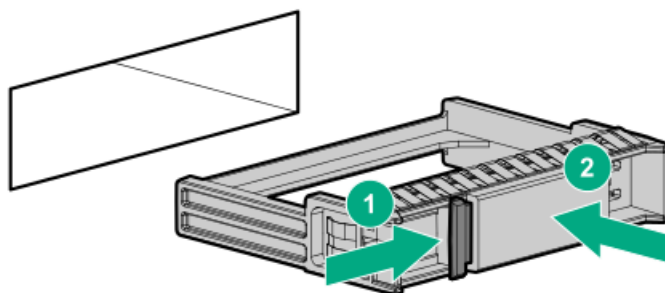
手順

1. すべてのサーバーデータをバックアップします。
2. 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
3. サーバーの電源を切ります。
4. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
5. 以下のいずれかを実行します。
 - a. サーバーをラックから引き出します。

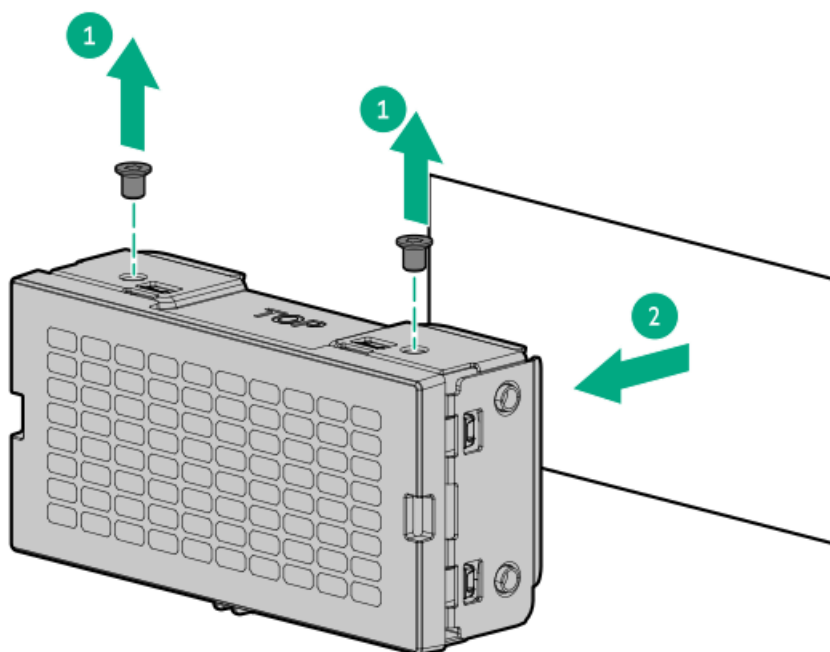
- b. サーバーをラックから取り外します。
6. サーバーを平らで水平な面に置きます。
7. 2 SFF (2.5型) ドライブバックプレーンを2 SFF (2.5型) ドライブケージに取り付けます。



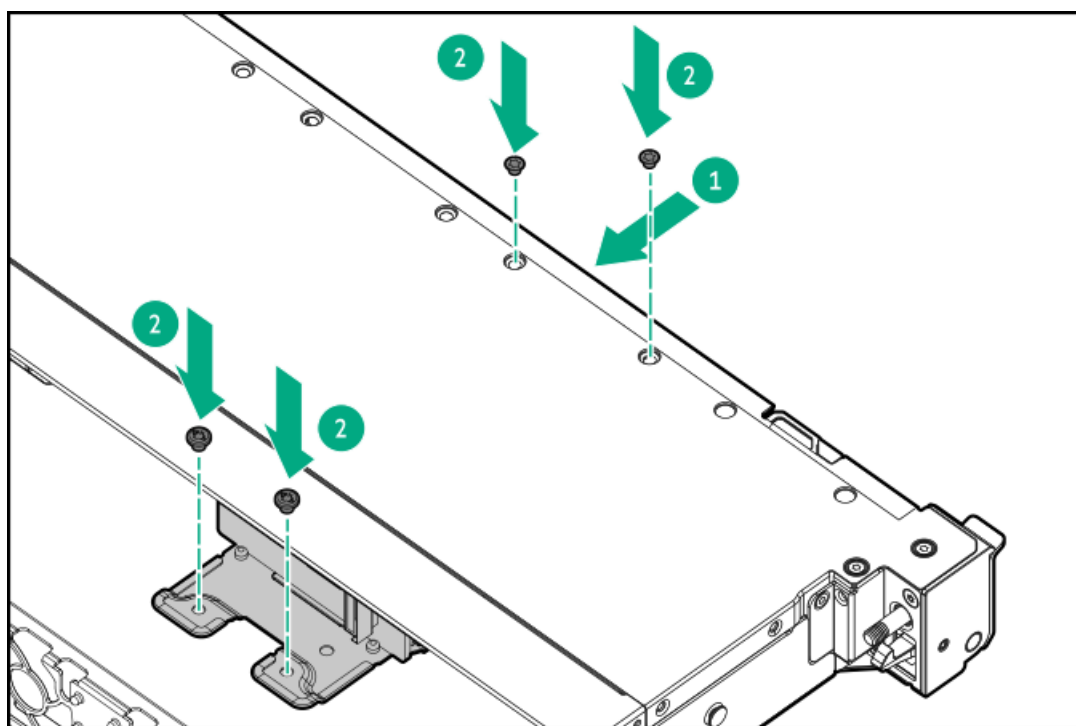
8. 以下のいずれかを実行します。
- ドライブを取り付けます。
 - ドライブブランクを取り付けます。



9. アクセスパネルを取り外します。
10. ドライブボックスブランクを取り外します。



11. 2 SFF (2.5型) ドライブケースを取り付けます。



12. 電源ケーブルを2 SFF (2.5型) ドライブバックプレーンに接続します。

13. データケーブルを接続します。

14. アクセスパネルを取り付けます。

15. サーバーをラックに取り付けます。

16. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。

17. 各電源コードをサーバーに接続します。

18. 各電源コードを電源ソースに接続します。

19. 取り外している場合は、フロントベゼルを取り付けます。

20. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

8 SFF (2.5型) ドライブ構成での2 SFF (2.5型) ドライブページの取り付け

前提条件

次のものがすべて揃っていることを確認してください。

- オプションキットに含まれているコンポーネント
- T-10トルクスドライバー
- 2 SFF (2.5型) ドライブまたはドライブブラנק

このタスクについて

2 SFF (2.5型) ドライブページは、8 SFF (2.5型) ドライブ構成のボックス2でサポートされます。



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

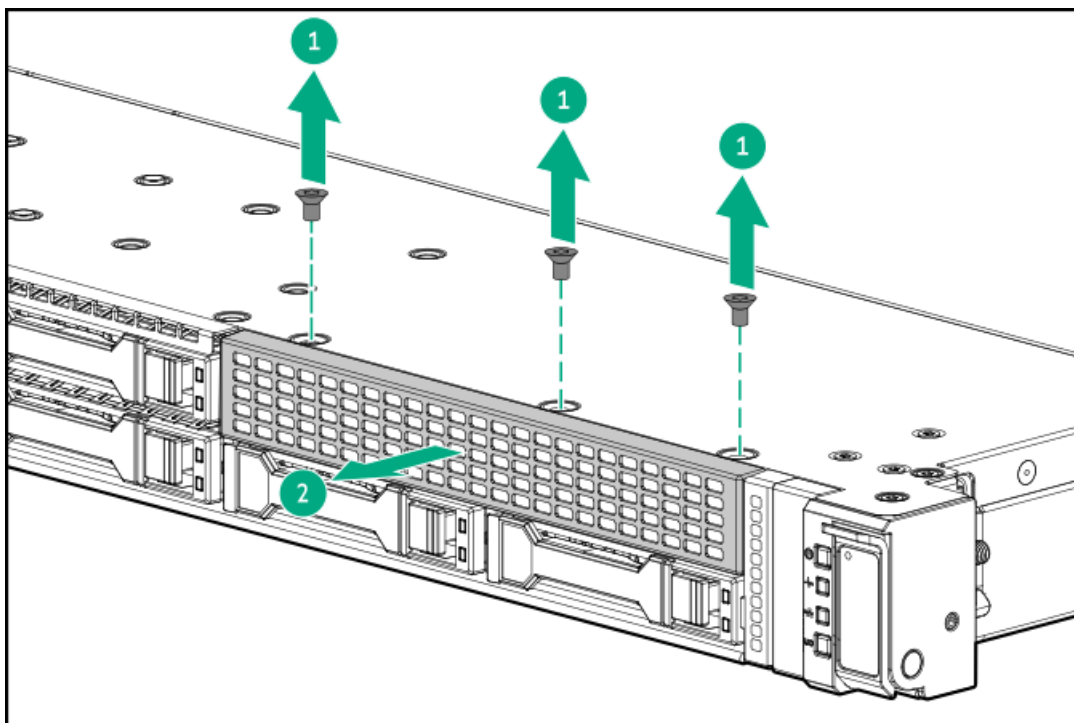


注意

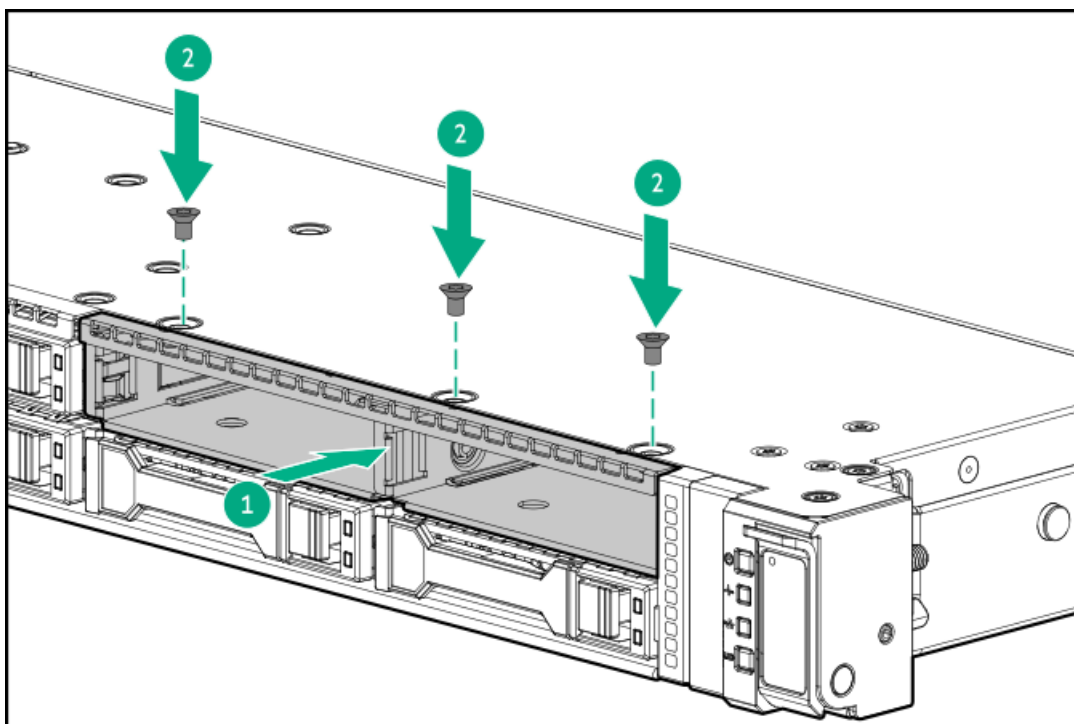
不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブラנקのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

手順

1. すべてのサーバーデータをバックアップします。
2. 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
3. サーバーの電源を切ります。
4. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
5. 以下のいずれかを実行します。
 - a. サーバーをラックから引き出します。
 - b. サーバーをラックから取り外します。
6. サーバーを平らで水平な面に置きます。
7. ユニバーサルメディアベイブラנקを取り外します。



8. 2 SFF (2.5型) ドライブを取り付けます。



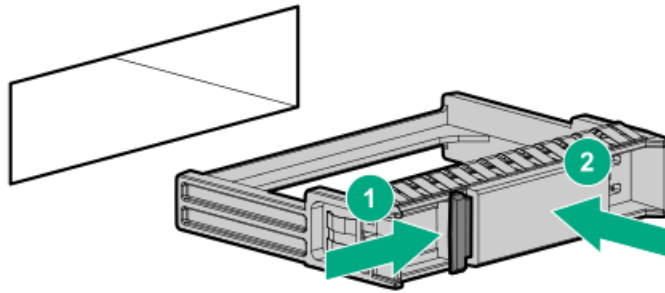
9. アクセスパネルを取り外します。

10. 電源ケーブルを8 SFF (2.5型) ドライブバックプレーンに接続します。

11. 信号ケーブルを接続します。

12. 以下のいずれかを実行します。

- ドライブを取り付けます。
- ドライブブランクを取り付けます。



13. アクセスパネルを取り付けます。
14. サーバーをラックに取り付けます。
15. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
16. 各電源コードをサーバーに接続します。
17. 各電源コードを電源ソースに接続します。
18. 取り外している場合は、フロントベゼルを取り付けます。
19. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

Energy Pack

サブトピック

HPE Smartストレージバッテリー
HPE Smartストレージハイブリッドキャパシター
Smartストレージバッテリー/キャパシターの取り付け

HPE Smartストレージバッテリー

1個の96Wバッテリーで最大24のデバイスをサポートできます。

バッテリーの取り付け後、充電に最大で2時間かかることがあります。バックアップ電源が必要なコントローラーの機能は、バッテリーがバックアップ電源をサポートできるようになるまで再度有効になりません。

このサーバーは、145 mmケーブル付き96 W HPE Smartストレージバッテリーをサポートします。

詳しくは、HPE SmartストレージバッテリーおよびハイブリッドキャパシターのQuickSpecsを参照してください。

https://www.hpe.com/psnow/doc/a00028553enw.pdf?jumpid=in_pdp-psnow-gs

HPE Smartストレージハイブリッドキャパシター

コンデンサーパックは、最大3つまでのデバイスをサポートできます。

このサーバーは、145 mmケーブル付きHPE Smartストレージハイブリッドキャパシターをサポートします。

HPE Smartストレージハイブリッドキャパシターを取り付ける前に、このコンデンサーパックをサポートするためのファームウェアの最小要件をシステムBIOSが満たしていることを確認します。



重要

システムBIOSまたはコントローラーファームウェアがファームウェアの最小推奨バージョンよりも古い場合、コンデンサーパックは1つのデバイスのみサポートします。

コンデンサーパックは、システムの起動後に完全に充電されています。

詳しくは、HPE SmartストレージバッテリーおよびハイブリッドキャパシターのQuickSpecsを参照してください。

https://www.hpe.com/psnow/doc/a00028553enw.pdf?jumpid=in_pdp-psnow-qc

Smartストレージバッテリー/キャパシターの取り付け

前提条件

ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネントが揃っていることを確認してください。

このタスクについて

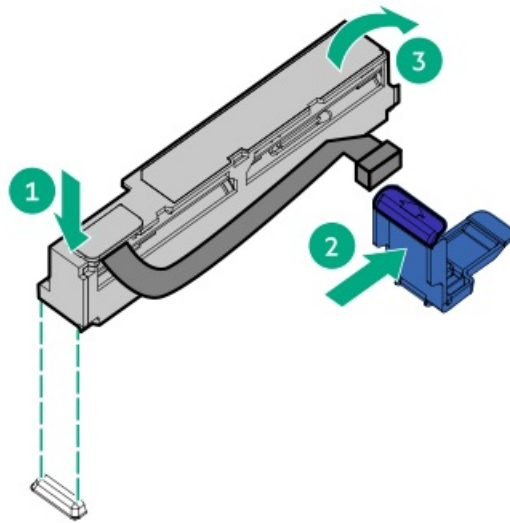


注意

電子部品の損傷を防止するために、正しくアースを行ってから取り付け、取り外し、または交換手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. 以下のいずれかを実行します。
 - a. サーバーをラックから引き出します。
 - b. サーバーをラックから取り外します。
4. サーバーを平らで水平な面に置きます。
5. アクセスパネルを取り外します。
6. Energy Packを取り付けます。



7. 延長ケーブルをEnergy Packに接続します。
8. ケーブルをシステムボードに接続します。
9. アクセスパネルを取り付けます。
10. サーバーをラックに取り付けます。
11. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
12. 各電源コードをサーバーに接続します。
13. 各電源コードを電源ソースに接続します。
14. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

GPU

サブトピック

プライマリライザーケースへのGPUの取り付け

プライマリライザーケースへのGPUの取り付け

前提条件

このオプションを取り付ける前に、電源装置がこのオプションの取り付けをサポートすることを確認します。
また、ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネントが揃っていることを確認してください。

このタスクについて



注意

ハードウェアエラーが認識されたために、DIMM、バックプレーン、拡張カード、ライザーボード、またはその他の類似のPCAコンポーネントを交換する前に、まずコンポーネントがスロットにしっかりと装着されていることを確認してください。

交換用コンポーネントを取り付ける場合：

- 静電気防止の注意事項に従ってください。
- PCAは両端だけを持つようにしてください。
- PCAのコンポーネントやコネクタに触れないでください。
- PCAを曲げたり折ったりしないでください。

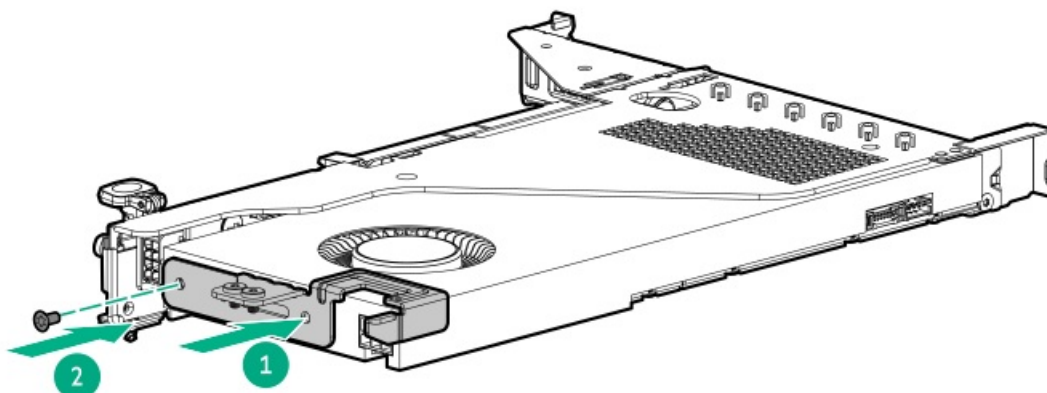


警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。

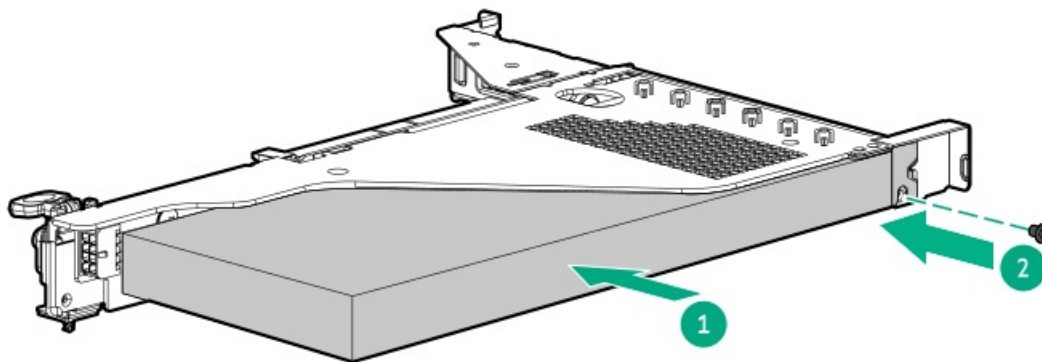
手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源の取り外し：
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. 以下のいずれかを実行します。
 - a. サーバーをラックから引き出します。
 - b. サーバーをラックから取り外します。
4. サーバーを平らで水平な面に置きます。
5. アクセスパネルを取り外します。
6. プライマリPCIライザーケースを取り外します。
7. GPUブラケットを取り付けます。



8. GPUをライザーケースに取り付けます。

75 W以上を必要とするGPUを取り付ける場合は、電源ケーブルをシステムボードに接続します。



9. カードにリアサポートが必要な場合は、GPUサポートブラケットを取り付けます。
10. プライマリPCIライザーケージを取り付けます。
11. アクセスパネルを取り付けます。
12. サーバーをラックに取り付けます。
13. 各電源コードをサーバーに接続します。
14. 各電源コードを電源に接続します。
15. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

管理

サブトピック

Systems Insight Displayの取り付け
シリアルポートオプションの取り付け

Systems Insight Displayの取り付け

前提条件

このオプションを取り付ける前に、次のものがすべて揃っていることを確認してください。

- ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネント
- T-10トルクスドライバー

このタスクについて

Systems Insight Displayは、8 SFF (2.5型) ドライブ構成でサポートされます。



注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

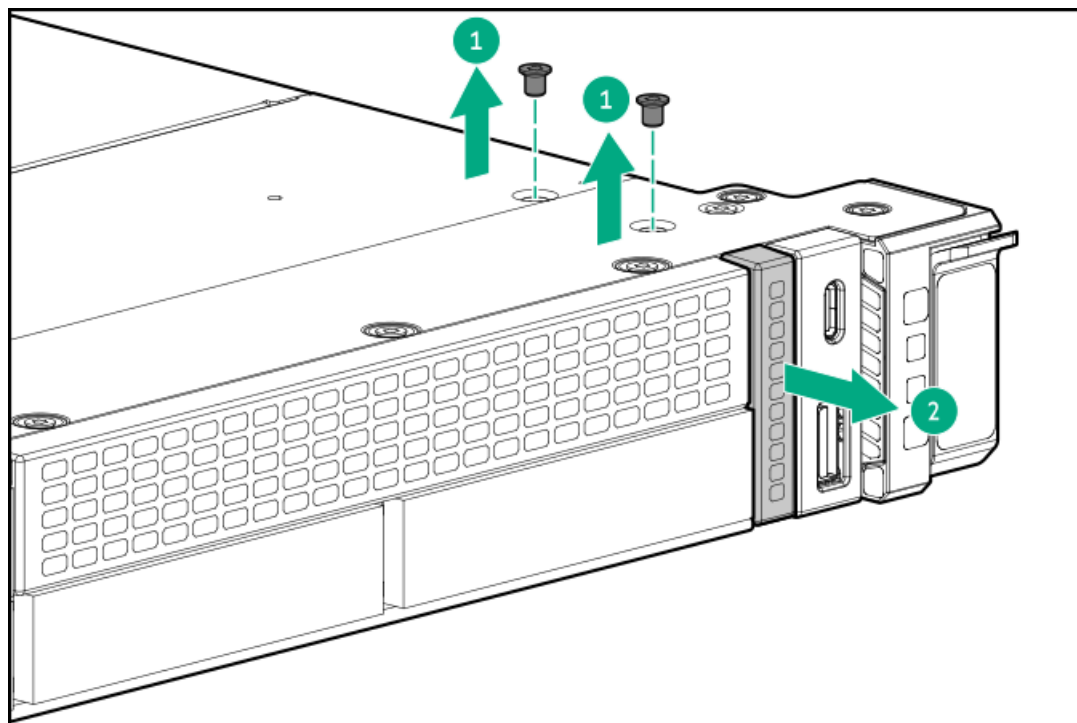


注意

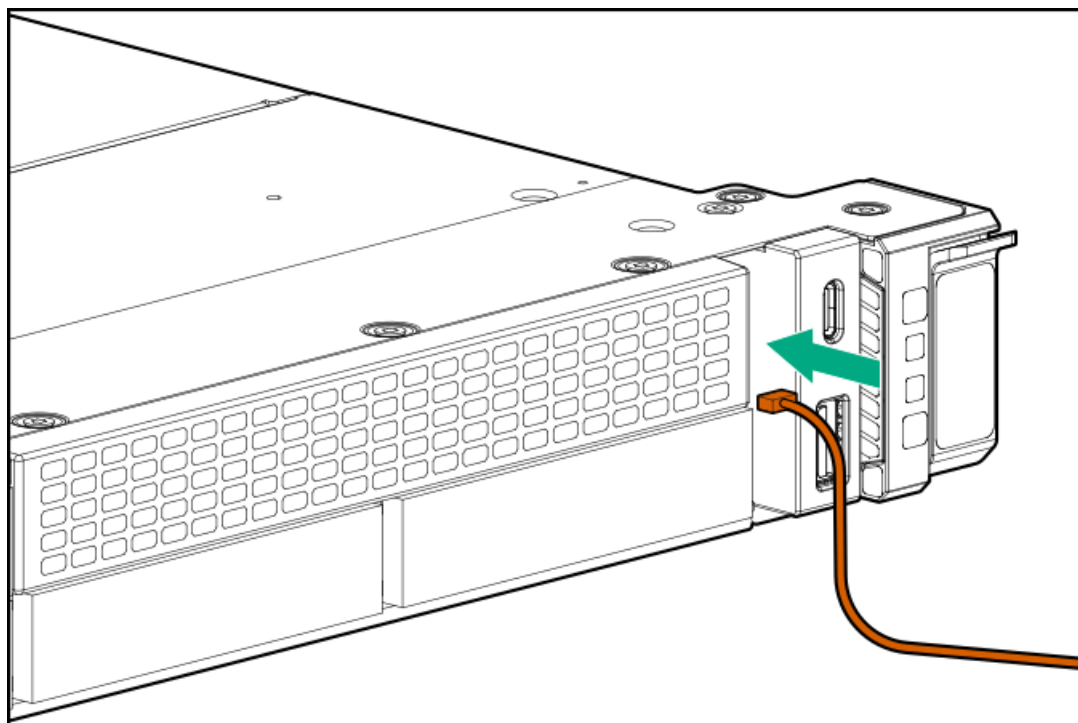
電子部品の損傷を防止するために、正しくアースを行ってから取り付け、取り外し、または交換手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

手順

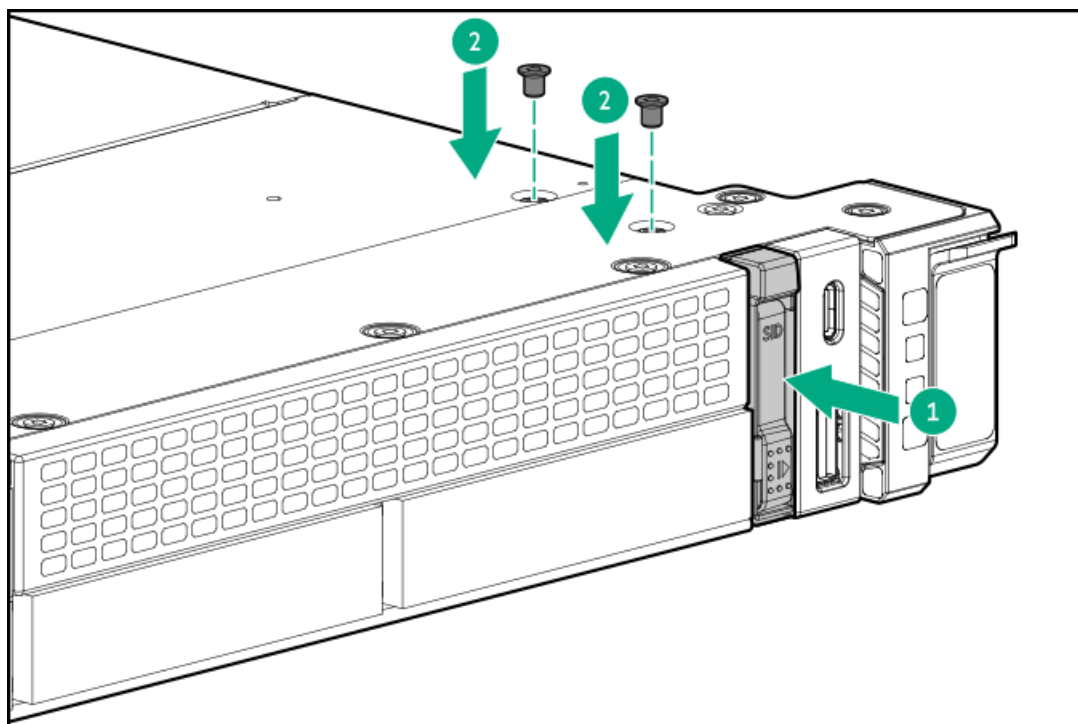
1. サーバーの電源を切ります。
2. 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
3. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
4. 以下のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから引き出します。
 - サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な面に置きます。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. SIDブランクを取り外します。



8. SIDケーブルをサーバーの前面を通して配線します。



9. SIDモジュールを取り付けます。



10. SIDケーブルをシステムボードに接続します。

11. アクセスパネルを取り付けます。

12. サーバーをラックに取り付けます。

13. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。

14. 各電源コードをサーバーに接続します。

15. 各電源コードを電源ソースに接続します。

16. 取り外している場合は、フロントベゼルを取り付けます。

17. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

シリアルポートオプションの取り付け

前提条件

このオプションを取り付ける前に、次のものがすべて揃っていることを確認してください。

- ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネント
- 5 mmナットドライバー

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

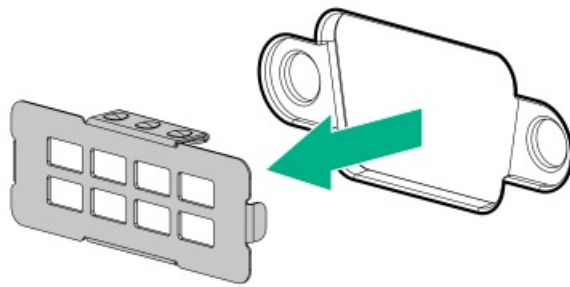


注意

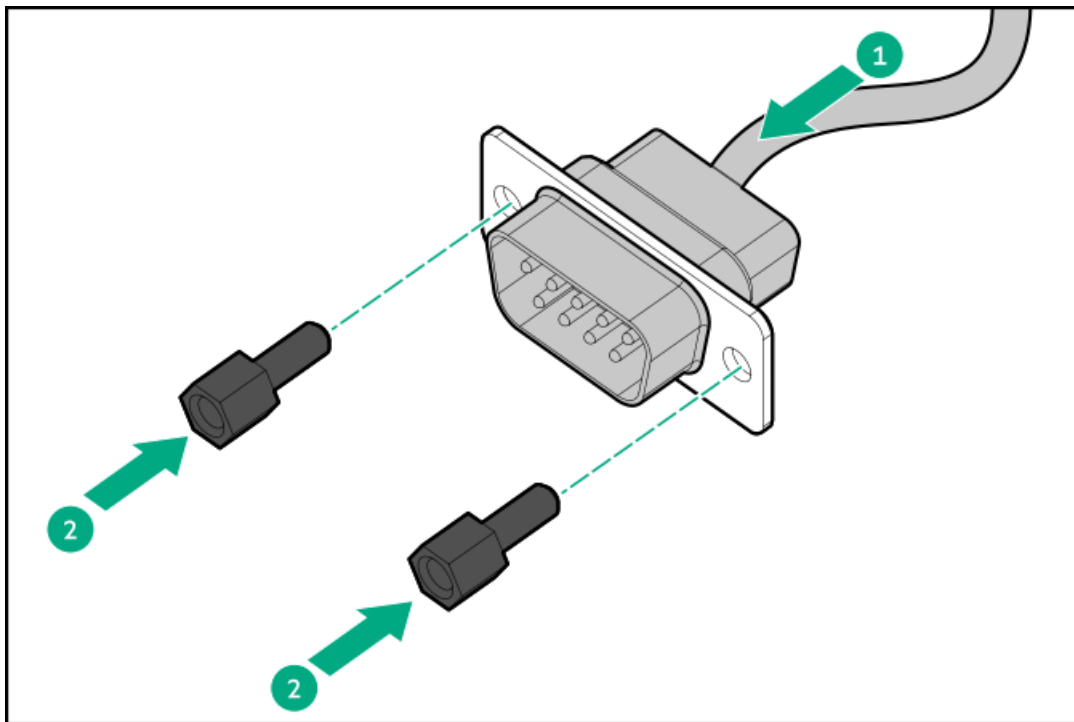
ポートブランクはEMIシールドを提供し、サーバー内の適切な熱状態を維持するのに役立ちます。対応するI/Oポートオプションが取り付けられていない状態でポートブランクが取り外されている場合は、サーバーを操作しないでください。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. 以下のいずれかを実行します。
 - a. サーバーをラックから引き出します。
 - b. サーバーをラックから取り外します。
4. サーバーを平らで水平な面に置きます。
5. アクセスパネルを取り外します。
6. シリアルポートブランクを取り外します。



7. 5 mmナットドライバーを使用してシリアルケーブルを取り付けます。



8. シリアルポートケーブルをシステムボードに接続します。
9. アクセスパネルを取り付けます。
10. サーバーをラックに取り付けます。
11. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
12. 各電源コードをサーバーに接続します。
13. 各電源コードを電源ソースに接続します。
14. サーバーの電源を入れます。

シリアルポートを構成する

15. シリアルポート設定を構成するには、以下を行います。
 - a. ブート画面で、F9キーを押して、UEFIシステムユーティリティにアクセスします。
 - b. システムユーティリティ画面で、システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムオプション > シリアルポートオプション > 内蔵シリアルポートを選択します。
 - c. 設定を選択します。
 - d. F12キーを押して、選択内容を保存します。
 - e. はい - 変更の保存をクリックします。

- f. 再起動をクリックします。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

メディアデバイス

サブトピック

4 LFF (3.5型) ディスプレイポート/USBオプションの取り付け

4 LFF (3.5型) オプティカルディスクドライブの取り付け

8 SFF (2.5型) ディスプレイポート/USB/オプティカルドライブブランクオプションの取り付け

8 SFF (2.5型) オプティカルディスクドライブの取り付け

混合ドライブタイプ構成のディスプレイポート/USB/オプティカルドライブブランクオプションとオプティカルドライブの取り付け

4 LFF (3.5型) ディスプレイポート/USBオプションの取り付け

前提条件

次のものがすべて揃っていることを確認してください。

- ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネント
- T-10トルクスドライバー

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。



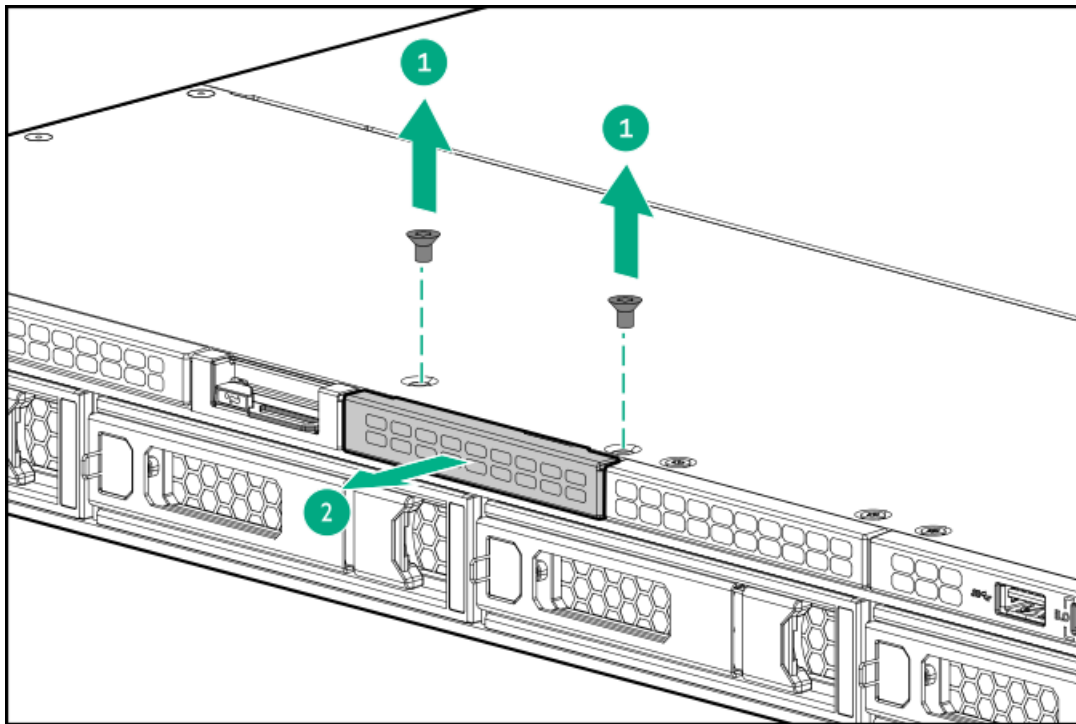
注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

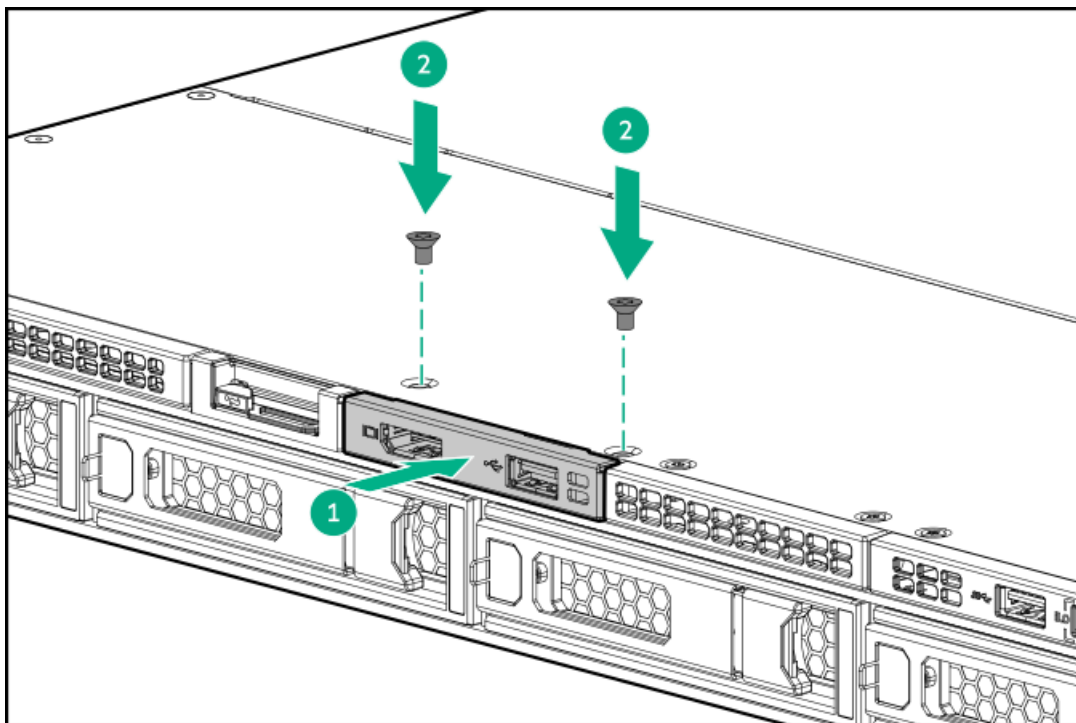
手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
3. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
4. 次のいずれかを実行します。
 - a. サーバーをラックから引き出します。
 - b. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な面に置きます。

6. アクセスパネルを取り外します。
7. トルクスT-10ドライバーを使用して、4 LFF（3.5型）ディスプレイポート/USBブランクを取り外します。



8. 4 LFF（3.5型）ディスプレイポート/USBモジュールを取り付けます。



9. ディスプレイポート/USBケーブルをシステムボードに接続します。
10. アクセスパネルを取り付けます。
11. サーバーをラックに取り付けます。
12. 各電源コードをサーバーに接続します。
13. 各電源コードを電源に接続します。

14. 取り外している場合は、フロントベゼルを取り付けます。

15. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

4 LFF (3.5型) オプティカルディスクドライブの取り付け

前提条件

このオプションを取り付ける前に、次のものがすべて揃っていることを確認してください。

- ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネント
- T-10トルクスドライバー
- プラスドライバー (No. 1)
- LFF (3.5型) オプティカルケーブルオプションキット
- オプティカルディスクドライブ

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

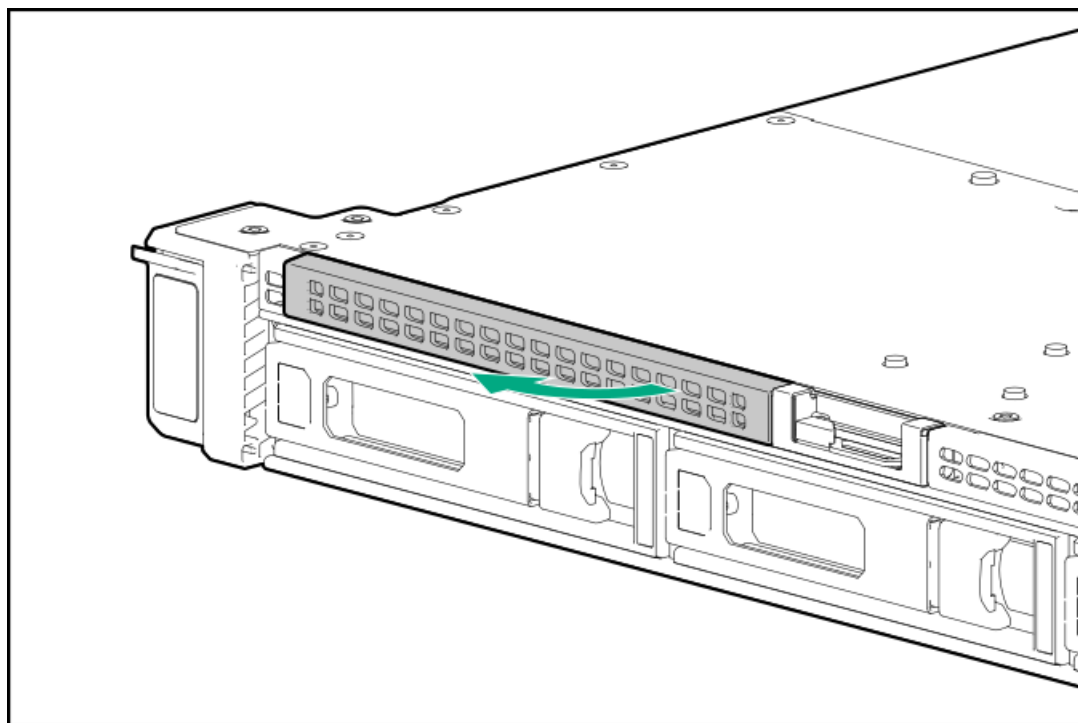


注意

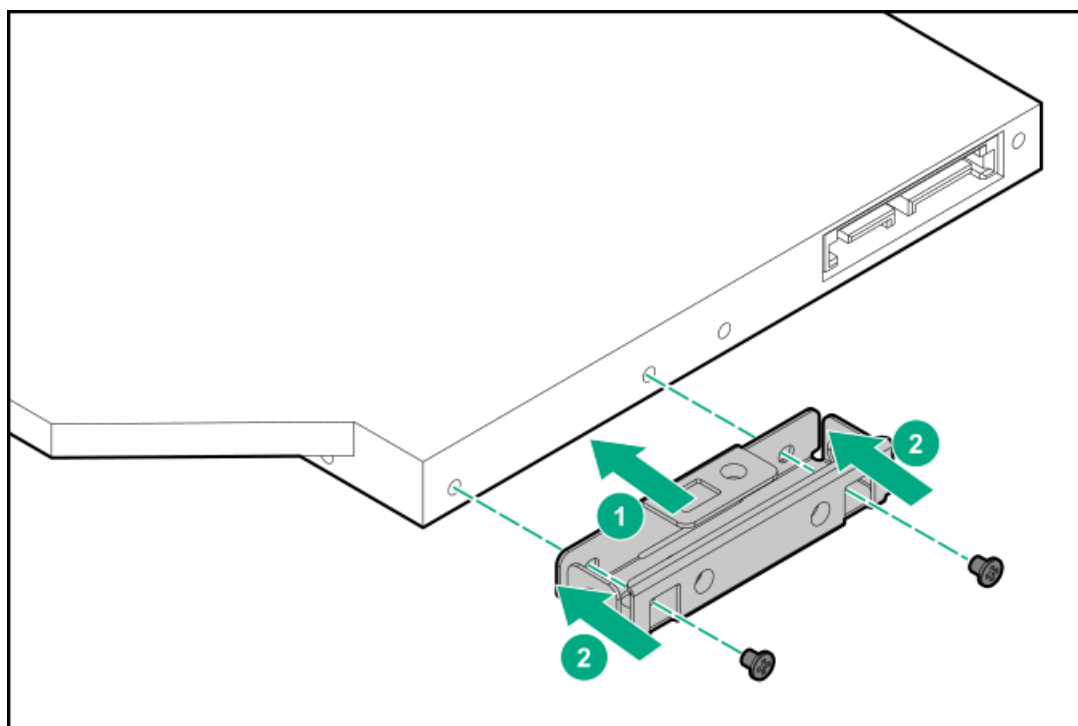
不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

手順

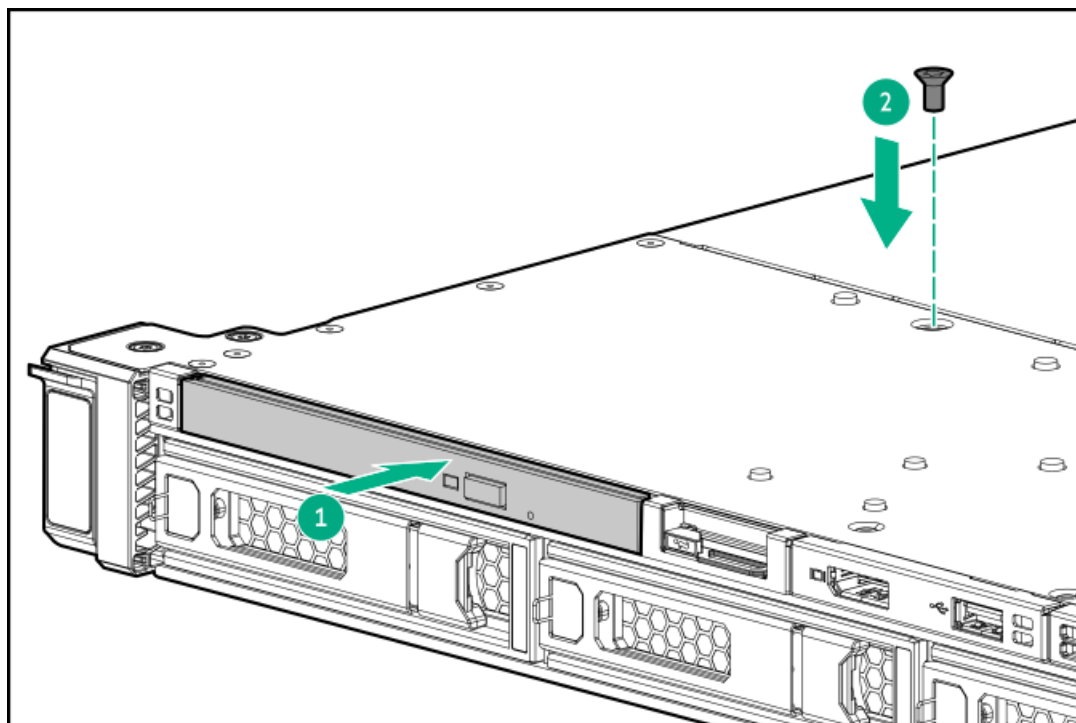
1. すべてのサーバーデータをバックアップします。
2. サーバーの電源を切ります。
3. すべての電源の取り外し：
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
4. 以下のいずれかを実行します。
 - a. サーバーをラックから引き出します。
 - b. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な面に置きます。
6. LFF (3.5型) オプティカルドライブベイブランクを取り外します。



7. オプティカルドライブブラケットを取り付けます。



8. オプティカルドライブを取り付けます。



9. アクセスパネルを取り外します。
10. ケーブルをシステムボードに接続します。
11. アクセスパネルを取り付けます。
12. サーバーをラックに取り付けます。
13. 各電源コードをサーバーに接続します。
14. 各電源コードを電源に接続します。
15. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

8 SFF (2.5型) ディスプレイポート/USB/オプティカルドライブblankオプションの取り付け

前提条件

このオプションを取り付ける前に、次のものがすべて揃っていることを確認してください。

- ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネント
- T-10トルクスドライバー

このタスクについて

このオプションは、スリムタイプのSATAオプティカルドライブの取り付けをサポートしています。



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

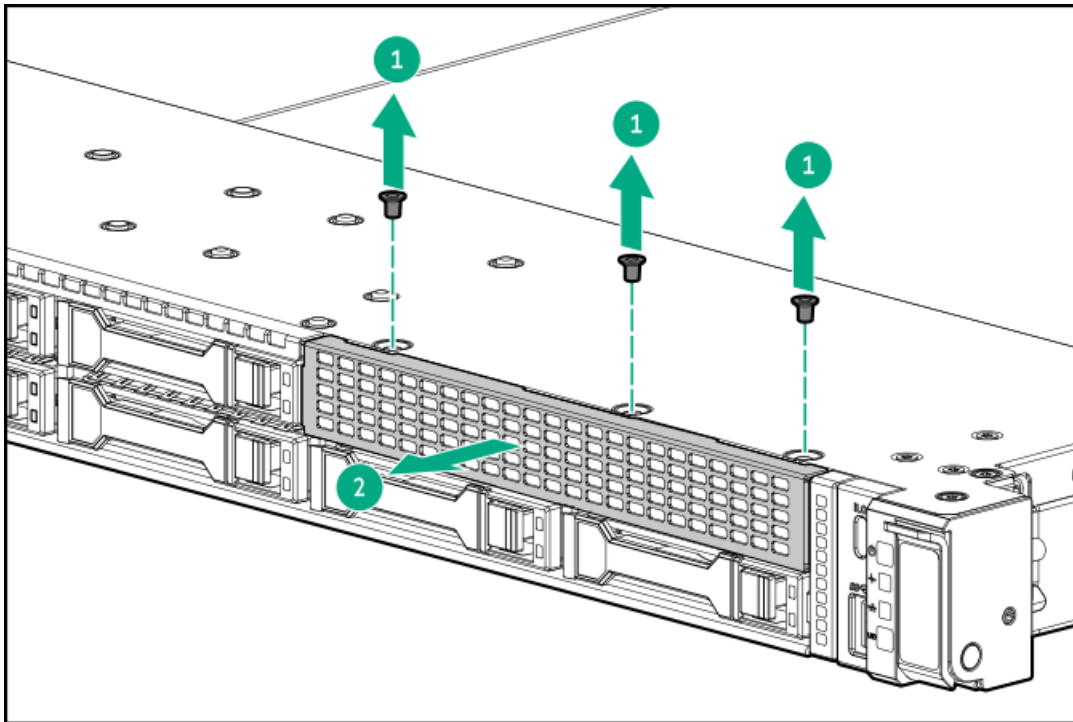


注意

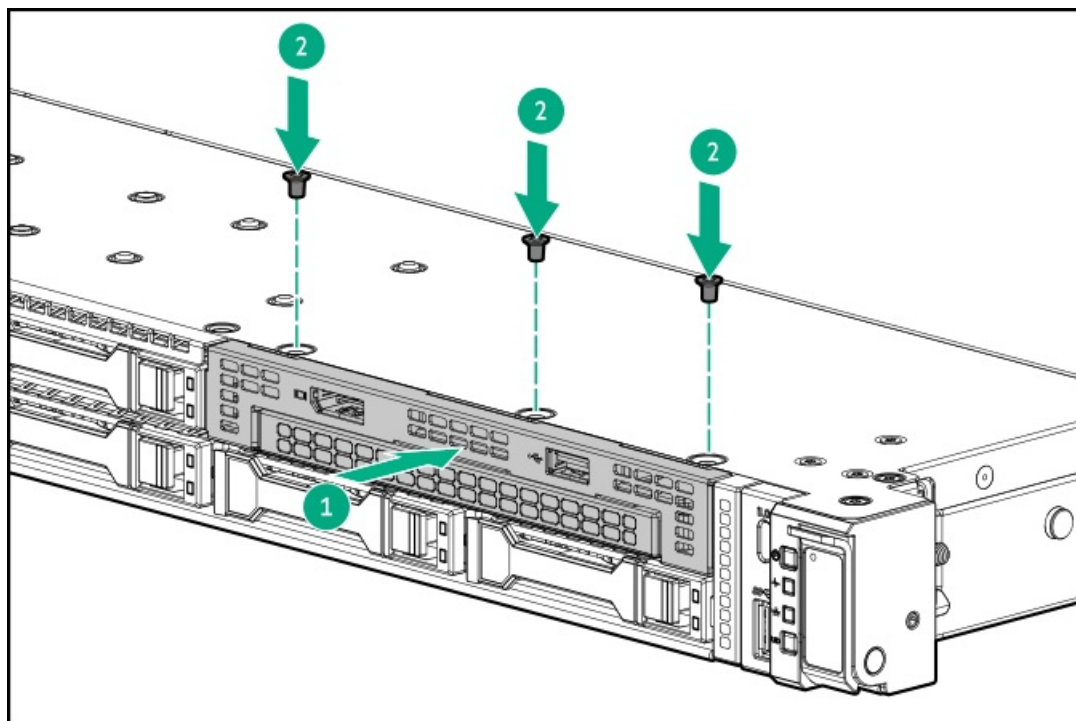
不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
3. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
4. 次のいずれかを実行します。
 - a. サーバーをラックから引き出します。
 - b. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な面に置きます。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. ベイブランクを取り外します。



8. 8 SFF (2.5型) ディスプレイポート/USB/オプティカルオプションを取り付けます。



9. ディスプレイポート/USBケーブルをシステムボードに接続します。
10. 必要な場合は、オプティカルドライブを取り付けます。
11. アクセスパネルを取り付けます。
12. サーバーをラックに取り付けます。
13. 各電源コードをサーバーに接続します。
14. 各電源コードを電源に接続します。
15. 取り外している場合は、フロントベゼルを取り付けます。
16. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

8 SFF (2.5型) オプティカルディスクドライブの取り付け

前提条件

- 8 SFF (2.5型) ディスプレイポート/USB/オプティカルブランクオプションを取り付けます。
- 次のものがすべて揃っていることを確認してください。
 - ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネント
 - T-10トルクスドライバー
 - プラスドライバー (No. 1)
 - オプティカルディスクドライブ

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

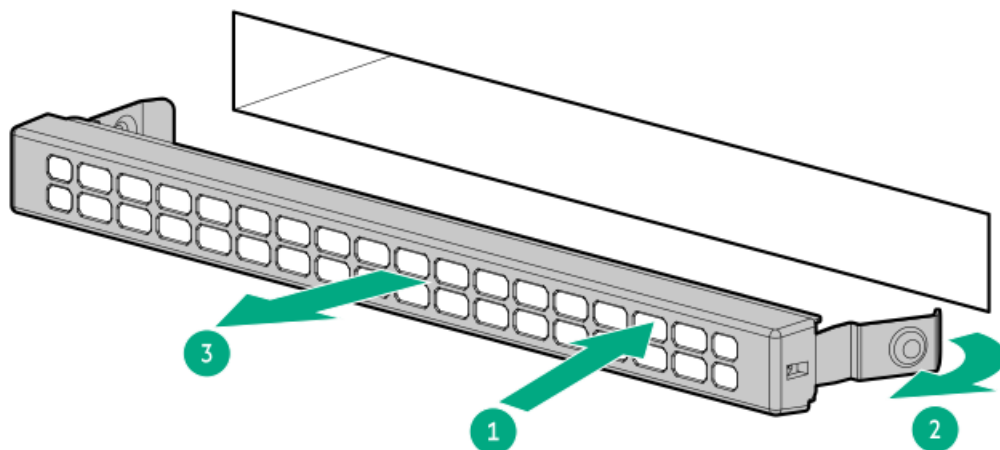


注意

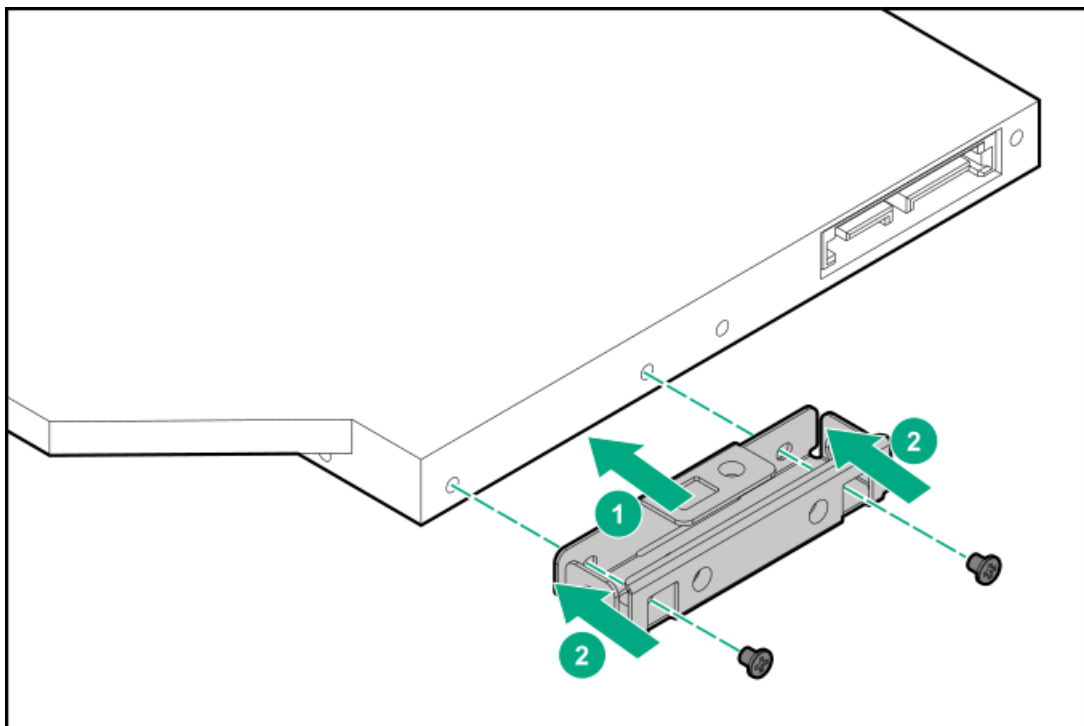
不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

手順

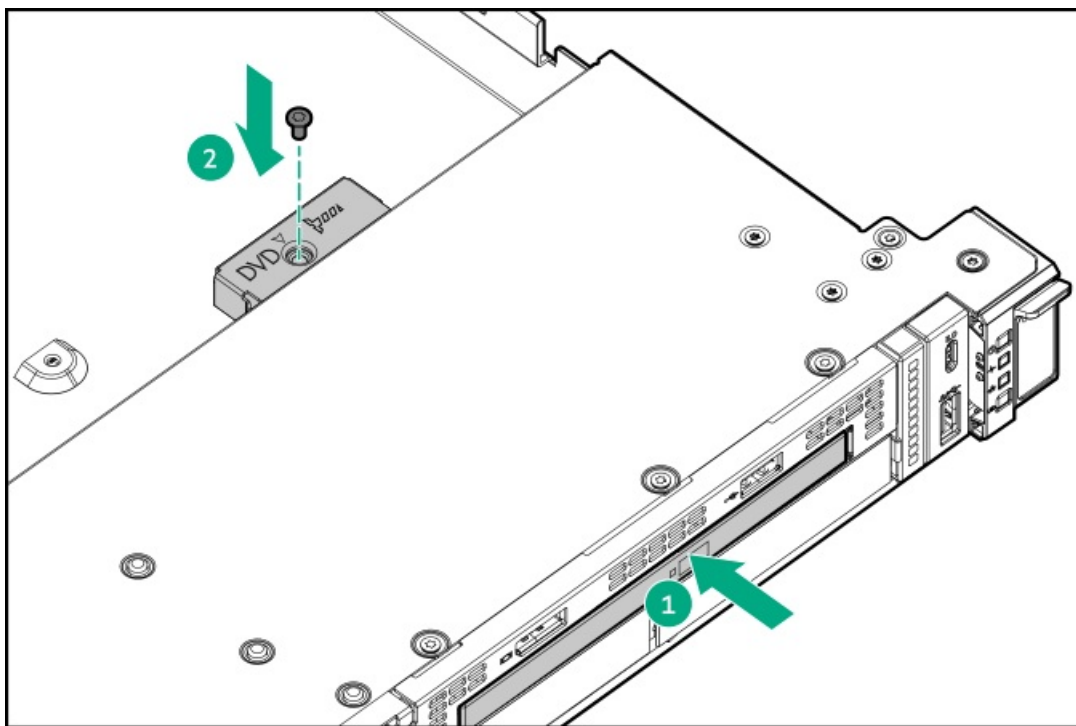
1. すべてのサーバーデータをバックアップします。
2. サーバーの電源を切ります。
3. すべての電源の取り外し：
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
4. 以下のいずれかを実行します。
 - a. サーバーをラックから引き出します。
 - b. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な面に置きます。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. オプティカルドライブブランクを取り外します。



8. オプティカルドライブブラケットを取り付けます。



9. オプティカルドライブを取り付けます。



10. オプティカルドライブのケーブルを接続します。

11. アクセスパネルを取り付けます。

12. サーバーをラックに取り付けます。

13. 各電源コードをサーバーに接続します。

14. 各電源コードを電源に接続します。

15. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

混合ドライブタイプ構成のディスプレイポート/USB/オプティカルドライブブランクオプションとオプティカルドライブの取り付け

前提条件

- ドライブボックスの番号を確認します。
- これらのオプションを取り付ける前に、次のものがすべて揃っていることを確認してください。
 - ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネント
 - T-10トルクスドライバー
 - プラスドライバー (No. 1)
 - (オプション) オプティカルディスクドライブ

このタスクについて

このオプションは、混合ドライブタイプ構成のボックス4~5でサポートされます。



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。



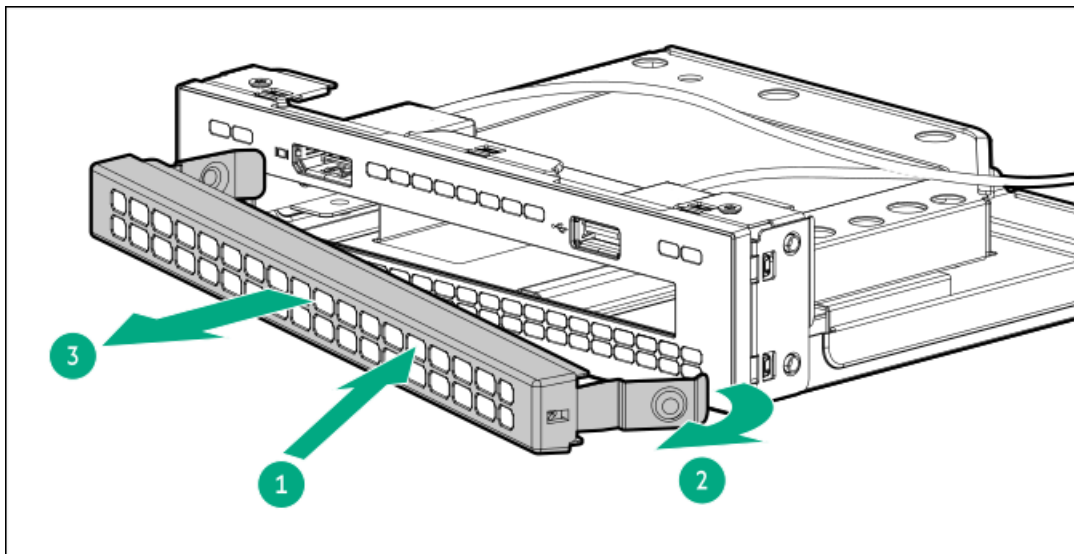
注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

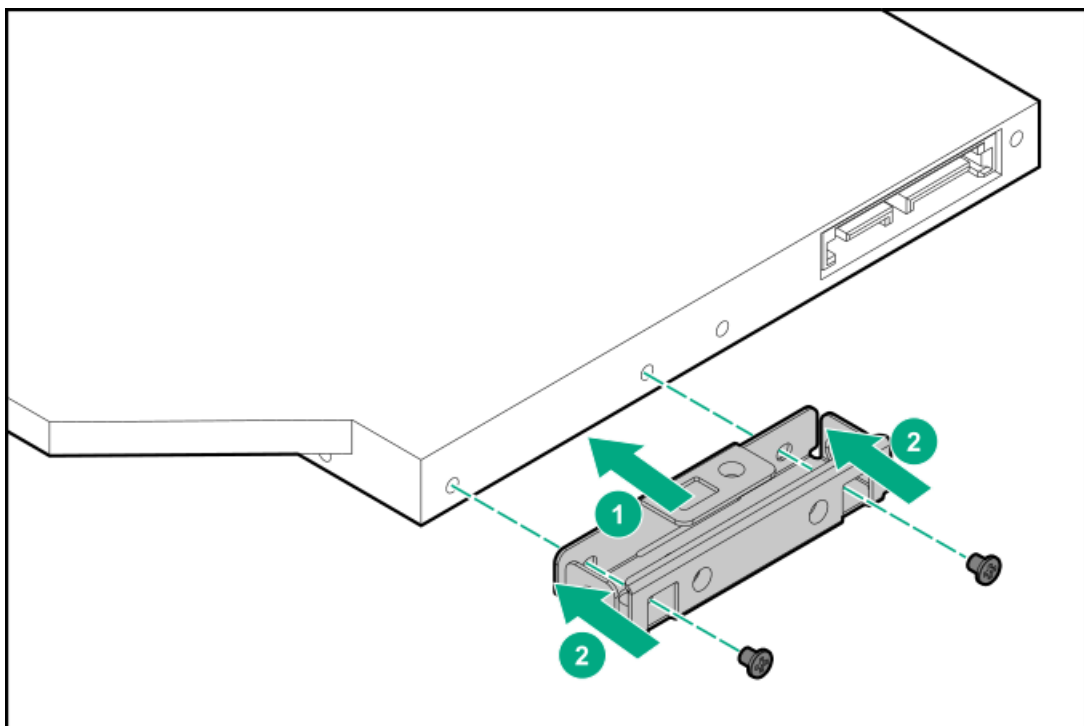
手順

(オプション) オプティカルディスクドライブの取り付け

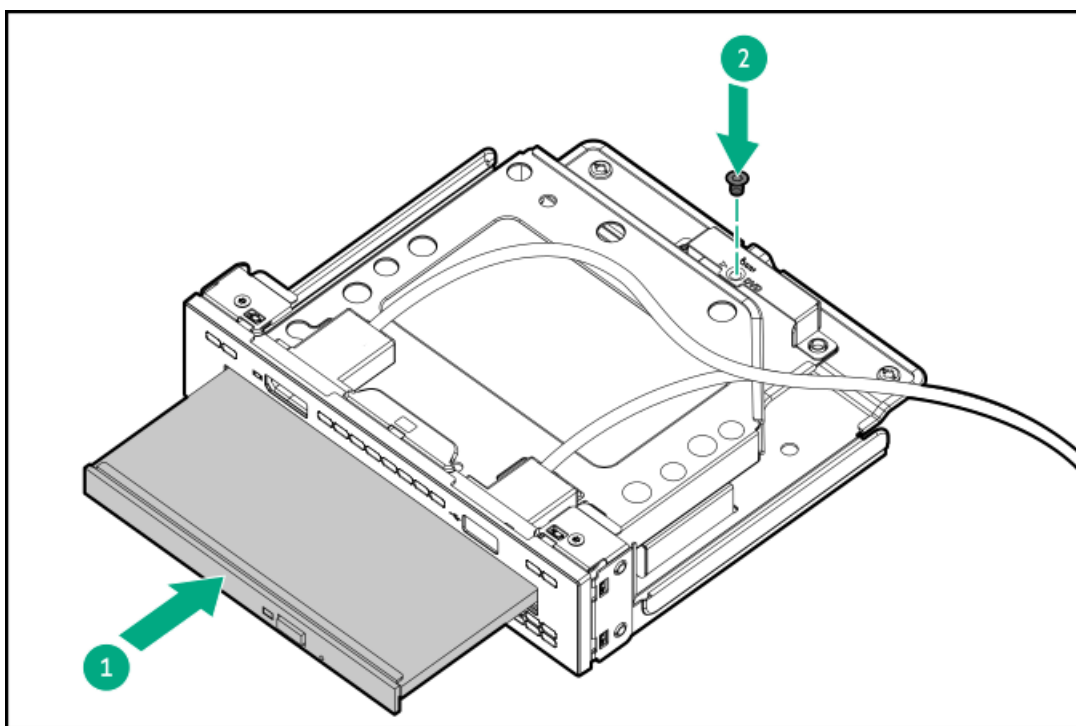
1. オプティカルドライブブランクを取り外します。



2. オプティカルドライブブラケットを取り付けます。



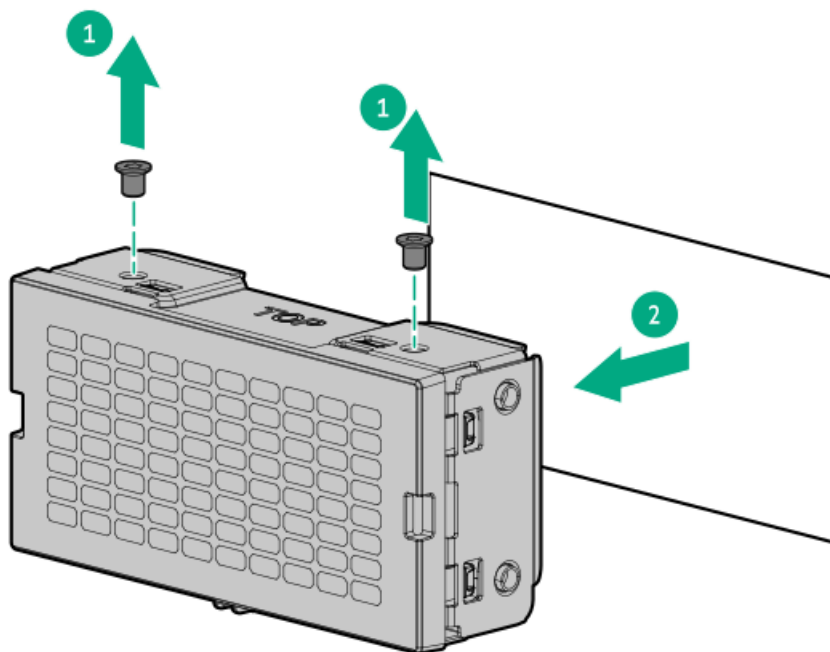
3. オプティカルドライブを取り付けます。



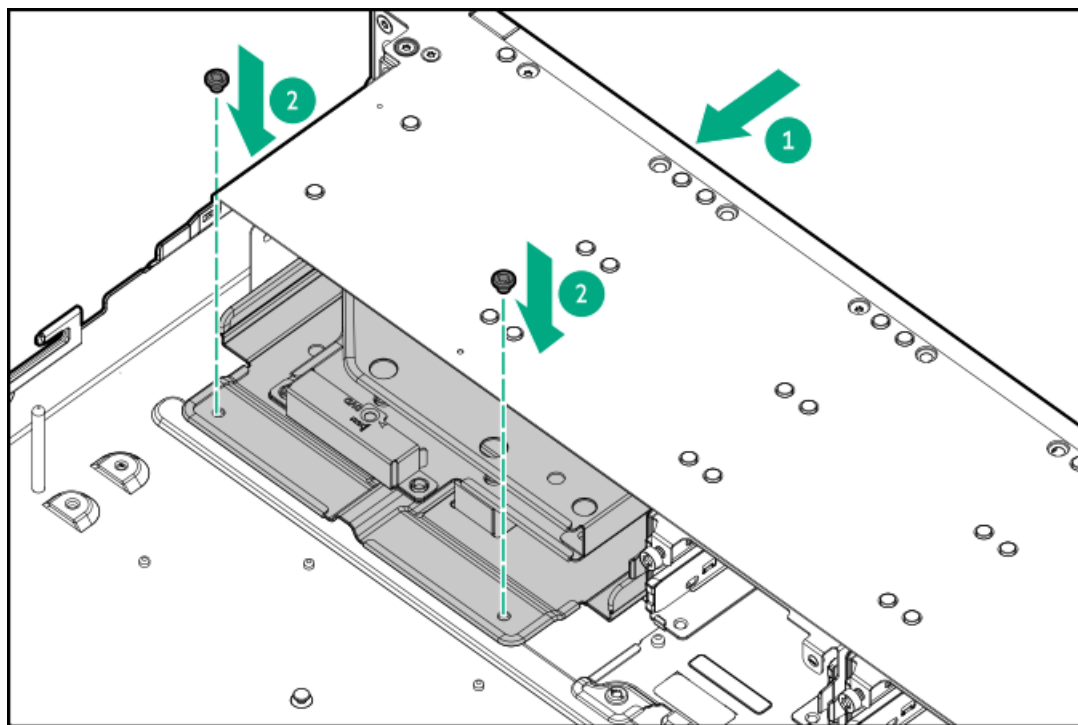
ディスプレイポート/USB/オプティカルブランクの取り付け

4. すべてのサーバーデータをバックアップします。
5. 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
6. サーバーの電源を切ります。
7. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
8. 次のいずれかを実行します。

- a. サーバーをラックから引き出します。
 - b. サーバーをラックから取り外します。
9. サーバーを平らで水平な面に置きます。
10. アクセスパネルを取り外します。
11. ドライブボックス4およびボックス5からブランクを取り外します。



12. ディスプレイポート/USB/オプティカルブランクオプションを取り付けます。



13. オプティカルドライブが取り付けられている場合は、オプティカルドライブケーブルを接続します。
14. ディスプレイポート/USBケーブルを接続します。

15. アクセスパネルを取り付けます。
16. サーバーをラックに取り付けます。
17. 各電源コードをサーバーに接続します。
18. 各電源コードを電源に接続します。
19. 取り外している場合は、フロントベゼルを取り付けます。
20. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

メモリ

サブトピック

HPE Smartメモリの速度と取り付け情報

DIMMの取り付けに関するガイドライン

DIMMブランクの取り付け

DIMMの取り付け

HPE Smartメモリの速度と取り付け情報

Intel Xeon 6プロセッサを使用したHPEサーバーのメモリ速度とサーバー固有のDIMM取り付けルールについては、次の関連するメモリのテクニカルペーパーを参照してください。

<https://www.hpe.com/docs/server-memory>

DIMMの取り付けに関するガイドライン

DIMMを取り扱うときは、次のことに従ってください。

- 静電気防止の注意事項に従ってください。
- DIMMは両端だけを持つようにしてください。
- DIMMの両側のコンポーネントに触れないでください。
- DIMMの下部にあるコネクタに触れないでください。
- DIMMを握るようにして持たないでください。
- DIMMを決して曲げたり、収縮させないでください。

DIMMを取り付けるときは、次のことに従ってください。

- DIMMの位置を合わせて固定する際は、2本の指でDIMMの両端を持つようにしてください。
- DIMMを取り付けるには、DIMMの上部にそって2本の指で軽く押しつけます。

詳しくは、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト (<https://www.hpe.com/support/DIMM-20070214-CN>) を参照してください。

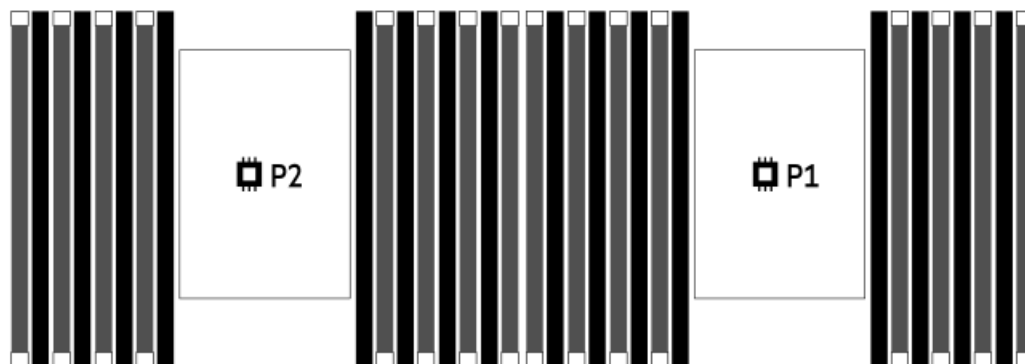
DIMMブランクの取り付け

このタスクについて



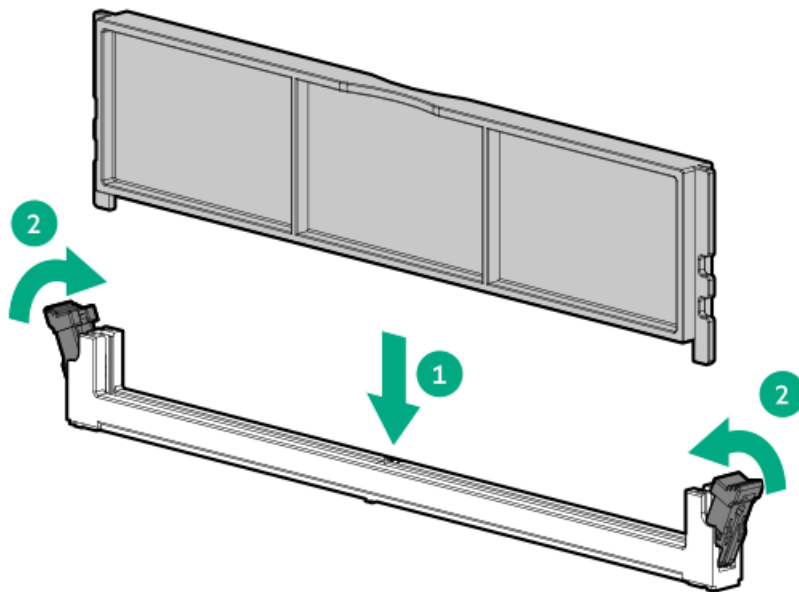
重要

このサーバーでは、使用可能なすべてのDIMMスロットにDIMMブランクが必要です。



手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源の取り外し：
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. 次のいずれかを実行します。
 - a. サーバーをラックから引き出します。
 - b. サーバーをラックから取り外します。
4. アクセスパネルを取り外します。
5. DIMMスロットのラッチを開きます。
6. DIMMブランクを取り付けます。



7. アクセスパネルを取り付けます。
8. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
9. 各電源コードをサーバーに接続します。
10. 各電源コードを電源に接続します。
11. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

DIMMの取り付け

前提条件

- ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネントが揃っていることを確認してください。
- 以下の内容を確認してください。
 - DIMMの取り付け情報
 - DIMMの取り付けに関するガイドライン
 - ファンとヒートシンクの要件
- DIMMスロットのすべてには装着されておらず、標準ヒートシンクまたは高性能ヒートシンクが取り付けられている場合は、DIMMブランクキット（810392-B21）を取り付けます。

このタスクについて

このサーバーは、最大32枚のDIMMをサポートします。



注意

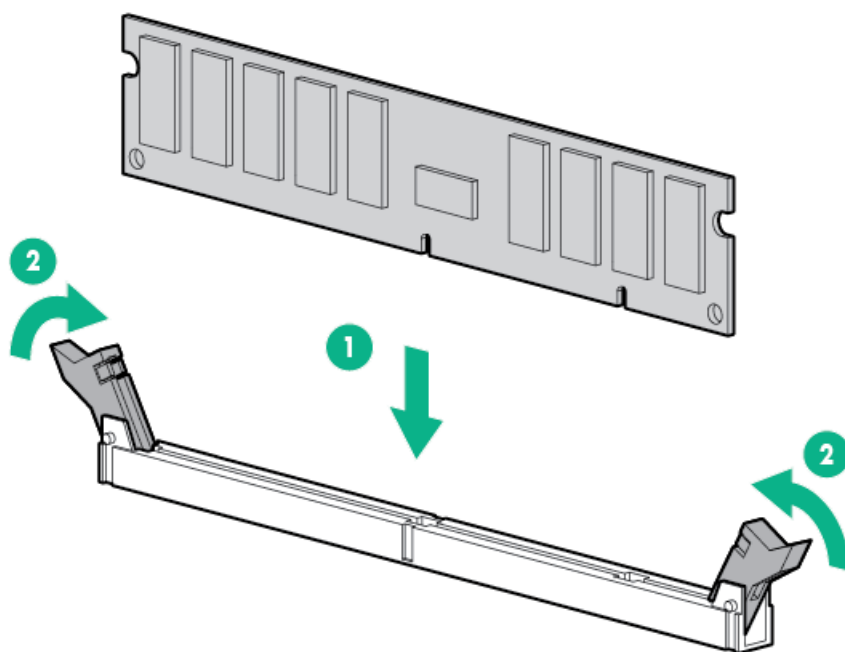
ハードウェアエラーが認識されたために、DIMM、バックプレーン、拡張カード、ライザーボード、またはその他の類似のPCAコンポーネントを交換する前に、まずコンポーネントがスロットにしっかりと装着されていることを確認してください。

交換用コンポーネントを取り付ける場合：

- 静電気防止の注意事項に従ってください。
- PCAは両端だけを持つようにしてください。
- PCAのコンポーネントやコネクタに触れないでください。
- PCAを曲げたり折ったりしないでください。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. 以下のいずれかを実行します。
 - a. サーバーをラックから引き出します。
 - b. サーバーをラックから取り外します。
4. サーバーを平らで水平な面に置きます。
5. アクセスパネルを取り外します。
6. DIMMスロットのラッチを開きます。
7. DIMMを取り付けます。



8. アクセスパネルを取り付けます。
9. サーバーをラックに取り付けます。

10. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
11. 各電源コードをサーバーに接続します。
12. 各電源コードを電源ソースに接続します。
13. サーバーの電源を入れます。
14. メモリ設定を構成するには、以下を行います。
 - a. ブート画面で、**F9**キーを押して、UEFIシステムユーティリティにアクセスします。
 - b. システムユーティリティ画面で、システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > メモリオプションを選択します。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

LEDおよび障害が発生したDIMMのトラブルシューティングについて詳しくは、[Systems Insight Display LEDの組み合わせについての説明](#)を参照してください。

ネットワーク

サブトピック

[リアOCPネットワークアダプターの取り付け](#)
[PCIeネットワークアダプターの取り付け](#)

リアOCPネットワークアダプターの取り付け

前提条件

- 以下の内容を確認してください。
 - [OCP NIC 3.0スロットの番号](#)
 - [ファンとヒートシンクの要件](#)
- OCP NIC 3.0 x16アダプターを取り付ける場合は、[OCP帯域幅アップグレードケーブル](#)が必要です。
- この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。
 - ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネント
 - T-10トルクスドライバー
 - スパッジャーまたは小さな持ち上げ工具

このタスクについて



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

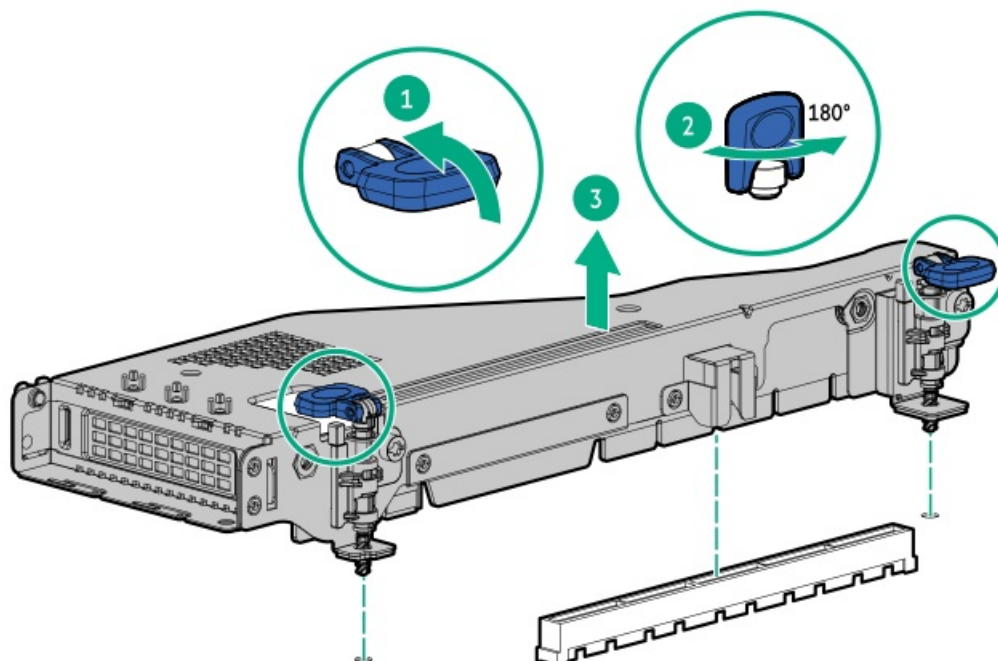


注意

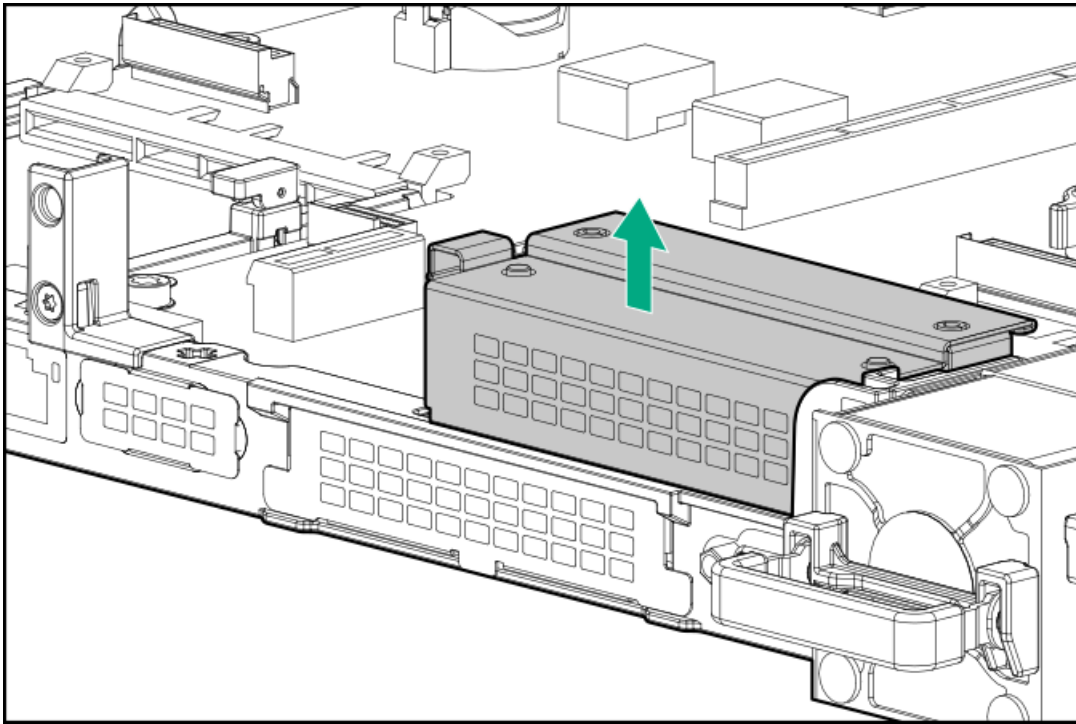
ポートブランクはEMIシールドを提供し、サーバー内の適切な熱状態を維持するのに役立ちます。対応するI/Oポートオプションが取り付けられていない状態でポートブランクが取り付けられている場合は、サーバーを操作しないでください。

手順

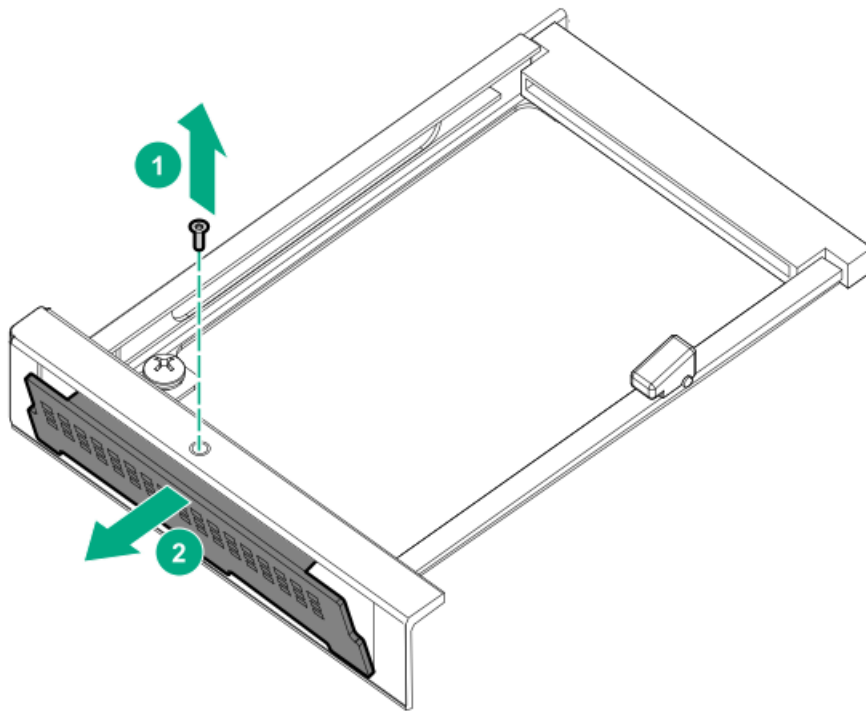
1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. 以下のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから引き出します。
 - サーバーをラックから取り外します。
4. サーバーを平らで水平な面に置きます。
5. アクセスパネルを取り外します。
6. 以下のいずれかを実行します。
 - スロット14 OCP AIにOCPアダプターを取り付ける場合は、プライマリライザーケージを取り外します。
 - スロット15 OCP BIにOCPアダプターを取り付ける場合は、セカンダリライザーケージまたはライザーブランクを取り外します。
 - セカンダリロープロファイルライザーケージ



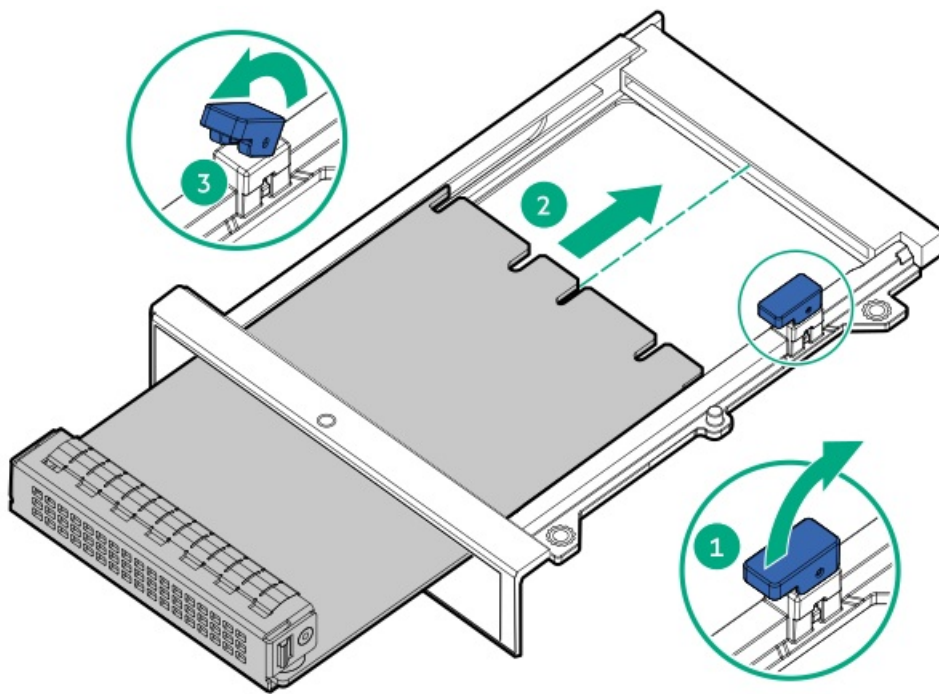
- 。 ライザーブランク



7. OCPアダプターブランクを取り外します。



8. ネットワークアダプターを取り付けます。



9. (オプション) QCP帯域幅アップグレードケーブルを接続します。
10. 以下のいずれかを実行します。
 - プライマリライザーケージを取り外している場合は、取り付けます。
 - 取り外されている場合、セカンダリライザーケージまたはライザーブラックを取り付けます。
11. アクセスパネルを取り付けます。
12. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
13. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
14. 各電源コードをサーバーに接続します。
15. 各電源コードを電源ソースに接続します。
16. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

PCIeネットワークアダプターの取り付け

前提条件

- 以下の内容を確認してください。
 - ライザースロットの番号
 - ファンとヒートシンクの要件
- このオプションを取り付ける前に、次のものがすべて揃っていることを確認してください。
 - ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネント
 - T-10トルクスドライバー

このタスクについて



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。



注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのPCIeスロットに必ず、ライザースロットブランクか拡張カードのいずれかを実装してから、サーバーを動作させてください。

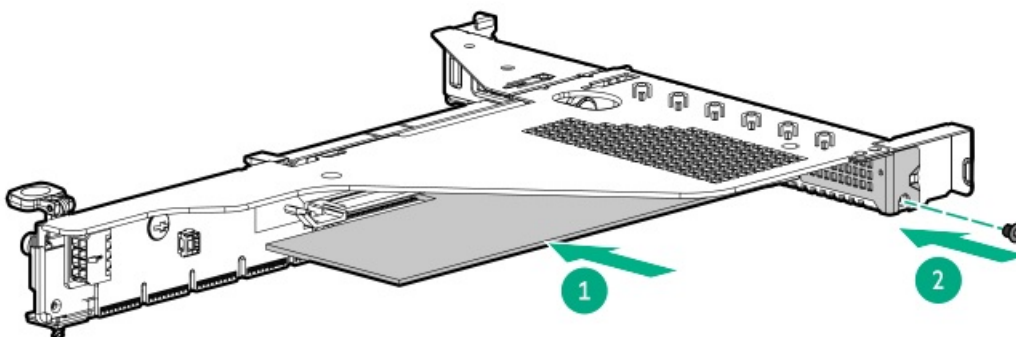


注意

電子部品の損傷を防止するために、サーバーに正しくアースを行ってから、取り付け手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

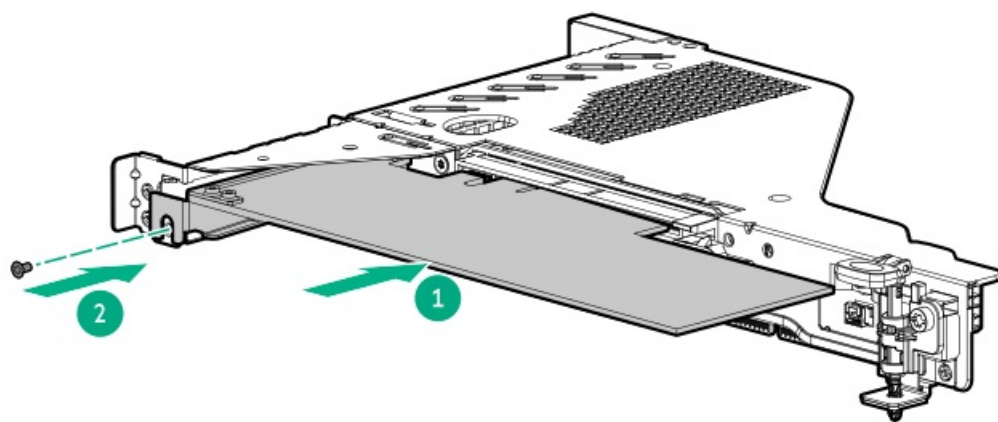
手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. 以下のいずれかを実行します。
 - a. サーバーをラックから引き出します。
 - b. サーバーをラックから取り外します。
4. サーバーを平らで水平な面に置きます。
5. アクセスパネルを取り外します。
6. 以下のいずれかを実行します。
 - アダプターをプライマリライザーのスロット1に取り付けるには、以下の手順に従います。
 - a. プライマリPCIライザーケージを取り外します。
 - b. ブランクを取り外します。
 - c. アダプターを取り付けます。



- アダプターをプライマリライザーのスロット2に取り付けるには、以下の手順に従います。
 - a. プライマリPCIライザーケージを取り外します。
 - b. ブランクを取り外します。

- c. アダプターを取り付けます。



7. ライザーケージを取り付けます。
8. アクセスパネルを取り付けます。
9. サーバーをラックに取り付けます。
10. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
11. 各電源コードをサーバーに接続します。
12. 各電源コードを電源ソースに接続します。
13. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

OSブートデバイス

サブトピック

ブートデバイスドライブの取り付け

内部またはライザーケージブートデバイスの取り付け

混合ドライブタイプ構成でのフロントパネルブートデバイスの取り付け

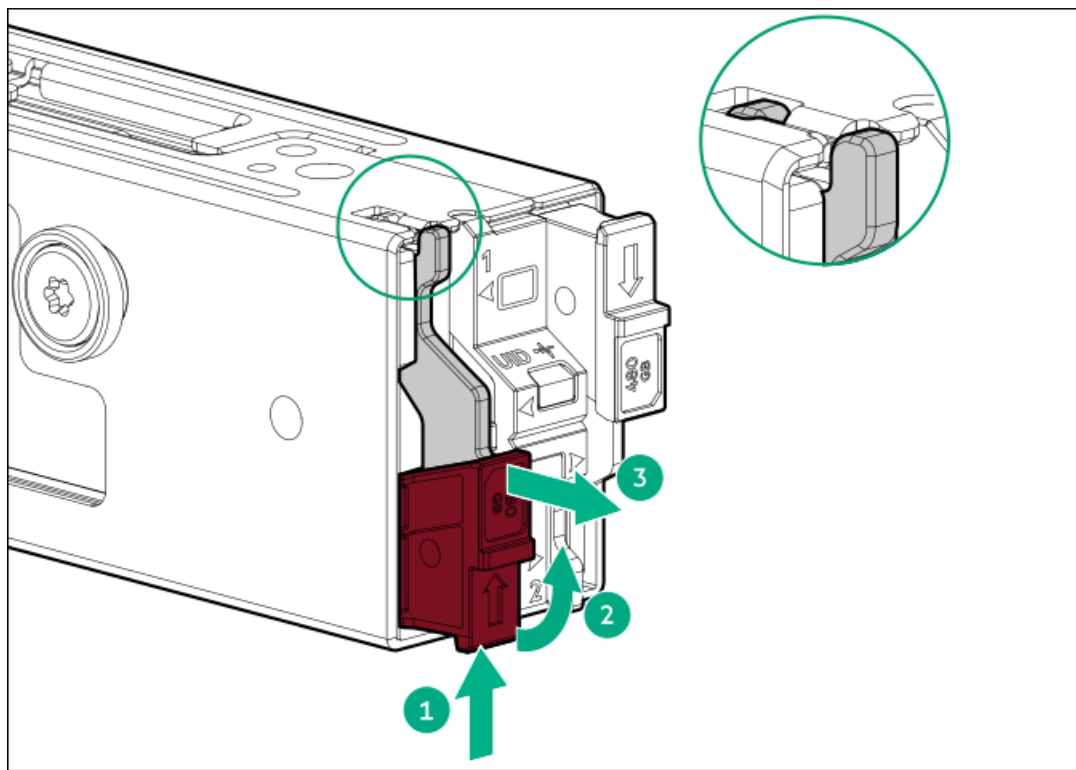
ブートデバイスドライブの取り付け

前提条件

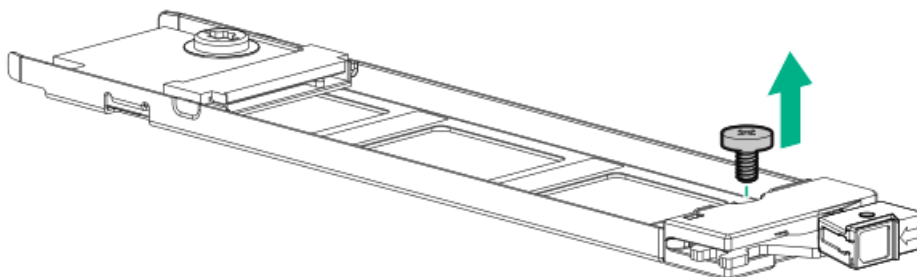
この手順を実行する前に、プラスドライバー（No. 1）を用意しておきます。

手順

1. ボタンを押してキャリアを引き出します。



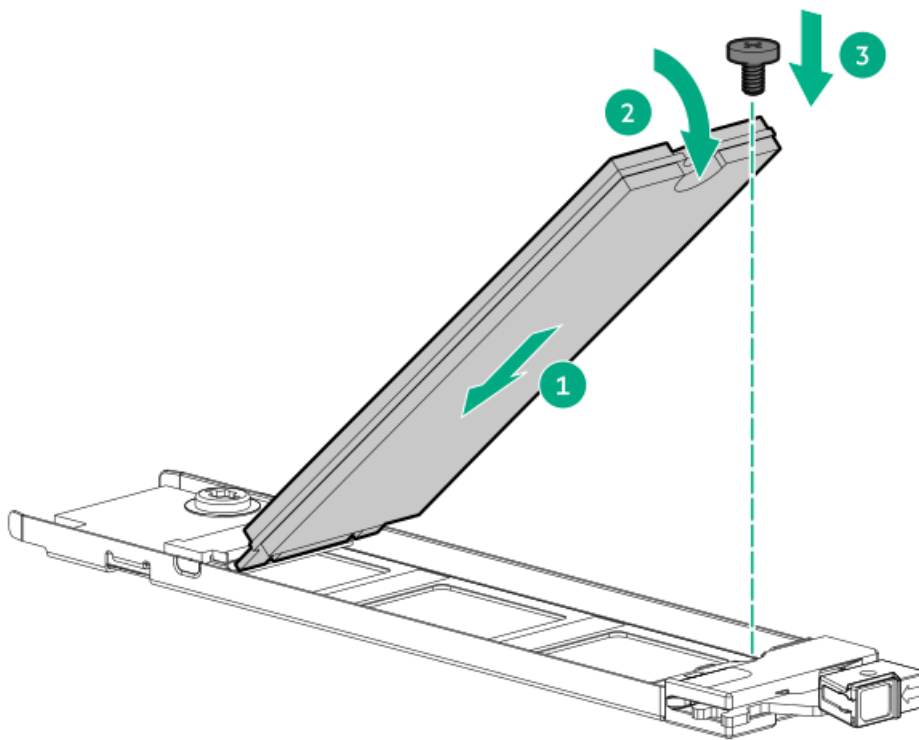
2. SSD取り付けネジを取り外します。



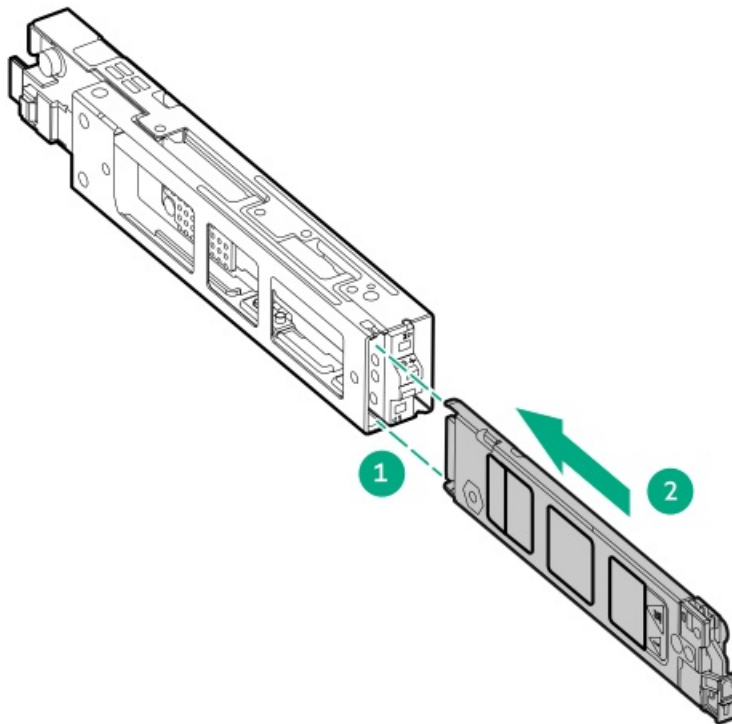
3. SSDを45度の角度でM.2スロットに挿入します。

4. SSDを水平位置までゆっくりと押し下げます。

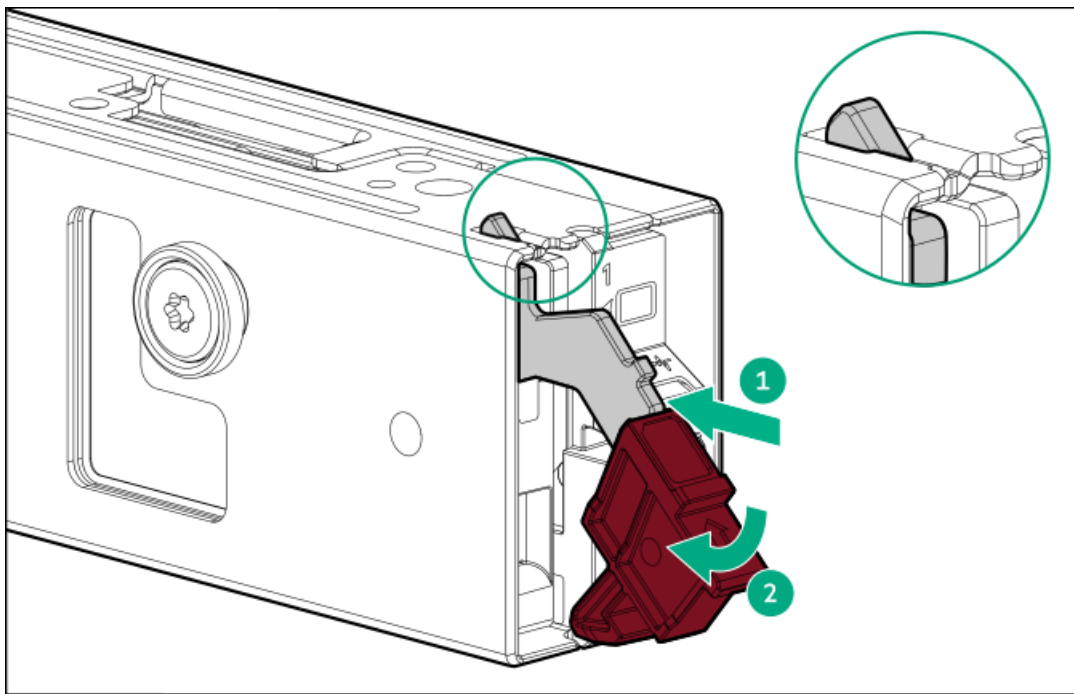
5. SSDの取り付けネジを取り付けます。



6. 2つ目のM.2 SSDがキャリアアセンブリに取り付けられている場合、手順1と2を繰り返します。
7. 位置を合わせてドライブキャリアを取り付けます。



8. キャリアをブートデバイスステージ内にスライドさせ、ボタンを押します。ラッチが所定の位置にロックされると、カチッという音がします。ラッチが完全にかみ合っていることを確認します。



内部またはライザーケースブートデバイスの取り付け

前提条件

- HPE NS204i-uブートデバイスV2コンポーネントを特定します。
- 取り付けを開始する前に、サーバーが最新のオペレーティングシステムファームウェアとドライバーでアップデートされていることを確認してください。
- この手順を実行する前に、T-10トルクスドライバーを用意しておきます。

このタスクについて

以下の点に注意してください。

- HPE NS204i-uブートデバイスV2は、ホットプラグ対応2280 M.2 NVMe SSDを2台搭載したカスタムフォームファクターモジュールです。
- HPE NS204i-uブートデバイスV2は起動時にRAID1ボリュームを自動作成するため、構成は必要ありません。



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

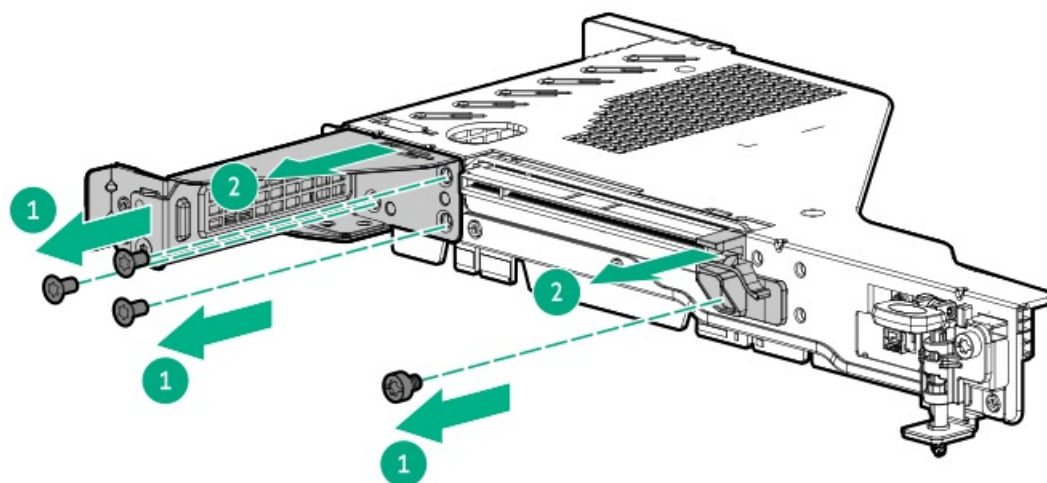


重要

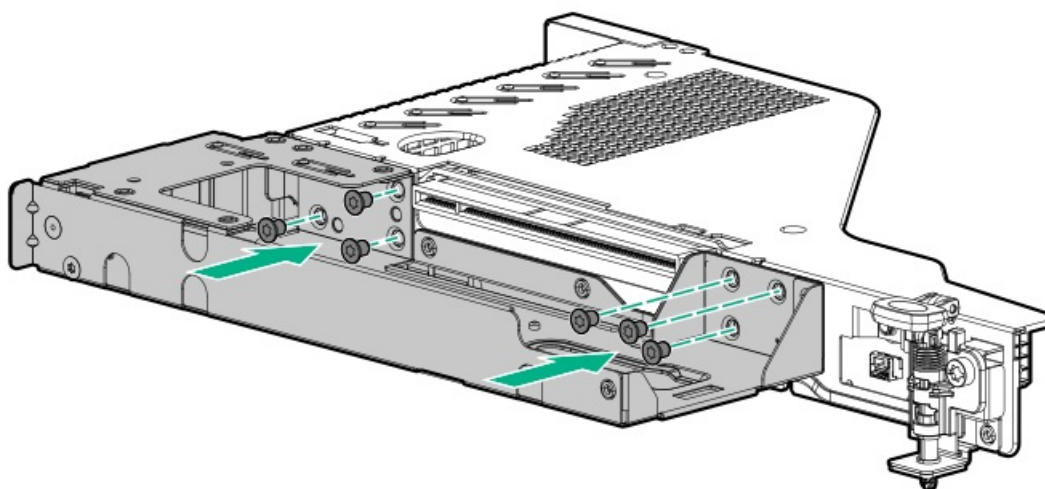
適切なRAID 1構成を確保するために、ブートデバイスのSSDが同じ部品番号であることを確認してください。SSDモデルの混在はサポートされていません。

手順

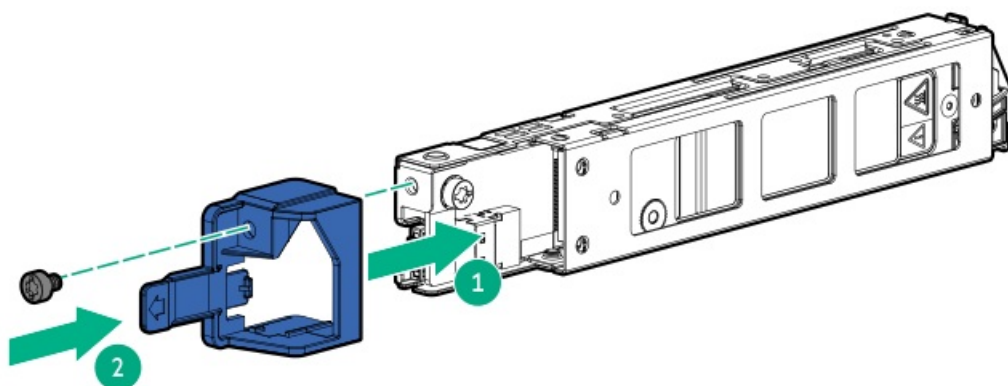
1. ブートデバイスにドライブを取り付けます。
2. すべてのサーバーデータをバックアップします。
3. サーバーの電源を切ります。
4. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
5. 以下のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから引き出します。
 - サーバーをラックから取り外します。
6. アクセスパネルを取り外します。
- ブートデバイスをライザーケージに取り付ける**
7. プライマリライザーケージを取り外します。
8. プライマリライザーケージからスロット2ブラケットを取り外します。



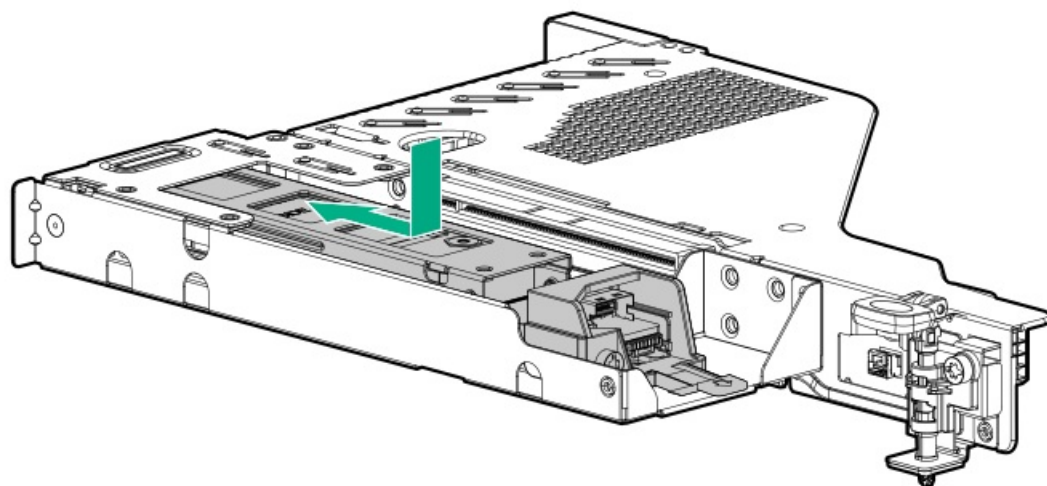
9. ブートデバイスケーシングを取り付けます。



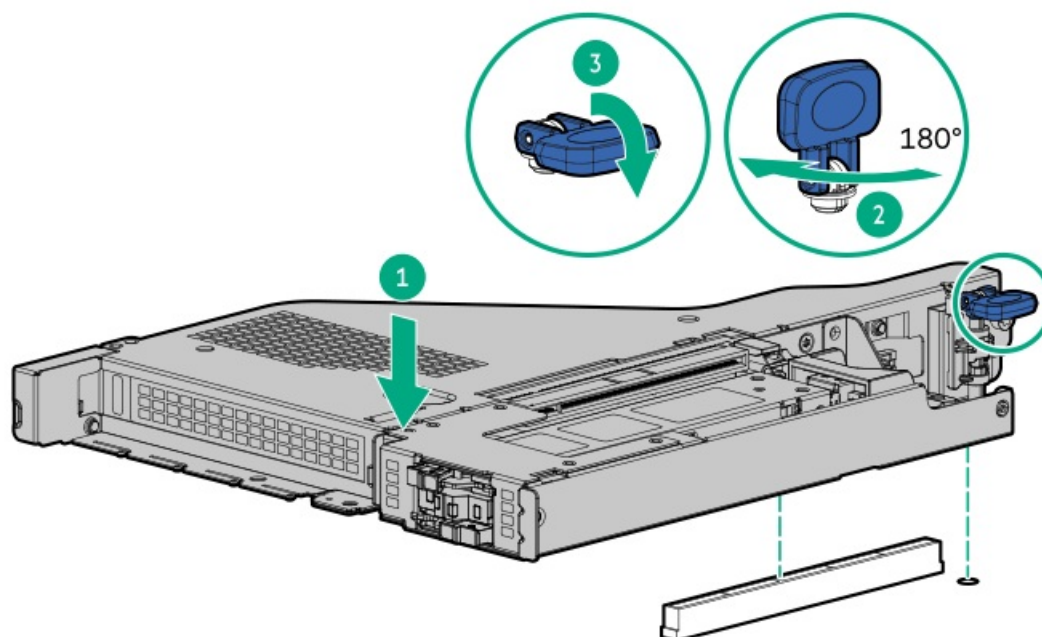
10. ブートデバイスドライブを取り付けます。
11. ブートデバイスを取り付けるには、以下の手順に従います。
 - a. ラッチを取り付けます。



- b. デバイスをライザーケージに取り付けます。



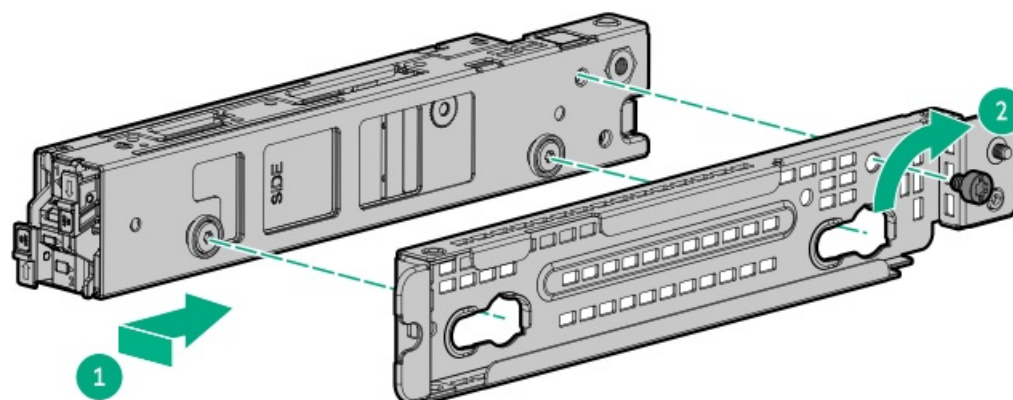
- c. ライザーケージを取り付けます。



内部ブートデバイスを取り付ける

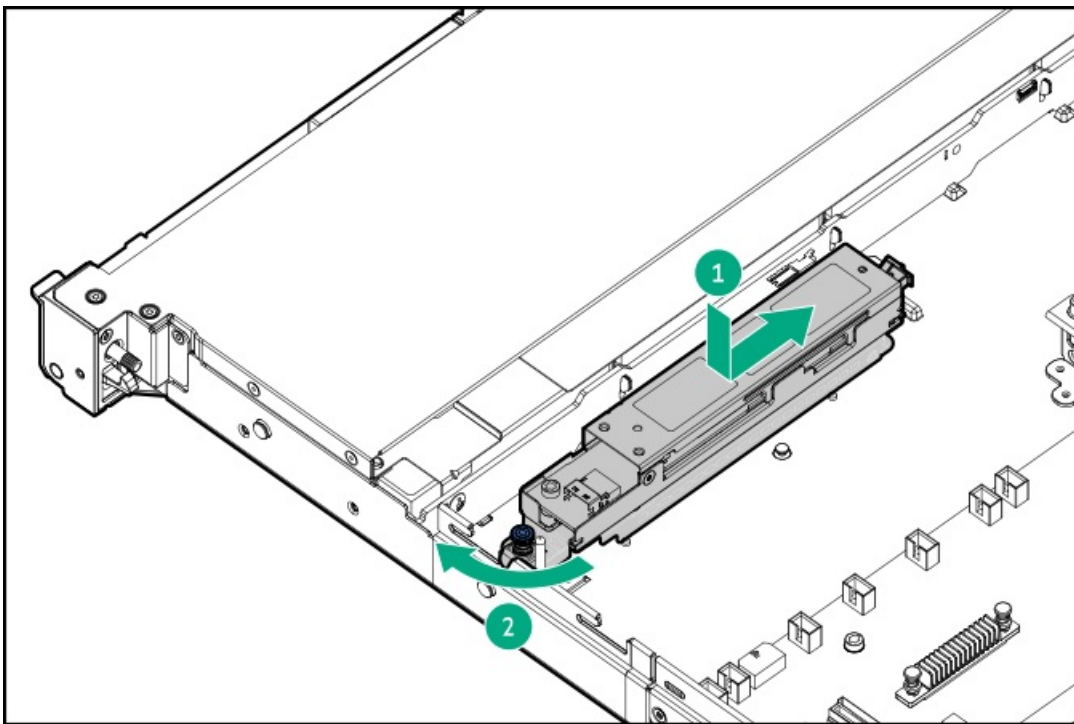
12. 内部ブートデバイスを取り付けるには、以下の手順に従います。

a. マウンティングブラケットを取り付けます。

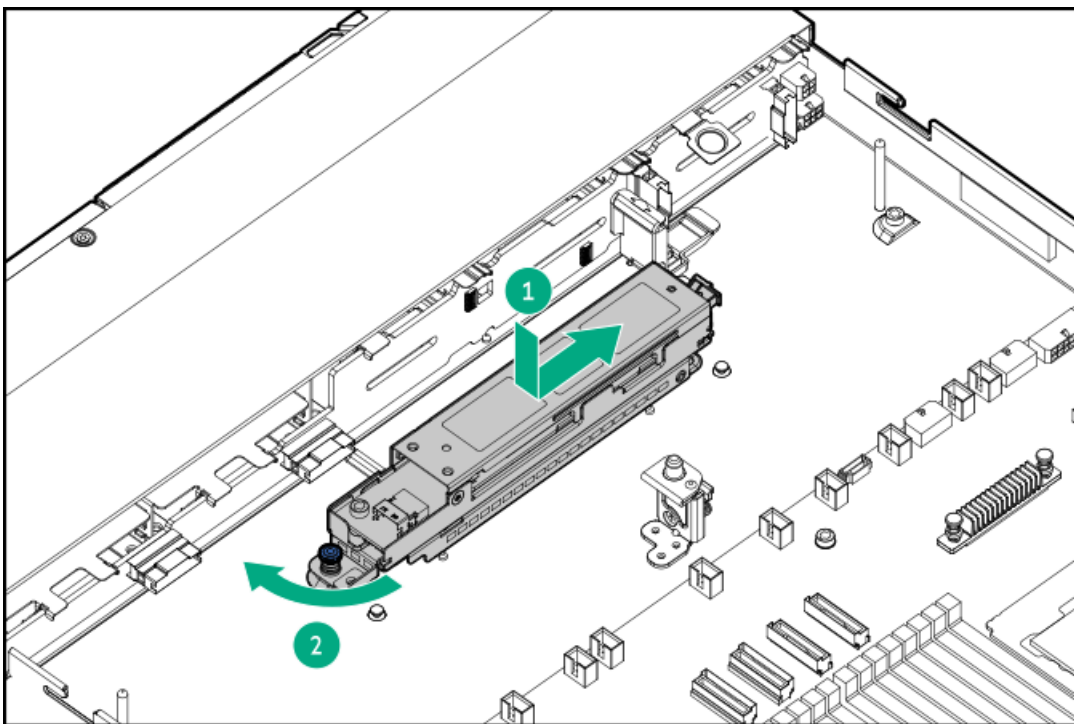


b. ブートデバイスをサーバーに取り付けます。

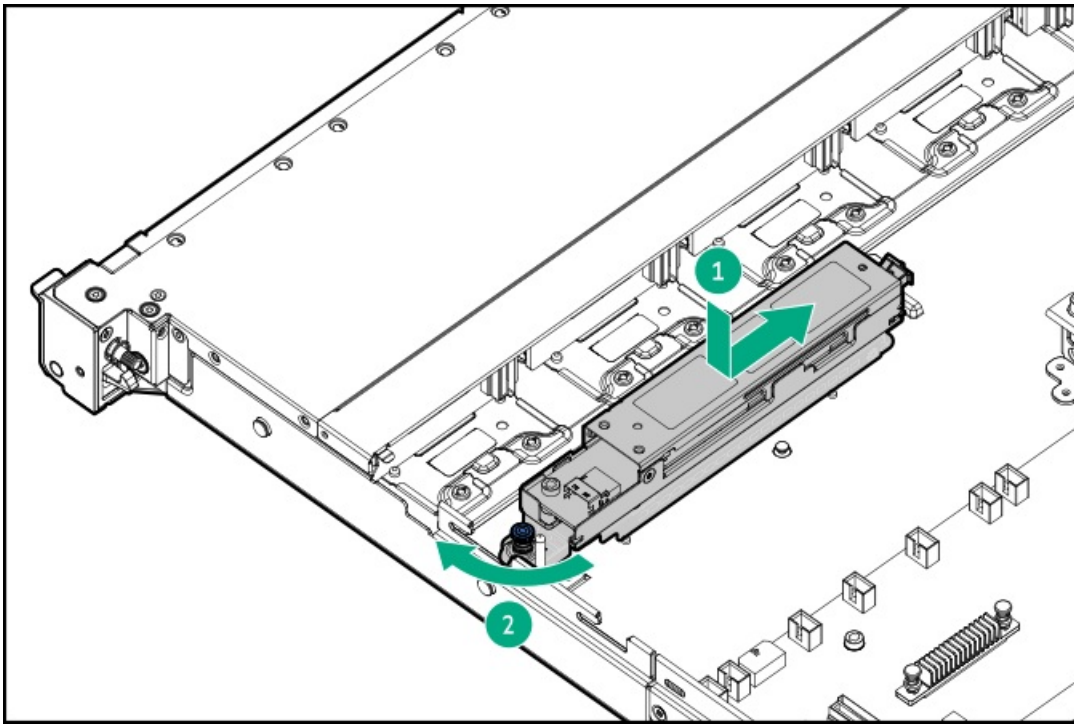
- 4 LFF (3.5型) ドライブ構成 :



- 8 SFF (2.5型) ドライブ構成 :



- 10 SFF (2.5型) / 20 E3.S / 混合ドライブタイプ構成



13. HPE NS204i ブートデバイスに電源ケーブルと信号ケーブルを接続します。
14. アクセスパネルを取り付けます。
15. サーバーをラックに取り付けます。
16. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
17. 各電源コードをサーバーに接続します。
18. 各電源コードを電源ソースに接続します。
19. サーバーの電源を入れます。
20. HPE NS204i ブートデバイス上のオンライン/アクティビティLEDが緑色で点灯していることを確認します。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

混合ドライブタイプ構成でのフロントパネルブートデバイスの取り付け

前提条件

- 以下の内容を確認してください。
 - ドライブボックスの番号
 - HPE NS204i-uブートデバイスV2のコンポーネント
- この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。
 - フロントパネルブートデバイス有効化オプション (P77198-B21) - このオプションは、10 SFF (2.5型) / 20 E3.Sサーバーまたは混合ドライブタイプ構成をサポートしているサーバーのボックス5でサポートされます。
 - T-10トルクスドライバー
 - プラスドライバー (No. 1) : このツールは、M.2 SSDがブートデバイスキャリアにあらかじめ取り付けられていない場合にのみ必要です。

このタスクについて

以下の点に注意してください。

- HPE NS204i-u ブートデバイスV2は、ホットプラグ対応2280 M.2 NVMe SSDを2台搭載したカスタムフォームファクターモジュールです。
- HPE NS204i-u ブートデバイスV2は起動時にRAID1ボリュームを自動作成するため、構成は必要ありません。



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

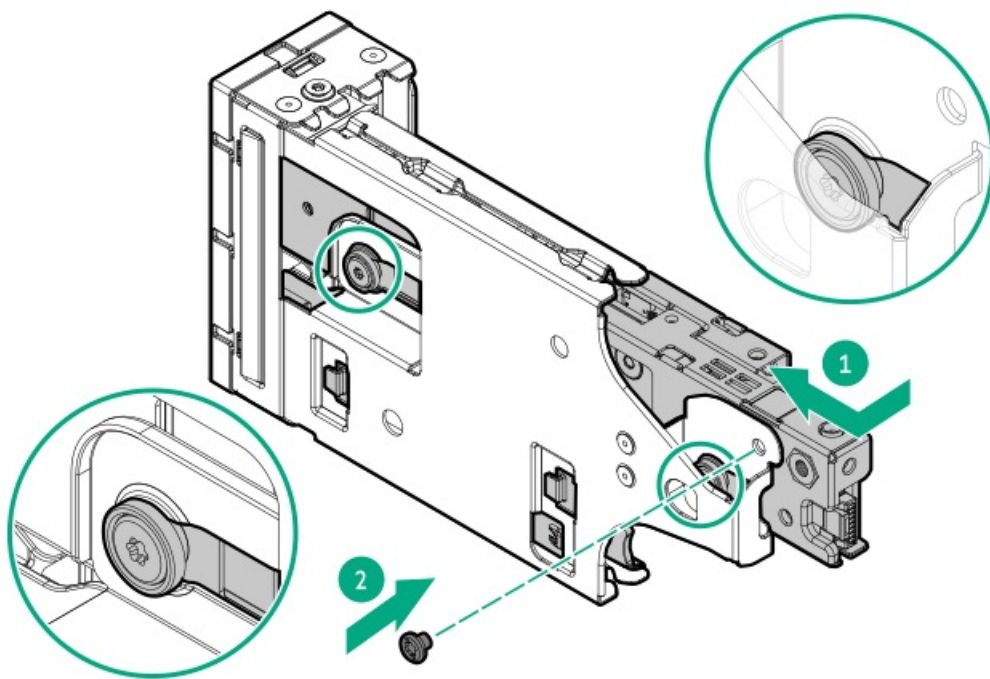


重要

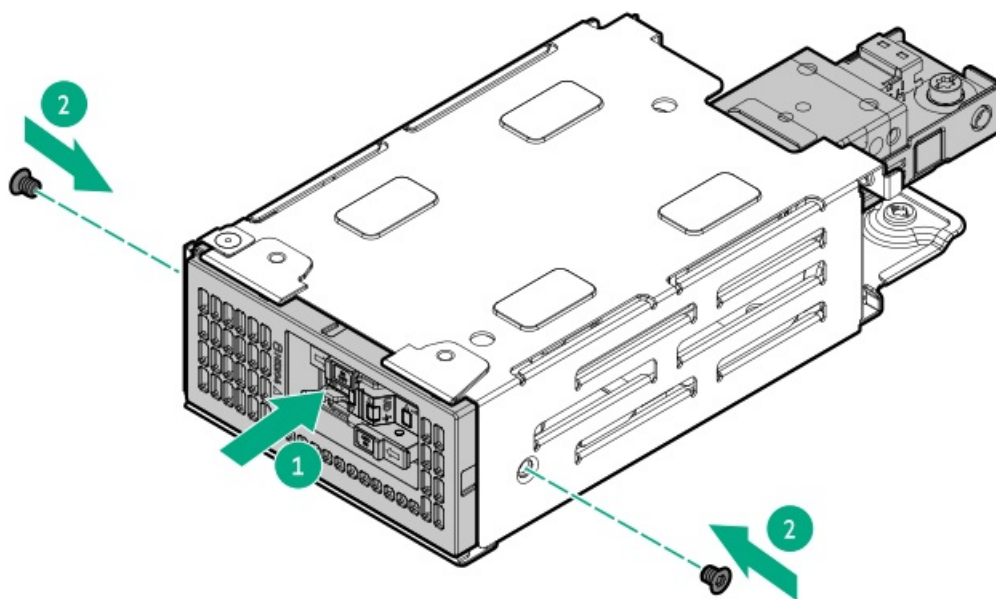
適切なRAID 1構成を確保するために、ブートデバイスのSSDが同じ部品番号であることを確認してください。SSDモデルの混在はサポートされていません。

手順

1. ブートデバイスにドライブを取り付けます。
2. すべてのサーバーデータをバックアップします。
3. サーバーの電源を切ります。
4. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
5. 以下のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから引き出します。
 - サーバーをラックから取り外します。
6. サーバーを平らで水平な面に置きます。
7. アクセスパネルを取り外します。
8. ブートデバイスをブラケットに取り付けます。

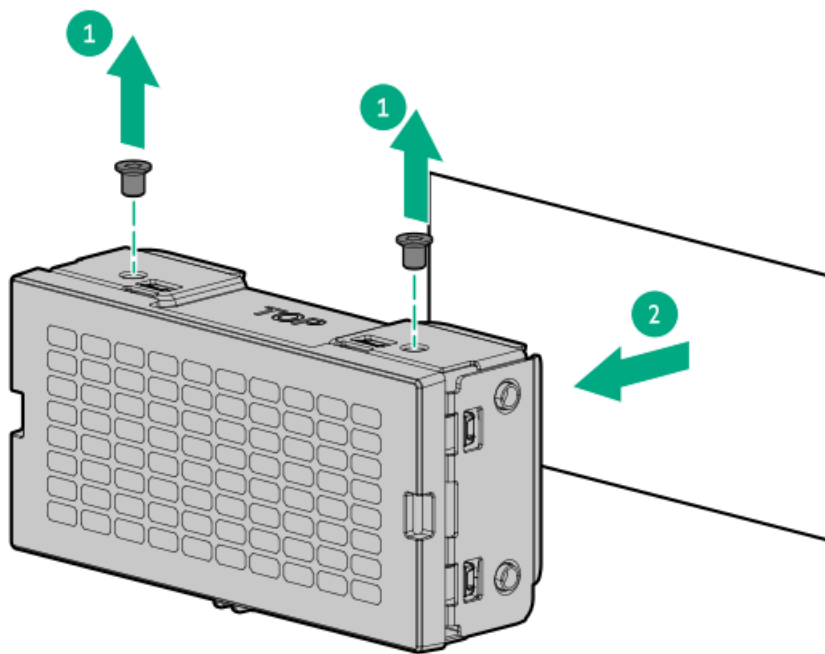


9. ブートデバイスブラケットを多目的のケージに取り付けます。

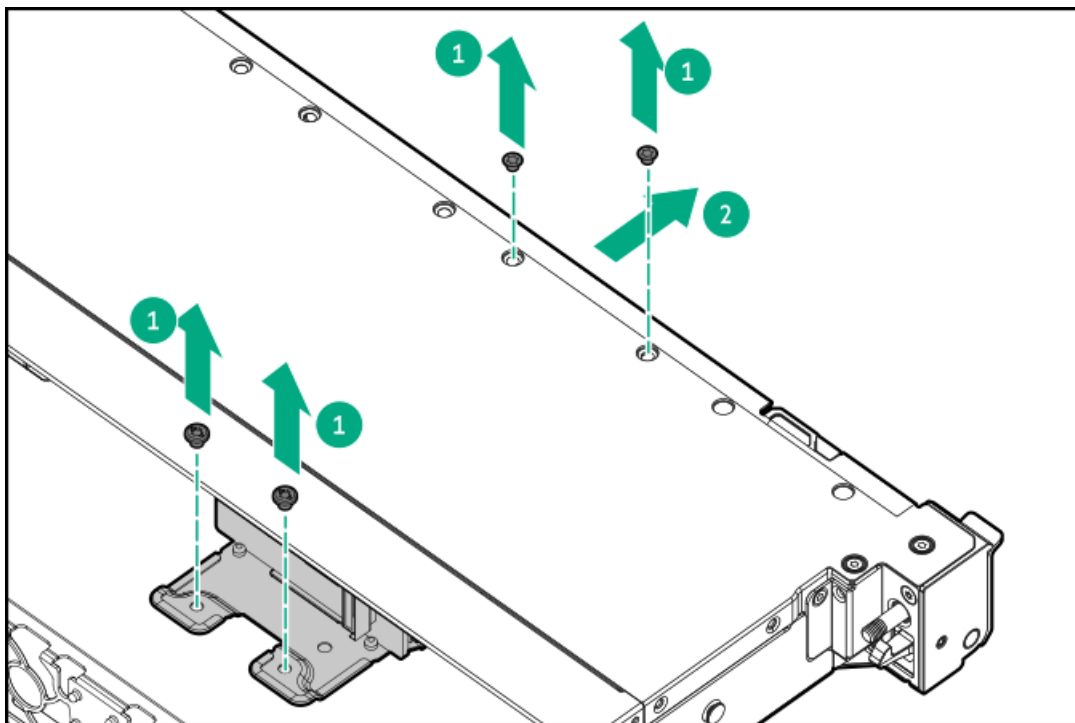


10. 以下のいずれかを実行します。

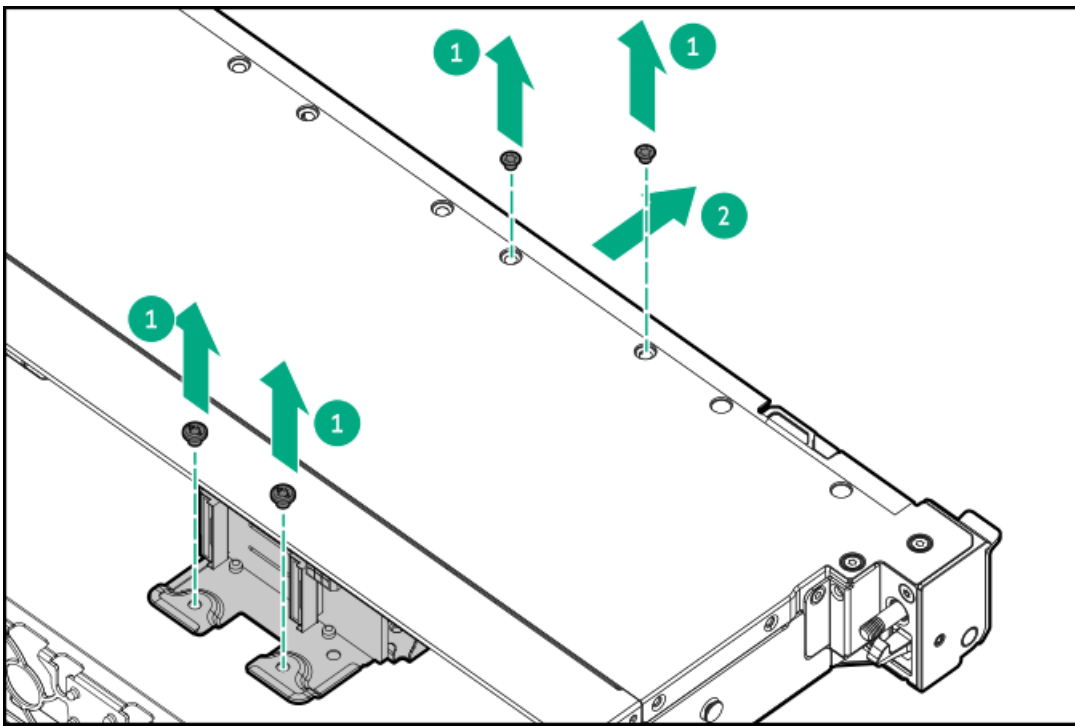
- ボックス5からボックスブランクを取り外します。



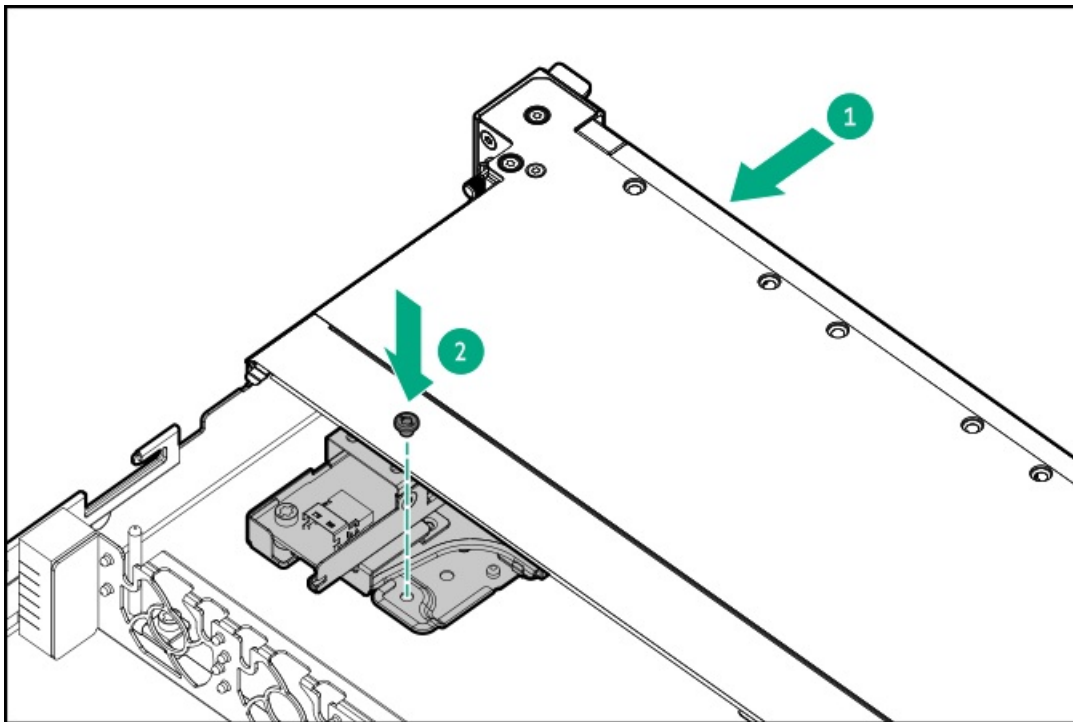
- ボックス5にドライブケージが取り付けられている場合は、ドライブケージを取り外します。
ボックス2が示されています。どのボックスでも取り外す手順は同じです。
- 2 SFF (2.5型) ドライブケージ



- 4 E3.Sドライブケージ



11. ブートデバイスケースをサーバーに取り付けます。



12. HPE NS204i ブートデバイスに電源ケーブルと信号ケーブルを接続します。

13. アクセスパネルを取り付けます。

14. サーバーをラックに取り付けます。

15. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。

16. 各電源コードをサーバーに接続します。

17. 各電源コードを電源ソースに接続します。

18. サーバーの電源を入れます。

19. HPE NS204i ブートデバイス上のオンライン/アクティビティLEDが緑色で点灯していることを確認します。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

電源装置

サブトピック

ホットプラグ対応電源装置に関する計算

電源装置に関する警告と注意事項

DC電源装置に関する警告と注意事項

DC電源装置のワイヤーの色

冗長ホットプラグ対応電源装置の取り付け

DC電源装置の取り付け

DC電源ケーブルのDC電源への接続

ホットプラグ対応電源装置に関する計算

ホットプラグ対応電源装置の仕様、およびサーバーの電気ならびに熱負荷を調べるための計算ツールについては、Hewlett Packard Enterprise Power AdvisorのWebサイト (<https://www.hpe.com/info/poweradvisor/online>) を参照してください。

電源装置に関する警告と注意事項



警告

感電または装置の損傷を防ぐために、以下の点に注意してください。

- 電源コードのアース用プラグは常に取り付けてください。アース用プラグは安全上必要です。
- 電源コードは、いつでも簡単に手の届くところにあるアース付きコンセントに接続してください。
- 装置の電源を切る場合は、電源コードを電源装置から抜き取ってください。
- 電源コードは、踏みつけられたり、上や横に物が置かれて圧迫されることがないように配線してください。プラグ、電源コンセント、サーバーと電源コードの接続部には、特に注意してください。



警告

感電を防止するために、電源装置のカバーを開けないようにしてください。メンテナンス、アップグレード、および修理はすべて資格のある担当者に依頼してください。



注意

異なるタイプの電源装置を同じサーバー内に混在させると、次のようになる場合があります：

- 電源の冗長性のサポートを含む一部の電源装置の機能が制限されたり無効になる。
- システムが不安定になり、シャットダウンすることがある。

使用可能なすべての機能にアクセスできるようにするには、同一サーバー内のすべての電源装置の出力と効率を同じ定格にする必要があります。すべての電源装置の部品番号とラベルの色が一致することを確認してください。

DC電源装置に関する警告と注意事項



警告

感電の危険を減らすため、必ずケーブルのアースキットを正しく取り付け、適切な保護用アース端子に接続してから、ラックに電源を接続してください。

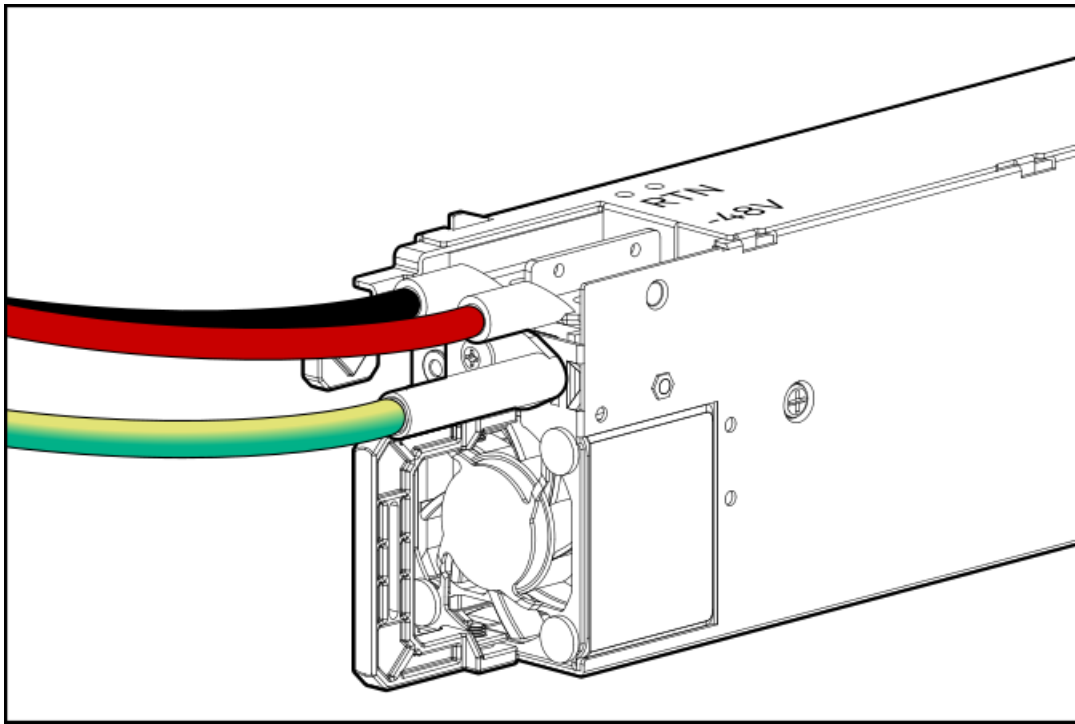


注意

この装置は、DC供給回路のアース用導体と装置のアース用導体を接続できるように設計されています。上記の接続の場合、次の条件がすべて満たされている必要があります。

- この装置は、DC供給システムのアース電極導体、またはその接続先であるアース端末のバーまたはバスからのボンディングジャンパーに直接接続する必要があります。
- この装置は、同じDC供給回路のアースされている導体とアース用導体間が接続されている他の装置、およびDCシステムのアースポイントと同じ隣接区域（隣接するキャビネットなど）に設置する必要があります。DCシステムは、別の場所でアースされている必要があります。
- DC供給源は、装置と同じ建物内に設置する必要があります。
- スイッチや電源切断用のデバイスは、DC供給源とアース電極導体の接続ポイントの間にある、アースされている回路導体には置かないでください。

DC電源装置のワイヤーの色



ワイヤーの色	説明	ワイヤースロット
赤色	ラインワイヤー	-48V
黒色	リターンワイヤー	Return
緑色+黄色	アース用ワイヤー	安全アース

冗長ホットプラグ対応電源装置の取り付け

前提条件

このオプションを取り付ける前に、以下のものがあることを確認します。

ハードウェアオプションキットに含まれるコンポーネント

手順

1. 次のアラートに注意してください。



注意

サーバーに取り付ける電源装置の出力電力はすべて同じでなければなりません。すべての電源装置の部品番号とラベルの色が一致することを確認してください。電源装置の不一致が検出されると、システムが不安定になりシャットダウンする場合があります。



注意

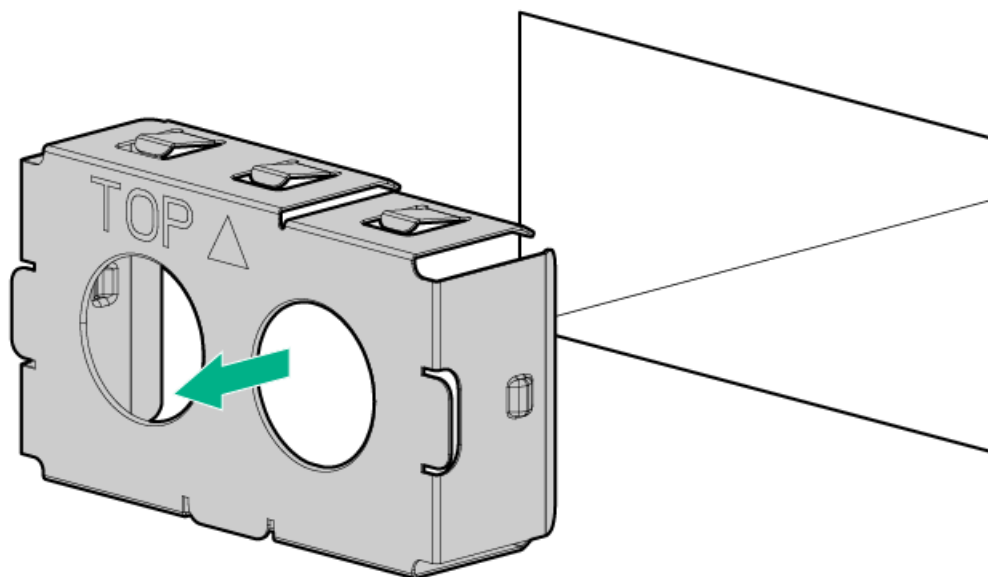
不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

2. 製品のリアパネルにアクセスします。
3. ブランクを取り外します。

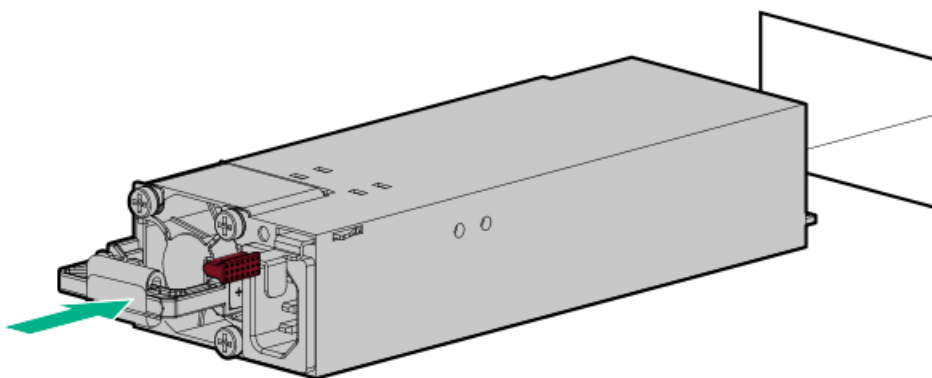


警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、電源装置、電源装置ブラנק、またはデュアルスロット電源装置アダプターが十分に冷めてから手を触れてください。



4. 電源装置を電源装置ベイに挿入して、カチッと音がしてはまるまで押し込みます。



5. 電源コードを電源装置に接続します。
6. 電源コードを配線します。電源コードとその他のケーブルを配線するときは、ベストプラクティスに従います。配線にはケーブルマネジメントアームが役立ちます。ケーブルマネジメントアームを入手するには、Hewlett Packard Enterprise製品販売店にお問い合わせください。
7. 電源コードをAC電源に接続します。
8. 電源装置LEDが緑色に点灯していることを確認します。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

DC電源装置の取り付け

前提条件

- 電源装置を取り付ける前に、以下の記載をお読みください。
 - [電源装置に関する警告と注意事項](#)
 - [DC電源装置に関する警告と注意事項](#)
 - [DC電源装置のワイヤーの色](#)
- この手順を実行する前に、プラスドライバー（No. 2）を用意しておきます。
- 電源ケーブルを接続する前に、次の点を確認してください。
 - お客様が用意した電源ケーブルで使用するために、オプションのP36877-B21 HPEラグキットをHPE製品販売店から購入できます。（以下にリストされている電源ケーブルとラグキットは、1600 W -48 VDC電源装置でのみ使用できます。）
 - 入力電源コードオプションを使用している場合は、P22173-B21 HPE 1600 W DC PSU電源ケーブルキットをHPE製品販売店から購入できます。
 - DC電源装置オプションキットには、電源装置のDCケーブルキットが付属していないため、電源装置ケーブルラグキットが含まれていない場合があります。DCケーブルキット（オプション）またはDCケーブルラグキット（オプション）は、Hewlett Packard EnterpriseまたはHPE製品販売店から直接購入できます。詳しくは、<https://www.hpe.com/info/fsps-qs>にある電源装置のQuickSpecsを参照してください。

このタスクについて

入力電源コードオプションを使用しない場合、電源装置のケーブル接続は資格のある電気技師と相談した上でを行い、ご使用の地域の規定に準拠している必要があります。



警告

感電、火災または装置の損傷を防止するために、この製品の取り付けについては、必ず、以下のガイドラインに従ってください。

- HPE 1600 W FS DC-48Vパワーサプライは、立ち入りが制限された場所に設置された Hewlett Packard Enterpriseサーバーへの取り付け専用です。
- HPE 1600 W FS DC-48Vパワーサプライは、DC供給分岐回路に直接接続するものではありません。必ず、各DC電源装置用の独立した過電流保護の出力を提供するパワーディストリビューションユニット（PDU）に接続してください。PDUの過電流保護出力装置は、それぞれDC電源から利用可能な電流の障害を防止するのに適していなければなりません。また、最大45 Aの定格でなければなりません。
- PDU出力は、各電源装置への電力を切断する遮断器または回路ブレーカーを備えている必要があります。電源装置の電源を完全に切るには、PDUで電力を切断してください。最終的な電力供給先の製品は、複数の電源装置を備えている場合があります。そのような製品の電源を完全に切るには、各電源装置への電力を切断してください。
- この電源装置は、情報技術機器および通信機器に関する各国の適合した要件に従って、SELVまたはTNVとして分類されたDC電源にのみ接続されます。通常、これらの要件は、IEC 60950-1/IEC 62368-1のInternational Standard for Information Technology Equipmentに基づいています。各地域の電源に関する規定に従って、DC供給源にはアース端子に確実に接続できる電極（Neutral/Return）が1本備わっている必要があります。
- 電源装置の前面にある電源装置アース用ネジを、必ず、適切なアース端子に接続してください。この端子は、各地域の電源に関する規定に従って、必ず、建物内の適切なアース端子に接続してください。十分なアースを継続して提供できるように、ラックまたはキャビネットシャーシの上に物を置かないでください。



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、電源装置、電源装置ブラנק、またはデュアルスロット電源装置アダプターが十分に冷めてから手を触れてください。

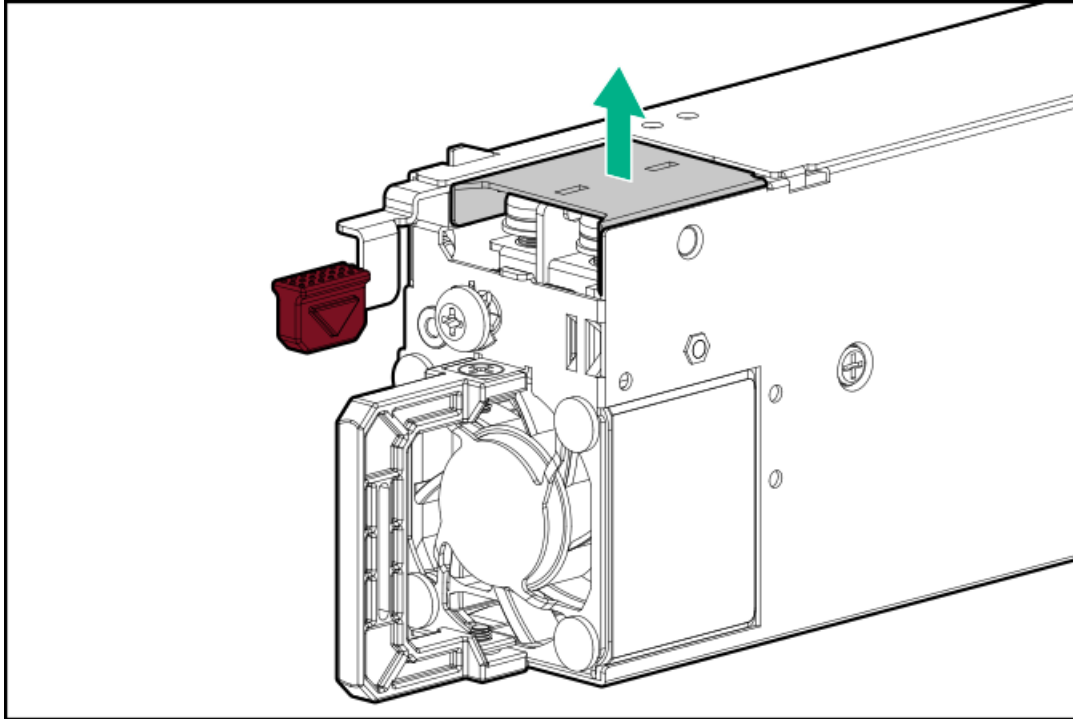


注意

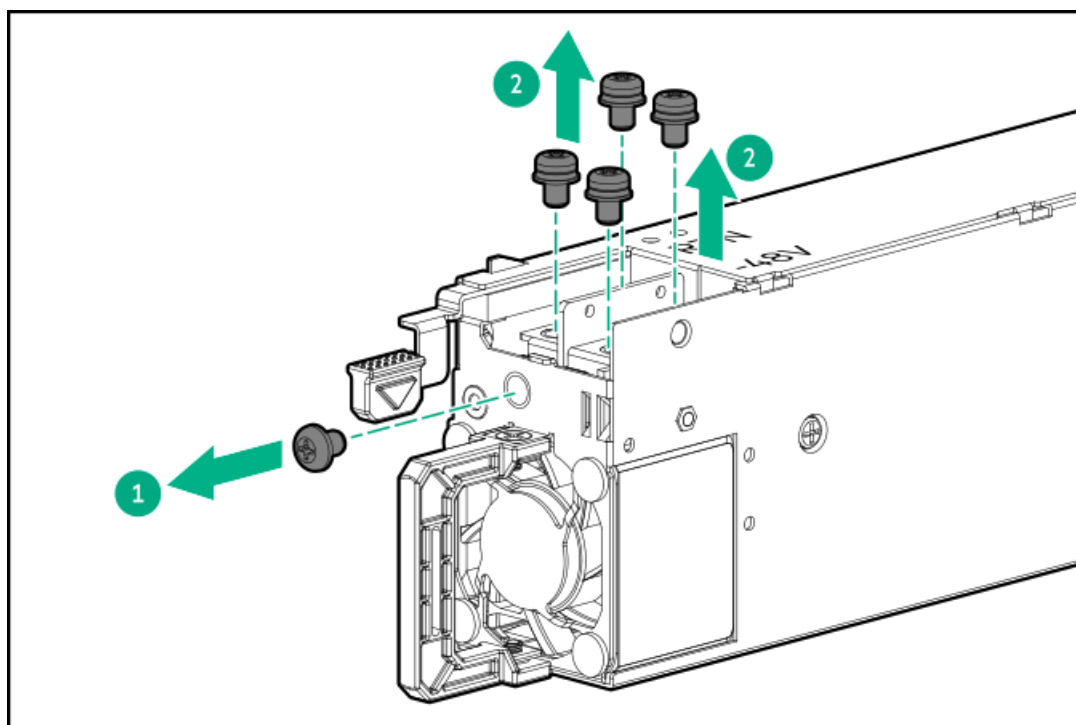
不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブラנקのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

手順

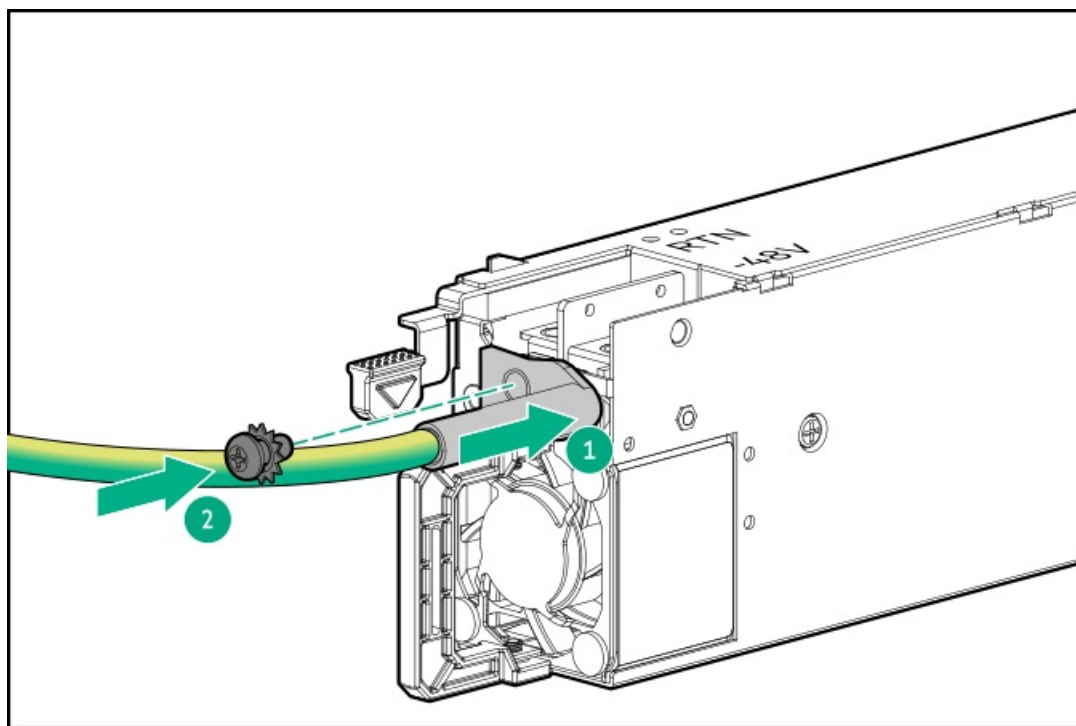
1. 電源装置から保護カバーを取り外します。



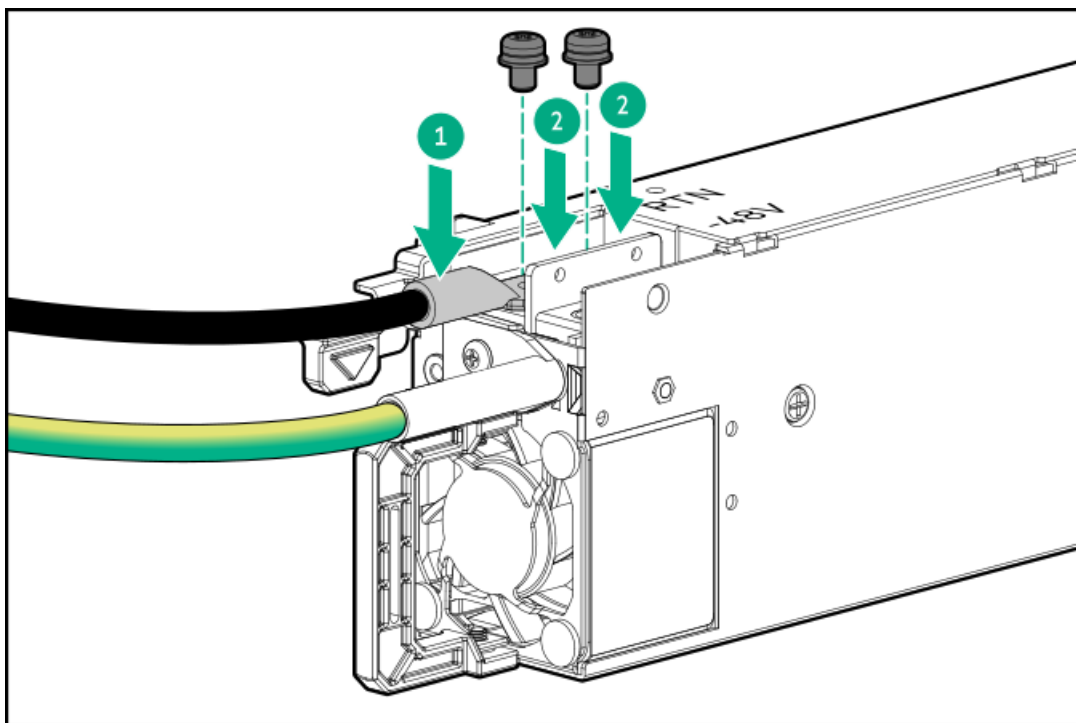
2. アース線のネジを取り外してから、リターンワイヤーとラインワイヤーのネジを取り外します。



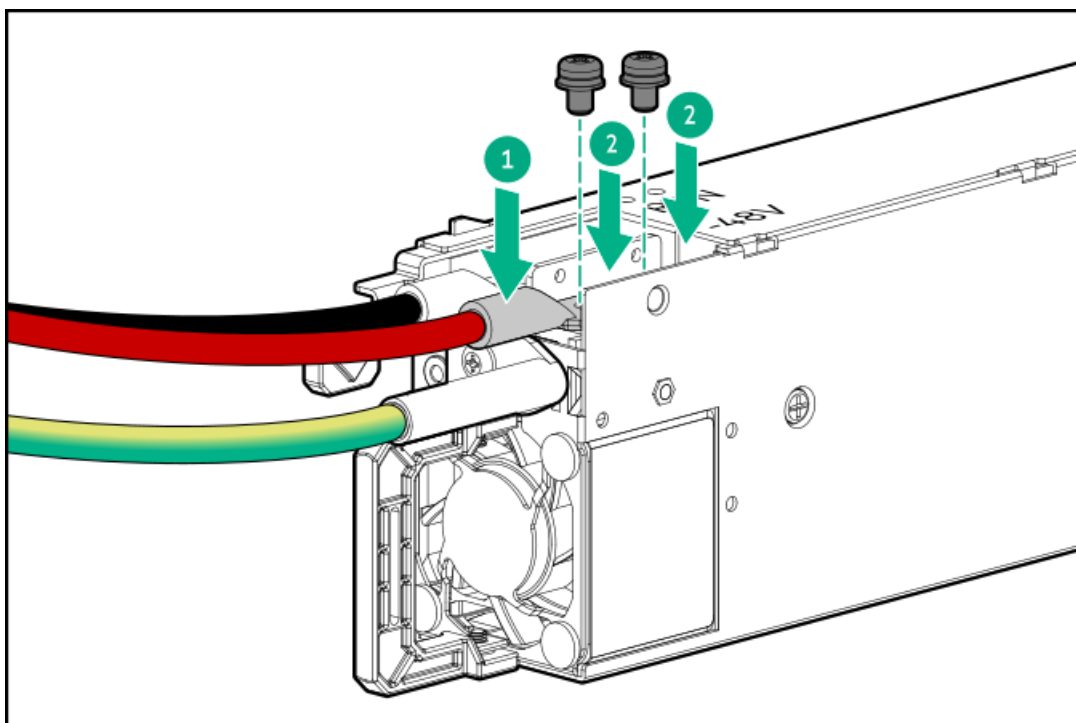
3. アース線（緑色と黄色）をDC電源装置に接続し、ネジとワッシャーを1.47 N-m (13 lbf-in)で締めます。



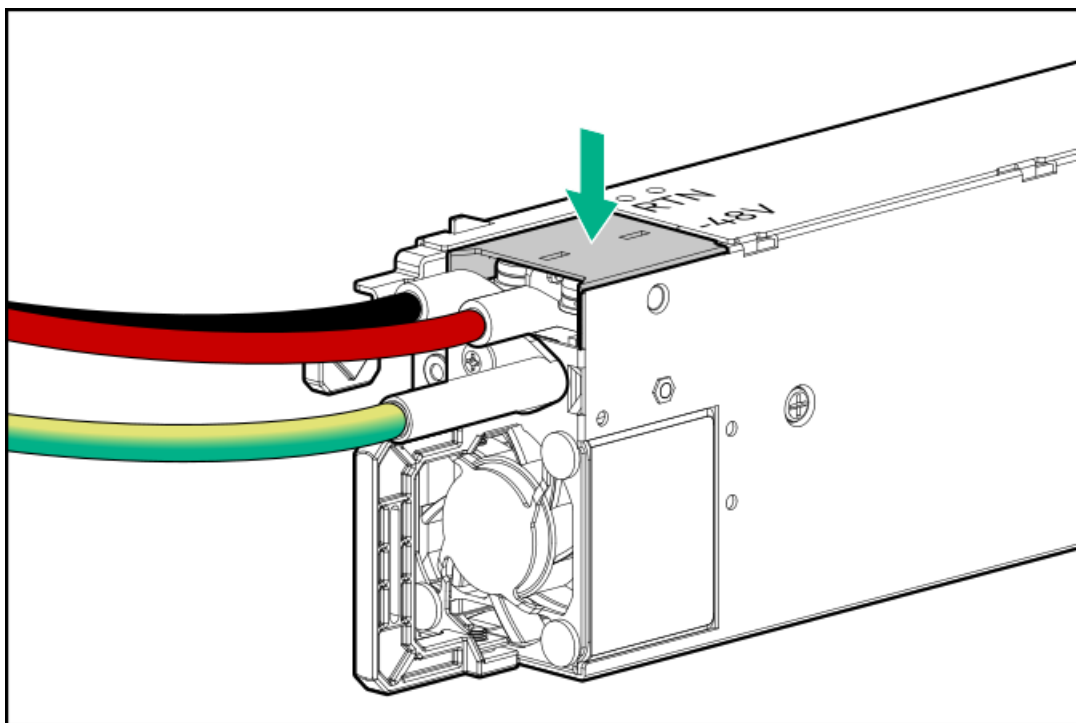
4. リターンワイヤー（黒色）を取り付けます。
- リターンワイヤーをDC電源装置のRTNスロットに挿入します。
 - 0.98 N-m (8.68 lbf-in)でネジを締めます。



5. ラインワイヤー（赤色）を取り付けます。
 - a. ラインワイヤーをDC電源装置の-48Vスロットに挿入します。
 - b. ネジを0.98 N-m (8.68 lbf-in)に締めます。



6. DC電源装置に保護カバーを取り付けます。
保護カバーがロックされていることを確認します。

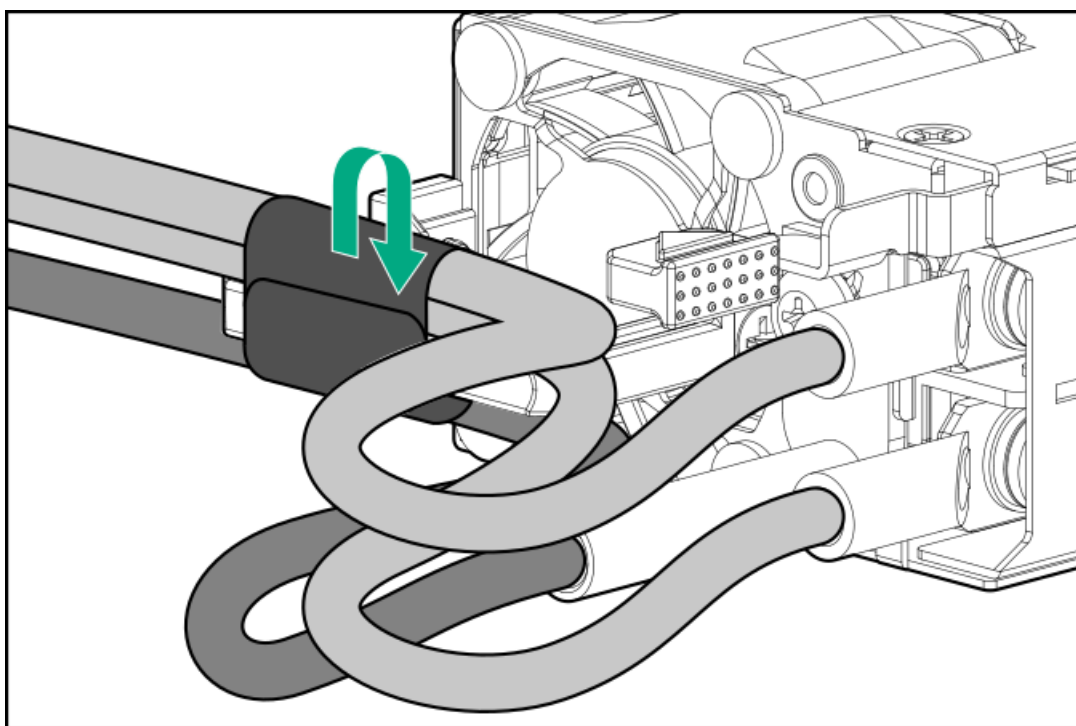


7. アース、正のリターン、および負の入力ワイヤーをストレインリリーフストラップに固定します。



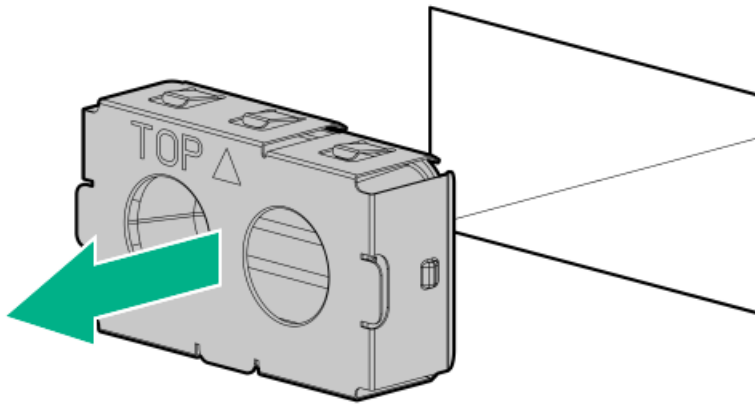
注意

電源コードまたはサーバーのケーブルの内部ワイヤーの損傷を防止するために、きつく曲げることは避けてください。電源コードやサーバーのケーブルを被覆材にしわができるほどきつく曲げないでください。

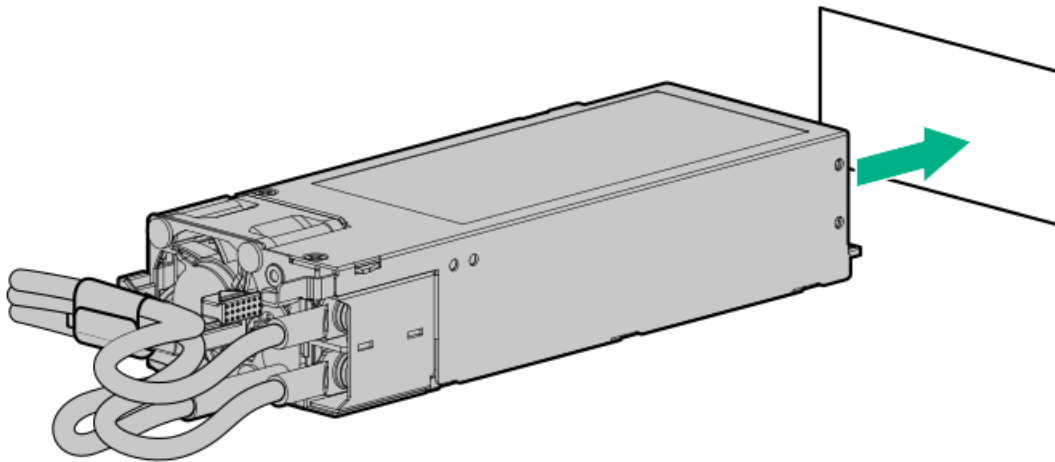


8. 電源装置ベイ2に電源装置を取り付ける場合は、電源装置ブラנקを取り外します。

ブラנקは、将来使用できるように保管しておいてください。



9. 電源装置が所定の位置にカチッと収まるまで、すぐにベイにスライドさせて押し込みます。



10. 必ず、-48 V DC電源をオフにするかPDUブレーカーをオフの位置にしてから、電源コードを-48 V DC電源またはPDUに接続します。
11. -48 V電源をオンにするかPDUブレーカーをオンの位置にして-48 Vの電力を電源装置に供給します。
12. DC電源ケーブルとDC電源を接続します。
13. 電源装置LEDが緑色に点灯していることを確認します。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

DC電源ケーブルのDC電源への接続

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- 電線カッター
- 手動圧着工具

このタスクについて



警告

感電や高電圧によるけがを防止するために、次の注意事項を守ってください。

- この装置は、訓練を受けたサービス担当者が、地方および地域の電気規定および規制に従って設置する必要があります
- 正しくアースされているセカンダリ回路の電源に、装置を接続してください。セカンダリ回路はプライマリ回路と直接の接続はなく、変圧器、コンバーター、または同等の隔離装置から電力を得ます。
- DC電源の過電流保護は45 Aを超えてはなりません。



警告

DC電源装置を取り付ける際には、正極または負極リードを接続する前にアース線を接続する必要があります。



警告

電源装置の取り付け手順やメンテナンスを実行する前に、電源装置の電源を切ってください。



注意

サーバー装置で、DC供給回路のアースされている導体とアース用導体が接続されます。詳しくは、電源装置に付属のドキュメントを参照してください。



注意

DC供給回路のアースされている導体とアース用導体がサーバー装置でDC接続されている場合は、次の条件を満たす必要があります。

- この装置は、DC供給システムのアース電極導体、またはその接続先であるアース端子のバーまたはバスからのボンディングジャンパーに直接接続する必要があります。
- 装置は、同じDC供給回路のアースされている導体とアース用導体間が接続されている他の装置、およびDCシステムのアースポイントと同じ隣接区域（隣接するキャビネットなど）に設置してください。DCシステムは、別の場所でアースされている必要があります。
- DC供給源は、装置と同じ建物内に設置する必要があります。
- スイッチや電源切断用のデバイスは、DC供給源とアース電極導体の接続ポイントの間にある、アースされている回路導体には置かないでください。

手順

1. DC電源コードが150.00 cm (59.06インチ) 以上になるように切ります。



重要

リング端子は、UL認定の6 AWGワイヤーに対応するものである必要があります。



重要

ピラーまたはスタッドタイプの端子の最小公称ネジ径は、3.50 mm (0.138インチ) にする必要があります。また、ネジタイプの端子の直径は、5.00 mm (0.197インチ) にする必要があります。

2. 電源にリングトングが必要な場合は、圧着工具を使って電源コード線とアース線にリングトングを取り付けます。
3. 同色ワイヤーごとにまとめて、同じ電源に取り付けます。

詳しくは、電源装置に付属のドキュメントを参照してください。

プロセッサとヒートシンク

サブトピック

プロセッサに関する注意事項
高性能ヒートシンクの取り付け
直接液冷キットの接続

プロセッサに関する注意事項



注意

プロセッサやシステムボードの損傷を防止するために、この サーバー のプロセッサの交換や取り付けは、認定された担当者のみが行ってください。



注意

サーバーの誤動作や装置の損傷を防止するために、マルチプロセッサ構成では、必ず、同じ部品番号のプロセッサを使用してください。



注意

プロセッサソケットとプロセッサのピンは非常に壊れやすく、簡単に損傷します。コンポーネントの損傷を避けるために、これらのピンには触れないでください。ピンが壊れると、システムボードやプロセッサの交換が必要になる場合があります。



重要

プロセッサソケット1には必ずプロセッサを取り付けてください。ソケット1にプロセッサが取り付けられていない場合、サーバーは動作しません。



重要

以前より高速のプロセッサを取り付ける場合は、プロセッサを取り付ける前に、システムROMをアップデートしてください。ファームウェアをダウンロードするには、Hewlett Packard EnterpriseサポートセンターのWebサイト (<https://www.hpe.com/support/hpesc>) にアクセスしてください。

高性能ヒートシンクの取り付け

前提条件

- 以下の内容を確認してください。
 - ヒートシンクおよびプロセッサソケットのコンポーネント
 - プロセッサに関する注意事項

◦ ファンとヒートシンクの要件

- この手順を実行する前に、T-30トルクスドライバー、またはトルクドライバーとT-30トルクスビットを用意しておきます。

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

手順

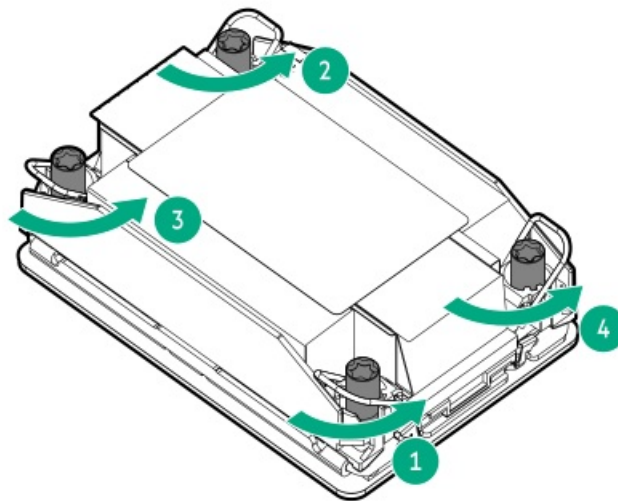
1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. サーバーがエンクロージャーまたはラックに取り付けられている場合は、サーバーを取り外し、平らで水平な作業面に置きます
4. アクセスパネルを取り外します。
5. すべての内部システムコンポーネントが冷えてから、続行してください。

標準ヒートシンクを取り外す

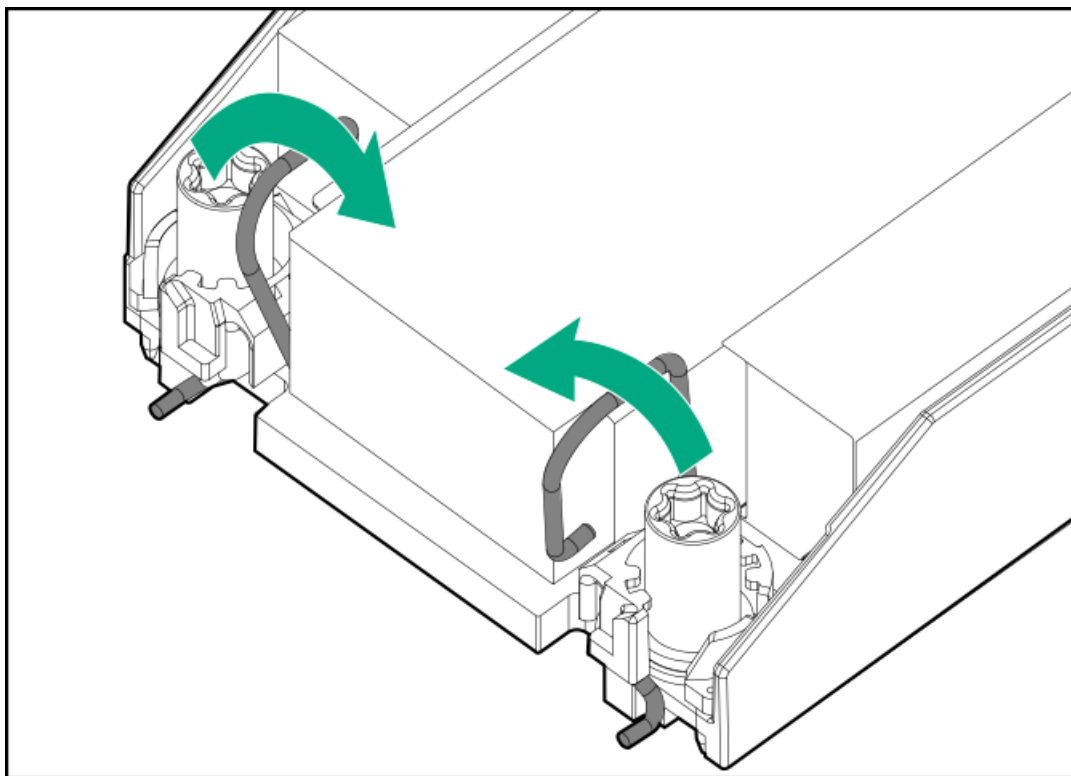
6.  **注意**

交互の順序でヒートシンクのネジを締めて緩める必要があります。システムボードまたはプロセッサソケットを損傷する可能性があるため、ネジを締めすぎないでください。

T-30トルクスドライバーを使用して、対角線上にある1組のヒートシンクネジを緩めてから（番号1および2）、もう1組のヒートシンクネジを緩めます（番号3および4）。



7. 傾き防止ワイヤーをロック解除位置に設定します。



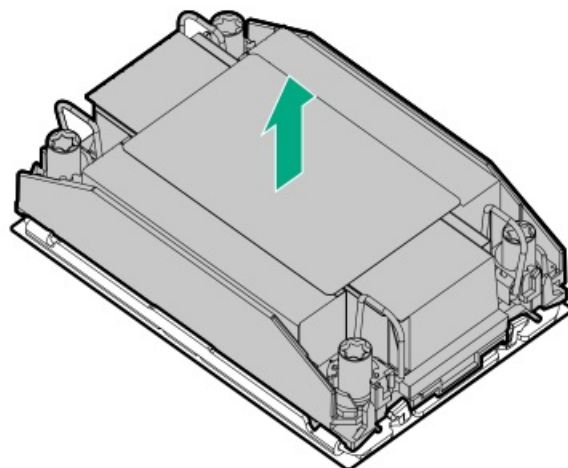
8.



注意

機械的損傷を防いだり、手指の油分やその他の汚れがヒートシンクの接触面に付かないようにするため、ヒートシンクはベースプレートの端だけでお持ちください。ヒートシンクのフィンに手を触れないでください。

プロセッサヒートシンクモジュールをシステムボードからまっすぐに持ち上げます。

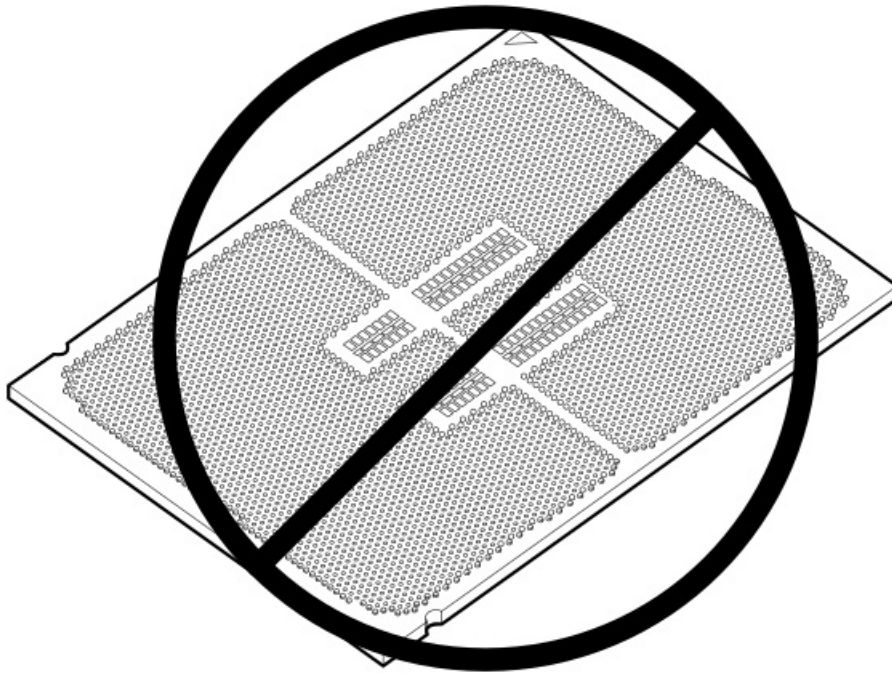
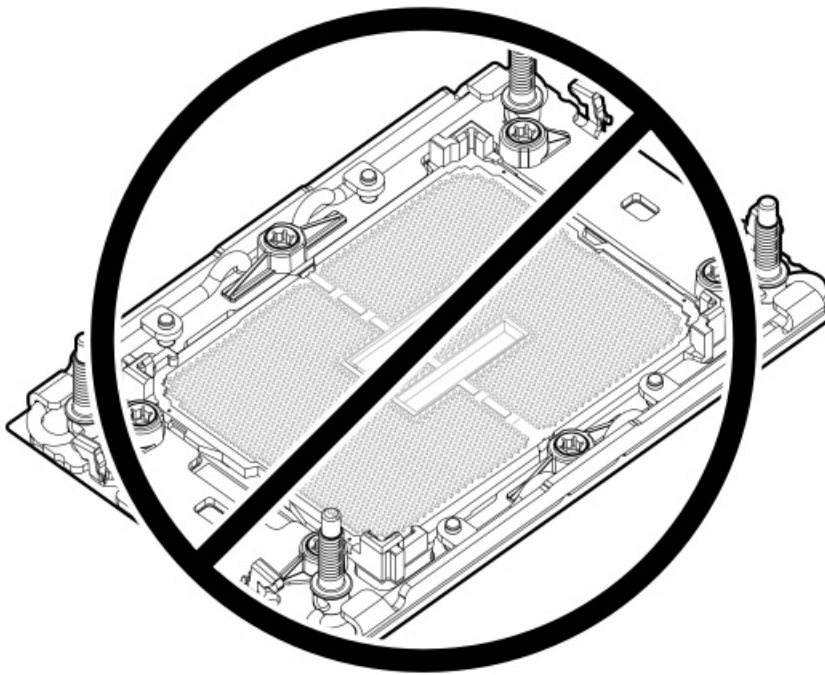


9. プロセッサヒートシンクモジュールを平らな作業面に置き、その接触面を上に向けます。
10. プロセッサソケットとプロセッサのピンには触れないでください。



注意

プロセッサソケットとプロセッサのピンは非常に壊れやすく、簡単に損傷します。ピンが壊れると、システムボードの交換が必要になる場合があります。

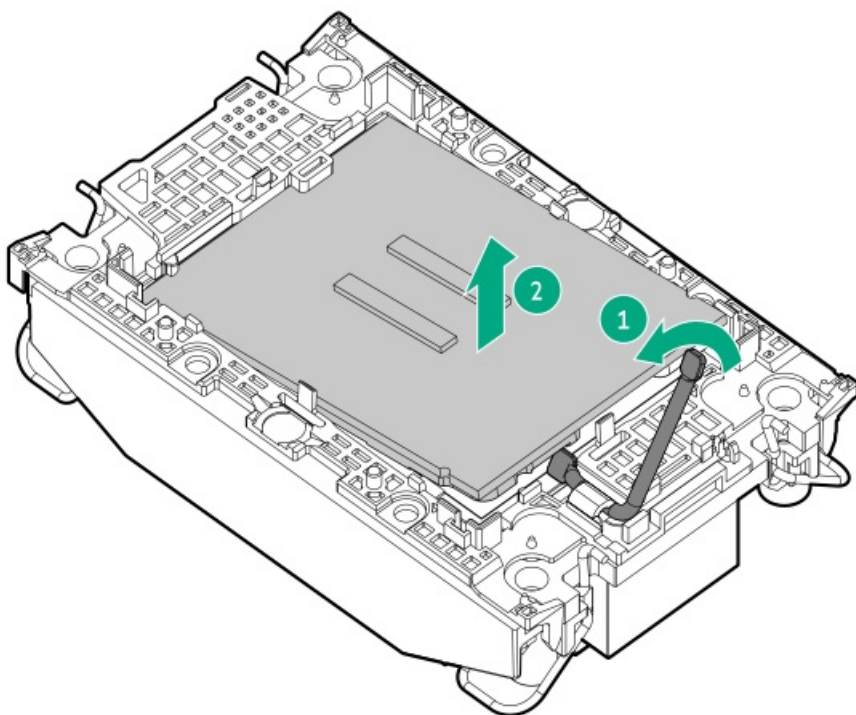


11. ヒートシンクからプロセッサを取り外します。

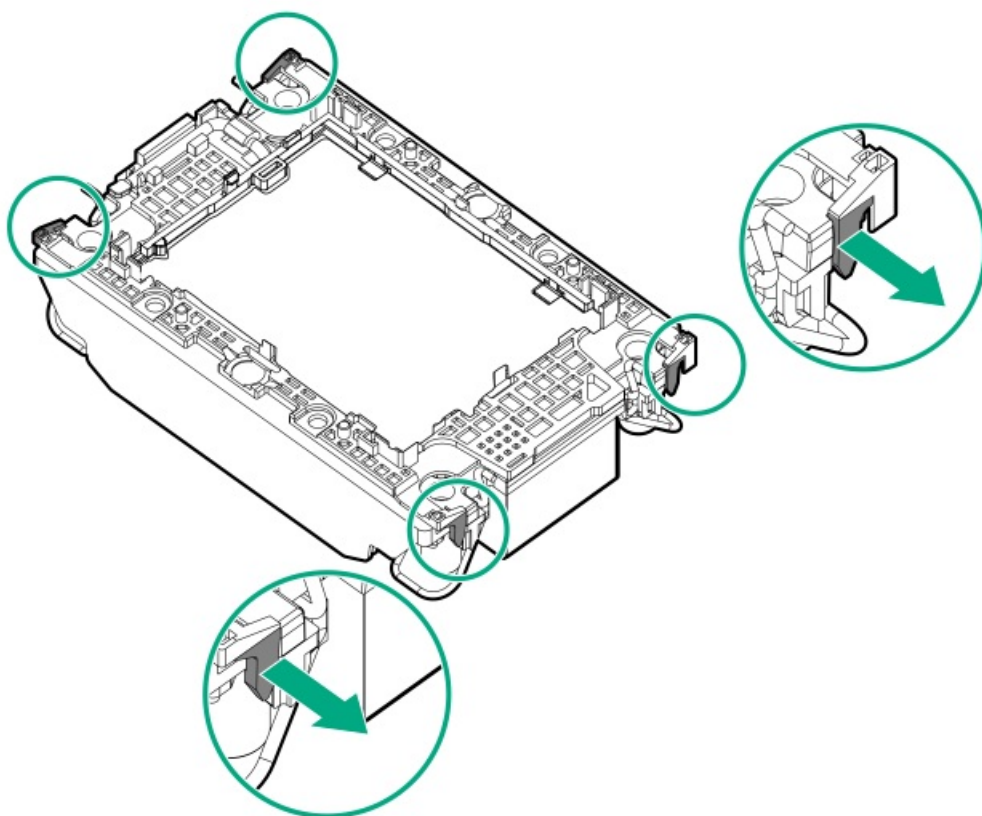
- a. TIMブレーカーレバーを開きます。

このアクションにより、プロセッサとヒートシンクの間の接着が破壊されます。

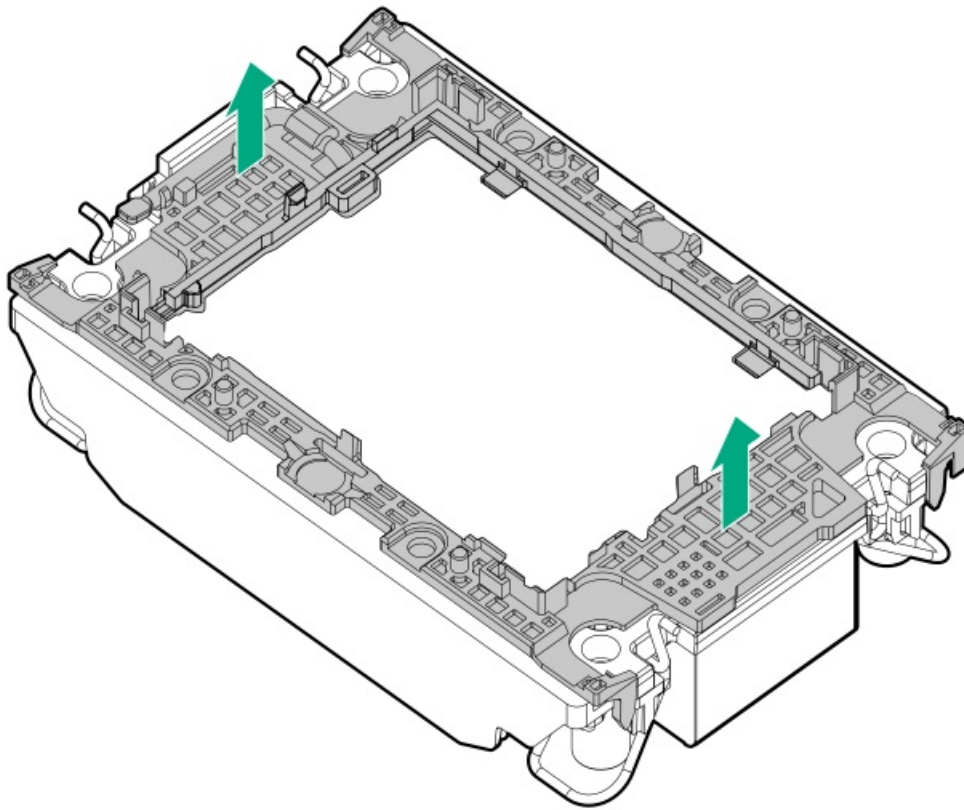
- b. プロセッサの縁を持ち、キャリアから取り外します。



c. ピン1の隅から始めて逆方向に移動しながら、プロセッサキャリアのリリースタブをヒートシンクから外します。



d. プロセッサキャリアを持ち上げてヒートシンクから取り外します。



12. アルコールワイプなどのクリーニング溶剤を使用して、プロセッサとヒートシンクに付いているサーマルグリースを除去します。

アルコールが蒸発してから次の手順に進んでください。

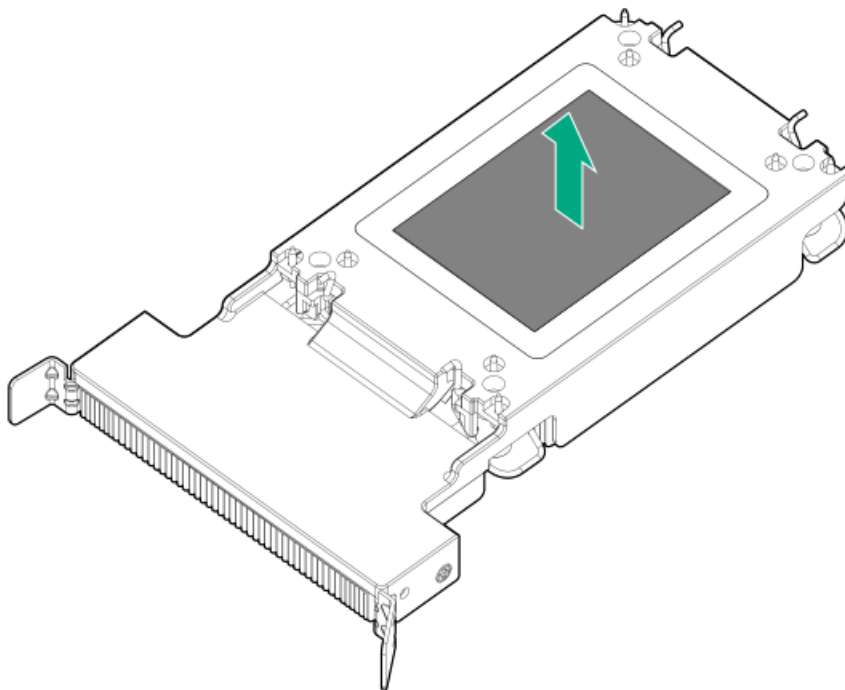
高性能ヒートシンクの取り付け

13. サーマルインターフェース材料から保護フィルムを取り外します。

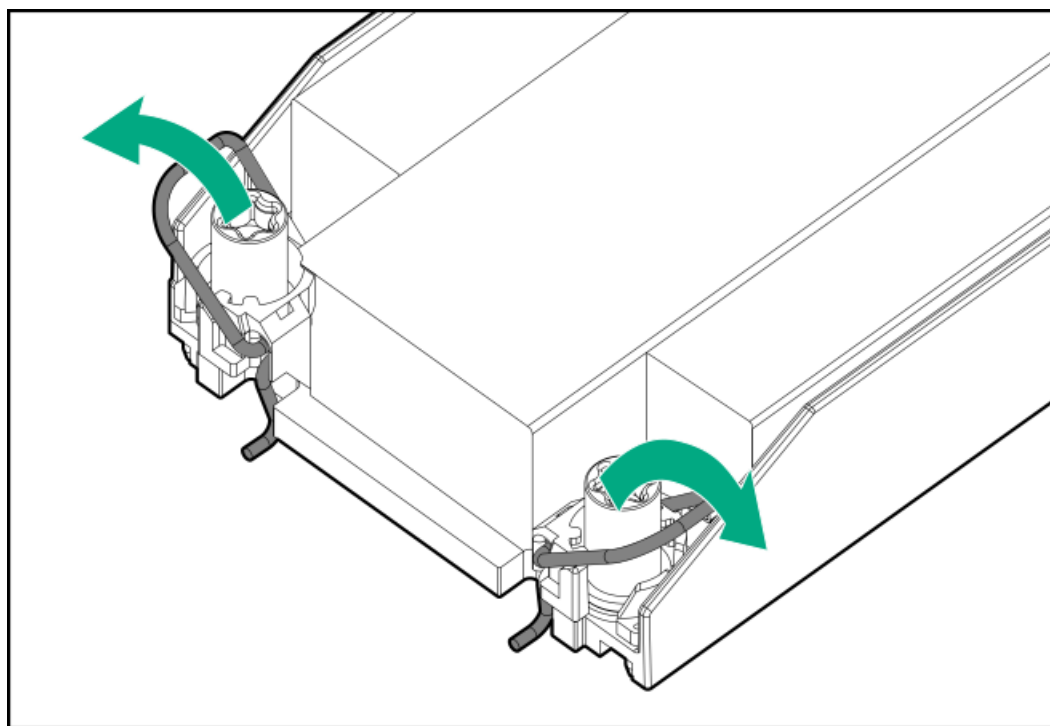


注意

機械的損傷を防いだり、手指の油分やその他の汚れがヒートシンクの接触面に付かないようにするため、ヒートシンクはベースプレートの端だけでお持ちください。ヒートシンクのフィンに手を触れないでください。

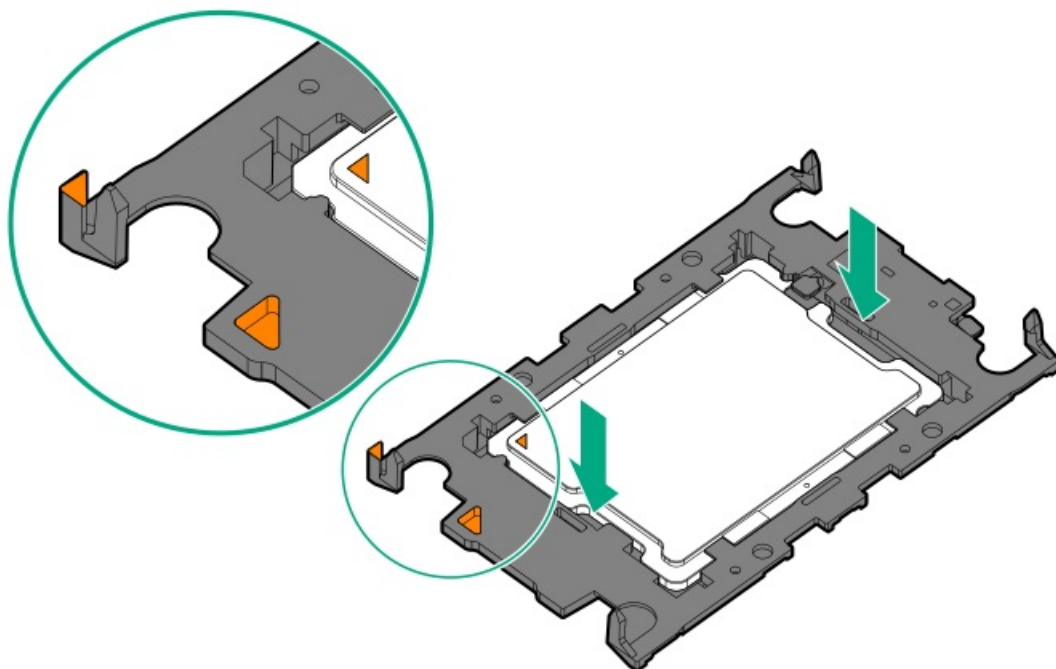


14. 傾き防止ワイヤーをロック位置に設定します。

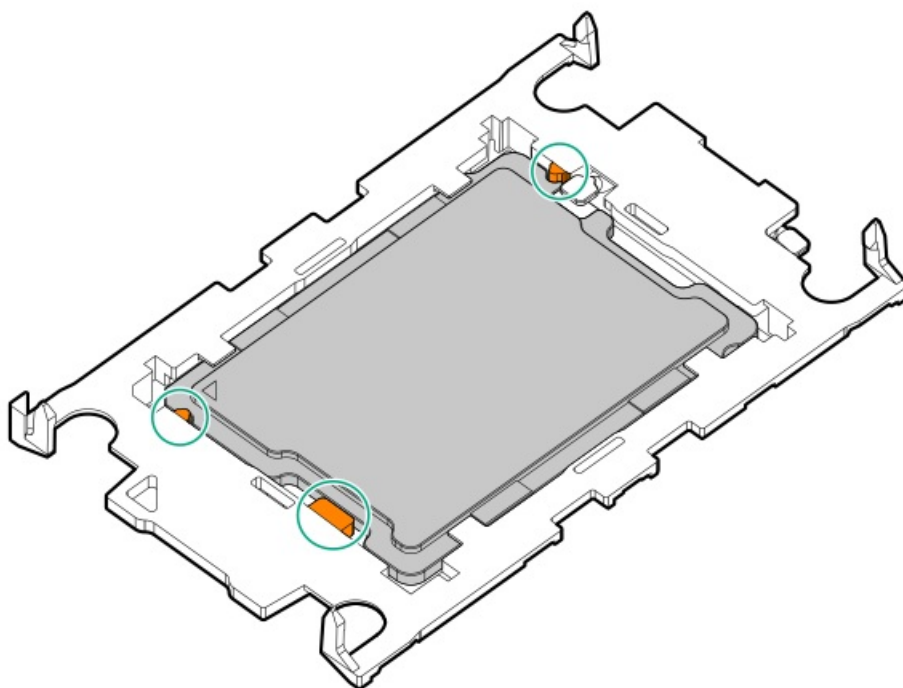


15. プロセッサにプロセッサキャリアを取り付けます。

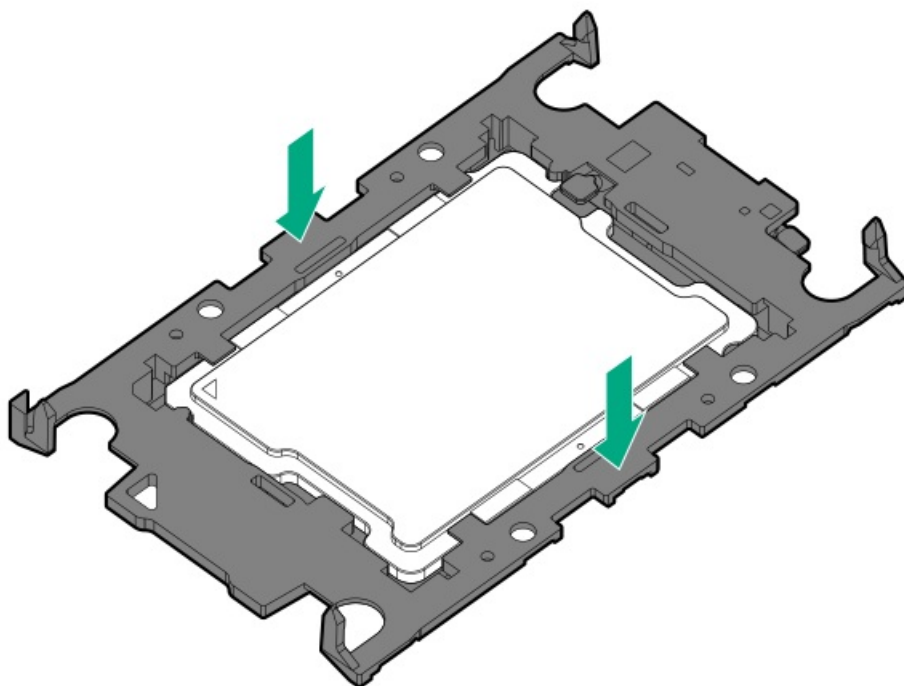
- a. プロセッサキャリアとプロセッサとでピン1インジケータを揃え、プロセッサキャリアがカチッと所定の位置に収まるまで、TIMブレーカーレバー上で対向する2辺を押します。



- b. プロセッサがプロセッサキャリアに正しく固定されていることを確認します。

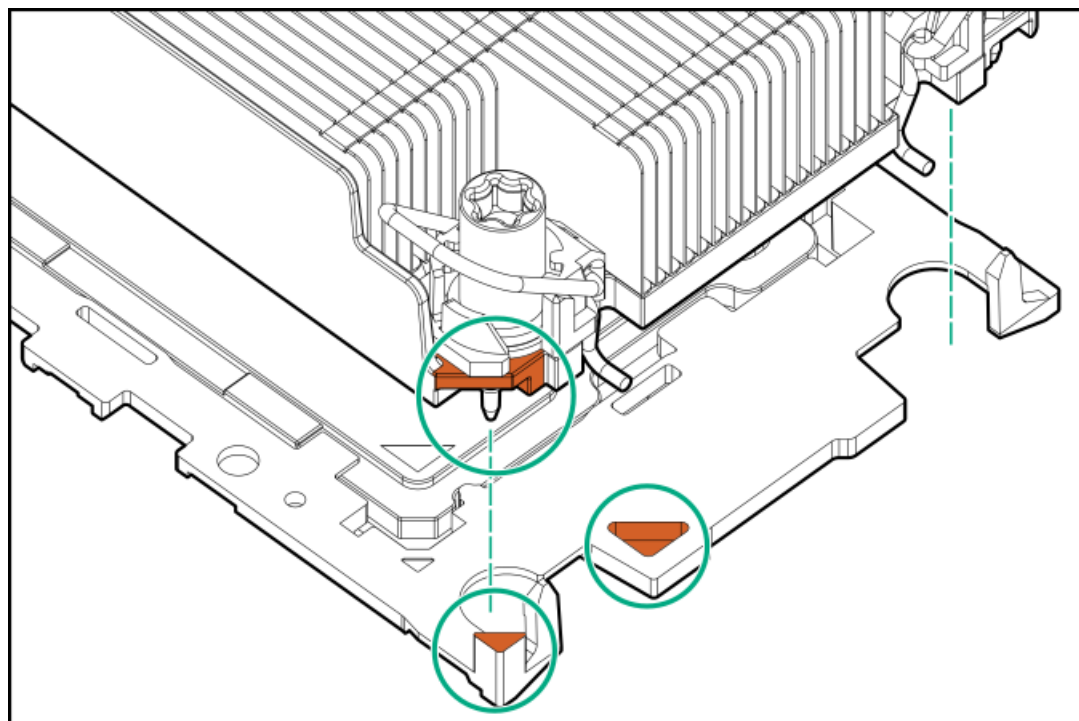


そうならない場合は、プロセッサキャリアがカチッと所定の位置に収まるまで、対向するもう1組の辺を押します。

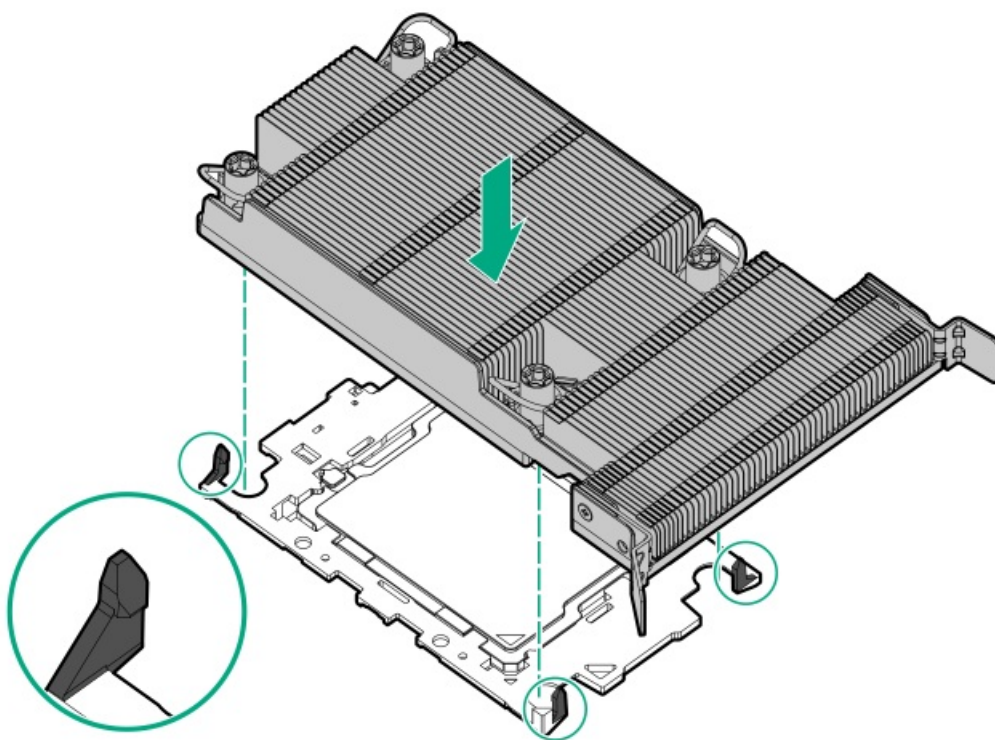


16. ヒートシンクをプロセッサキャリアに接続します。

a. プロセッサキャリアとヒートシンクとでピン1インジケータを揃えます。

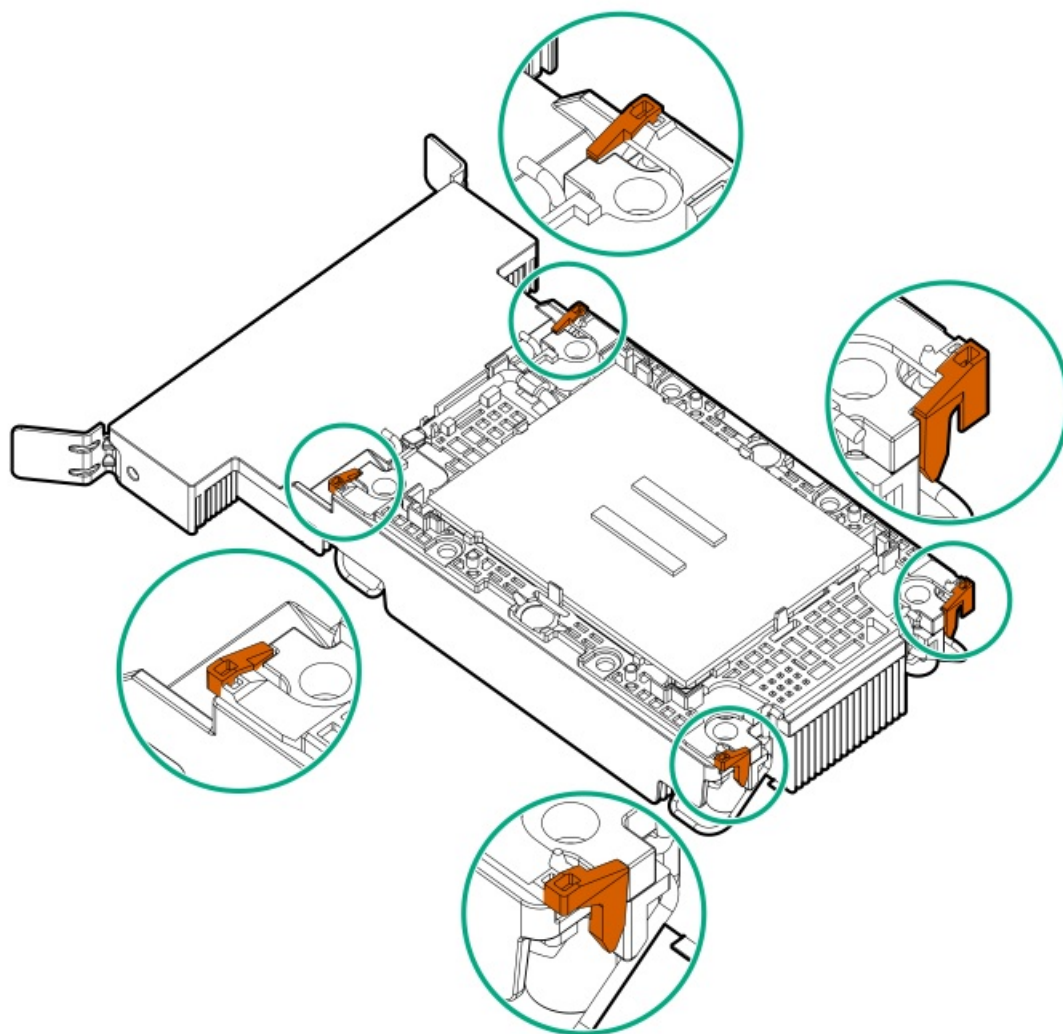


b. プロセッサキャリアのタブが所定の位置にカチッと収まるまで、ヒートシンクをキャリアの上に下ろします。
ヒートシンクがプロセッサキャリアに正しく固定されたことを示すカチッという音がします。

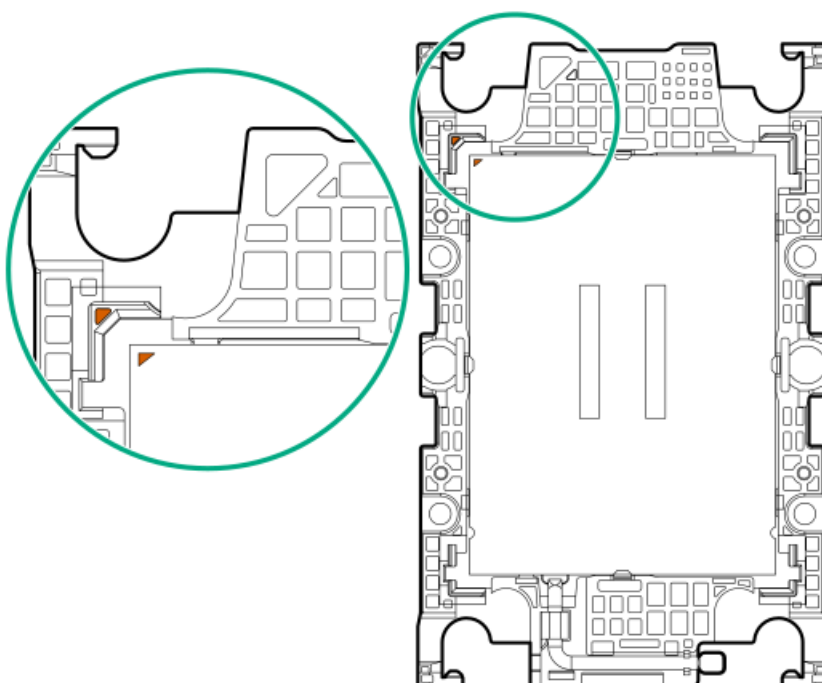


17. 次の確認手順を実行します。

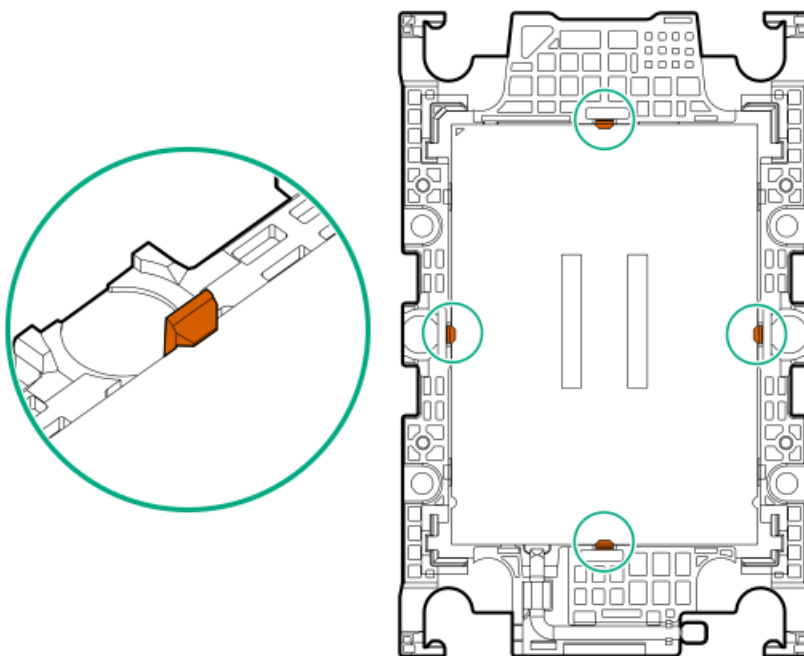
- a. プロセッサキャリアのタブがヒートシンクにしっかりと固定されていることを確認します。



- b. プロセッサとプロセッサキャリアのピン1インジケーターが揃っていることを確認します。



- c. プロセッサがキャリアのスナップで正しく固定されていることを確認します。



18. プロセッサヒートシンクモジュールを取り付けます。

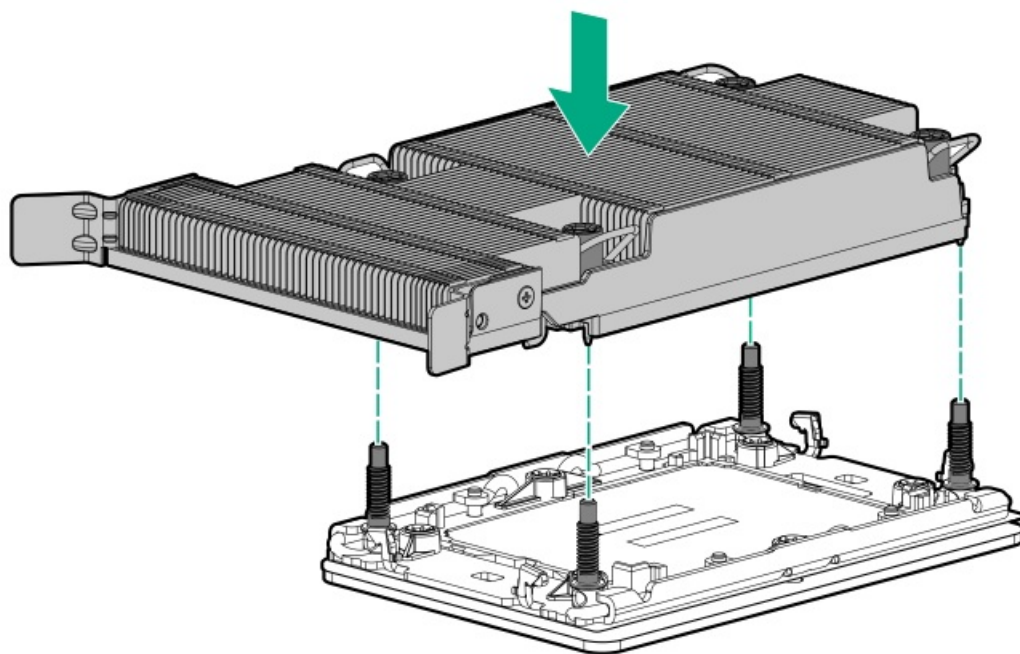


注意

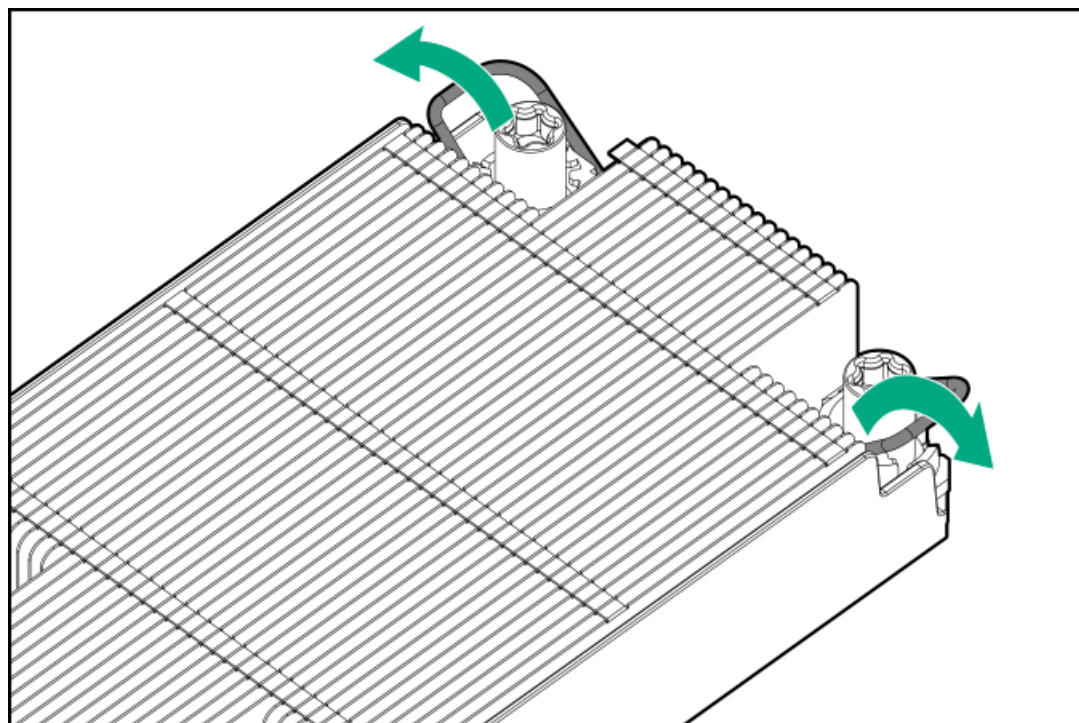
温度劣化またはコンポーネントの損傷を防ぐため、ヒートシンクのベースプレートの下部がプロセッサの上部に触れたら、ヒートシンクを動かさないでください。ヒートシンクの動きが大きすぎると、サーマルグリースが汚れて不均一になる可能性があります。コンパウンドのボイドは、プロセッサからの熱伝導に悪影響を与える可能性があります。

- トルクレンチを使用してヒートシンクのネジを締める場合は、トルク0.9 N-m (8 in-lb)に設定します。
- ヒートシンクラベルの**Front of** サーバーのテキストに注意して、ボルスタープレート上でプロセッサヒートシンクモジュールを正しい向きにします。
- ボルスタープレートのガイドポストにプロセッサヒートシンクモジュールを慎重に下ろします。

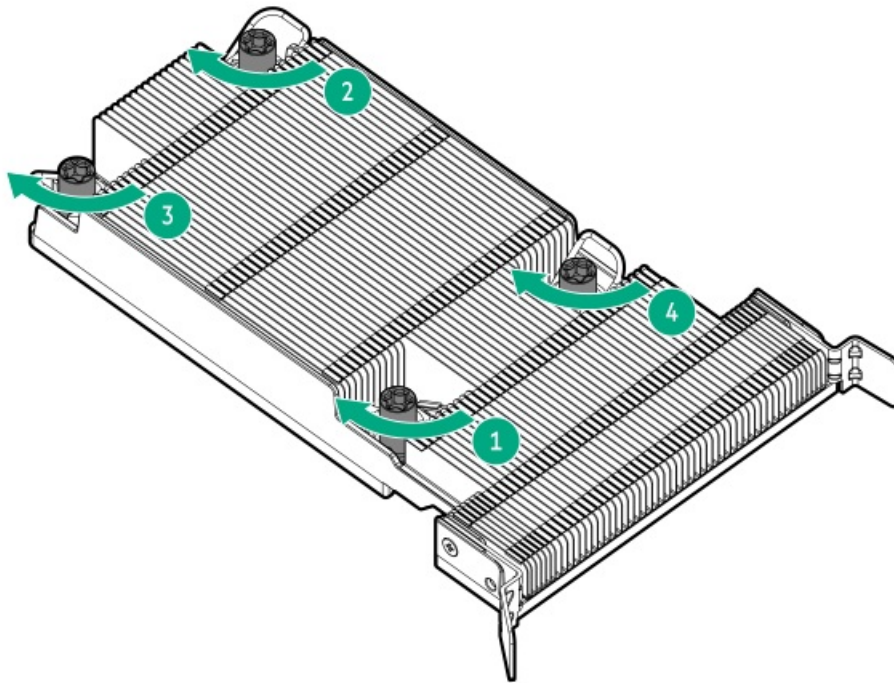
モジュールを一方向にのみ取り付けることができるように、ポストにはキーが付いています。ネジを固定する前に、モジュールがボルスタープレートに正しく取り付けられていることを確認してください。



d. 傾き防止ワイヤーをロック位置に設定します。



e. 対角線上にある1組のヒートシンクネジを締めて、次にもう1組のヒートシンクネジを締めます。



19. 取り外したすべてのコンポーネントを取り付けます。
20. アクセスパネルを取り付けます。
21. サーバーをラックに取り付けます。
22. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
23. 各電源コードをサーバーに接続します。
24. 各電源コードを電源ソースに接続します。
25. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

直接液冷キットの接続

前提条件

DLCホースキットが揃っていることを確認してください。ホースキットは、DLCマニホールドをプロセッサのクールドプレートに接続します。

このタスクについて

DLCシステムについて詳しくは、HPE Cray XD Direct Liquid Cooling System Site Preparation, User, and Maintenance Guideを参照してください：

<http://www.hpe.com/info/xdDLCguide>

手順

1. サーバーの背面から、ライザーケージまたはNS204i-uブラケットから出ているホースを見つけます。
2. ホースからクイックコネクタキャップを取り外します。
3. DLCホースキットを接続します。

4. DLCホースキットをラックのDLCマニホールドに接続します。

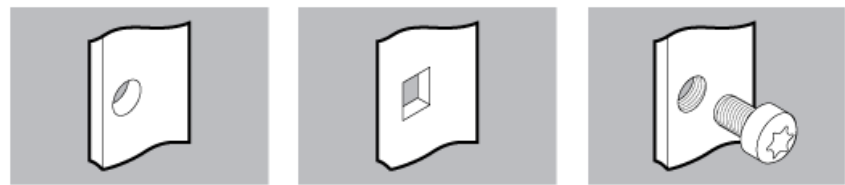
ラックレールとCMA

サブトピック

- [ラックマウントインターフェイス](#)
- [ラックレールのオプション](#)
- [レール識別マーカー](#)
- [ラックレールの取り付け](#)
- [サーバーのラックへの取り付け](#)
- [ラックレールの面ファスナーストラップの取り付け](#)
- [ケーブルマネジメントアームの取り付け](#)

ラックマウントインターフェイス

ラックレールは、次のマウントインターフェイスを備えたラックに取り付けることができます。



丸穴 角穴 丸ネジ穴

この手順で使用する図は、画像の右上隅にアイコンを表示します。このアイコンは、画像に描かれているアクションが有効なマウントインターフェイスのタイプを示します。

ラックレールのオプション

このサーバーでは、次のHPE Easy Installフリクションラックレール（スタブイン）オプションがサポートされます。

サーバー構成	ラックレールのオプション	最小レール長さ	調整可能なレール範囲
8 SFF (2.5型) ドライブ	レールオプション#3 (P52341-B21)	787.55 mm (30.00インチ)	609.60~918.10 mm (24.00~36.15インチ)
4 LFF (3.5型) / 10 SFF (2.5型) / 20 E3.Sドライブ*	レールオプション#5 (P52343-B21)	808.69 mm (31.84インチ)	

* 10 SFF (2.5型) / 20 E3.Sハードウェア構成は、混合ドライブタイプをサポートします。

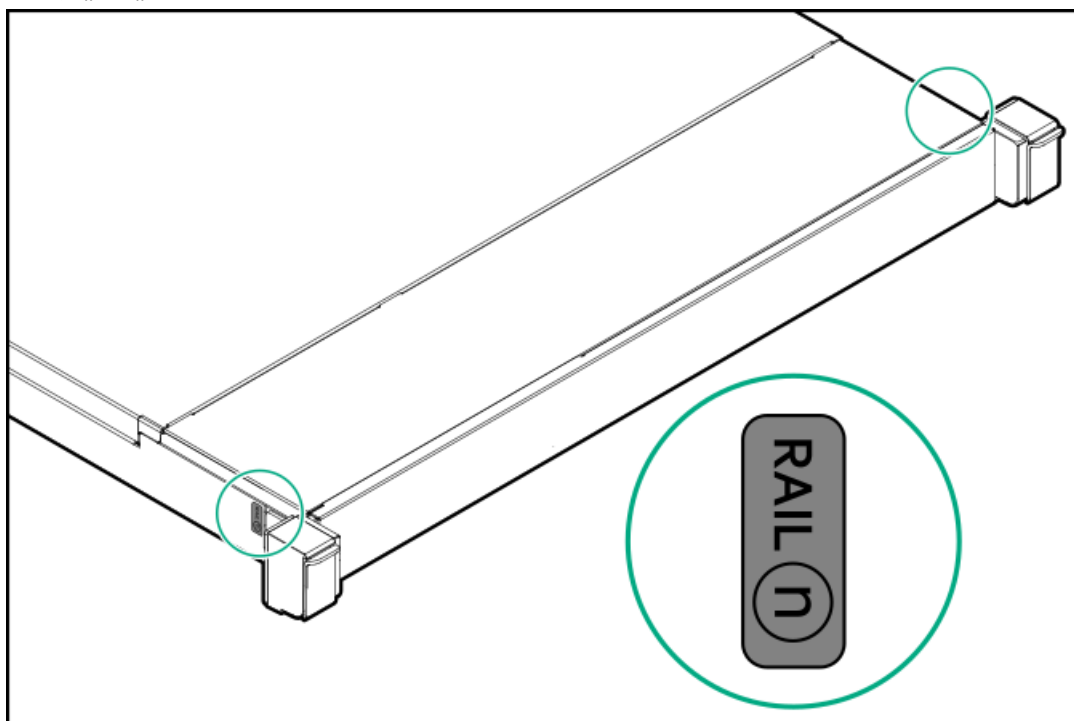
レール識別マーカー

ラックレールオプションのサポートは、次の2つの要因によって異なります。

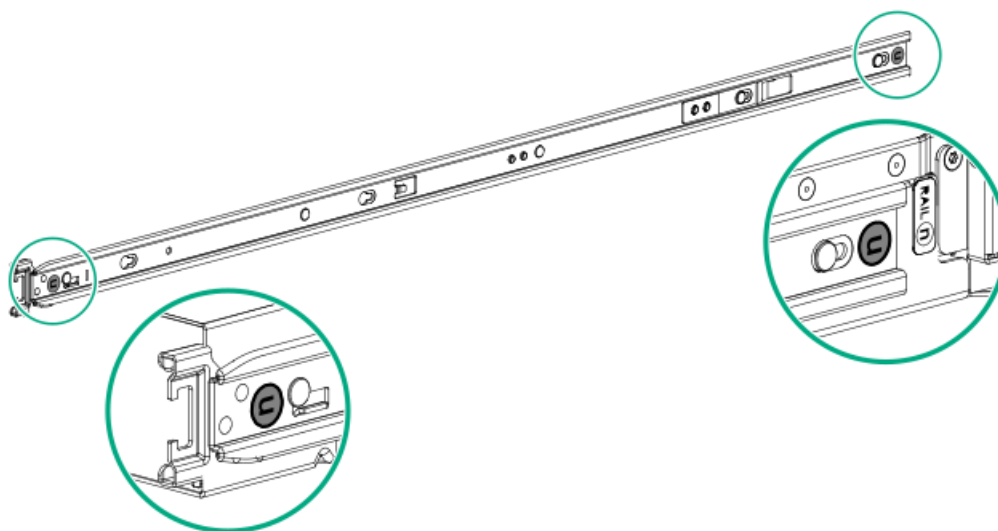
- フロントエンドおよびリアエンドサーバー構成によって決まる、シャーシの高さと重量。
- フロントパネル（フロントベゼルなし）の端からリアパネルの端までを測定したシャーシの奥行き。

ラックレールとサーバー間の互換性を確保するために、シャーシのレール番号ラベルがレールに表記されているものと一致していることを確認してください。

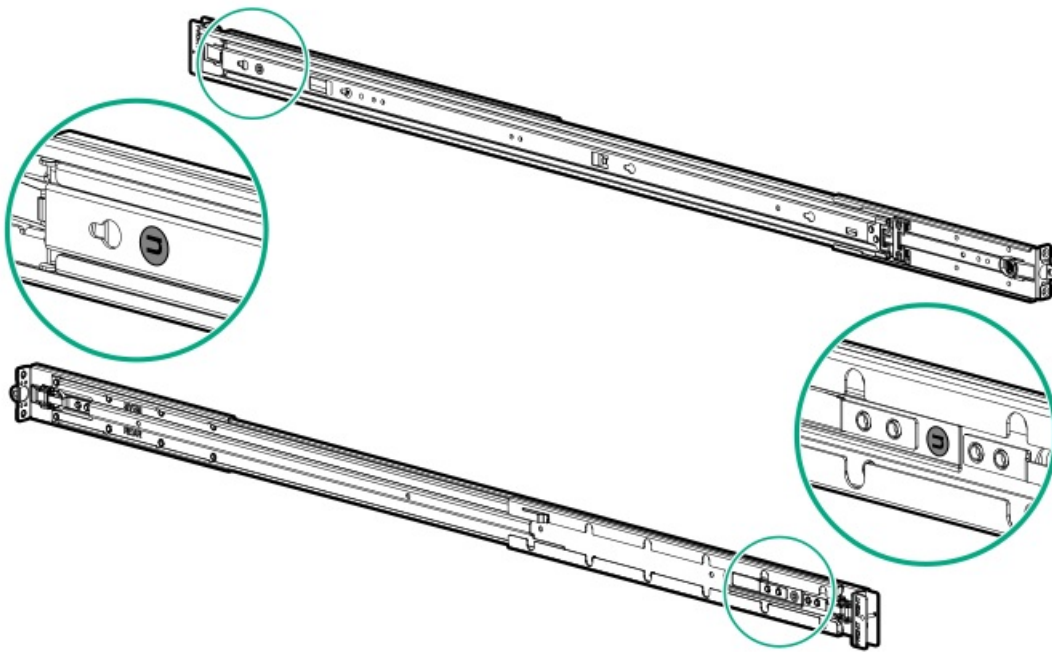
- シャーシのレール番号ラベル
レール#3と#5



- フリクションラックレールのインナーレールにあるレール識別子スタンプ



- フリクションラックレールのマウンティングレールにあるレール識別子スタンプ



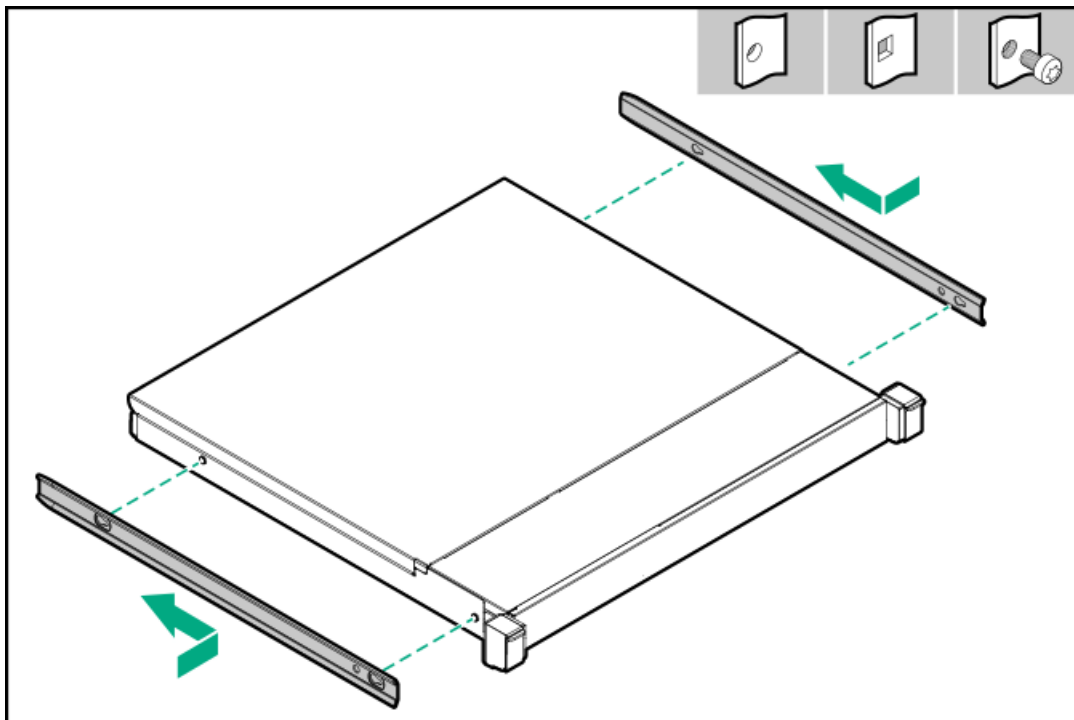
ラックレールの取り付け

前提条件

- レールオプションがサーバー構成と互換性があることを確認してください。
- サーバーを丸ネジ穴ラックに取り付ける場合は、小型のマイナスドライバーを用意してください。

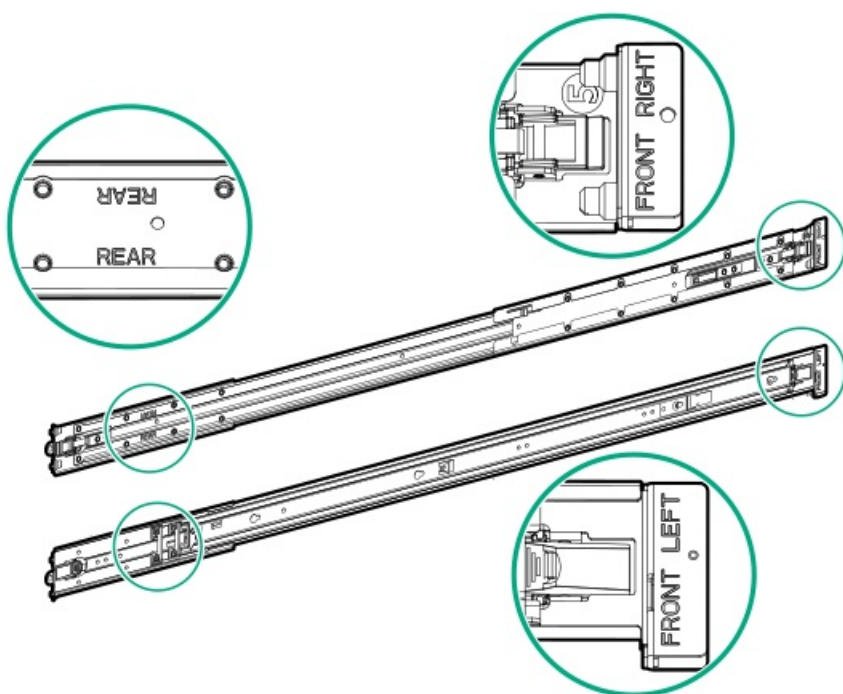
手順

1. サーバーにサーバーレールを取り付けます。



2. ラックレールを特定します。

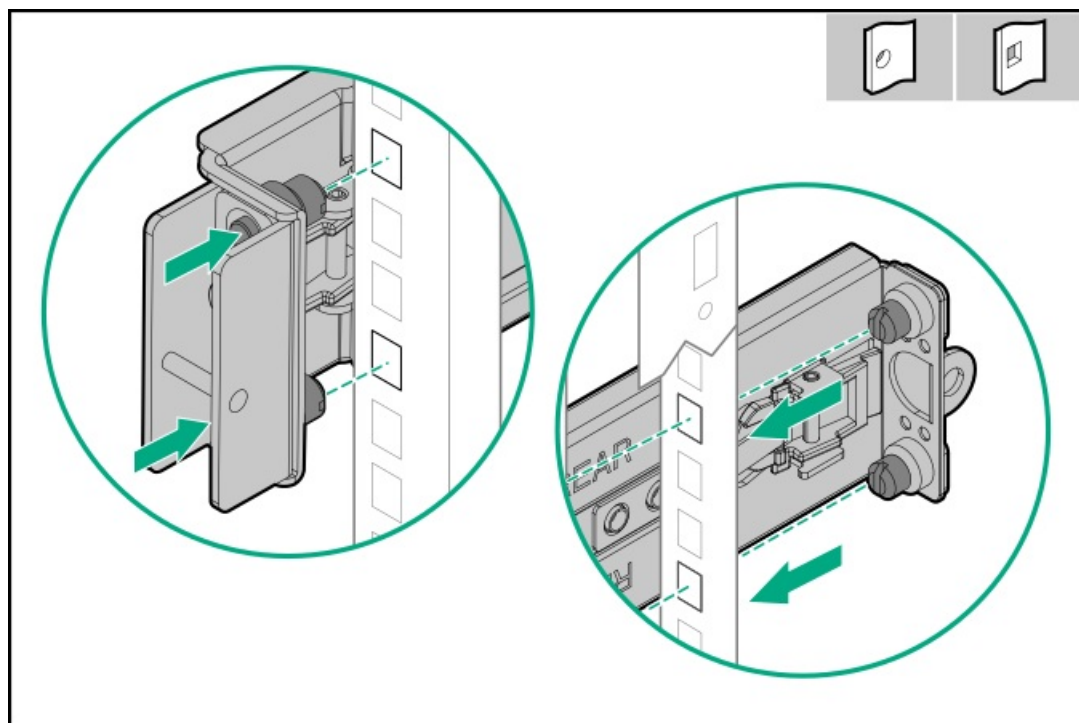
- レールの前端には、**FRONT LEFT**または**FRONT RIGHT**とマークされています。
- レールのもう一方の端には、**REAR**とマークされています。



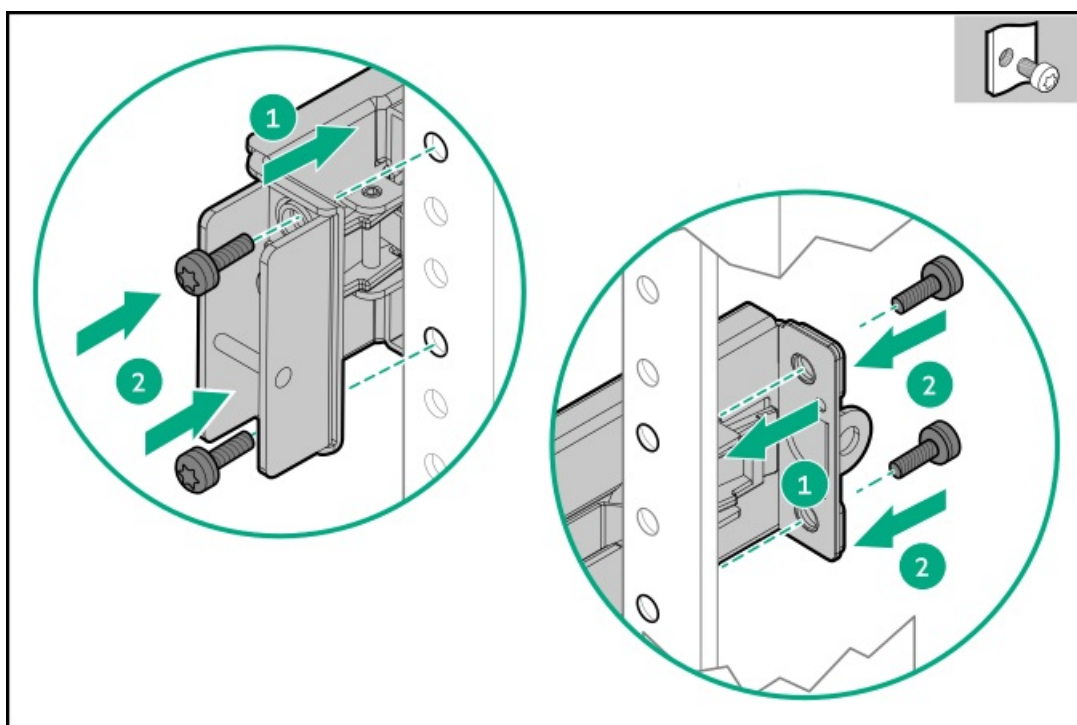
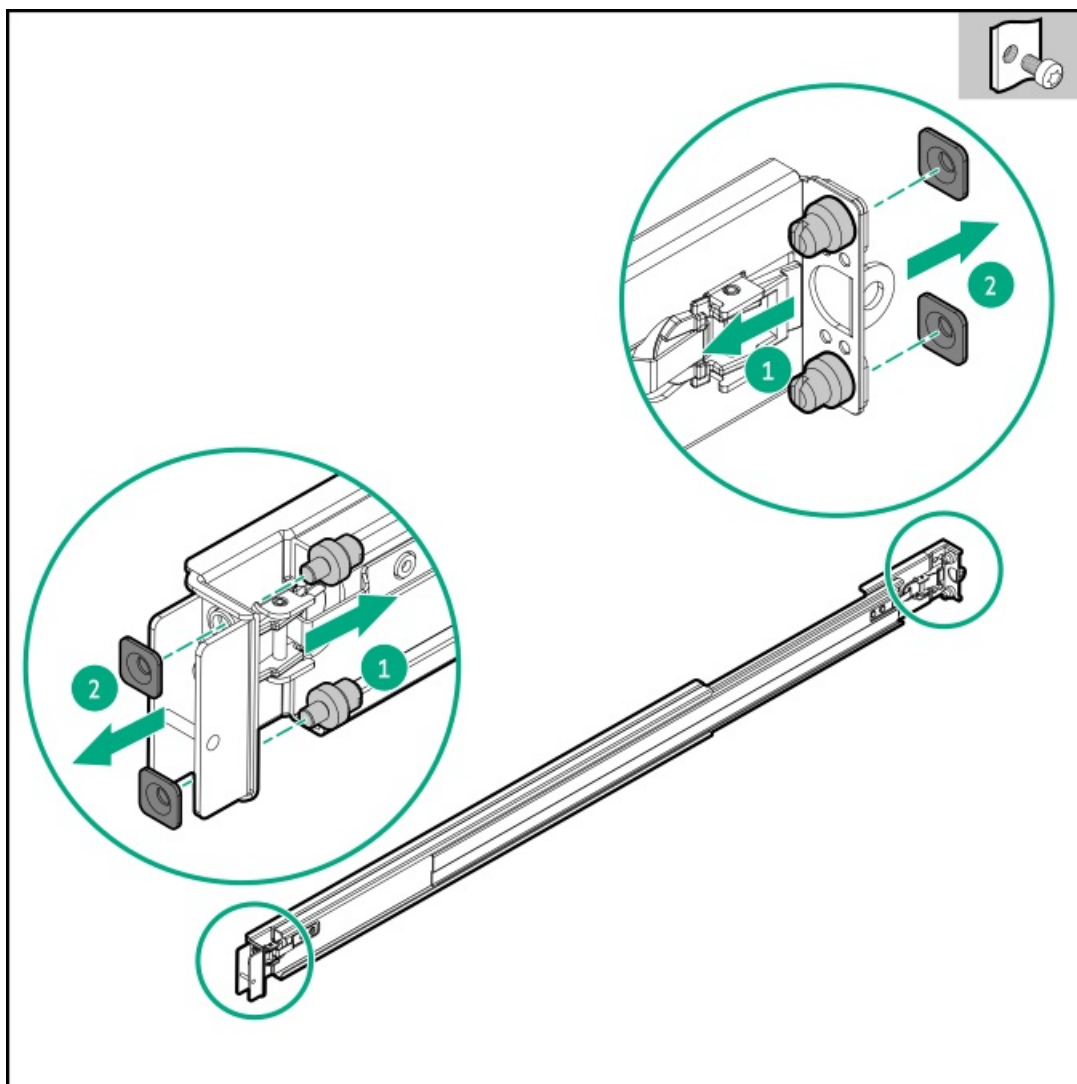
3. ラックレールをラックの奥行きに合わせて伸ばします。

4. ラックレールを取り付けます。

- 丸穴または角穴ラックの場合：



- 丸ネジ穴ラックの場合：



5. サーバーをラックに取り付けます。

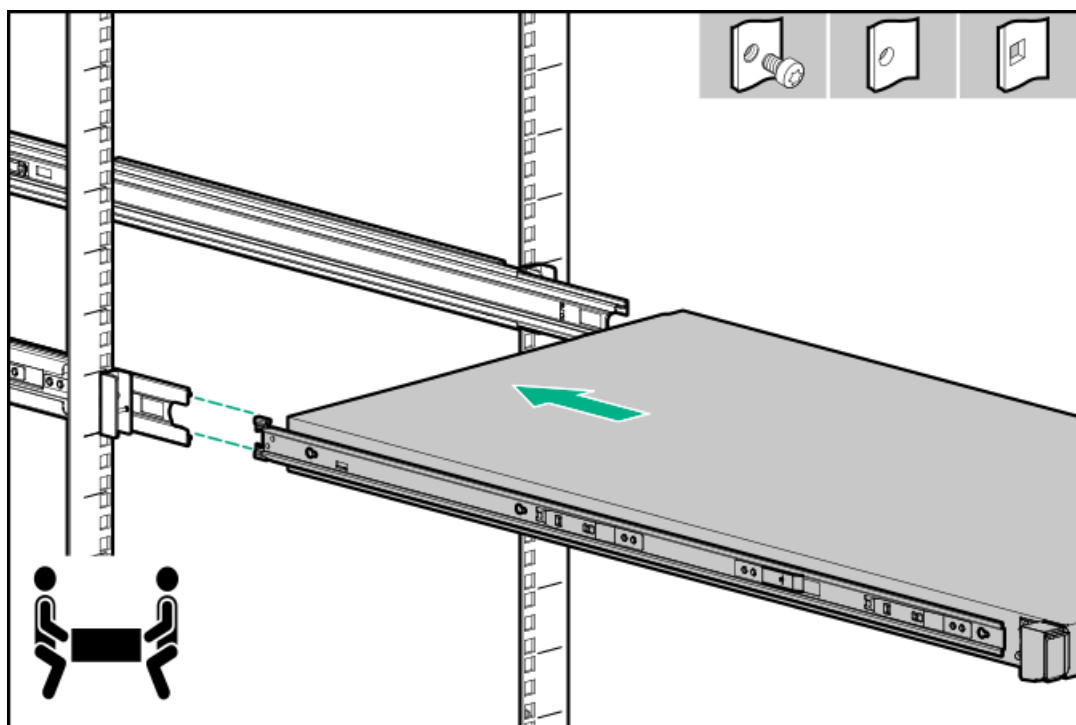
サーバーのラックへの取り付け

前提条件

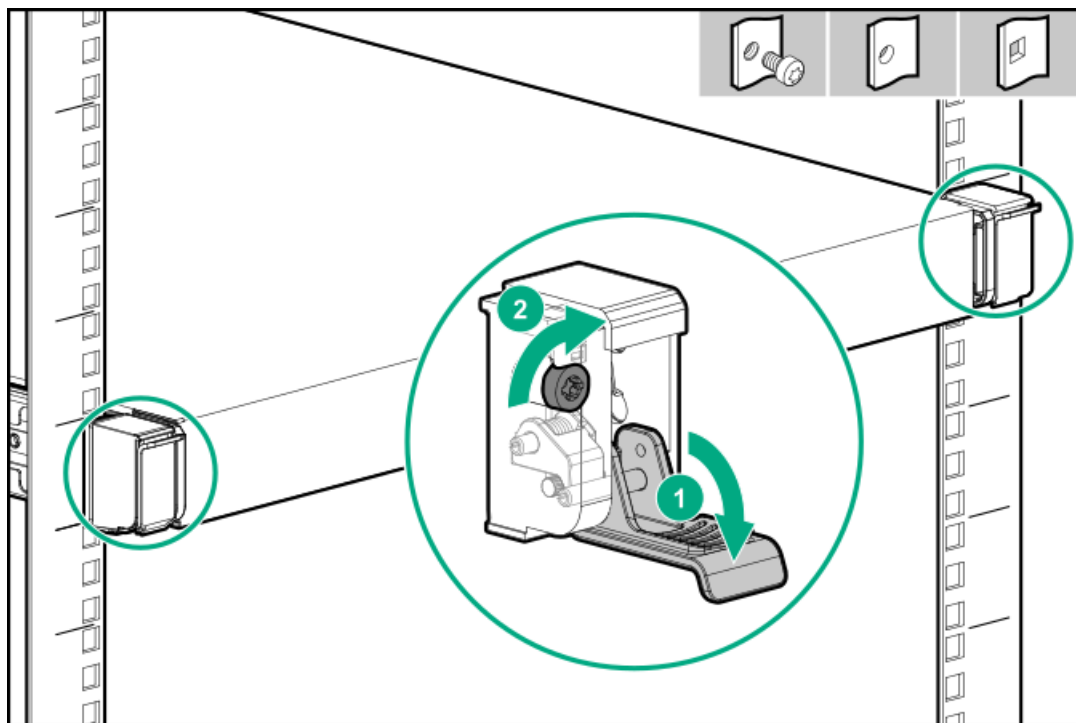
- この手順を実行する前に、以下を参照してください。
 - 空間および通気要件
 - ラックに関する警告と注意事項
 - サーバーに関する警告と注意事項
- 完全に実装されたサーバーは重量があります。Hewlett Packard Enterpriseでは、外部シャーシコンポーネントを取り外してから、ラックにサーバーを取り付けることをお勧めします。
- この手順を実行する前に、T-25トルクスドライバーを用意しておきます。

手順

1. サーバーをラックに取り付けます。



2. 輸送用ネジを締めます。



3. すべての周辺装置ケーブルをサーバーに接続します。
4. 電源コードを接続します。
 - a. 各電源コードをサーバーに接続します。
 - b. 各電源コードを電源に接続します。

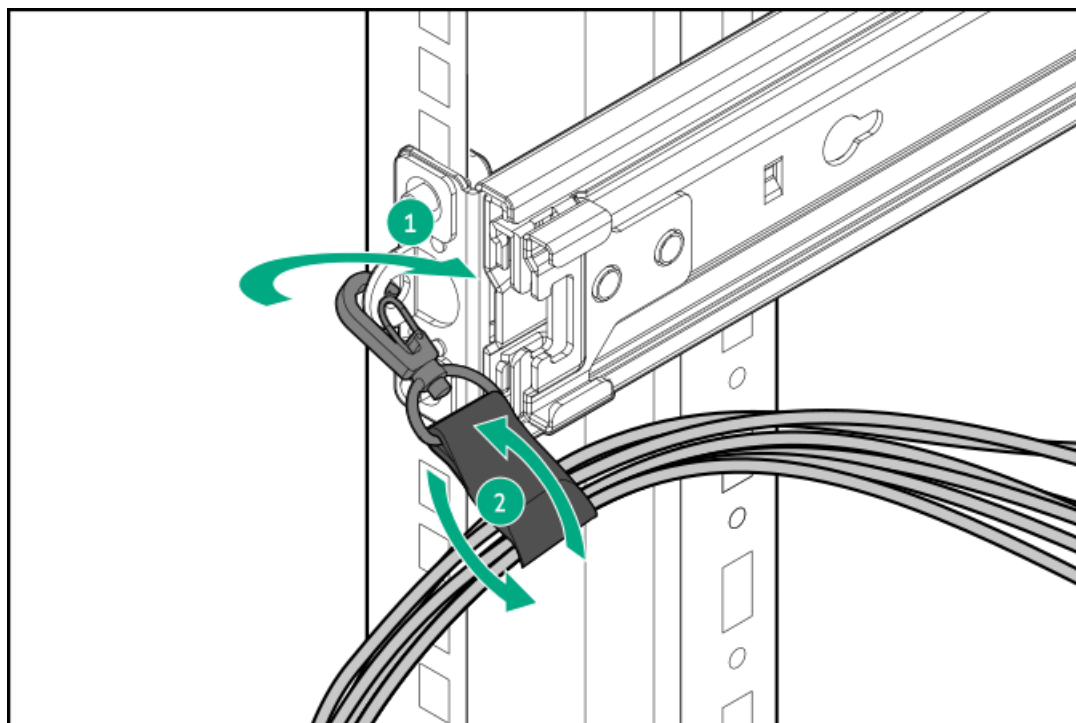
ラックレールの面ファスナーストラップの取り付け

このタスクについて

面ファスナーストラップは、左側または右側のレールのいずれかに取り付けることができます。

手順

1. ストラップカラビナをレールに取り付けます。
2. コードとケーブルを束ねた後、ストラップをケーブルに巻き付けます。



タスクの結果

取り付け手順は完了です。

ケーブルマネジメントアームの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、ラックに関する警告と注意事項を確認してください。

このタスクについて



注意

取り外しおよび交換手順の際は、CMAを支えてください。手順中にCMAが自重でぶら下がらないようにしてください。



注意

ケーブルマネジメントラッチまたはレールリリースラッチを押す際には、けがをしないように十分に注意してください。レールまたはラッチに指をはさむ場合があります。

手順

1. すべての周辺装置のケーブルと電源コードをリアパネルに接続して固定します。

2.



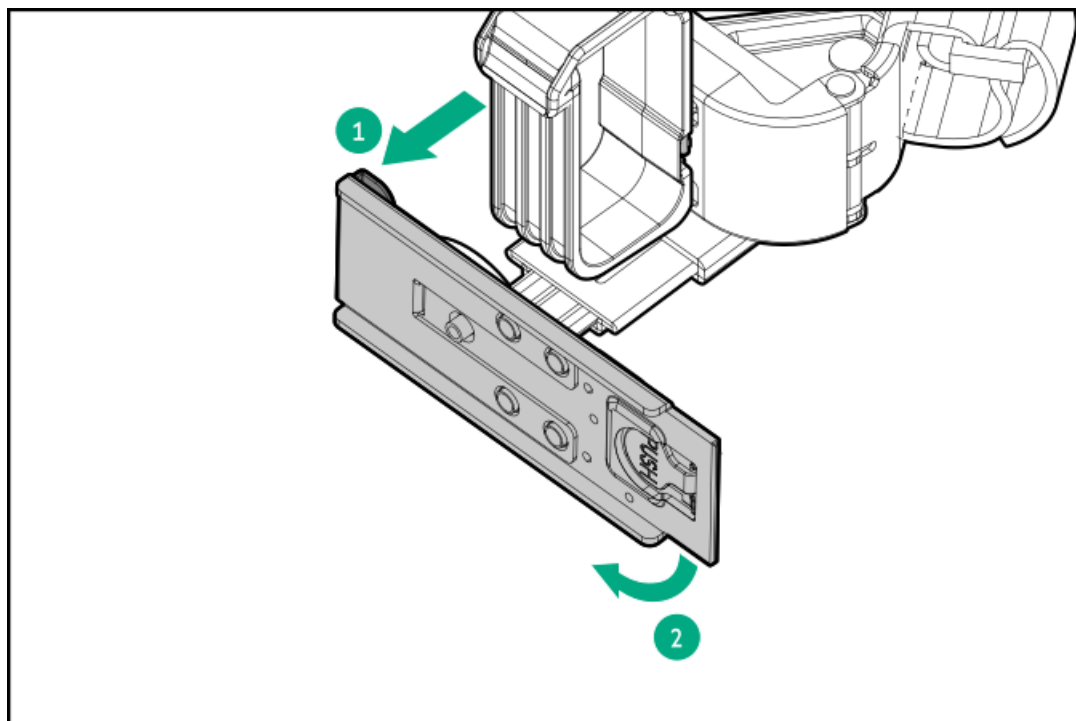
注記

ブラケットは下の画像と外観が異なる場合がありますが、手順は同じです。

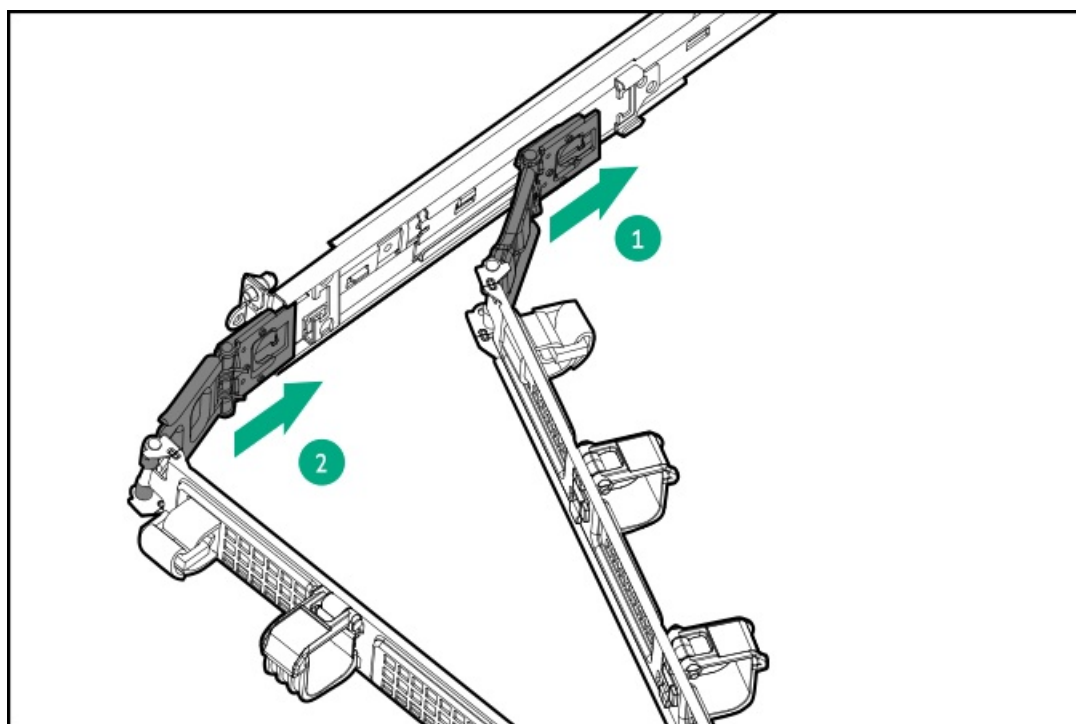
(オプション) ブラケットを回転させます。

マネジメントアームは、ラックの左側または右側から外に開くように取り付けることができます。取り付ける前に、構成に応じてエルボブラケットを回転させます。

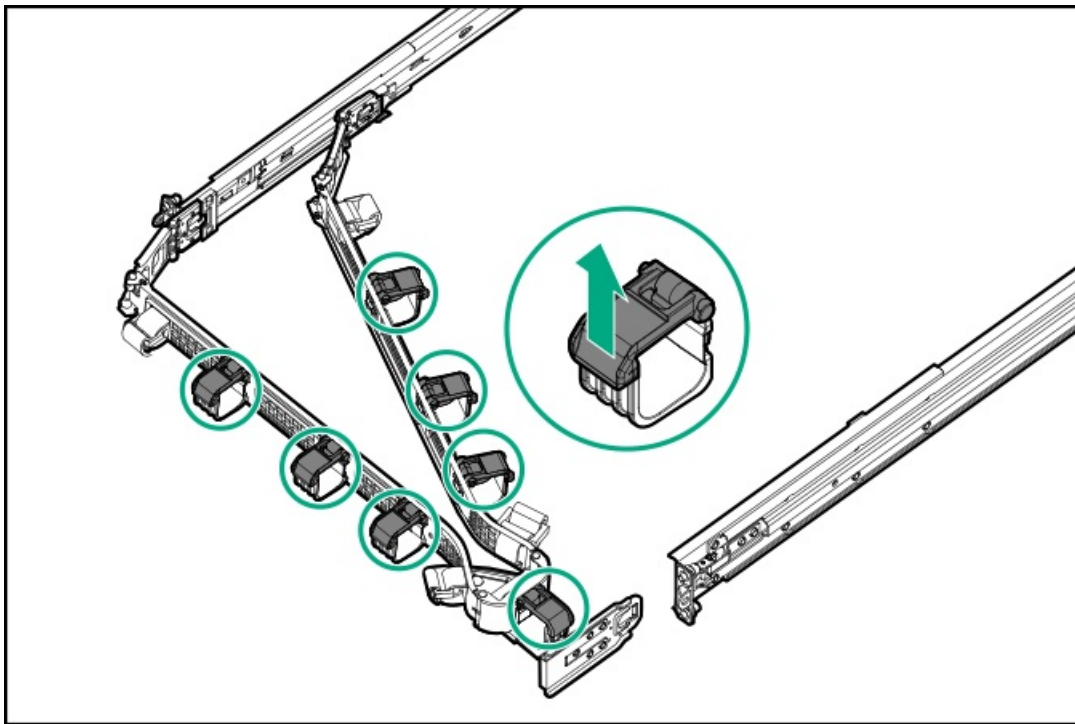
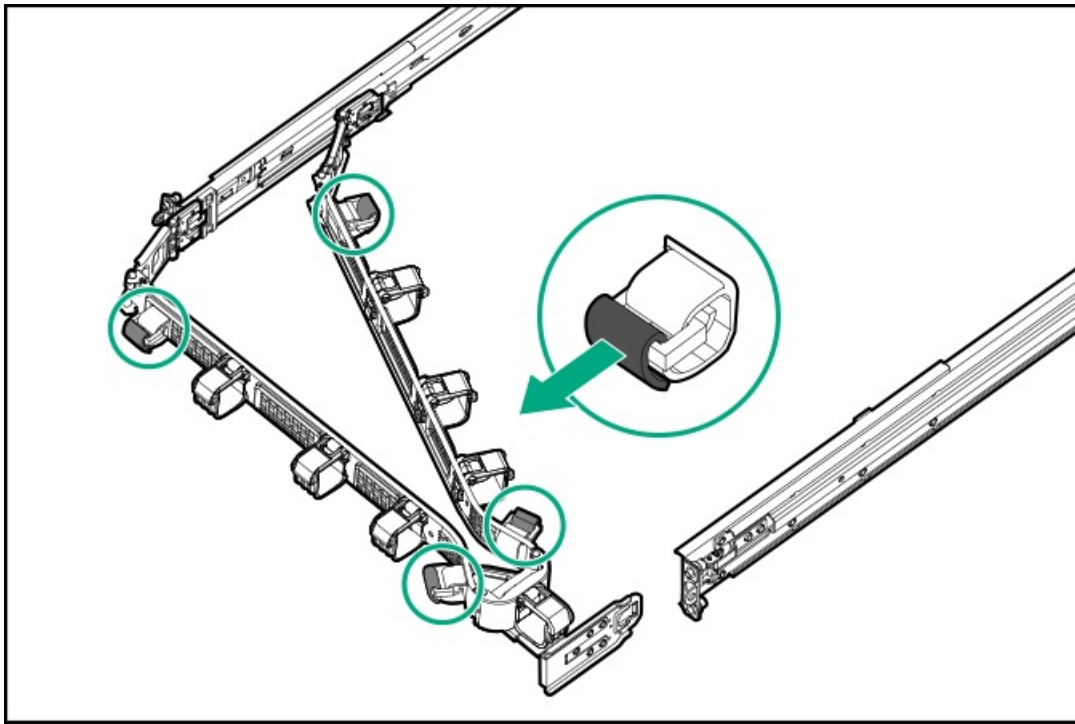
ブラケットが調整された位置でロックされたことを示すカチッという音がします。



3. CMA ブラケットをインナーレールとアウターレールに取り付けます。



4. ストラップとケーブルバスケットを開きます。



5.

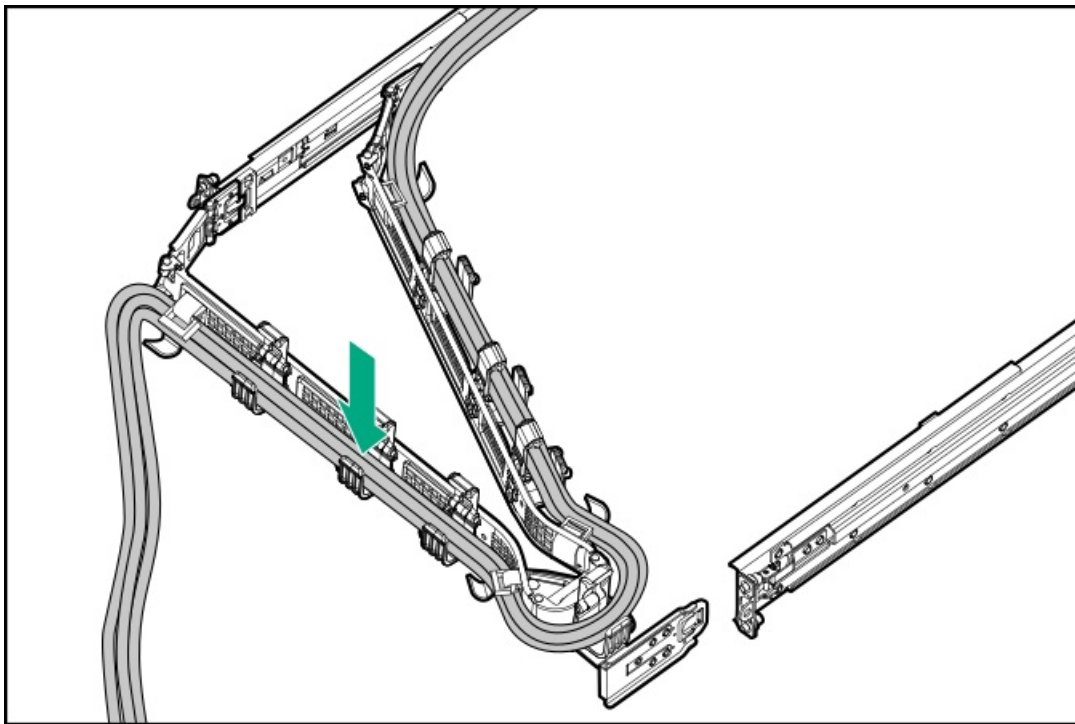


注意

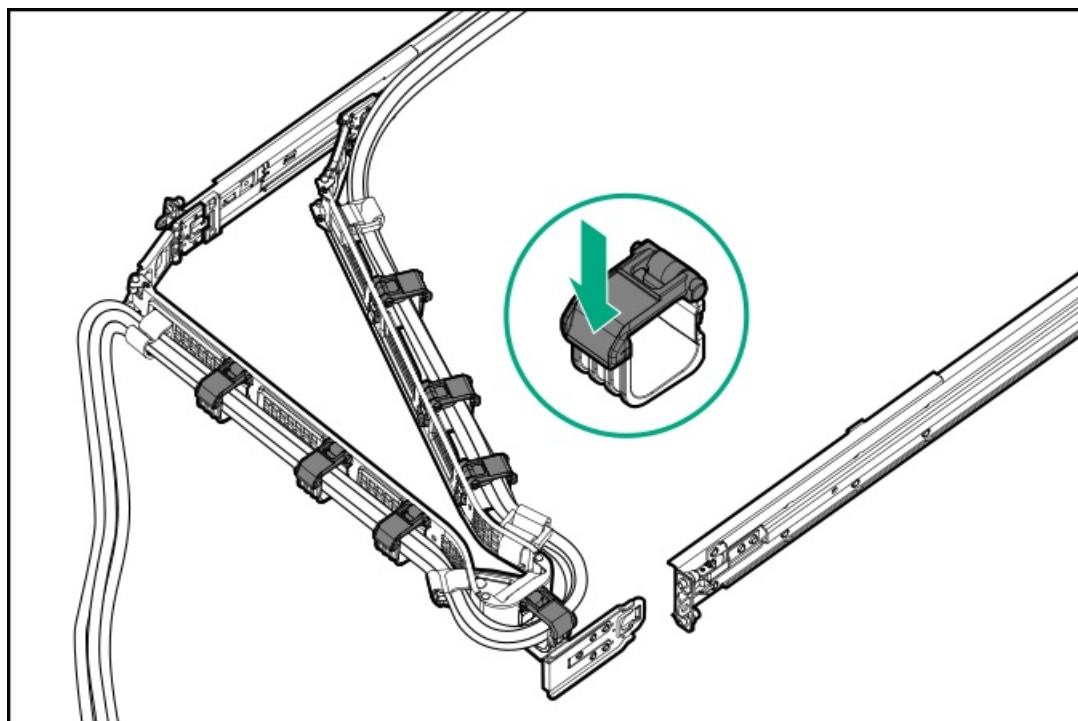
CMAに固定された周辺ケーブルと電源コードの管理には、業界のベストプラクティスを採用してください。これらはさらに重要なポイントのいくつかです。

- リアパネルとCMAの間に十分なケーブルのたるみを残して、サーバーをラックから引き出す際に、CMAを完全に引き出せるようにします。
- ただし、CMA内に余分なケーブルのたるみがないようにしてください。これにより、ケーブルがからまり、ケーブルが損傷する可能性があります。
- ケーブルと電源コードが、それらが接続されているサーバーの上部または底部を越えて伸びていないことを確認してください。さもないと、サーバーをラックから引き出すか戻すときに、ラックに取り付けられている他の機器にケーブルが引っかかる可能性があります。

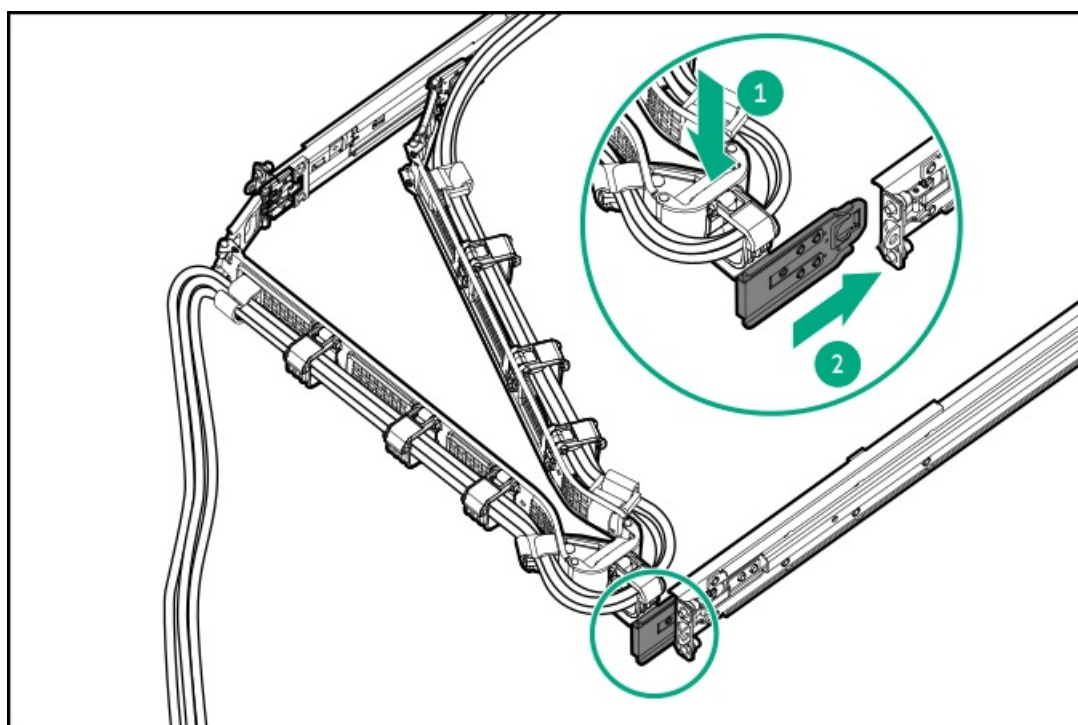
ケーブルを取り付けます。



6. バスケットを閉じてストラップを固定します。



7. 位置を合わせてエルボブラケットを取り付けます。



タスクの結果

取り付け手順は完了です。

ライザーとライザーケージ

サブトピック

[プライマリPCIライザーケージオプション](#)
[セカンダリPCIライザーオプション](#)

プライマリPCIライザーケージオプション

標準プライマリライザーは、以下をサポートします。

- スロット1 - 1x PCIe 5.0 x16 FHHL
- スロット2 - 1x PCIe 5.0 x16 LP

サブトピック

[スロット1への拡張ボードの取り付け](#)
[スロット2への拡張ボードの取り付け](#)

スロット1への拡張ボードの取り付け

前提条件

このオプションを取り付ける前に、次のものがすべて揃っていることを確認してください。

- ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネント
- T-10トルクスドライバー

手順

1. 次のアラートに注意してください。



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。

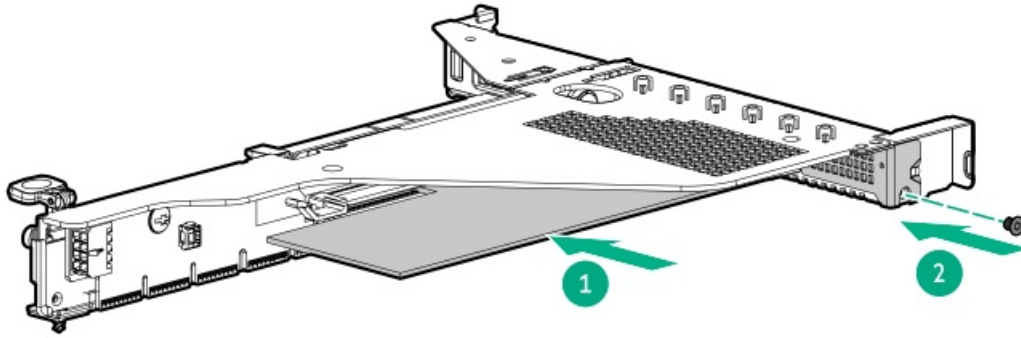


注意

電子部品の損傷を防止するために、サーバーに正しくアースを行ってから、取り付け手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

2. サーバーのすべてのデータのバックアップを取ります。
3. [サーバーの電源を切ります。](#)
4. すべての電源の取り外し：
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
5. 以下のいずれかを実行します。
 - a. [サーバーをラックから引き出します。](#)
 - b. [サーバーをラックから取り外します。](#)
6. [アクセスパネルを取り外します。](#)

7. プライマリPCIライザーケージを取り外します。
8. 拡張ボードを取り付けます。



9. 必要な内部または外部ケーブルを拡張ボードに接続します。
10. プライマリPCIライザーケージを取り付けます。
11. アクセスパネルを取り付けます。
12. サーバーをラックに取り付けます。
13. 各電源コードをサーバーに接続します。
14. 各電源コードを電源ソースに接続します。
15. サーバーの電源を入れます。

スロット2への拡張ボードの取り付け

前提条件

このオプションを取り付ける前に、次のものがすべて揃っていることを確認してください。

- ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネント
- T-10トルクスドライバー

手順

1. 次のアラートに注意してください。



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。

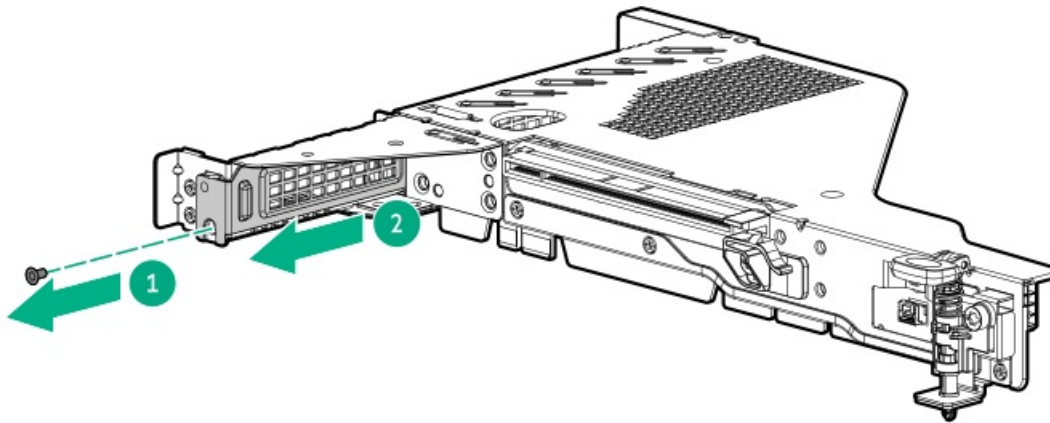


注意

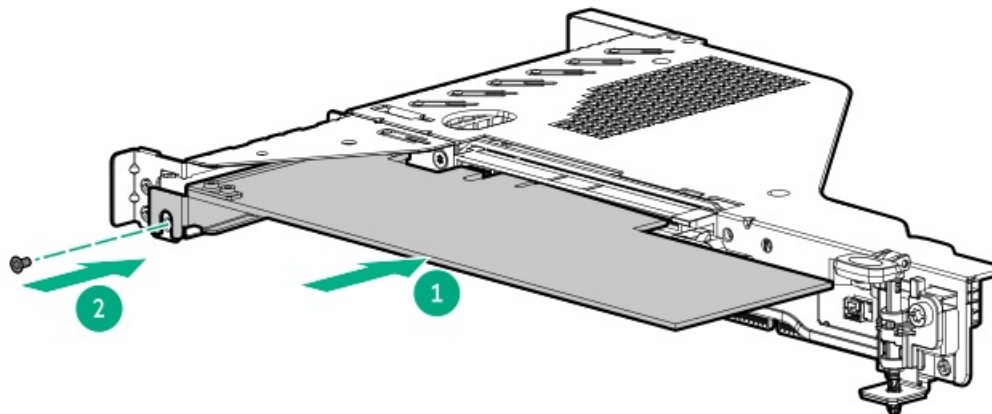
電子部品の損傷を防止するために、サーバーに正しくアースを行ってから、取り付け手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

2. サーバーのすべてのデータのバックアップを取ります。
3. サーバーの電源を切ります。
4. すべての電源の取り外し：

- a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
5. 以下のいずれかを実行します。
- a. サーバーをラックから引き出します。
 - b. サーバーをラックから取り外します。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. プライマリPCIe ライザーケージを取り外します。
8. 拡張スロットブランクを取り外します。



9. T-10トルクスドライバーを使用して、拡張ボードを取り付けます。



10. 必要な内部または外部ケーブルを拡張ボードに接続します。
11. プライマリPCIe ライザーケージを取り付けます。
12. アクセスパネルを取り付けます。
13. サーバーをラックに取り付けます。
14. 各電源コードをサーバーに接続します。
15. 各電源コードを電源ソースに接続します。
16. サーバーの電源を入れます。

セカンダリPCIライザーオプション

セカンダリPCIライザーケースは、以下のオプションをサポートします。

- x16フルハイトライザーキット
- x16ロープロファイルライザーキット

サブトピック

[セカンダリロープロファイルライザーオプションの取り付け](#)
[セカンダリフルハイトライザーオプションの取り付け](#)
[セカンダリライザーケースへの拡張ボードの取り付け](#)

セカンダリロープロファイルライザーオプションの取り付け

前提条件

- [ライザースロットの番号](#)を確認します。
- このオプションを取り付ける前に、ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネントが揃っていることを確認してください。

このタスクについて

このオプションでは、デュアルプロセッサ構成が必要です。

このライザーケースが取り付けられている場合、追加のロープロファイルスロットが提供され、ハーフレンクス/ハーフハイトの拡張ボードがサポートされます。



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。

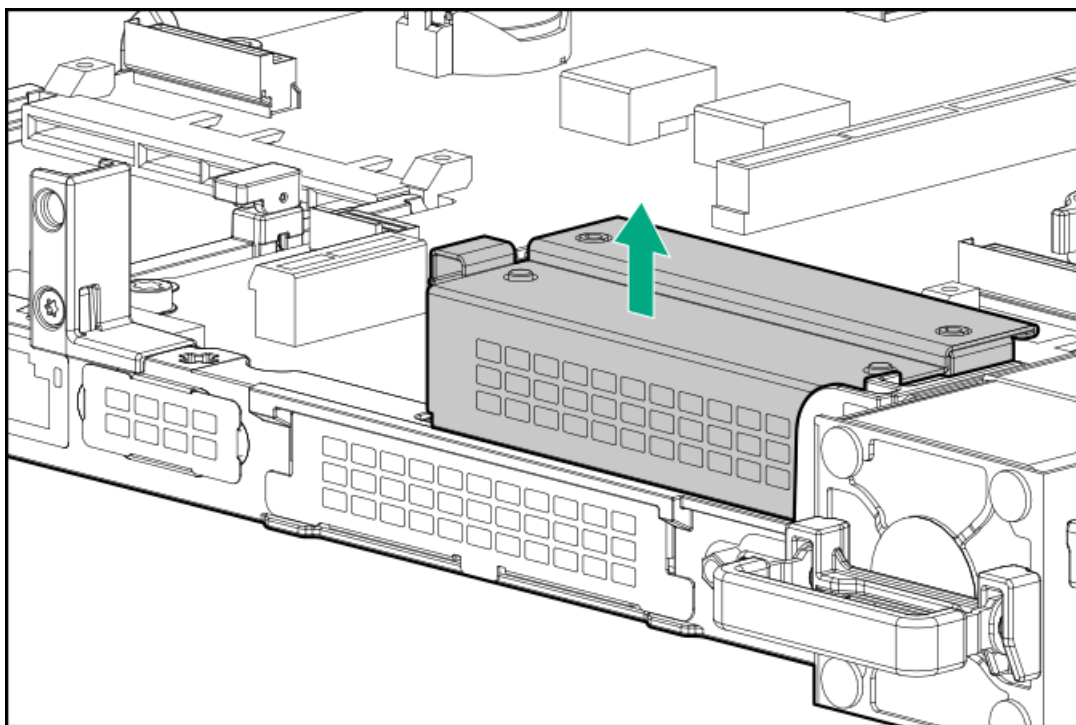


注意

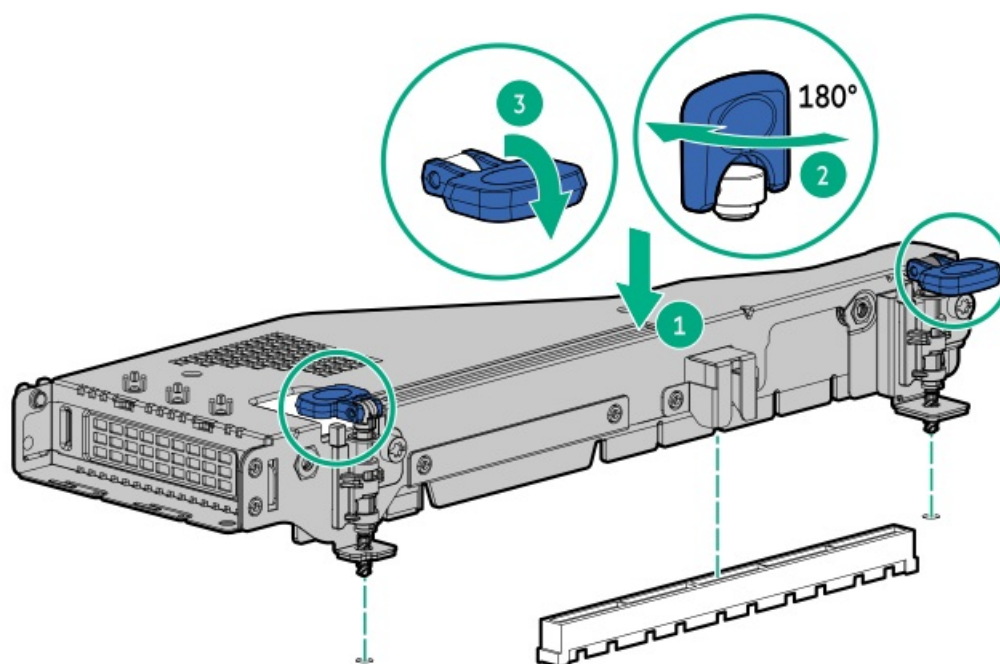
人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、[静電気防止の注意事項](#)に従ってください。

手順

1. [すべてのサーバーデータをバックアップ](#)します。
2. [サーバーの電源を切り](#)ます。
3. すべての電源の取り外し：
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
4. 次のいずれかを実行します。
 - a. [サーバーをラックから引き出し](#)ます。
 - b. [サーバーをラックから取り外し](#)ます。
5. サーバーを平らで水平な面に置きます。
6. [アクセスパネルを取り外し](#)ます。
7. セカンダリライザーブラックを取り外します。



8. セカンダリライザーケースを取り付けます。



9. アクセスパネルを取り付けます。

10. サーバーをラックに取り付けます。

11. 各電源コードをサーバーに接続します。

12. 各電源コードを電源に接続します。

13. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

セカンダリフルハイトライザーオプションの取り付け

前提条件

- ライザー Slots の番号を確認していること。
- このオプションを取り付ける前に、次のものがすべて揃っていることを確認してください。
 - ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネント
 - 取り付ける拡張ボードまたはコントローラー
 - T-10トルクスドライバー
 - T-15トルクスドライバー

このタスクについて

このオプションでは、デュアルプロセッサ構成が必要です。



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。

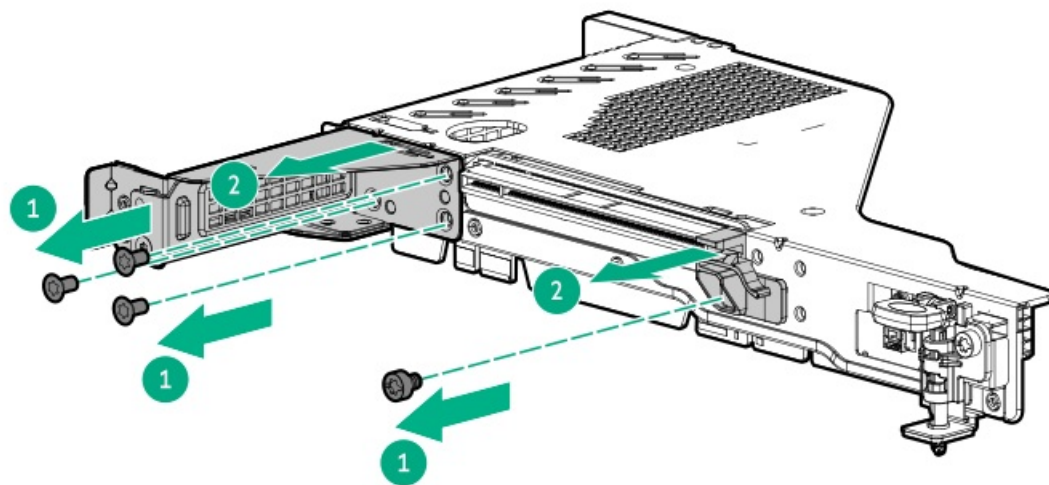


注意

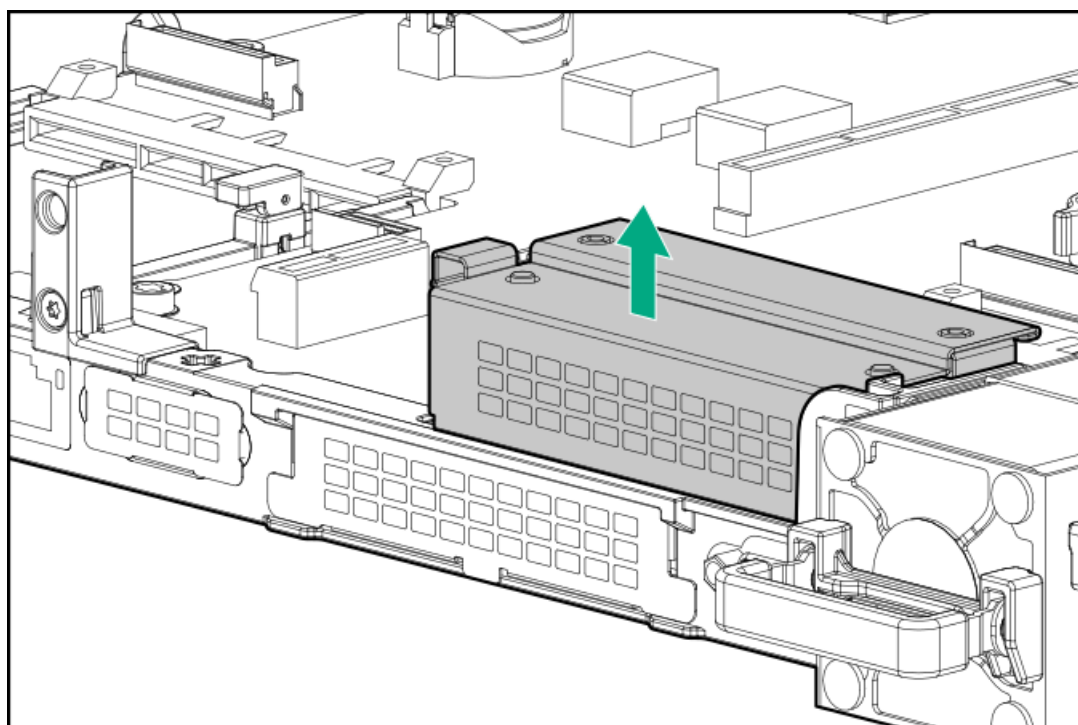
人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

手順

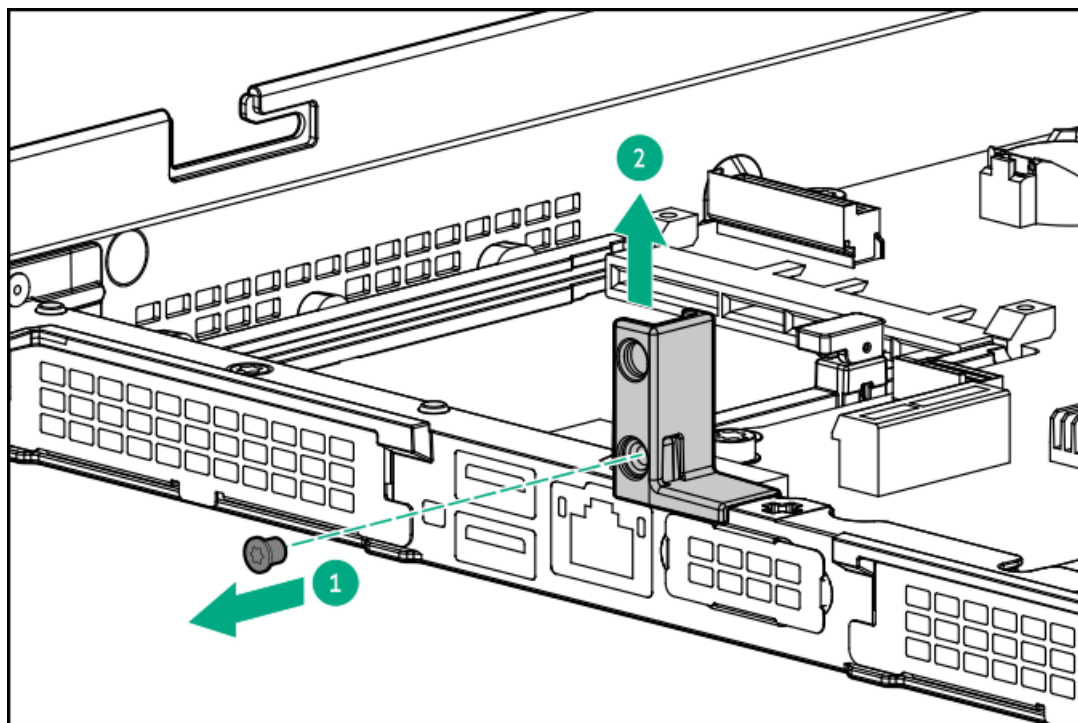
1. すべてのサーバーデータをバックアップします。
2. サーバーの電源を切ります。
3. すべての電源の取り外し：
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
4. 以下のいずれかを実行します。
 - a. サーバーをラックから引き出します。
 - b. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な面に置きます。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. プライマリPCIライザーケージを取り外します。
8. T-10トルクスドライバーを使用して、プライマリライザーケージからスロット2ブラケットを取り外します。



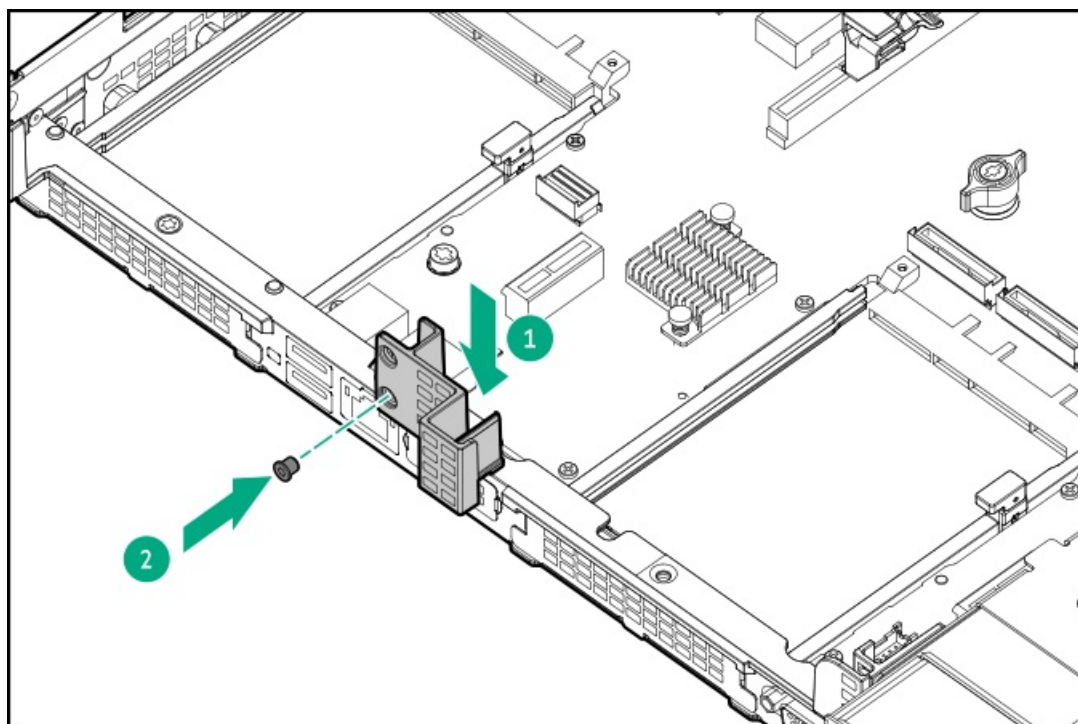
9. セカンダリライザーブラックを取り外します。



10. T-15トルクスドライバーを使用して、リアライザーサポートブラケットを取り外します。

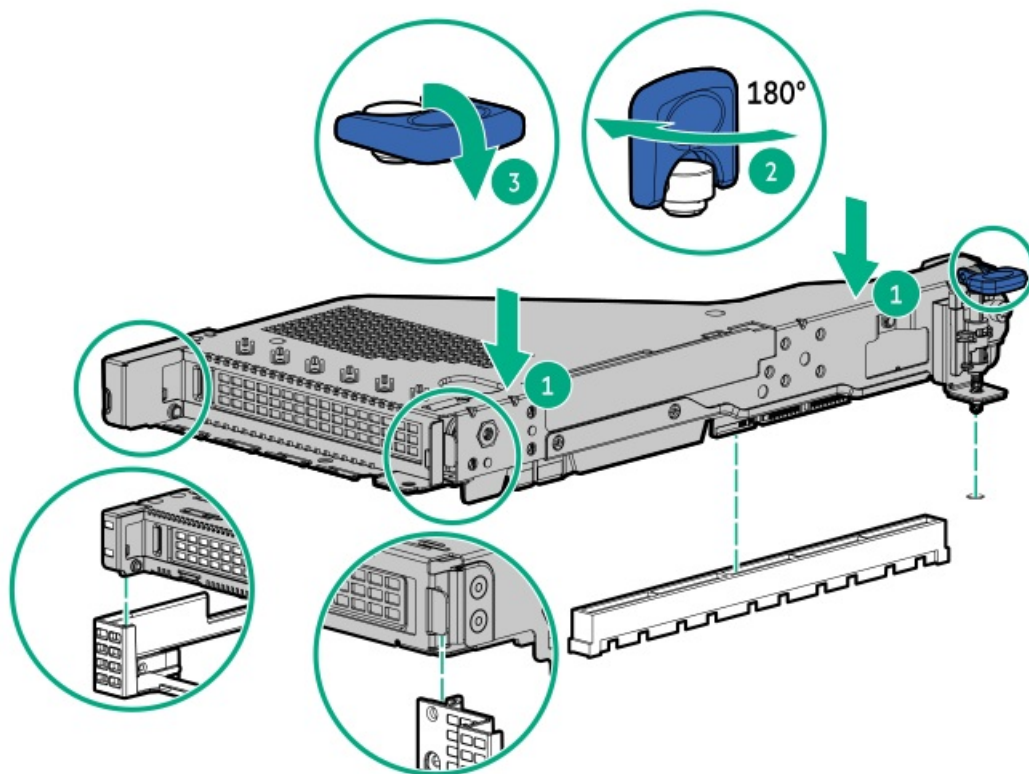


11. フルハイトライザーサポートブラケットを取り付けます。

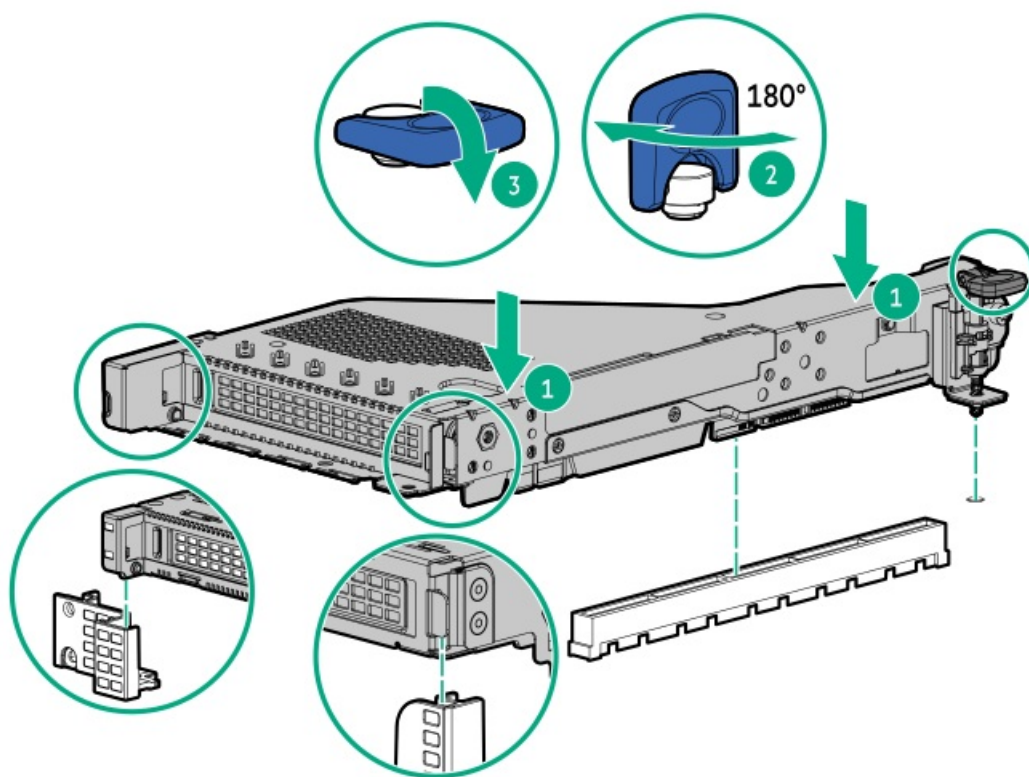


12. ライザーケージを取り付けます。

プライマリ :



セカンダリ :



13. アクセスパネルを取り付けます。
14. サーバーをラックに取り付けます。
15. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
16. 各電源コードをサーバーに接続します。

17. 各電源コードを電源ソースに接続します。

18. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

セカンダリライザーケースへの拡張ボードの取り付け

前提条件

- ライザースロットの番号を確認します。
- このオプションを取り付ける前に、次のものがすべて揃っていることを確認してください。
 - ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネント
 - T-10トルクスドライバー

このタスクについて



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。

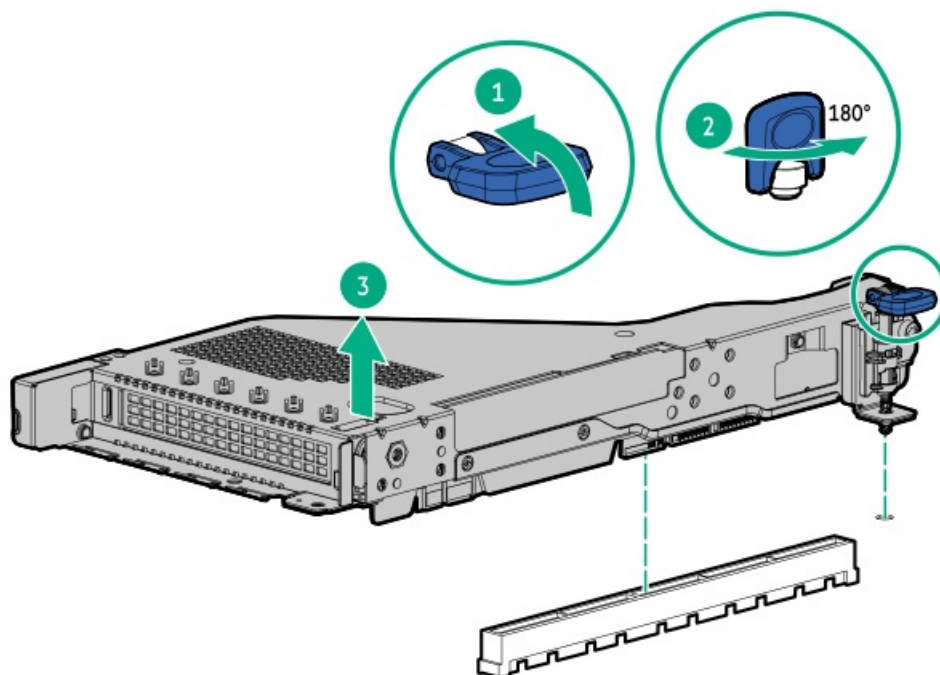


注意

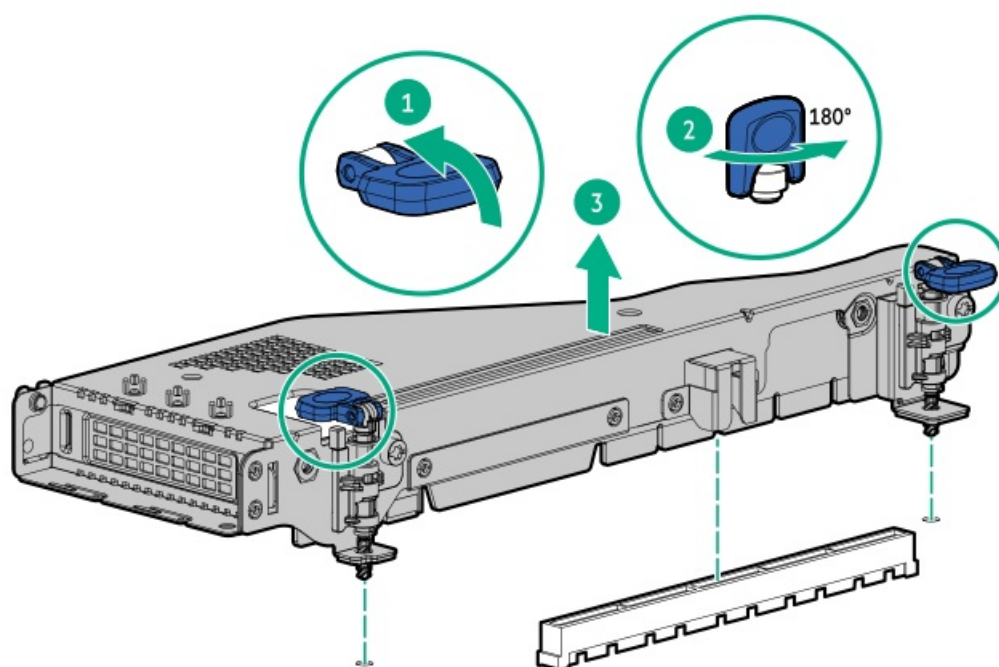
電子部品の損傷を防止するために、サーバーに正しくアースを行ってから、取り付け手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

手順

1. すべてのサーバーデータをバックアップします。
2. サーバーの電源を切ります。
3. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
4. 以下のいずれかを実行します。
 - a. サーバーをラックから引き出します。
 - b. サーバーをラックから取り外します。
5. アクセスパネルを取り外します。
6. セカンダリライザーを取り外します。
 - セカンダリフルハイト

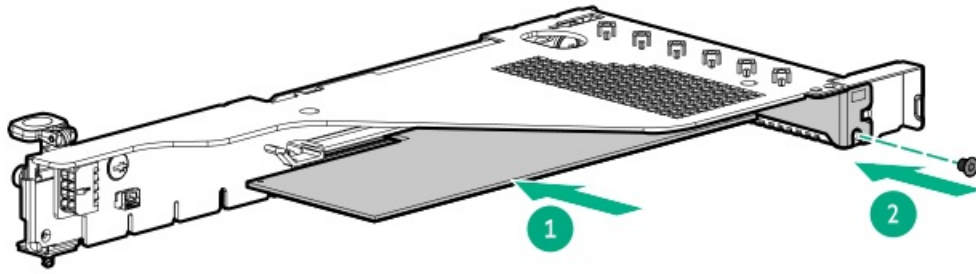


- セカンダリロープロファイル

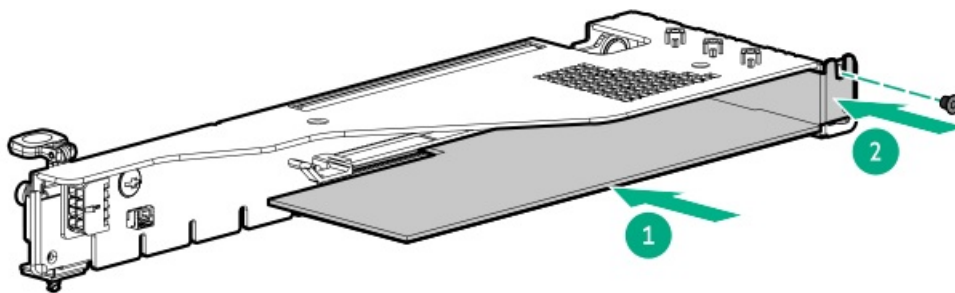


7. 拡張ボードを取り付けます。

- セカンダリフルハイト
 - a. ブランクを取り外します。
 - b. T-10トルクスドライバーを使用して、コントローラーを取り付けます。



- セカンダリハーフハイト :
 - a. ブランクを取り外します。
 - b. T-10トルクスドライバーを使用して、コントローラーを取り付けます。



8. 必要な内部または外部ケーブルを拡張ボードに接続します。
9. アクセスパネルを取り付けます。
10. サーバーをラックに取り付けます。
11. 各電源コードをサーバーに接続します。
12. 各電源コードを電源に接続します。
13. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

セキュリティ

サブトピック

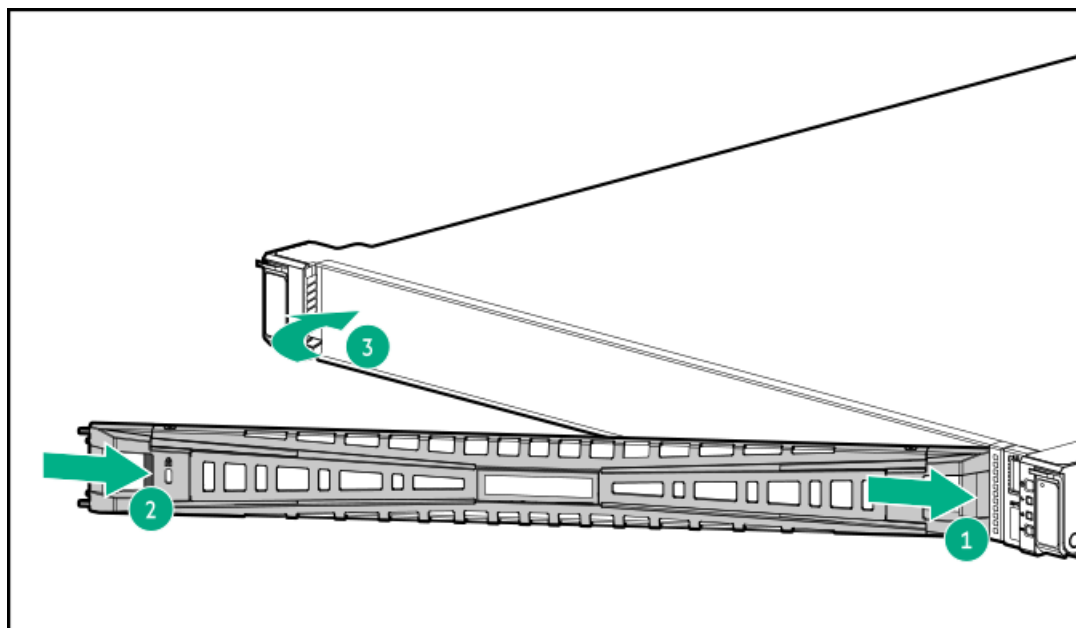
ベゼルの取り付け

シャーシ侵入検知スイッチオプションの取り付け

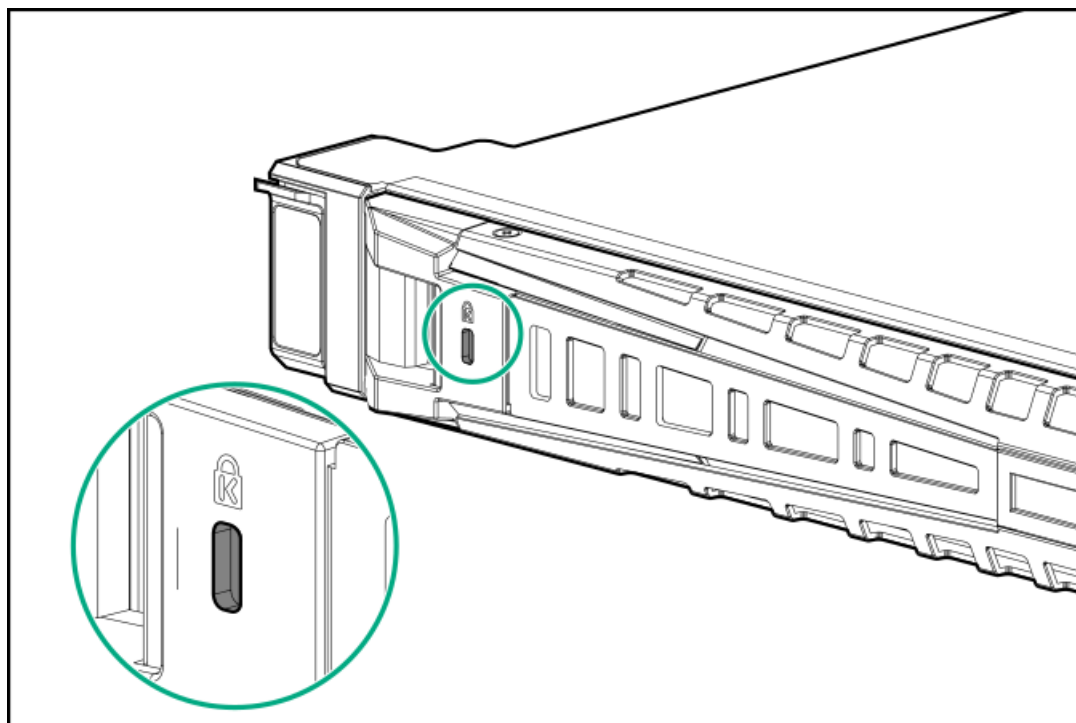
ベゼルの取り付け

手順

1. ベゼルを取り付けます。



2. Kensingtonセキュリティロックを使用してベゼルのロックします。



シャーシ侵入検知スイッチオプションの取り付け

前提条件

ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネントが揃っていることを確認してください。

このタスクについて

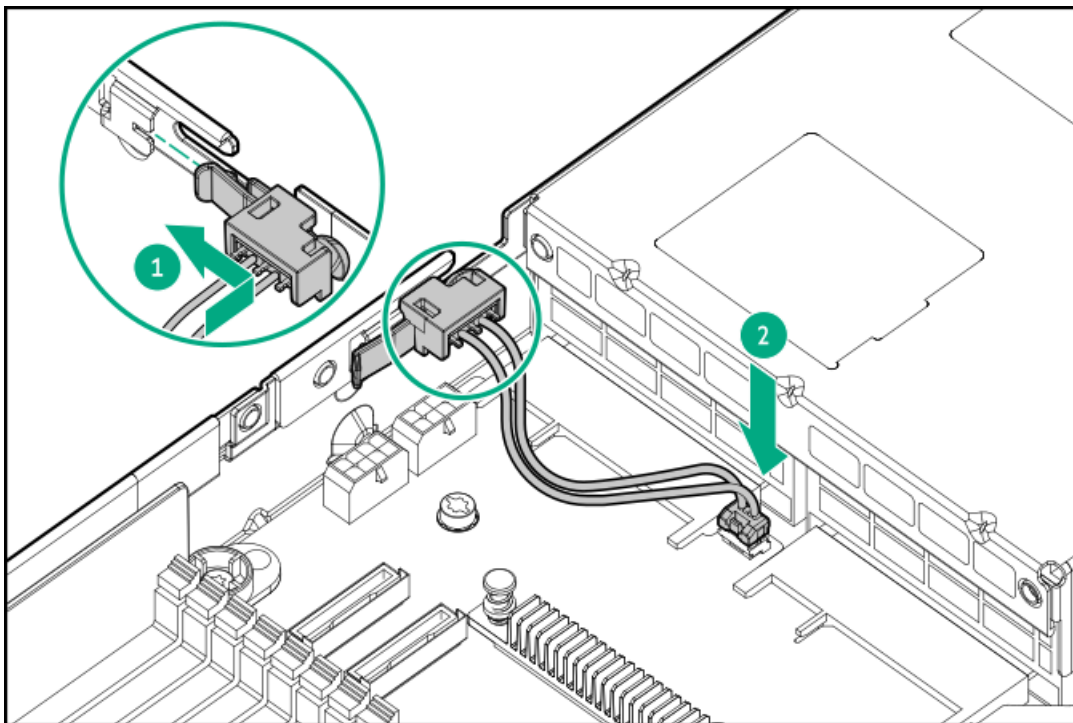


注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. 以下のいずれかを実行します。
 - a. サーバーをラックから引き出します。
 - b. サーバーをラックから取り外します。
4. サーバーを平らで水平な面に置きます。
5. アクセスパネルを取り外します。
6. シャーシ侵入検知スイッチを電源装置ベイの後ろに取り付けます。



7. アクセスパネルを取り付けます。
8. サーバーをラックに取り付けます。
9. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
10. 各電源コードをサーバーに接続します。
11. 各電源コードを電源ソースに接続します。
12. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

ストレージコントローラー

サブトピック

[タイプpストレージコントローラーの取り付け](#)
[タイプoストレージコントローラーの取り付け](#)

タイプpストレージコントローラーの取り付け

前提条件

このオプションを取り付ける前に、次のものがすべて揃っていることを確認してください。

- ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネント
- T-10トルクスドライバー

このタスクについて



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。

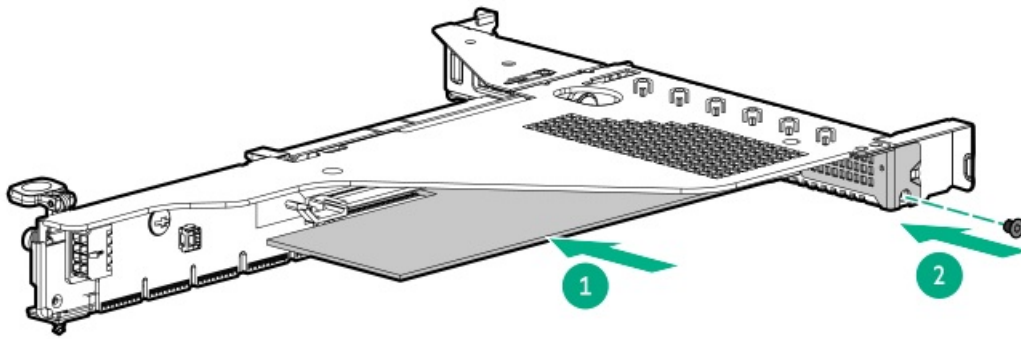


注意

電子部品の損傷を防止するために、サーバーに正しくアースを行ってから、取り付け手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

手順

1. [すべてのサーバーデータをバックアップします。](#)
2. [サーバーの電源を切ります。](#)
3. すべての電源の取り外し：
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
4. 以下のいずれかを実行します。
 - a. [サーバーをラックから引き出します。](#)
 - b. [サーバーをラックから取り外します。](#)
5. [アクセスパネルを取り外します。](#)
6. [プライマリライザーケージを取り外します。](#)
7. コントローラーを取り付けます。



8. ライザーケージを取り付けます。
9. コントローラーのケーブルの配線を行います。
10. アクセスパネルを取り付けます。
11. サーバーをラックに取り付けます。
12. 各電源コードをサーバーに接続します。
13. 各電源コードを電源に接続します。
14. サーバーの電源を入れます。
15. サーバーファームウェアが最新のバージョンでない場合はアップデートします。
16. コントローラーを構成します。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

タイプoストレージコントローラーの取り付け

前提条件

このオプションを取り付ける前に、次のものがすべて揃っていることを確認してください。

- ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネント
- T-10トルクスドライバー

このタスクについて



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。



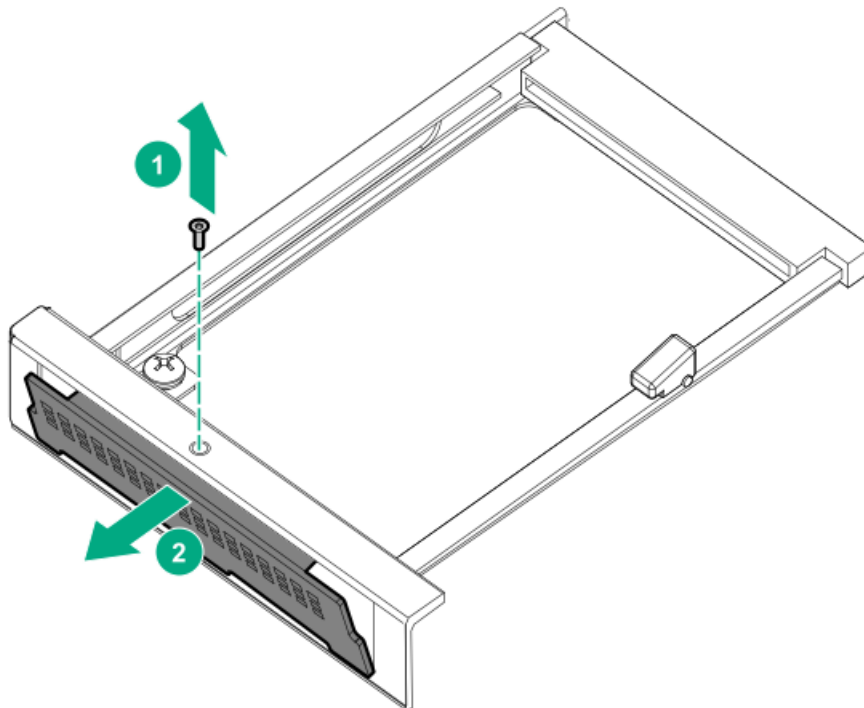
注意

電子部品の損傷を防止するために、サーバーに正しくアースを行ってから、取り付け手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

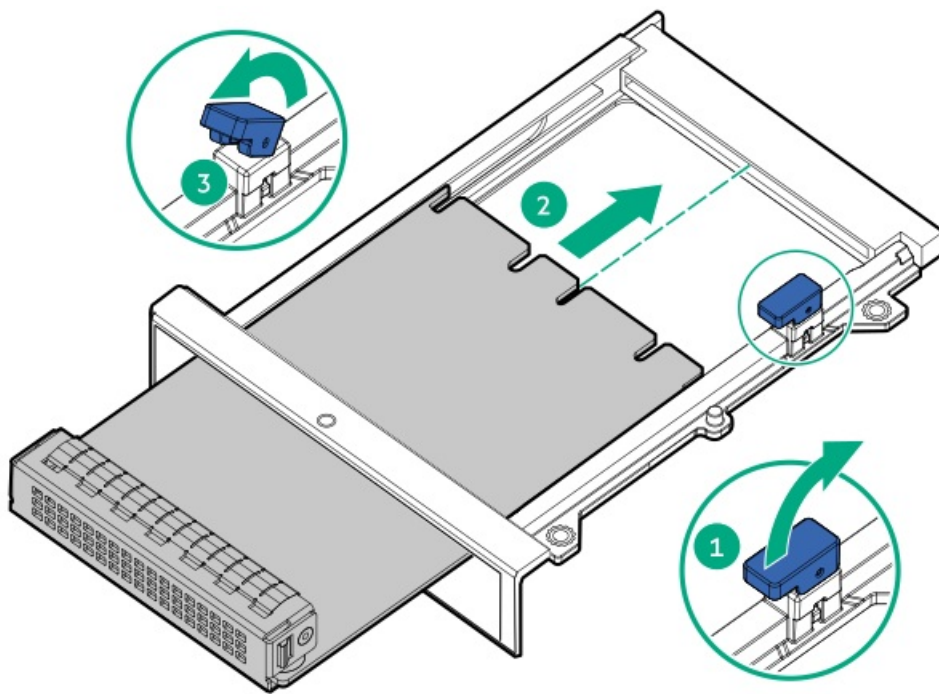
手順

1. すべてのサーバーデータをバックアップします。
2. サーバーの電源を切ります。

3. すべての電源の取り外し：
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
4. 以下のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから引き出します。
 - サーバーをラックから取り外します。
5. アクセスパネルを取り外します。
6. リアウォールブラックまたはライザーケージを取り外します。
7. OCPアダプターブラックを取り外します。



8. ストレージコントローラーを取り付けます。



9. ケーブルを接続します。
10. アクセスパネルを取り付けます。
11. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
12. 各電源コードをサーバーに接続します。
13. 各電源コードを電源に接続します。
14. サーバーの電源を入れます。
15. サーバーファームウェアが最新のリリースでない場合はアップデートします。
16. コントローラーを構成します。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

ケーブル接続

サブトピック

ケーブル接続のガイドライン

ケーブル配線図

内部ケーブル管理

ストレージのケーブル接続

ドライブの電源ケーブル接続

Energy Packのケーブル接続

オプティカルディスクドライブのケーブル接続

フロントディスプレイポート/USBのケーブル接続

ブートデバイスの内部のケーブル接続

OCP帯域幅有効化のケーブル接続

シリアルポートのケーブル接続

シャーシ侵入検知スイッチのケーブル接続

ケーブル接続のガイドライン

次の注意事項に従ってください。



注記

ケーブル配線図の色は、説明目的でのみ使用されます。

- ケーブルオプションキットについては、製品のQuickSpecsを参照してください。
- ケーブルのスペア部品番号については、メンテナンス&サービスガイドの図による部品カタログを参照してください。
- 一部の図では、A、B、Cなどのアルファベット順のコールアウトを示しています。これらのコールアウトは、ケーブルのコネクタ近くのリベルに対応しています。
- Yケーブルなど、一部のケーブルには複数のコネクタがありますが、すべてのコネクタが使用されるわけではありません。
- サーバーケーブルを取り扱う際は、すべてのガイドラインを守ってください。

ケーブルを接続する前

- PCAコンポーネントのポートラベルに注意してください。すべてのサーバーがすべてのコンポーネントを使用するわけではありません。
 - システムボードのポート
 - ドライブおよび電源装置バックプレーンのポート
 - 拡張ボードのポート（コントローラー、リタイマー、アダプター、エキスパンダー、ライザーなどのボード）
- 各ケーブルコネクタ付近のリベルに注意してください。このリベルは、ケーブルコネクタの接続先ポートを示します。
- 一部のデータケーブルは事前に曲がっています。ケーブルを伸ばしたり、操作したりしないでください。
- 機械的損傷を防いだり、手指の油分やその他の汚れが付かないようにするため、コネクタの終端には触らないようにしてください。

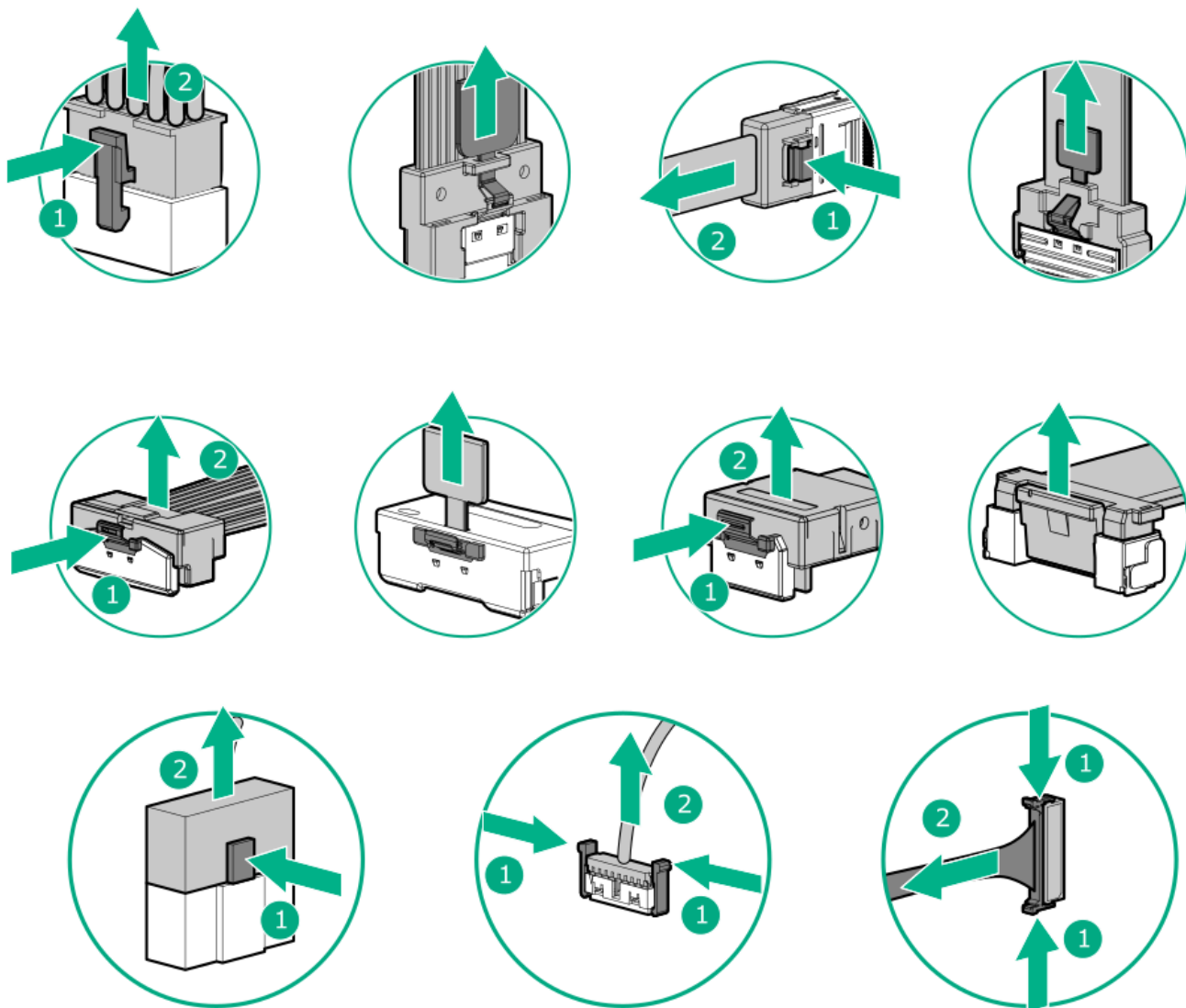
ケーブルの接続時

- ケーブルをポートに接続する前に、所定の場所にケーブルを置いて、ケーブルの長さを確認します。
- 内部ケーブル管理機能を使用し、ケーブルを適切に配線し、固定します。
- ケーブルを配線する際には、ケーブルがはさまれたり折り曲げられたりする可能性のない位置に配線してください。
- 電源コードまたはサーバーのケーブルの内部ワイヤーの損傷を防止するために、きつく曲げることは避けてください。電源コードやサーバーのケーブルを被覆材にしわができるほどきつく曲げないでください。
- 余分な長さのケーブルを適正に固定して、曲げすぎたり邪魔になったり、通気が制限されないようにしてください。
- コンポーネントの損傷や信号干渉を防ぐため、すべてのケーブルが正しい配線位置にあることを確認した後で新しいコンポーネントを取り付け、ハードウェアの取り付け/保守後にサーバーを閉じてください。

ケーブルを取り外す場合

- ケーブルコネクタの本体をしっかりと持ちます。ケーブル本体は引っ張らないようにしてください。ケーブルを引っ張ると、ケーブル内部のワイヤーや、ポートのピンが損傷を受けることがあります。

- ケーブルをスムーズに取り外せない場合は、ケーブルを取り外すために使われるリリースラッチの有無を確認してください。



- 使用しないケーブルを取り外します。サーバーの中に残したままにしておくと、通気の妨げになることがあります。取り外したケーブルを後から使用する場合は、再利用できるようラベルを付けて保管してください。

ケーブル配線図

次の注意事項に従ってください。

- コンポーネントを配線する前に、ケーブル接続のガイドラインを参照してください。
- ケーブルの部品番号または検索機能を使用して、図を見つけます。

コンポーネントのケーブル接続

ケーブルの部品番号

ストレージコントローラーのケーブル接続 : 4 LFF (3.5型) ドライブ構成

コンポーネントのケーブル接続

ケーブルの部品番号

4 LFF (3.5型) ドライブコントローラーケーブル : プライマリライザーのタイプpコントローラー [P48970-001](#)

4 LFF (3.5型) ドライブコントローラーケーブル : スロット14 OCP Aのタイプoコントローラー [P48958-001](#)

ストレージコントローラーのケーブル接続 : 8 SFF (2.5型) ドライブ構成

8 SFF (2.5型) ボックス1 x1 NVMeドライブコントローラーケーブル : スロット14 OCP Aのタイプoコントローラー [P48960-001](#)

8 SFF (2.5型) ボックス1 x1 NVMeドライブコントローラーケーブル : プライマリライザーのタイプpコントローラー [P45610-001](#)

ストレージコントローラーのケーブル接続 : 8 + 2 SFF (2.5型) ドライブ構成

8 SFF (2.5型) + 2 SFF (2.5型) NVMeドライブコントローラーケーブル : スロット14 OCP Aのタイプoコントローラー [P48960-001](#)
[P48962-001](#)

8 SFF (2.5型) x1 NVMeドライブ + 2 SFF (2.5型) NVMeドライブコントローラーケーブル : プライマリライザーのタイプpコントローラー [P45610-001](#)
[P45611-001](#)

8 SFF (2.5型) x1 NVMeとタイプoコントローラー間ケーブル + 2 SFF (2.5型) 直接接続ケーブル [P48960-001](#)
[P75946-001](#)

8 SFF (2.5型) x1 NVMeとタイプoコントローラー間ケーブル + 2 SFF (2.5型) NVMeとタイプpコントローラー間ケーブル [P48960-001](#)
[P45611-001](#)

8 SFF (2.5型) x1 NVMeとタイプpコントローラー間ケーブル + 2 SFF (2.5型) とタイプoコントローラー間ケーブル [P45610-001](#)
[P48962-001](#)

ストレージコントローラーのケーブル接続 : 混合ドライブタイプ構成の4 EDSFF

4 EDSFFボックス1 : 直接接続ケーブル (不平衡、CPU1) [P75568-001](#)

4 EDSFFボックス1 : 直接接続ケーブル (不平衡、CPU1およびCPU2) [P75568-001](#)
[P75278-001](#)

4 EDSFFボックス1 : プライマリタイプpコントローラーケーブル [P74805-001](#)
[P74805-001](#)

4 EDSFFボックス2 : 直接接続ケーブル (不平衡、CPU1およびCPU2) [P75317-001](#)

4 EDSFFボックス2 : 直接接続ケーブル (不平衡、CPU1) [P75567-001](#)

4 EDSFFボックス3 x4 NVMe : 直接接続ケーブル (CPU1およびCPU2) [P75278-001](#)

4 EDSFFボックス4 x4 NVMe : 直接接続ケーブル [P74806-001](#)
[P75278-001](#)

4 EDSFFボックス4 x4 NVMe : タイプpコントローラーケーブル [P75590-001](#)

4 EDSFFボックス5 x4 NVMe : 直接接続ケーブル [P75278-001](#)
[P75567-001](#)

4 EDSFFボックス5 x4 NVMe : タイプpコントローラーケーブル [P76443-001](#)
[P75574-001](#)

コンポーネントのケーブル接続

ケーブルの部品番号

4 EDSFFボックス5 x4 NVMe : タイプoコントローラーケーブル (CPU1およびCPU2) [P75589-001](#)

ストレージコントローラーのケーブル接続 : 混合ドライブタイプ構成の2 SFF (2.5型)

2 SFF (2.5型) ボックス1 x4 NVMe : 直接接続ケーブル (CPU1) [P75568-001](#)

2 SFF (2.5型) ボックス1 x4 NVMe : タイプpコントローラーケーブル [P75590-001](#)

2 SFF (2.5型) ボックス1および2 x4 (x2 BW) NVMe : タイプpコントローラーケーブル [P75593-001](#)

2 SFF (2.5型) ボックス1 x4 NVMe : 直接接続ケーブル [P75317-001](#)

2 SFF (2.5型) ボックス1および2 (x2 BW) NVMe : タイプoコントローラーケーブル [P75571-001](#)

2 SFF (2.5型) ボックス2 x4 NVMe : 直接接続ケーブル (CPU1) [P75568-001](#)

2 SFF (2.5型) ボックス2 x4 NVMe : 直接接続ケーブル (CPU1およびCPU2) [P75278-001](#)

2 SFF (2.5型) ボックス1および2 x4 (x2 BW) NVMe : タイプoコントローラーケーブル [P75571-001](#)

2 SFF (2.5型) ボックス2 x4 NVMe : タイプpコントローラーケーブル [P75590-001](#)

2 SFF (2.5型) ボックス3 x4 NVMe : 直接接続 (CPU1) [P75278-001](#)

2 SFF (2.5型) ボックス3 x4 NVMe : タイプoコントローラーケーブル (CPU1) [P75589-001](#)

2 SFF (2.5型) ボックス3 x4 NVMe : スロット15タイプoコントローラーケーブル [P75587-001](#)

2 SFF (2.5型) ボックス3 x4 NVMe : タイプpコントローラーケーブル [P75590-001](#)

2 SFF (2.5型) ボックス4 x4 NVMe : 直接接続ケーブル (CPU1) [P75317-001](#)

2 SFF (2.5型) ボックス4 x4 NVMe : 直接接続ケーブル [P75567-001](#)

2 SFF (2.5型) ボックス4および5 x4 (x2 BW) NVMe : タイプoコントローラーケーブル [P75573-001](#)

2 SFF (2.5型) ボックス4および5 x4 (x2 BW) NVMe : タイプpコントローラーケーブル [P75572-001](#)

2 SFF (2.5型) ボックス4 x4 NVMe : タイプoコントローラーケーブル [P75589-001](#)

2 SFF (2.5型) ボックス5 x4 NVMe : 直接接続ケーブル (CPU1) [P75567-001](#)

2 SFF (2.5型) ボックス4および5 x4 NVMe : 直接接続ケーブル [P75278-001](#)

2 SFF (2.5型) ボックス5 x4 NVMe : タイプoコントローラーケーブル [P75589-001](#)

電源ケーブルの接続

–

4 LFF (3.5型) バックプレーン電源ケーブル [P75565-001](#)

8 SFF (2.5型) バックプレーン電源ケーブル [P75566-001](#)

2 SFF (2.5型) バックプレーン電源ケーブル [869667-001](#)

混合ドライブタイプ構成のSFF (2.5型) / EDSFFバックプレーン電源ケーブル [P75316-001](#)

ストレージバックアップ電源ケーブル

–

Energy Packのケーブル接続

–

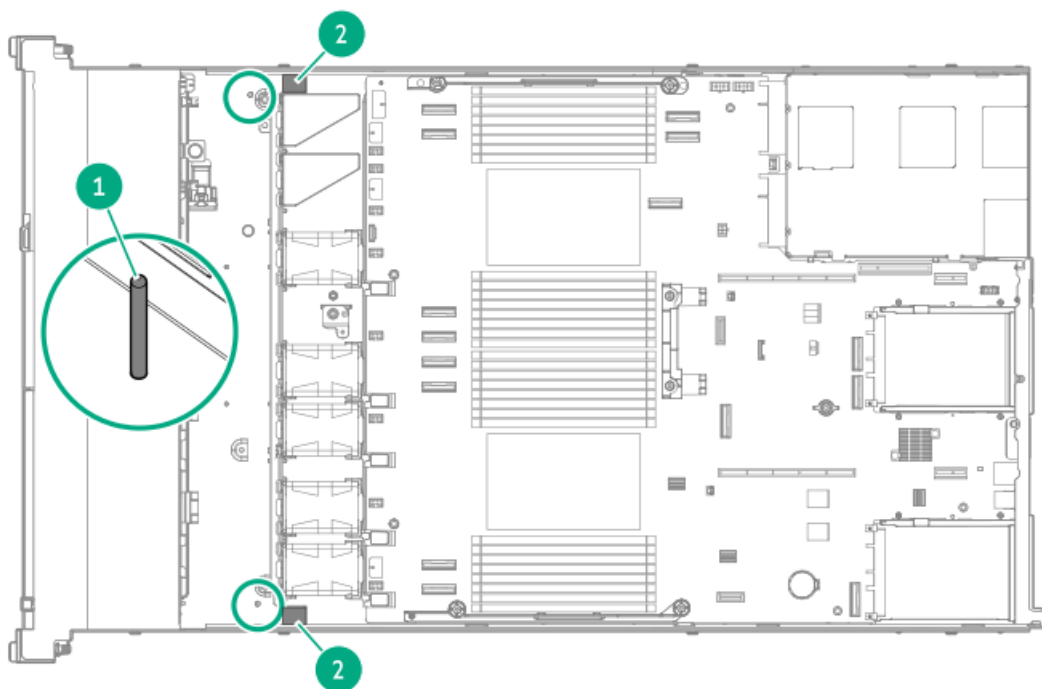
Energy Pack延長電源ケーブル [P45618-001](#)

オプティカルドライブのケーブル接続

–

コンポーネントのケーブル接続	ケーブルの部品番号
オプティカルドライブのケーブル	P73776-001
フロントI/Oのケーブル接続	–
4 LFF (3.5型) / 8 SFF (2.5型) / 混合ドライブタイプ構成 : フロントディスプレイポート/USBケーブル	P73948-001
HPE NS204i-uブートデバイスV2のケーブル接続	–
HPE NS204i-uブートデバイスV2電源ケーブル	P48956-001
HPE NS204i-uブートデバイスV2信号ケーブル	P74839-001
ライザーケージのHPE NS204i-uブートデバイスV2電源ケーブル	P54088-001
ライザーケージのHPE NS204i-uブートデバイスV2信号ケーブル	P71913-001
OCP帯域幅有効化のケーブル接続	–
スロット14 OCP A x16有効化ケーブル	P74890-001
CPU1とスロット15 OCP B x8有効化ケーブル	P74889-001
CPU2とスロット15 OCP B x8 / x16有効化ケーブル	P74891-001
その他のコンポーネントのケーブル接続	–
シリアルポートのケーブル	P45623-001
シャーシ侵入検知スイッチケーブル	P47751-001
フロントI/Oケーブル (右シャーシヤーアセンブリに付属)	P71909-002
Systems Insight Displayケーブル	P48971-001

内部ケーブル管理



番号	説明
1	ケーブル配線ポスト
2	ケーブル配線フォーム

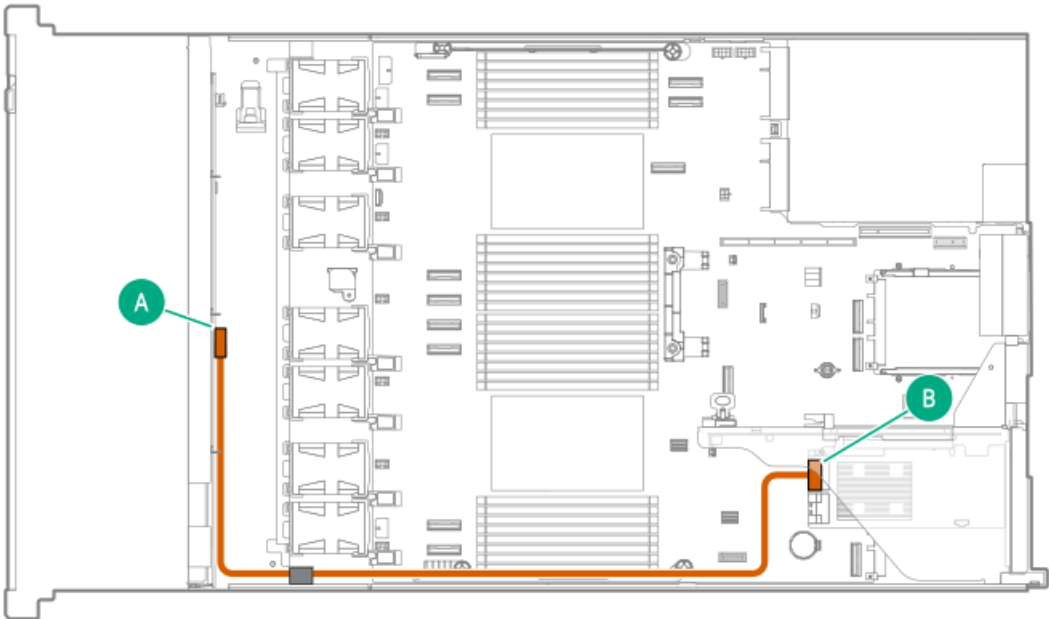
ストレージのケーブル接続

サブトピック

- 4 LFF (3.5型) ドライブバックプレーンのケーブル接続
- 8 SFF (2.5型) ドライブバックプレーンのケーブル接続
- 8 + 2 SFF (2.5型) ドライブバックプレーンのケーブル接続
- 4 EDSFF ドライブバックプレーンのケーブル接続
- 2 SFF (2.5型) ドライブバックプレーンのケーブル接続
- ストレージコントローラーのバックアップ電源ケーブル接続

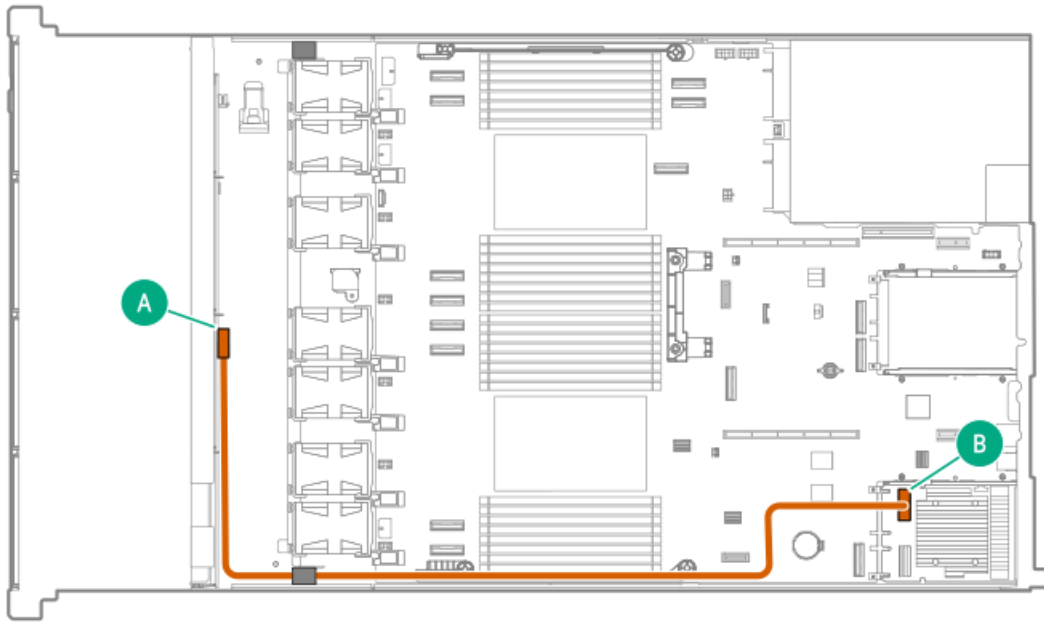
4 LFF (3.5型) ドライブバックプレーンのケーブル接続

4 LFF (3.5型) ボックス1：プライマリライザーのタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P48970-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	スロット1タイプpコントローラーのポート1

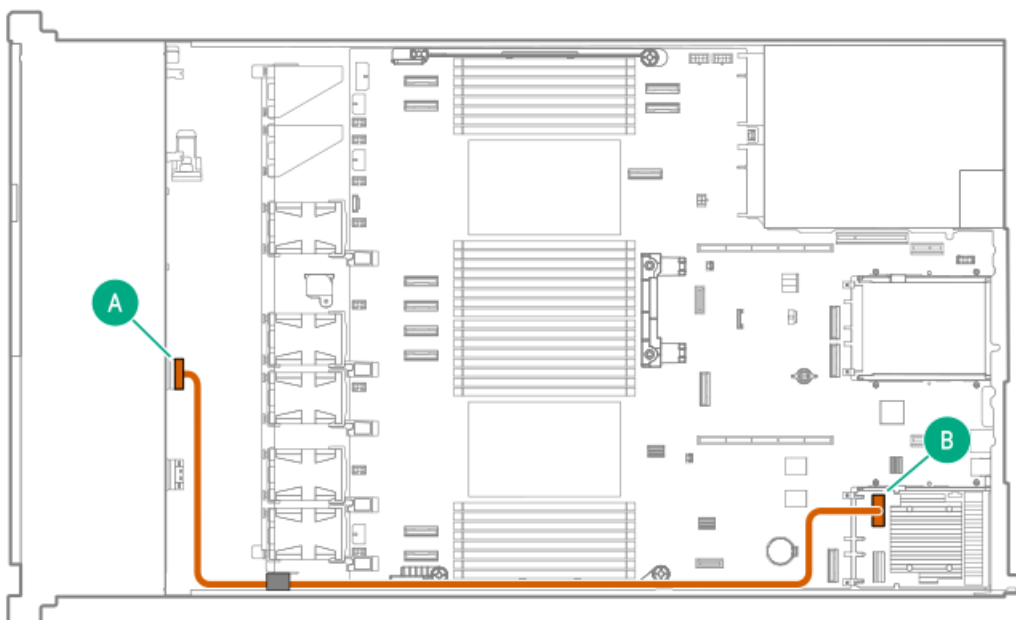
4 LFF (3.5型) ボックス1：スロット14 OCP Aのタイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P48958-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	スロット14 OCP Aのタイプoコントローラー

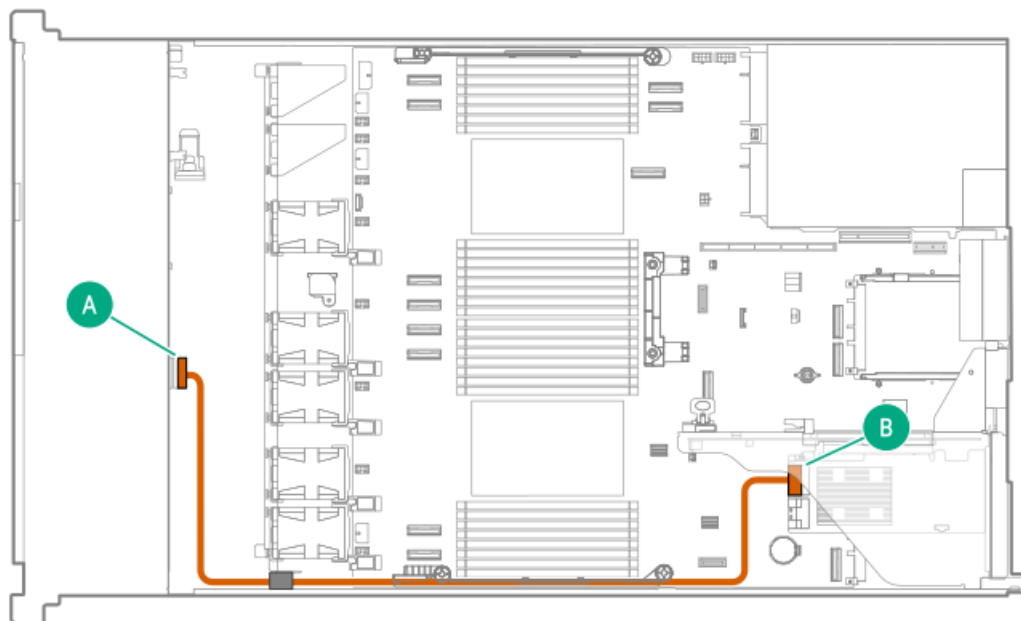
8 SFF (2.5型) ドライブバックプレーンのケーブル接続

8 SFF (2.5型) ボックス1 x1 NVMeドライブコントローラーのケーブル接続 : スロット14 OCP Aのタイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P48960-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	スロット14 OCP Aのタイプoコントローラー

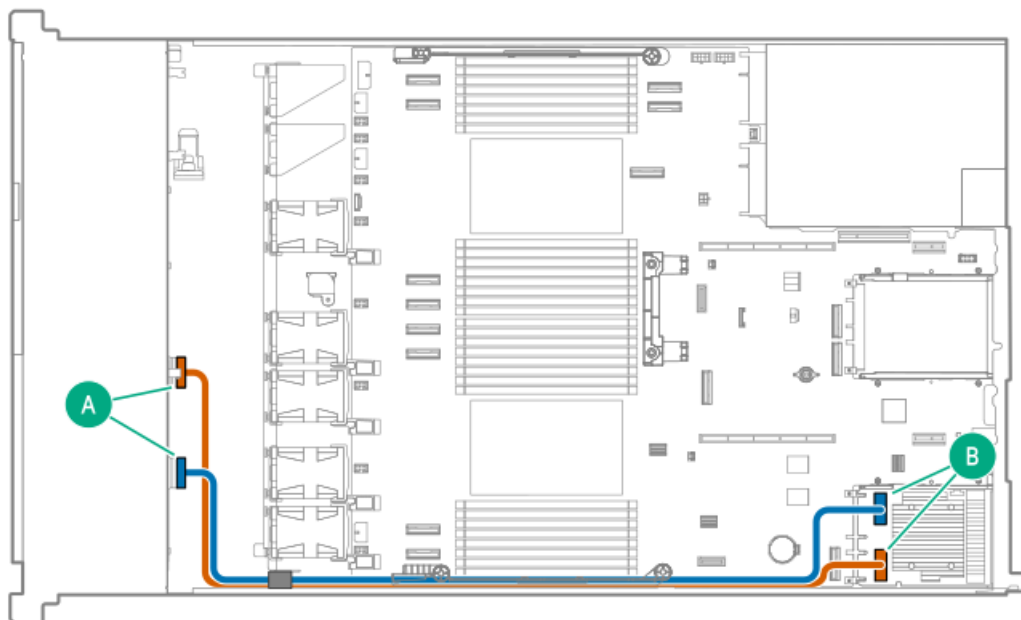
8 SFF (2.5型) ボックス1 x1 NVMeドライブコントローラーのケーブル接続：プライマリライザーのタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P45610-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコントローラーポート2

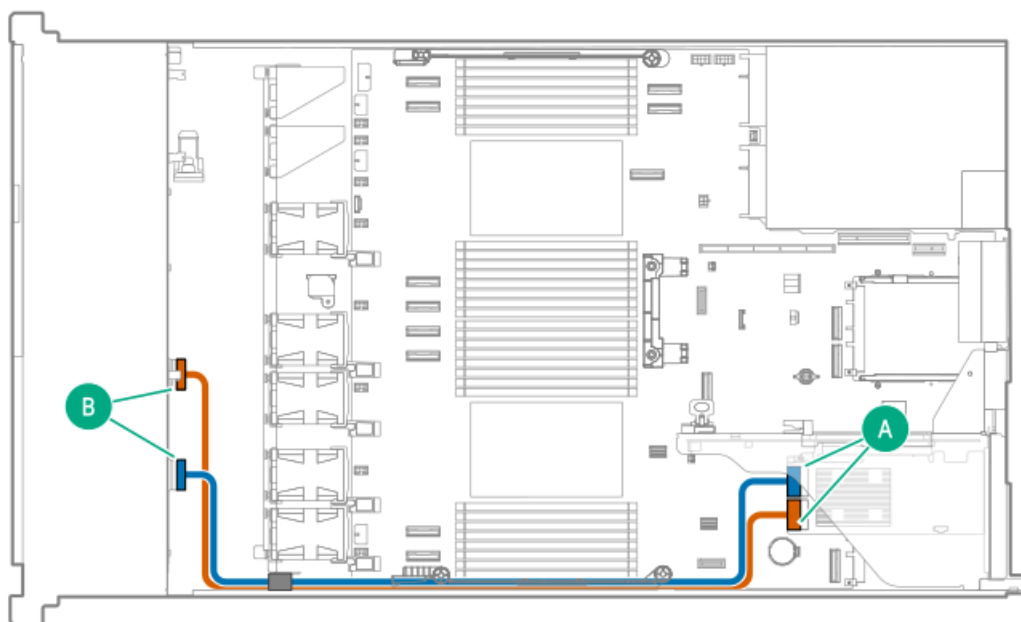
8 + 2 SFF (2.5型) ドライブバックプレーンのケーブル接続

8 SFF (2.5型) x1 NVMeドライブ + 2 SFF (2.5型) NVMeドライブコントローラーのケーブル接続：スロット14 OCP Aのタイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P48960-001	オレンジ色	8 SFF (2.5型) ドライブ バックプレーン	スロット14 OCP Aのタイ プoコントローラーポート 1
P48962-001	青色	2 SFF (2.5型) ドライブ バックプレーン	スロット14 OCP Aのタイ プoコントローラーポート 2

8 SFF (2.5型) x1 NVMeドライブ + 2 SFF (2.5型) NVMeドライブコントローラーのケーブル
接続：プライマリライザーのタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P45610-001	オレンジ色	8 SFF (2.5型) ドライブ バックプレーン	プライマリタイプpコント ローラーポート1
P45611-001	青色	2 SFF (2.5型) ドライブ バックプレーン	プライマリタイプpコント ローラーポート2

8 SFF (2.5型) x1 NVMeとタイプoコントローラー間 + 2 SFF (2.5型) 直接接続

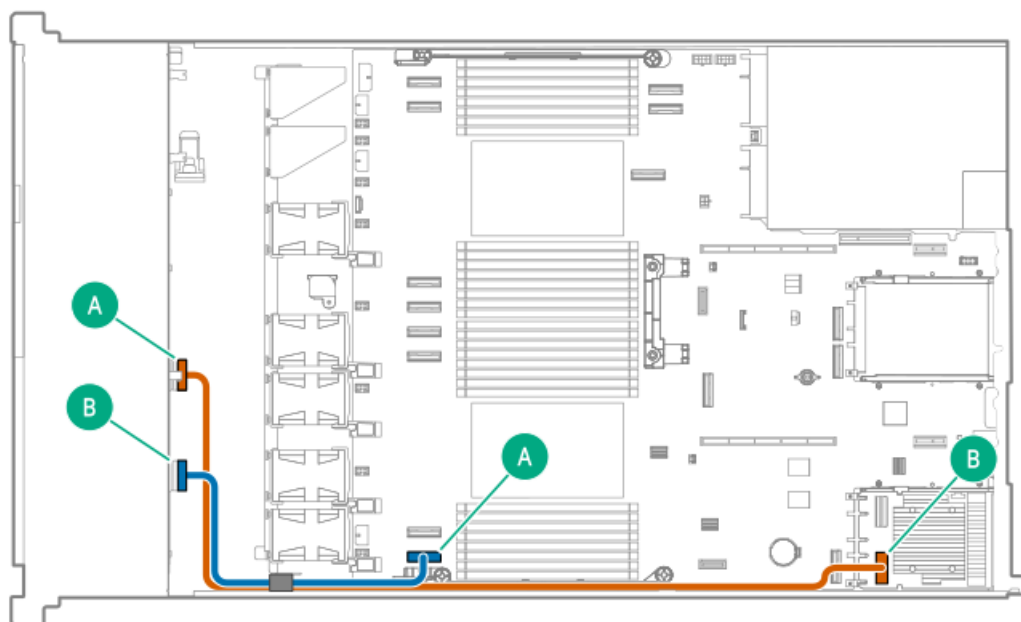
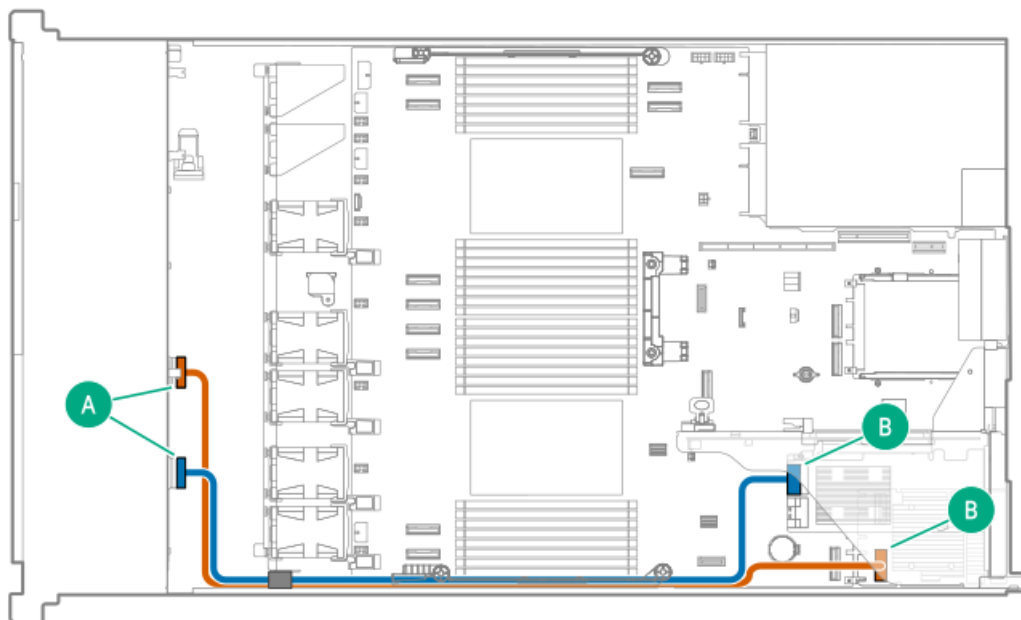


表 1.

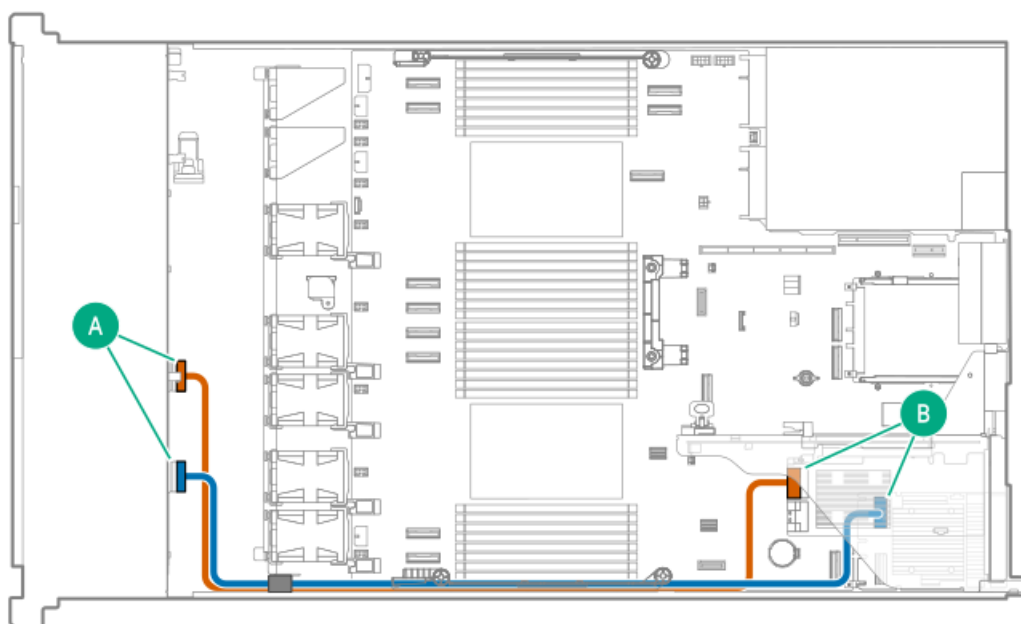
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P48960-001	オレンジ色	8 SFF (2.5型) ドライブ バックプレーン	スロット14 OCP Aのタイ プoコントローラーポート 1
P75946-001	青色	2 SFF (2.5型) ドライブ バックプレーン	MCIOポート1

8 SFF (2.5型) x1 NVMeとタイプoコントローラー間 + 2 SFF (2.5型) NVMeとタイプpコントローラー間



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P48960-001	オレンジ色	8 SFF (2.5型) ドライブ バックプレーン	スロット14 OCP Aのタイ プoコントローラーポート 1
P45611-001	青色	2 SFF (2.5型) ドライブ バックプレーン	プライマリタイプpコント ローラーポート2

8 SFF (2.5型) x1 NVMeとタイプpコントローラー間 + 2 SFF (2.5型) とスロット14 OCP Aの
タイプoコントローラー間



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P45610-001	オレンジ色	8 SFF (2.5型) ドライブ バックプレーン	プライマリタイプpコント ローラーポート2
P48962-001	青色	2 SFF (2.5型) ドライブ バックプレーン	スロット14 OCP Aのタイ プoコントローラーポート 2

4 EDSFF ドライブバックプレーンのケーブル接続

4 EDSFF ドライブバックプレーンは、混合ドライブタイプ構成のボックス1～5でサポートされます。

サブトピック

[ドライブボックス1のケーブル接続](#)

[ドライブボックス2のケーブル接続](#)

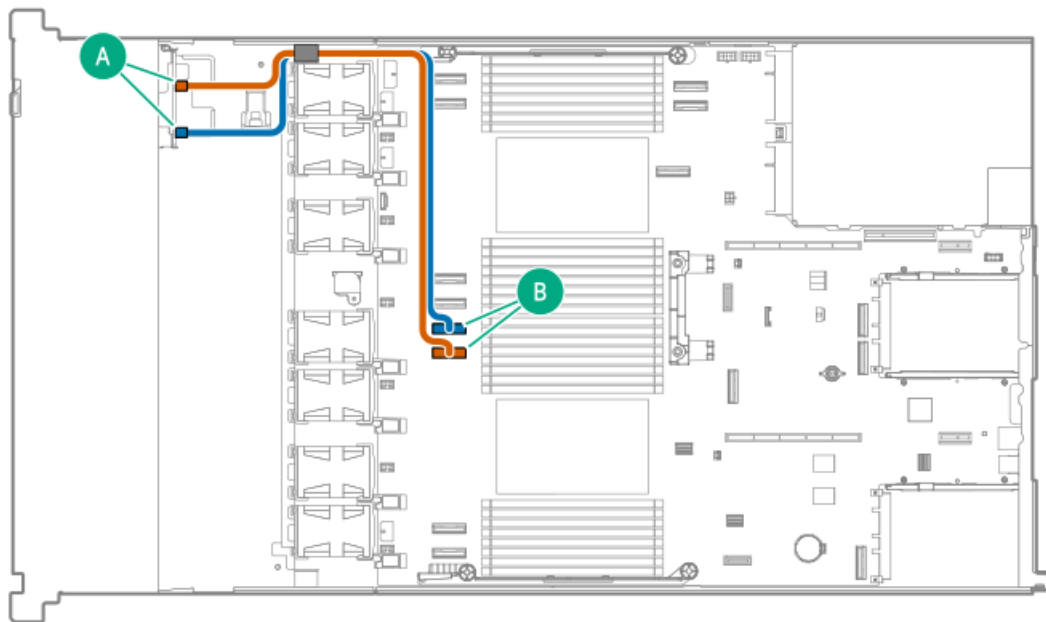
[ドライブボックス3のケーブル接続](#)

[ドライブボックス4のケーブル接続](#)

[ドライブボックス5のケーブル接続](#)

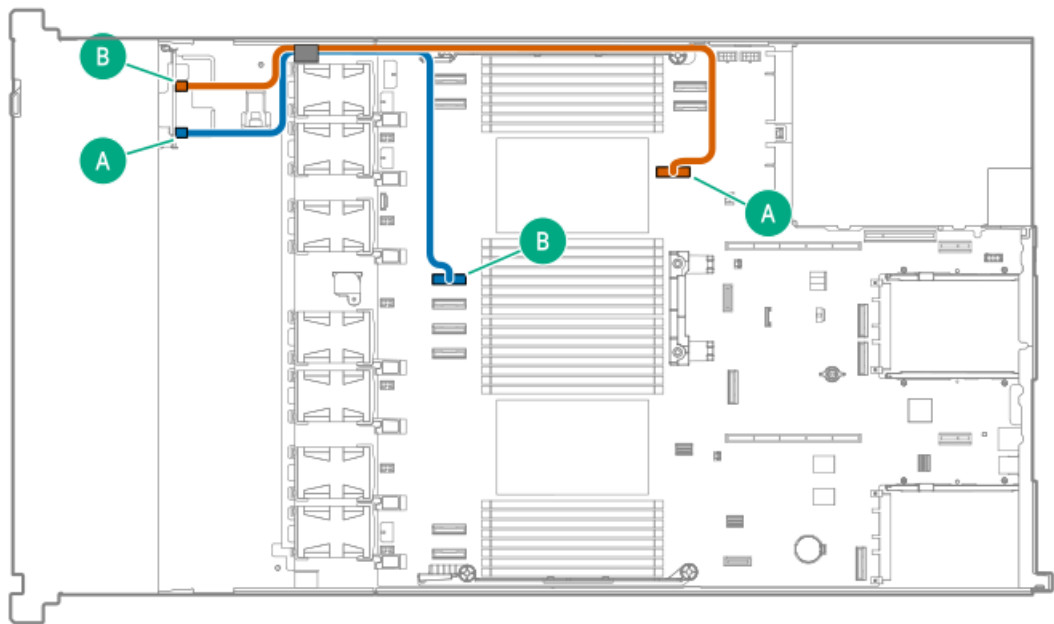
ドライブボックス1のケーブル接続

4 EDSFF ボックス1：直接接続（不平衡、CPU1）



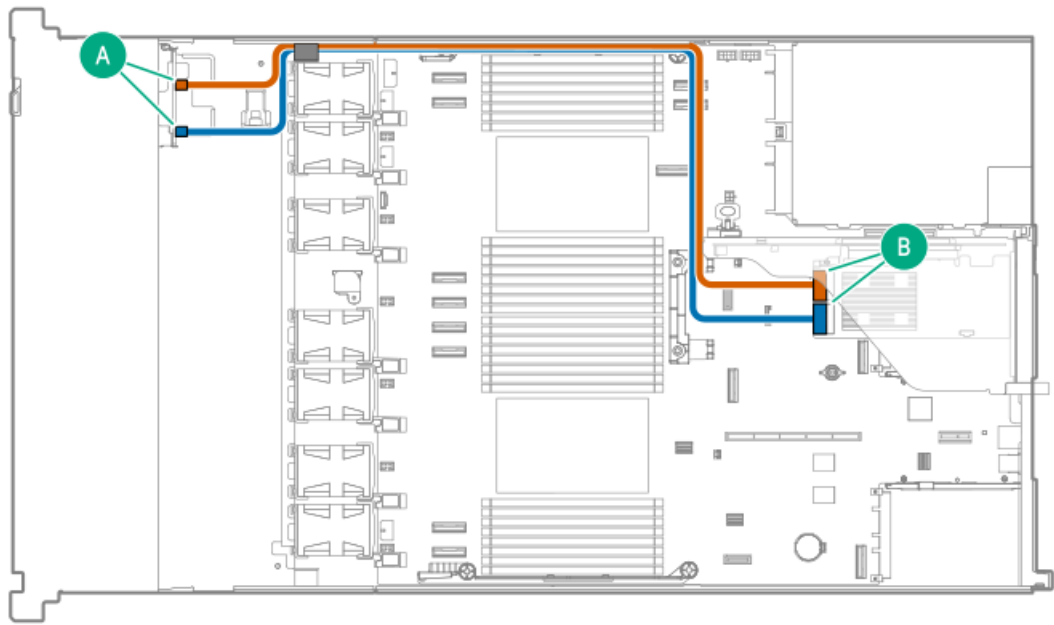
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75568-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン ポート1	MC10ポート3
P75568-001	青色	ドライブバックプレーン ポート2	MC10ポート4

4 EDSFFボックス1：直接接続（不平衡、CPU1およびCPU2）



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75568-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン ポート1	MCIOポート11
P75278-001	青色	ドライブバックプレーン ポート2	MCIOポート6

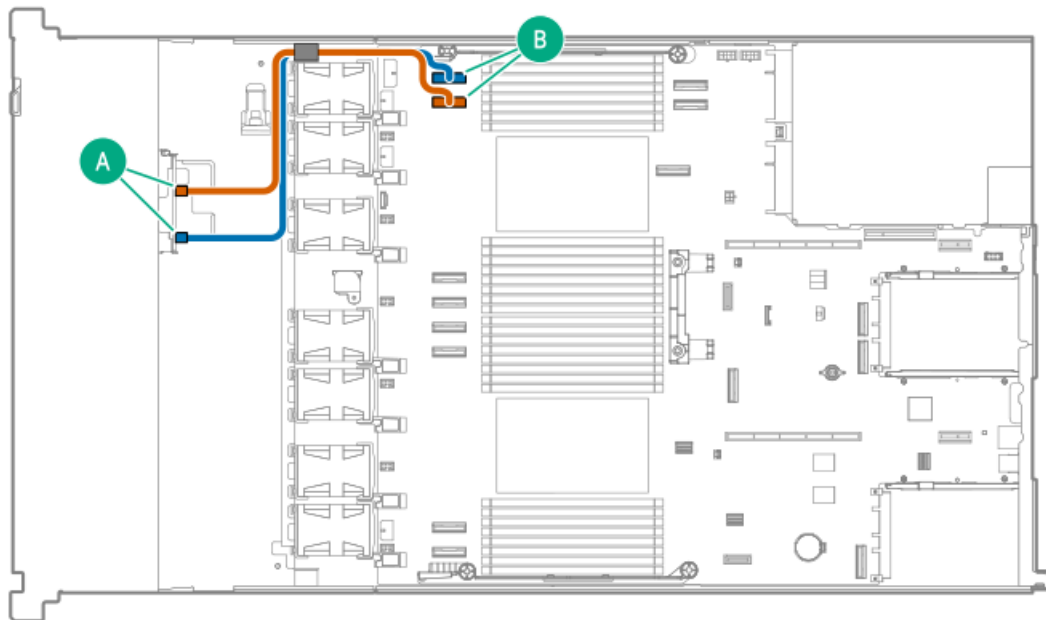
4 EDSFFボックス1：セカンダリライザーのタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P74805-001	オレンジ色	ドライブバックプレーンポート1	セカンダリタイプpコントローラーのポート1
P74805-001	青色	ドライブバックプレーンポート2	セカンダリタイプpコントローラーのポート2

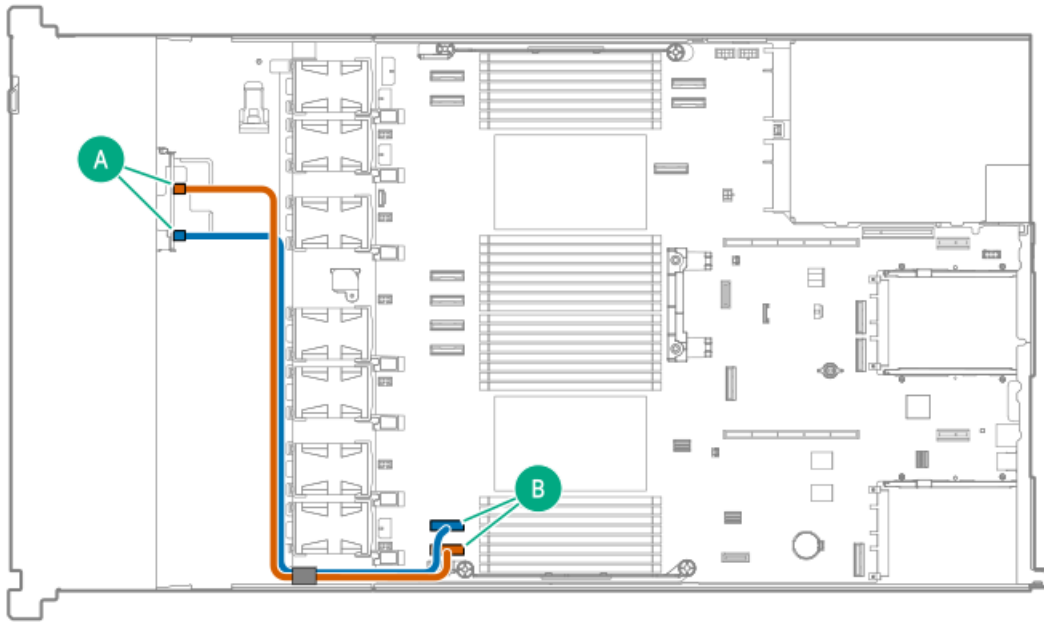
ドライブボックス2のケーブル接続

4 EDSFFボックス2：直接接続（不平衡、CPU1およびCPU2）



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75317-001	オレンジ色	ドライブバックプレーンポート1	MC10ポート7
P75317-001	青色	ドライブバックプレーンポート2	MC10ポート8

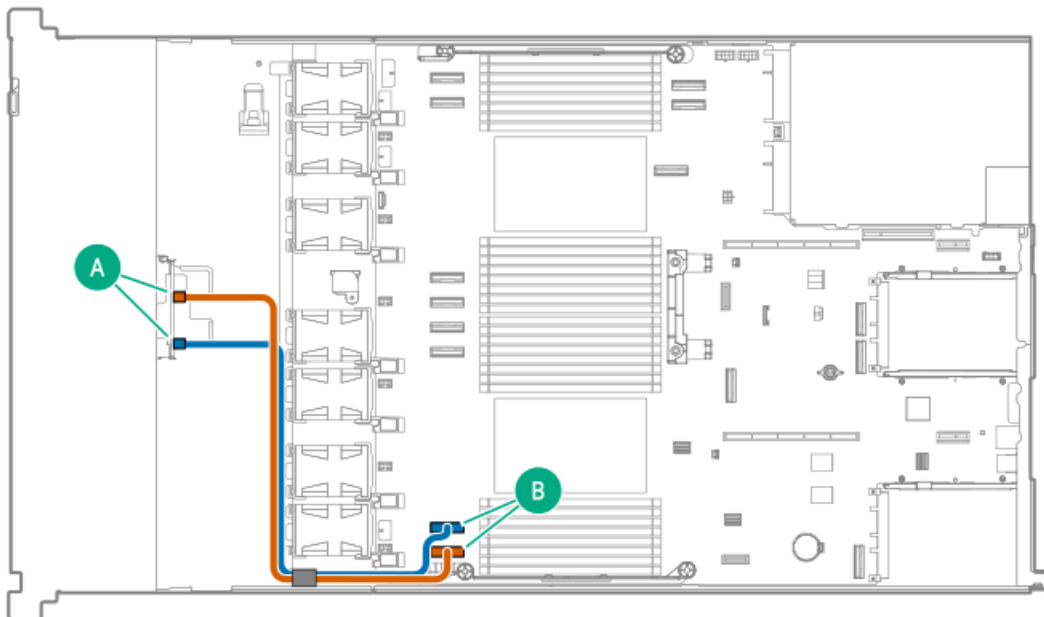
4 EDSFFボックス2：直接接続（不平衡、CPU1）



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75567-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン ポート1	MC10ポート1
P75567-001	青色	ドライブバックプレーン ポート2	MC10ポート2

ドライブボックス3のケーブル接続

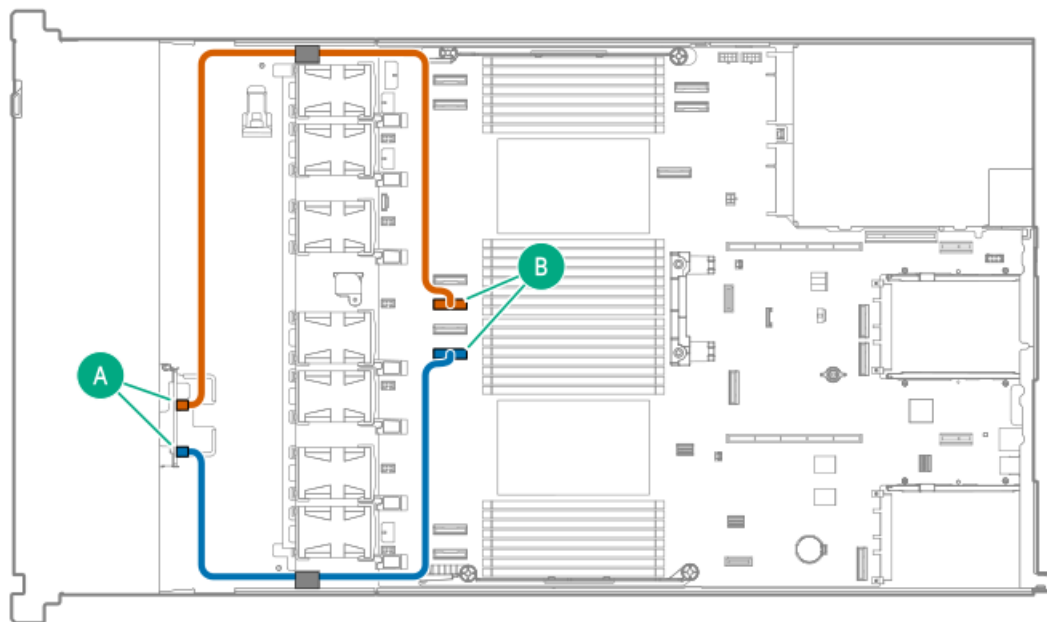
4 EDSFFボックス3 x4 NVMe : 直接接続 (CPU1およびCPU2)



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75278-001	オレンジ色	ドライブバックプレーンポート1	MC10ポート1
P75278-001	青色	ドライブバックプレーンポート2	MC10ポート2

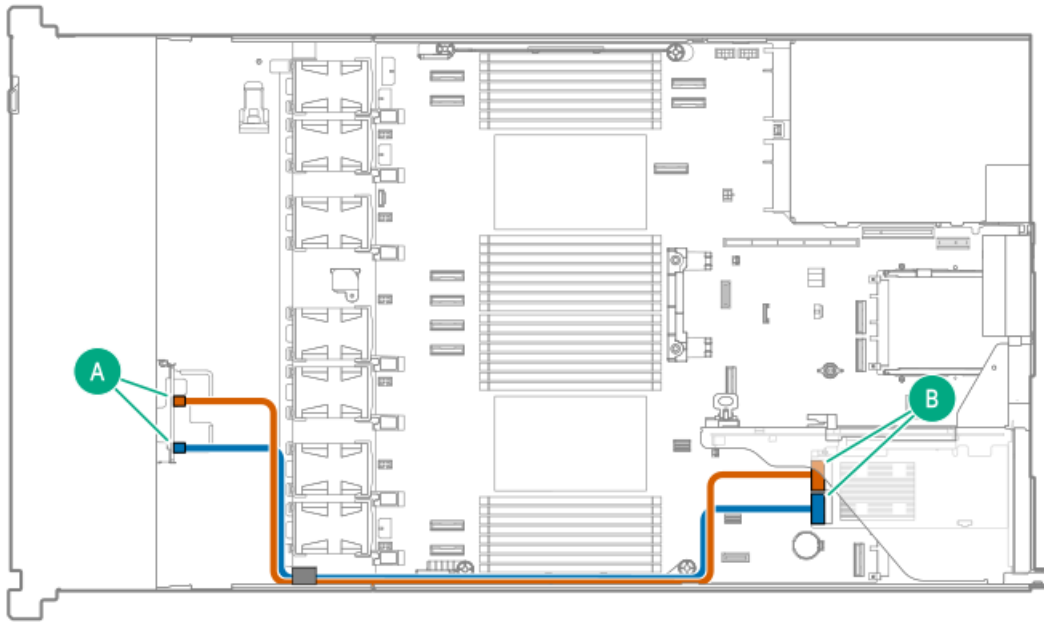
ドライブボックス4のケーブル接続

4 EDSFFボックス4 x4 NVMe : 直接接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P74806-001	オレンジ色	ドライブバックプレーンポート1	MC10ポート5
P75278-001	青色	ドライブバックプレーンポート2	MC10ポート3

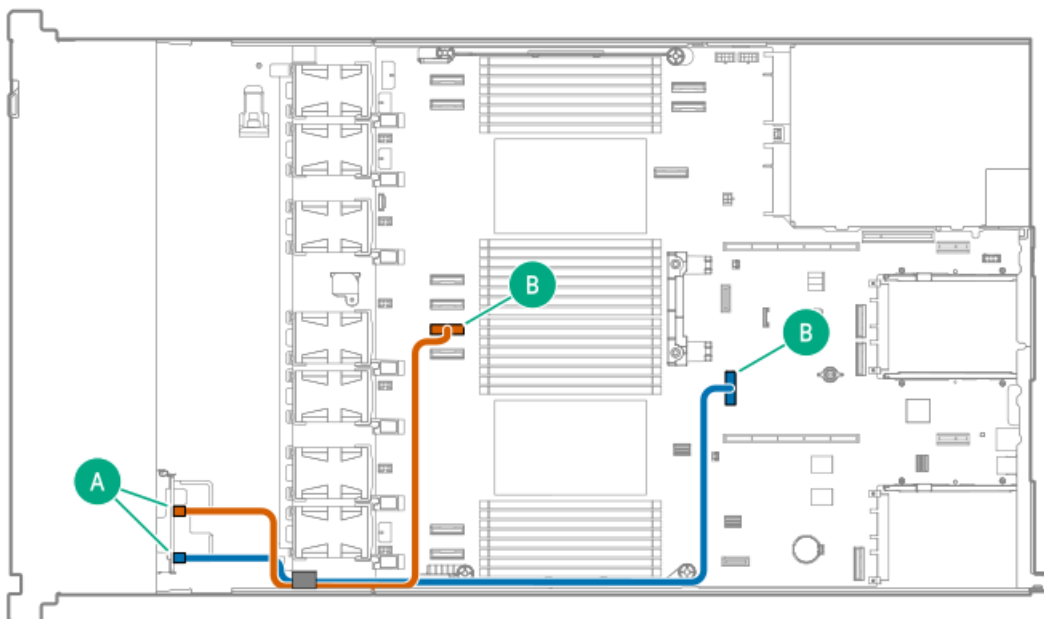
4 EDSFFボックス4 x4 NVMe : プライマリライザーのタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75590-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン ポート1	プライマリタイプpコント ローラーポート2
P75590-001	青色	ドライブバックプレーン ポート2	プライマリタイプpコント ローラーポート1

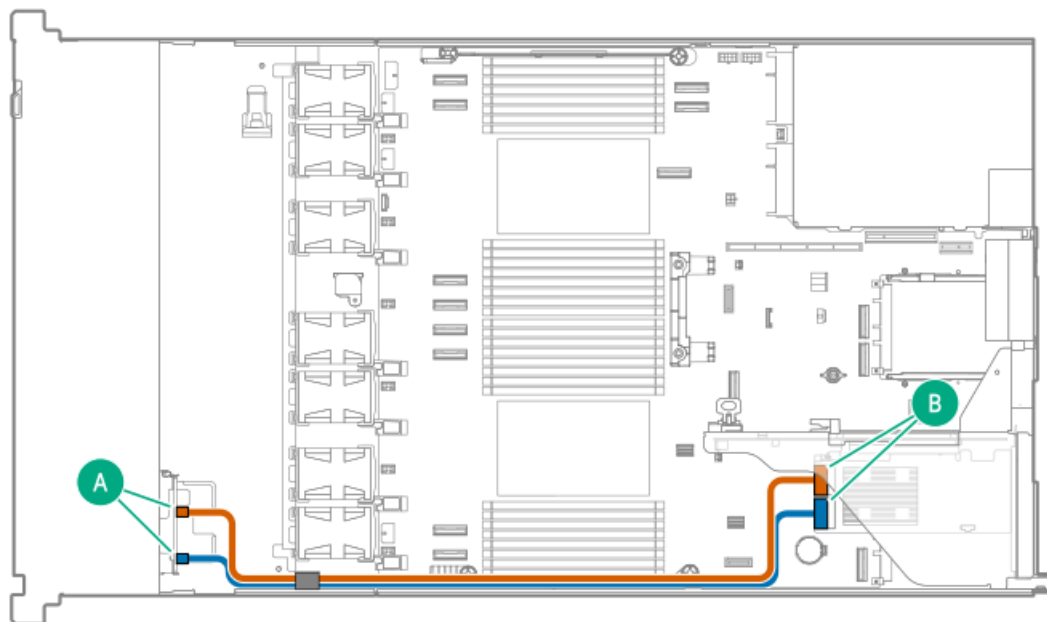
ドライブボックス5のケーブル接続

4 EDSFFボックス5 x4 NVMe : 直接接続



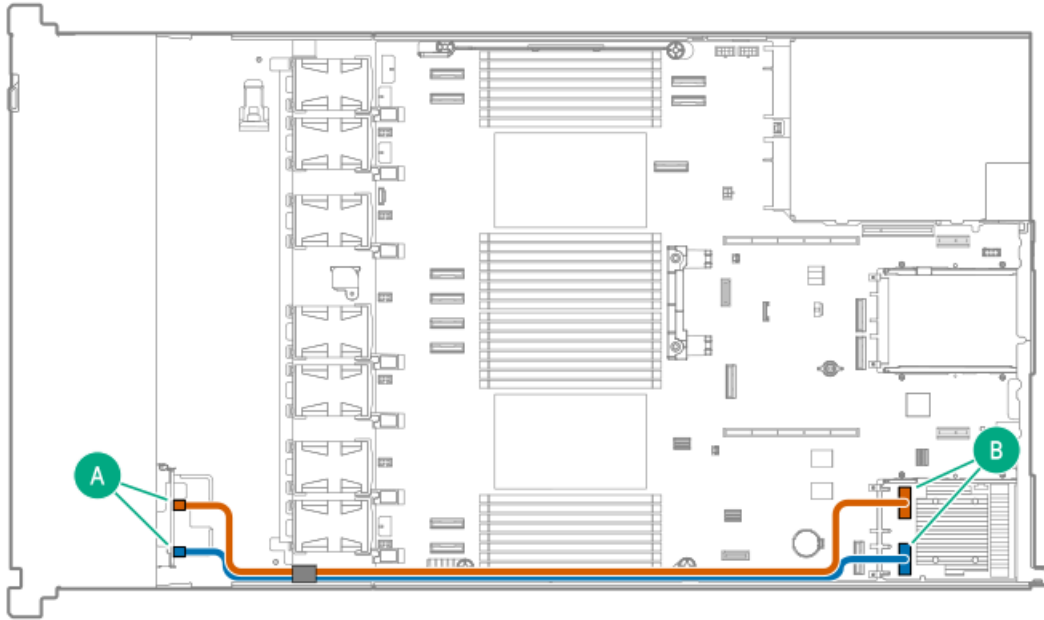
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75278-001	オレンジ色	ドライブバックプレーンポート1	MCIOポート4
P75567-001	青色	ドライブバックプレーンポート2	MCIOポート12

4 EDSFFボックス5 x4 NVMe : タイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P76443-001	オレンジ色	ドライブバックプレーンポート1	プライマリタイプpコントローラーポート2
P75574-001	青色	ドライブバックプレーンポート2	プライマリタイプpコントローラーポート1

4 EDSFFボックス5 x4 NVMe : タイプoコントローラー (CPU1およびCPU2)



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75589-001	オレンジ色	ドライブバックプレーンポート1	スロット14 OCP Aのタイプoコントローラーポート2
P75589-001	青色	ドライブバックプレーンポート2	スロット14 OCP Aのタイプoコントローラーポート1

2 SFF（2.5型） ドライブバックプレーンのケーブル接続

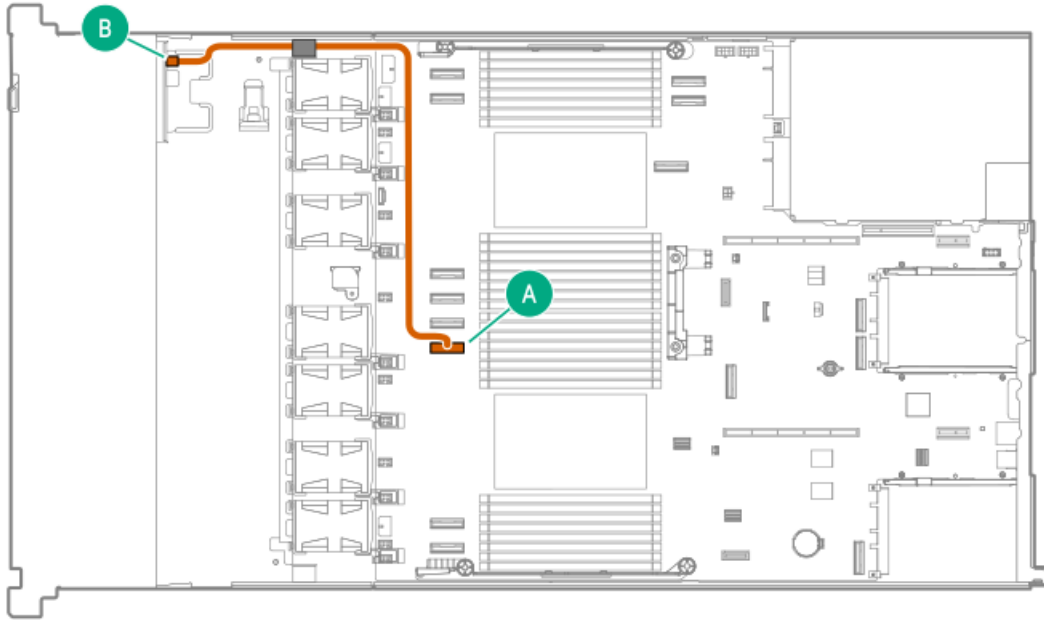
2 SFF（2.5型） ドライブバックプレーンは、混合ドライブタイプ構成のボックス1～5でサポートされます。

サブトピック

- [ドライブボックス1のケーブル接続](#)
- [ドライブボックス2のケーブル接続](#)
- [ドライブボックス3のケーブル接続](#)
- [ドライブボックス4のケーブル接続](#)
- [ドライブボックス5のケーブル接続](#)

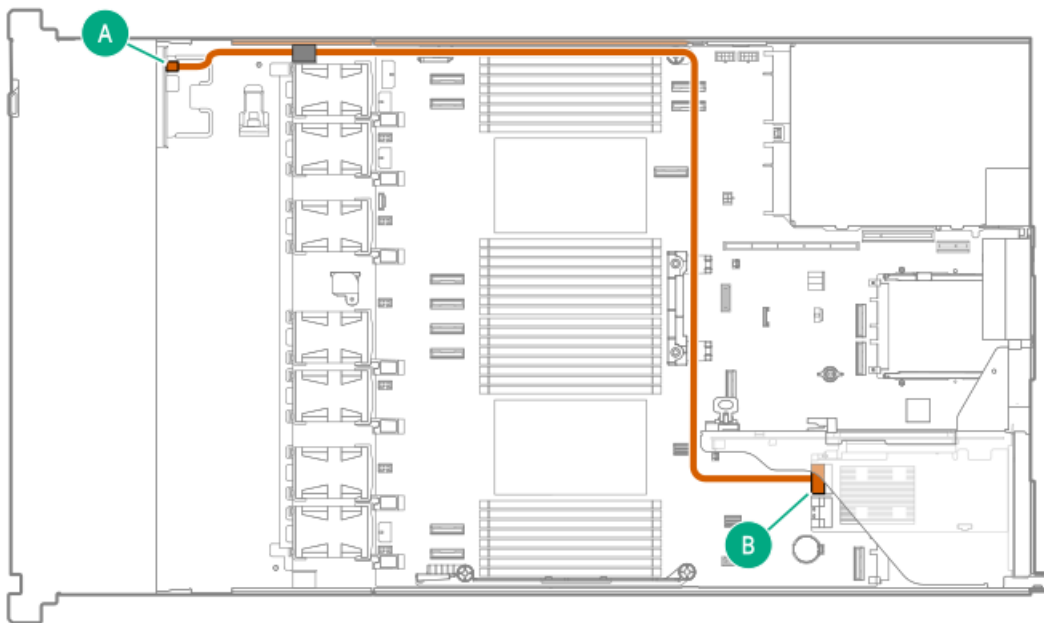
ドライブボックス1のケーブル接続

2 SFF（2.5型） ボックス1 x4 NVMe：直接接続（CPU1）



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75568-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	MCI0ポート3

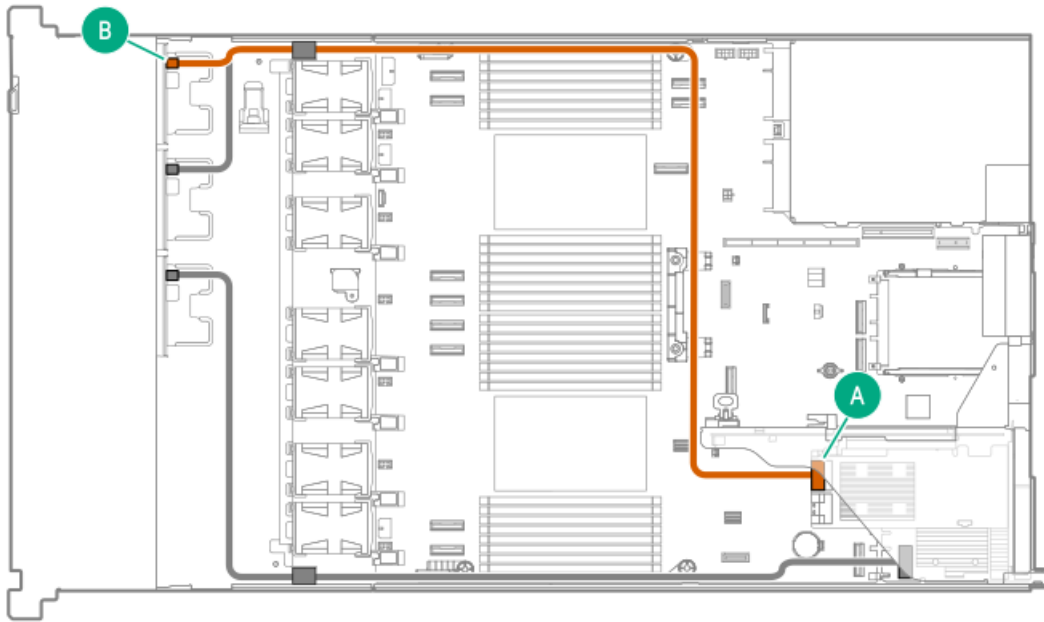
2 SFF (2.5型) ボックス1 x4 NVMe : タイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75590-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコントローラーポート2

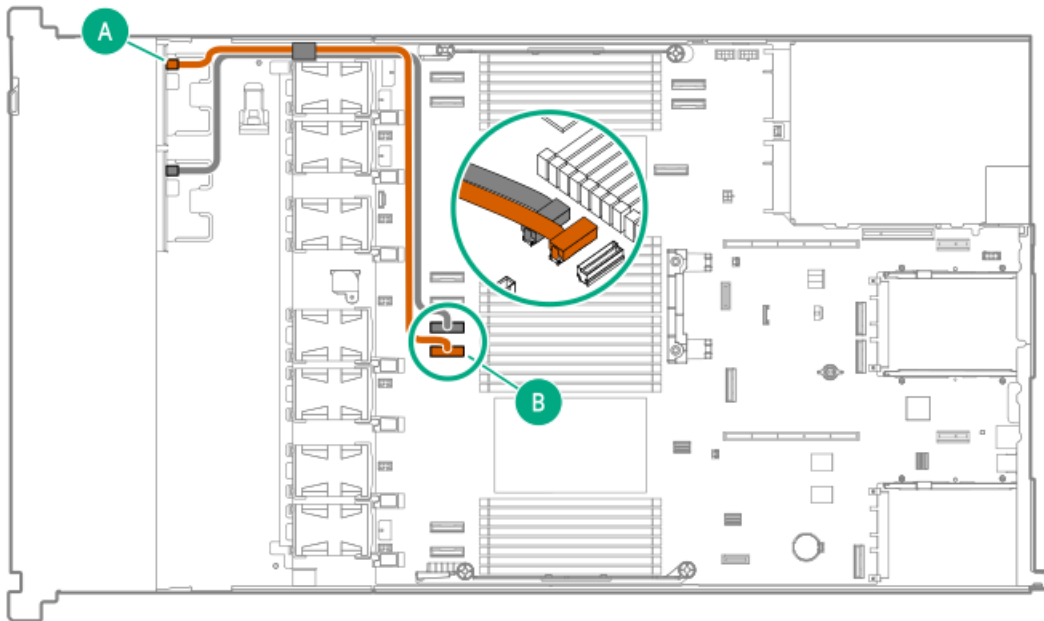
2 SFF (2.5型) ボックス1および2 x4 (x2 BW) NVMe : タイプpコントローラー

この構成では、タイプpコントローラーとタイプoコントローラーを使用します。



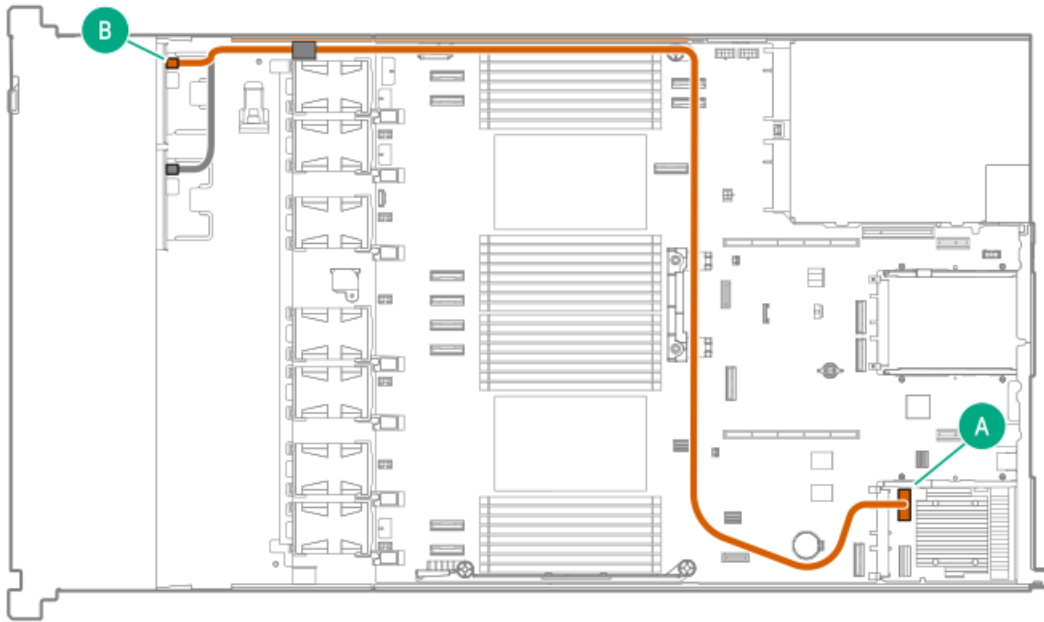
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75593-001	オレンジ色	ボックス1および2 : ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコントローラーポート2

2 SFF (2.5型) ボックス1 x4 NVMe : 直接接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75317-001	オレンジ色	ボックス1および2 : ドライブバックプレーン	MCIOポート5

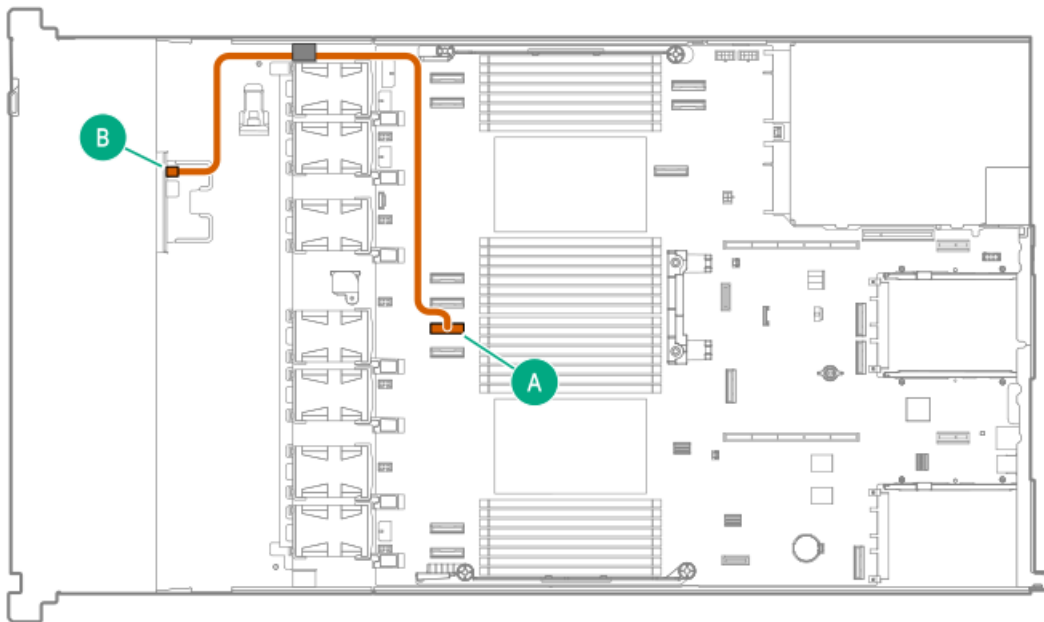
2 SFF (2.5型) ボックス1および2 (x2 BW) NVMe : タイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75571-001	オレンジ色	ボックス1および2 : ドライブ バックプレーン	スロット14 OCP Aのタイプo コントローラーポート2

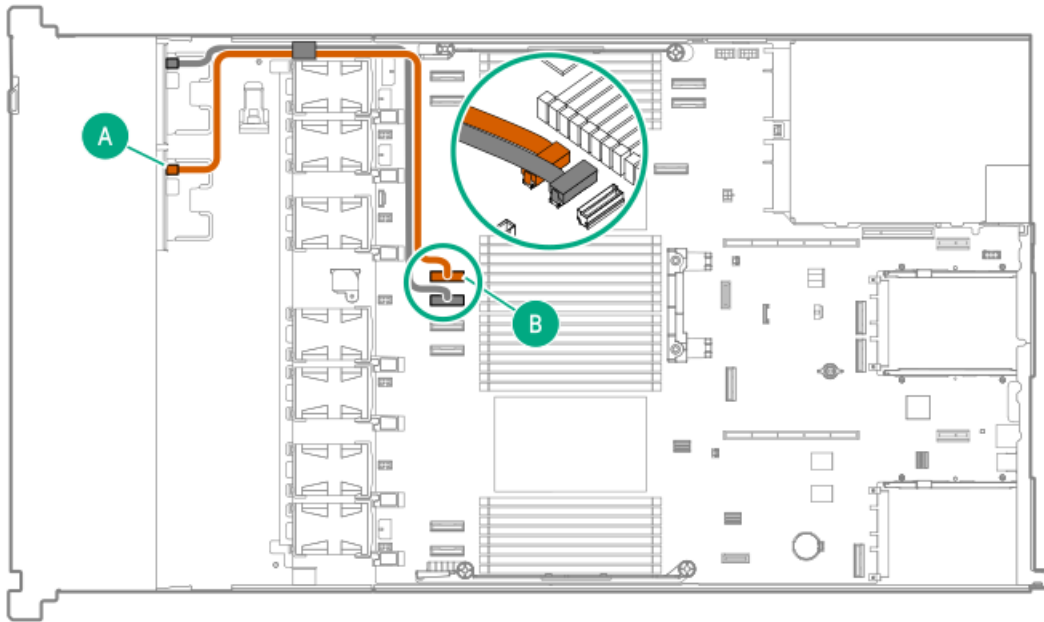
ドライブボックス2のケーブル接続

2 SFF (2.5型) ボックス2 x4 NVMe : 直接接続 (CPU1)



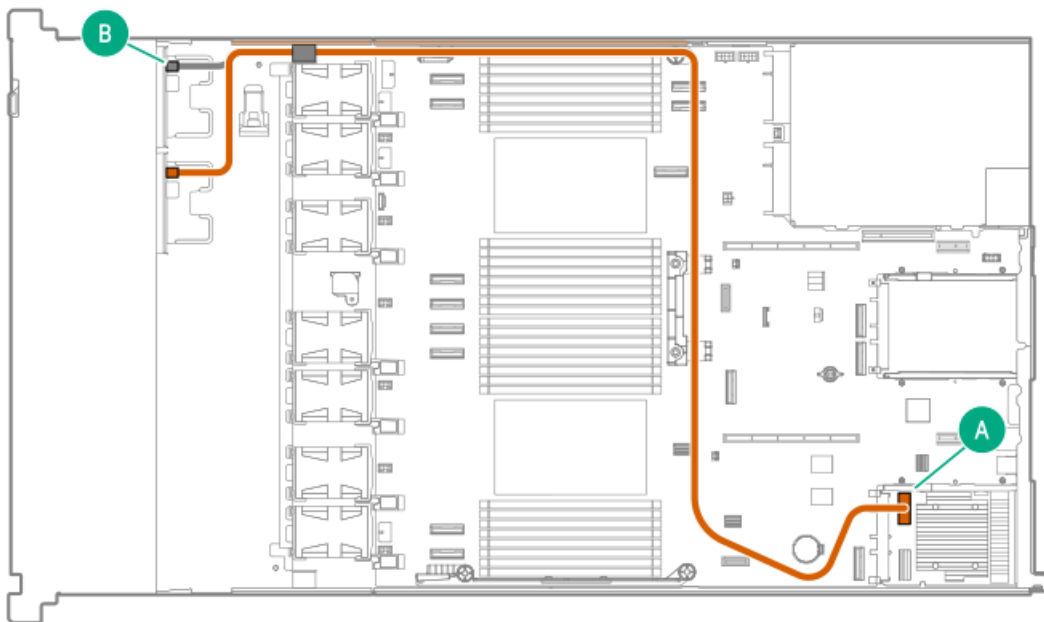
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75568-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	MCIOポート4

2 SFF (2.5型) ボックス2 x4 NVMe : 直接接続 (CPU1およびCPU2)



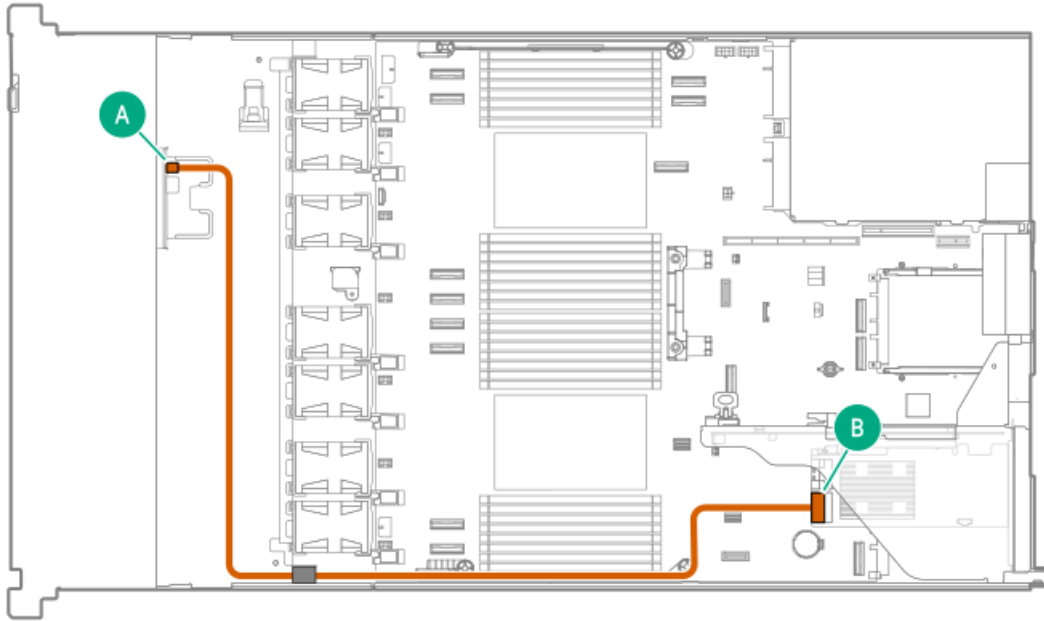
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75278-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	MCIOポート6

2 SFF (2.5型) ボックス1および2 x4 (x2 BW) NVMe : タイプoコントローラー



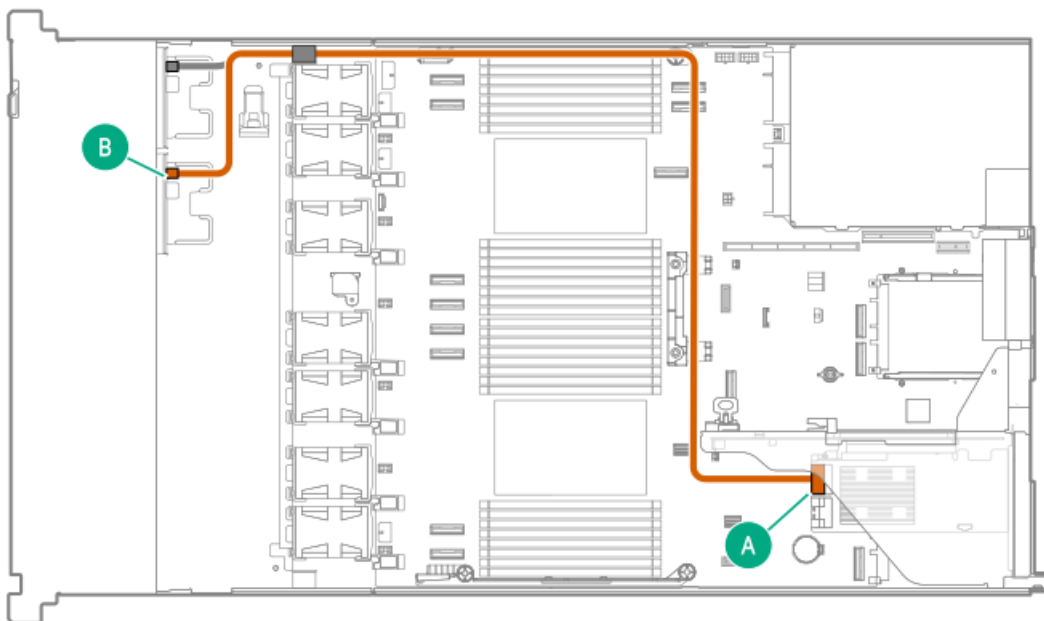
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75571-001	オレンジ色	ボックス1および2 : ドライブバックプレーン	スロット14 OCP Aのタイプoコントローラーポート2

2 SFF (2.5型) ボックス2 x4 NVMe : タイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75590-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコントローラーポート1

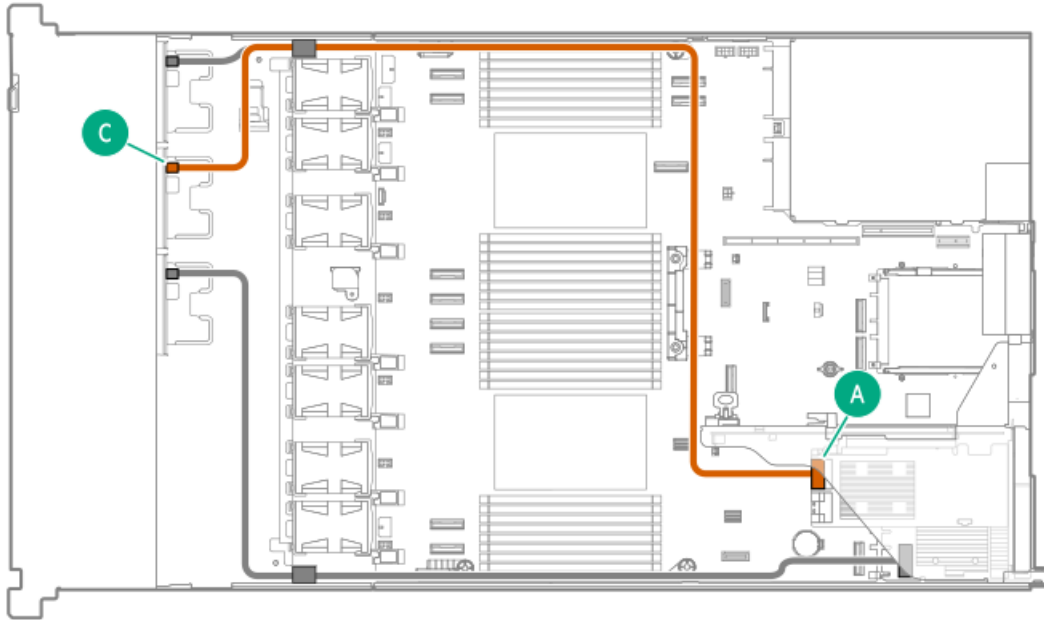
2 SFF (2.5型) ボックス1および2 x4 (x2 BW) NVMe : タイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75593-001	オレンジ色	ボックス1および2 : ドライブ バックプレーン	プライマリタイプpコント ローラーポート2

2 SFF (2.5型) ボックス1および2 x4 (x2 BW) NVMe : タイプpコントローラー

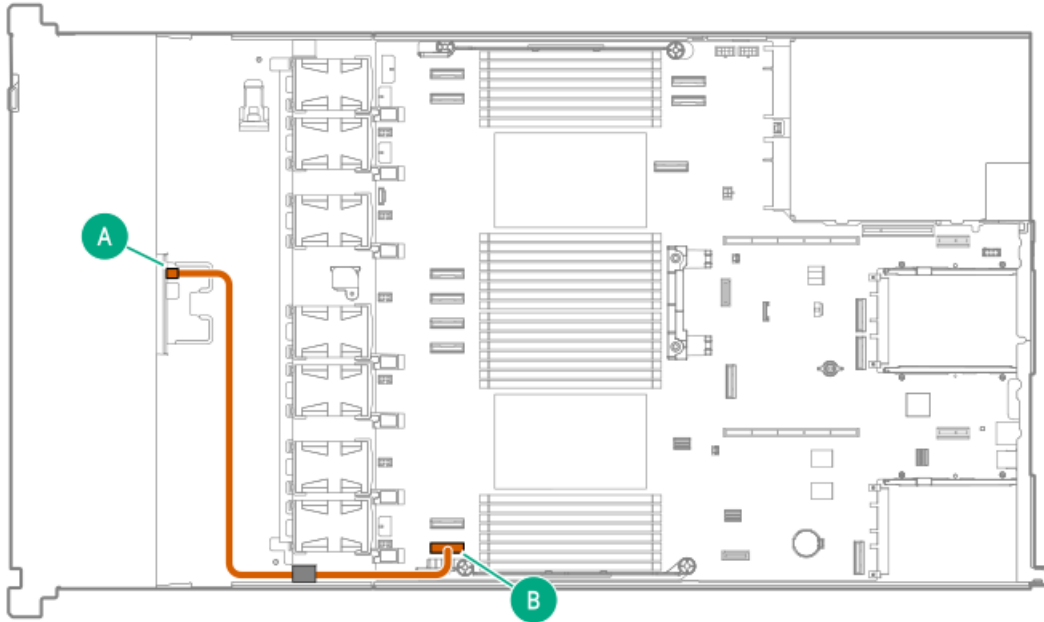
この構成は、タイプpコントローラーとタイプoコントローラーをサポートします。



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75593-001	オレンジ色	ボックス1および2 : ドラ イブバックプレーン	プライマリタイプpコント ローラーポート1

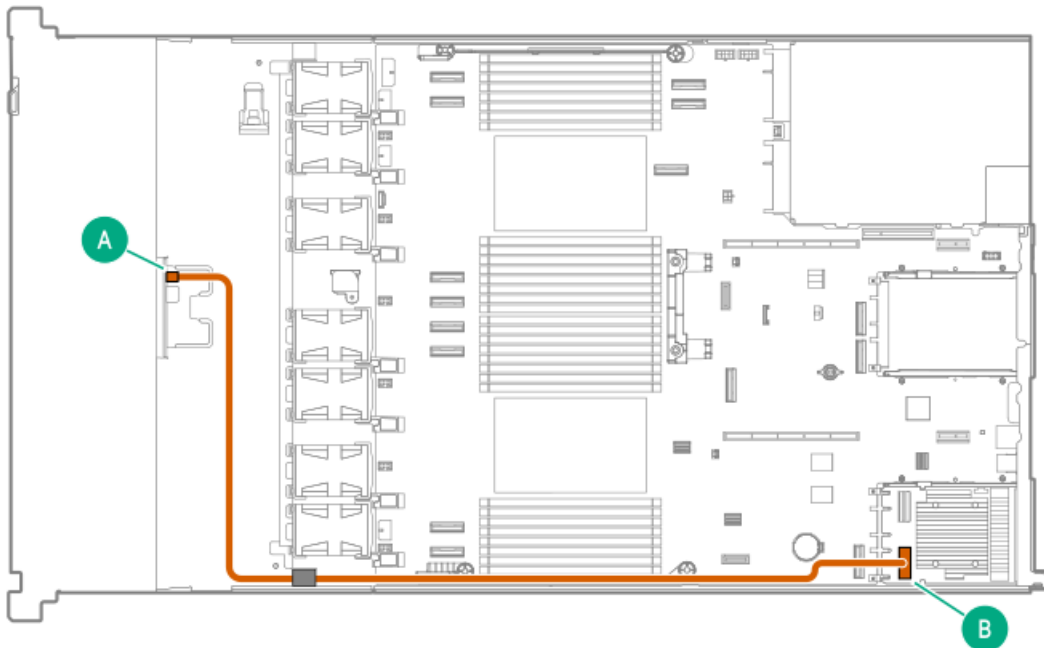
ドライブボックス3のケーブル接続

2 SFF (2.5型) ボックス3 x4 NVMe : 直接接続 (CPU1)



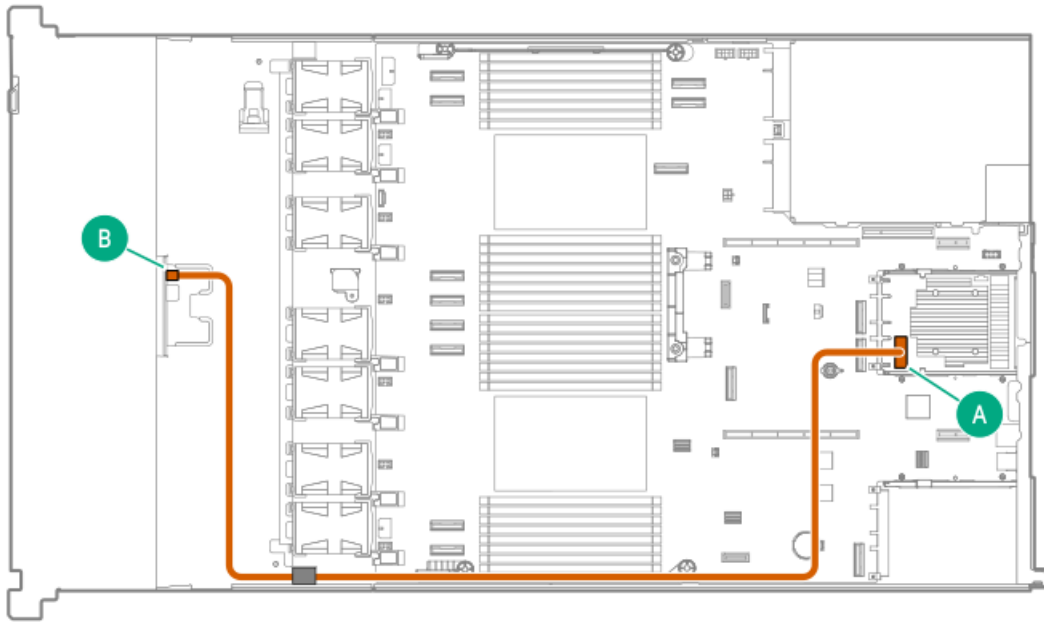
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75278-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	MCIOポート1

2 SFF (2.5型) ボックス3 x4 NVMe : タイプoコントローラー (CPU1)



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75589-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	スロット14 OCP Aのタイプoコントローラーポート1

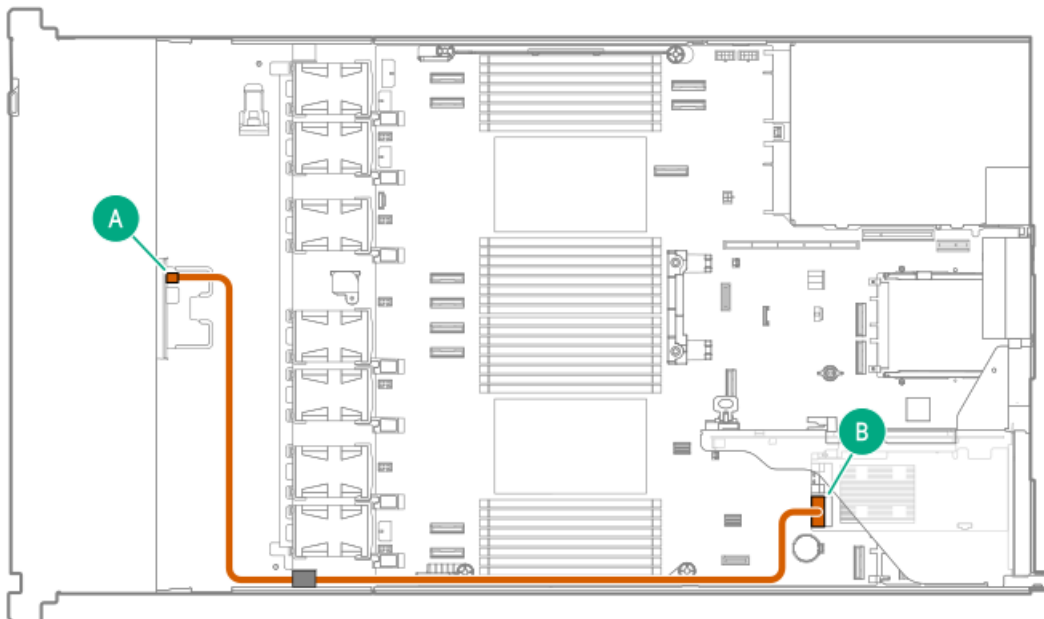
2 SFF (2.5型) ボックス3 x4 NVMe : スロット15 OCP Bのタイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75587-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	スロット15 OCP Bのタイプ0コントローラー

2 SFF (2.5型) ボックス3 x4 NVMe : タイプpコントローラー

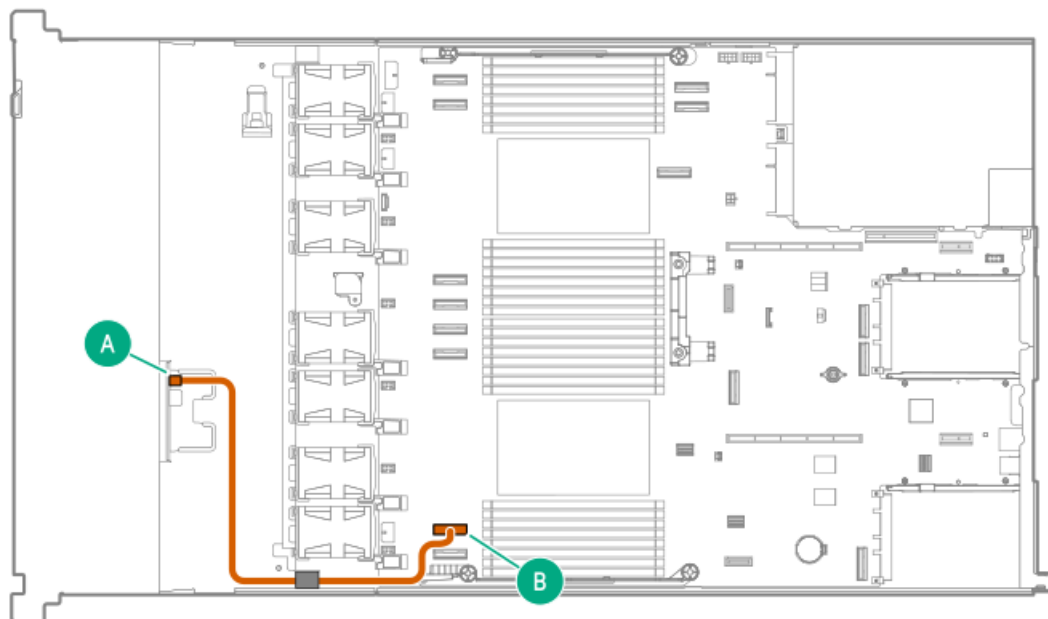
スロット1のMR416i-p / MR216i-p / MR408i-p



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75590-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコントローラーポート1

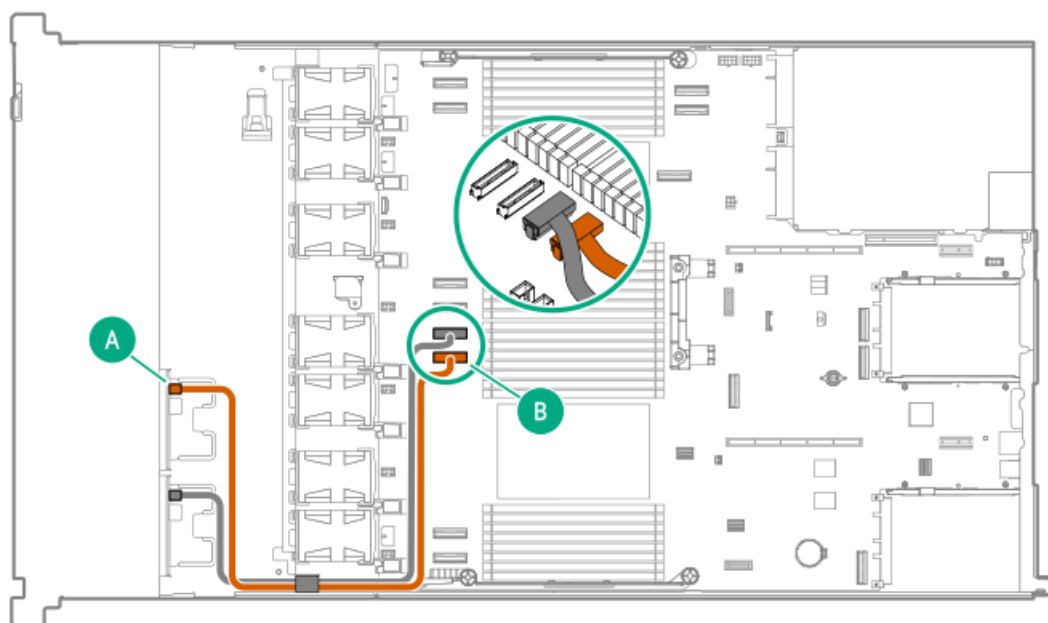
ドライブボックス4のケーブル接続

2 SFF (2.5型) ボックス4 x4 NVMe : 直接接続 (CPU1)



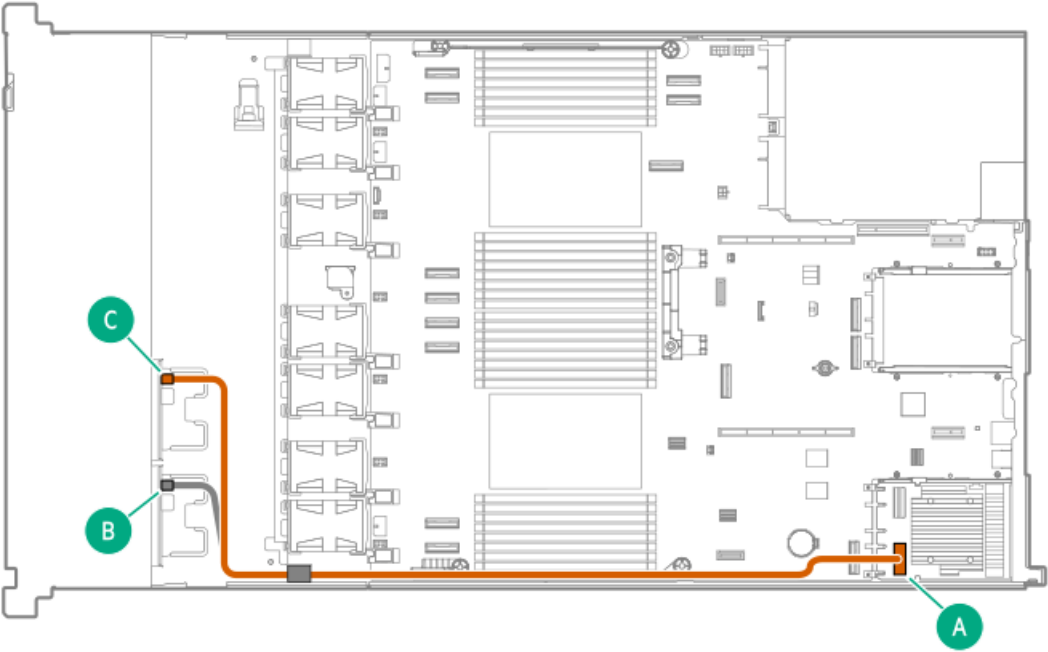
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75317-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	MCIOポート2

2 SFF (2.5型) ボックス4および5 x4 NVMe : 直接接続



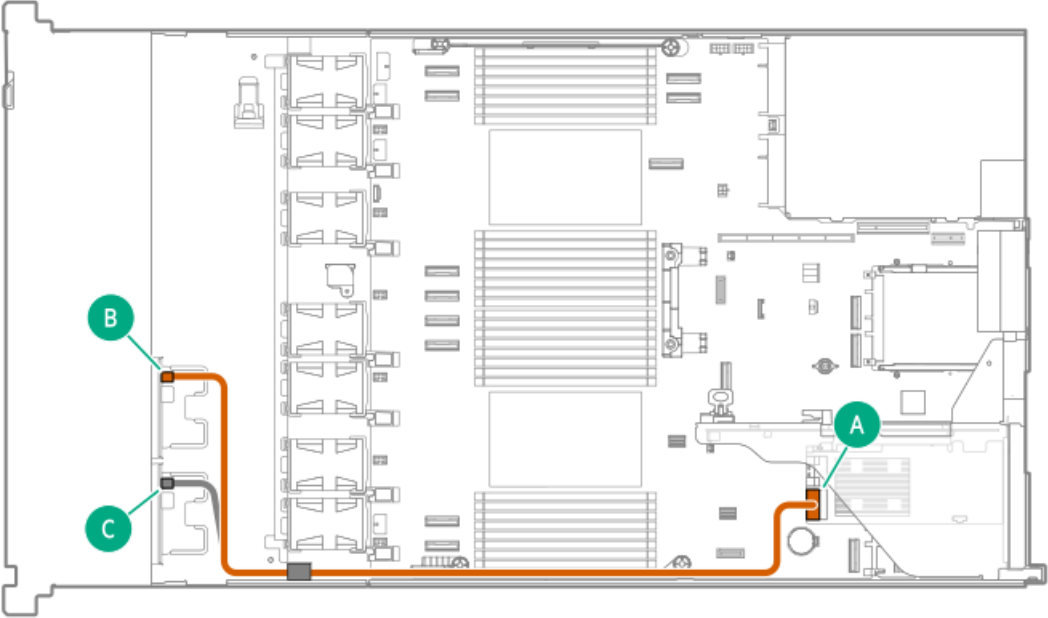
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75567-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	MCIOポート3

2 SFF (2.5型) ボックス4および5 x4 (x2 BW) NVMe : タイプoコントローラー



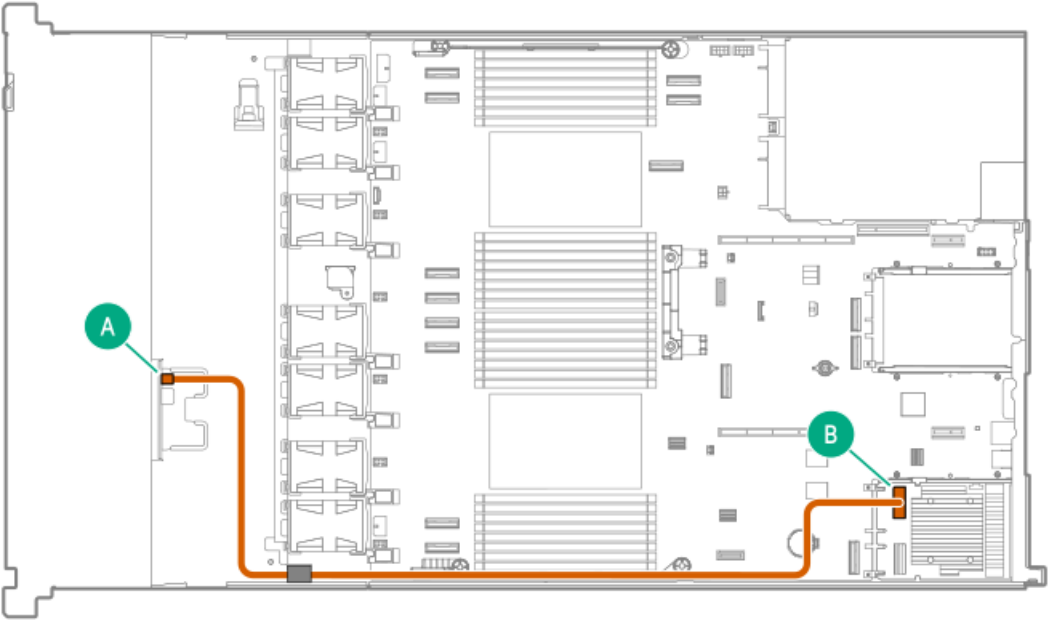
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75573-001	オレンジ色	ボックス4および5 : ドライブバックプレーン	スロット14 OCP Aのタイプoコントローラーポート1

2 SFF (2.5型) ボックス4および5 x4 (x2 BW) NVMe : タイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75572-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコントローラーポート1

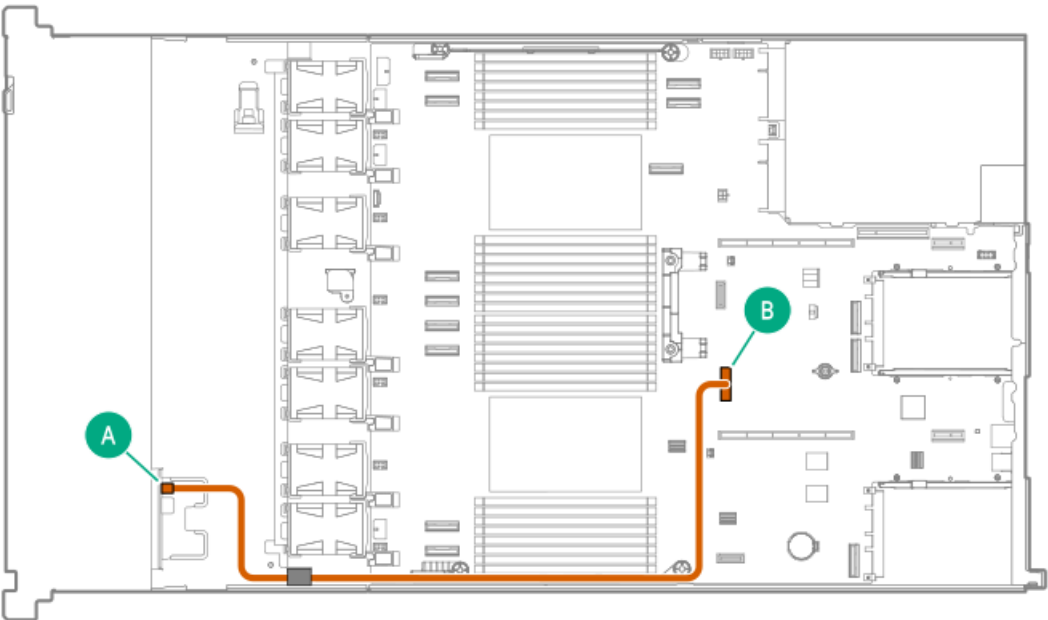
2 SFF (2.5型) ボックス4 x4 NVMe : タイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75589-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	スロット14 OCP Aのタイプo コントローラーポート2

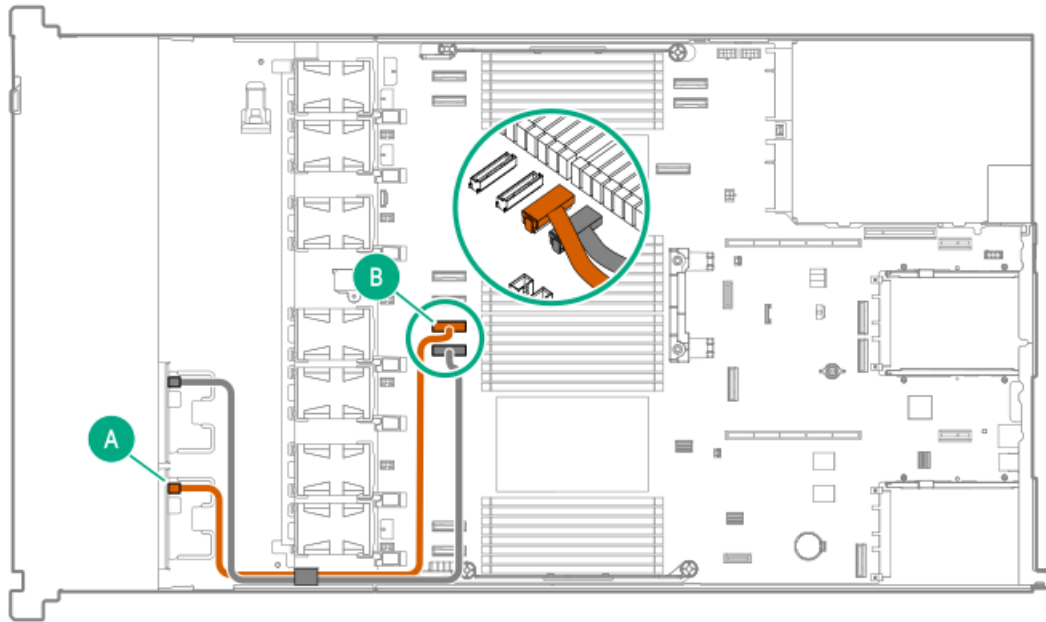
ドライブボックス5のケーブル接続

2 SFF (2.5型) ボックス5 x4 NVMe : 直接接続 (CPU1)



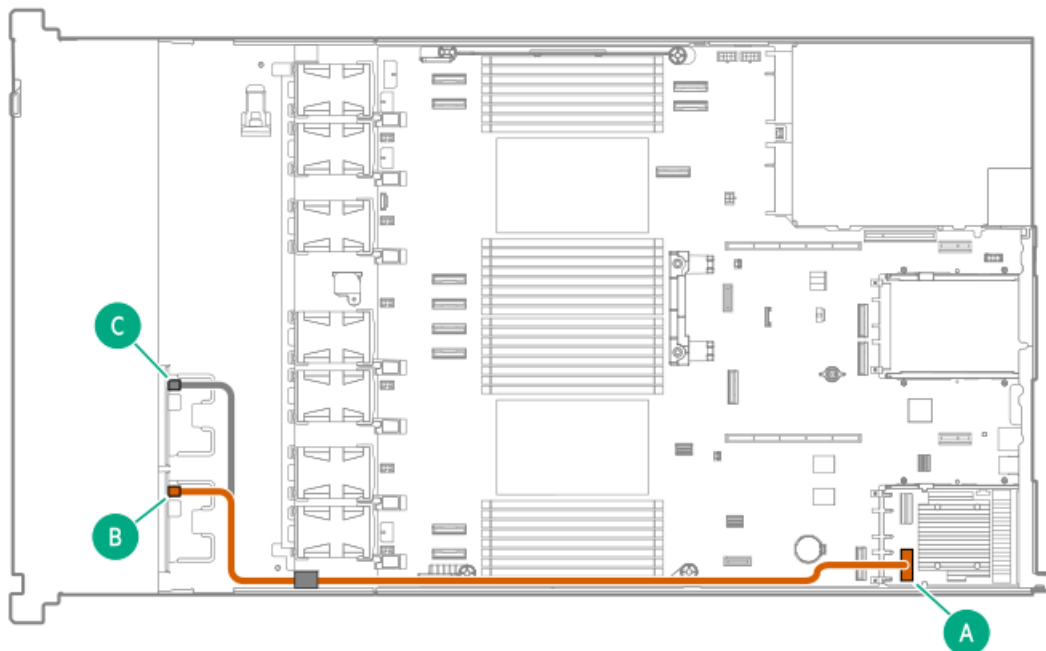
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75567-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	MCIOポート12

2 SFF (2.5型) ボックス4および5 x4 NVMe : 直接接続



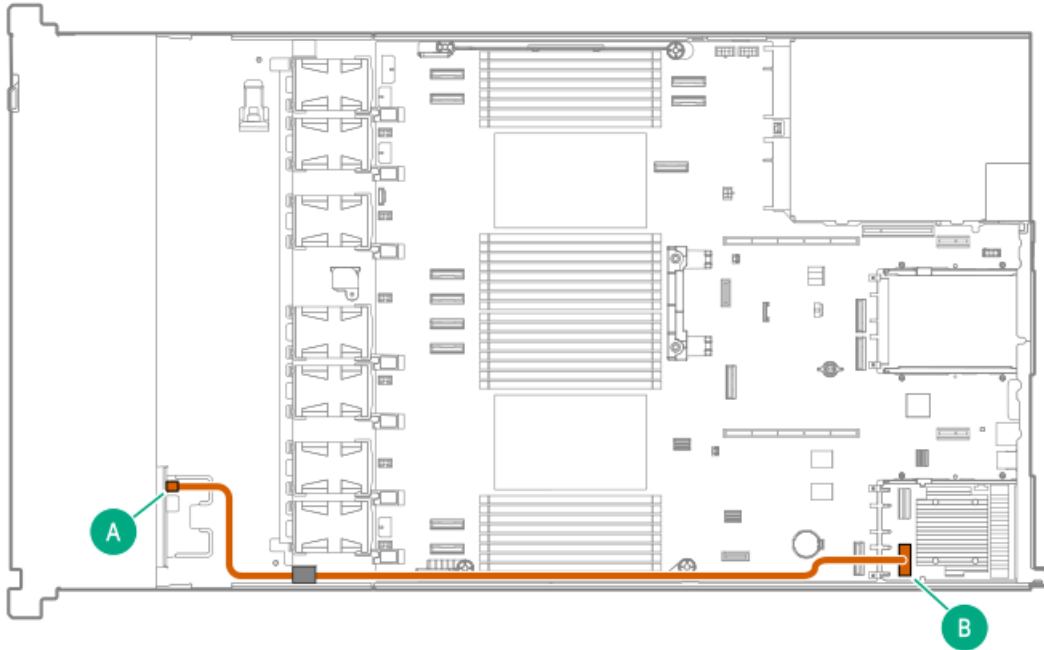
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75278-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	MCIOポート4

2 SFF (2.5型) ボックス4および5 x4 (x2 BW) NVMe : タイプoコントローラー



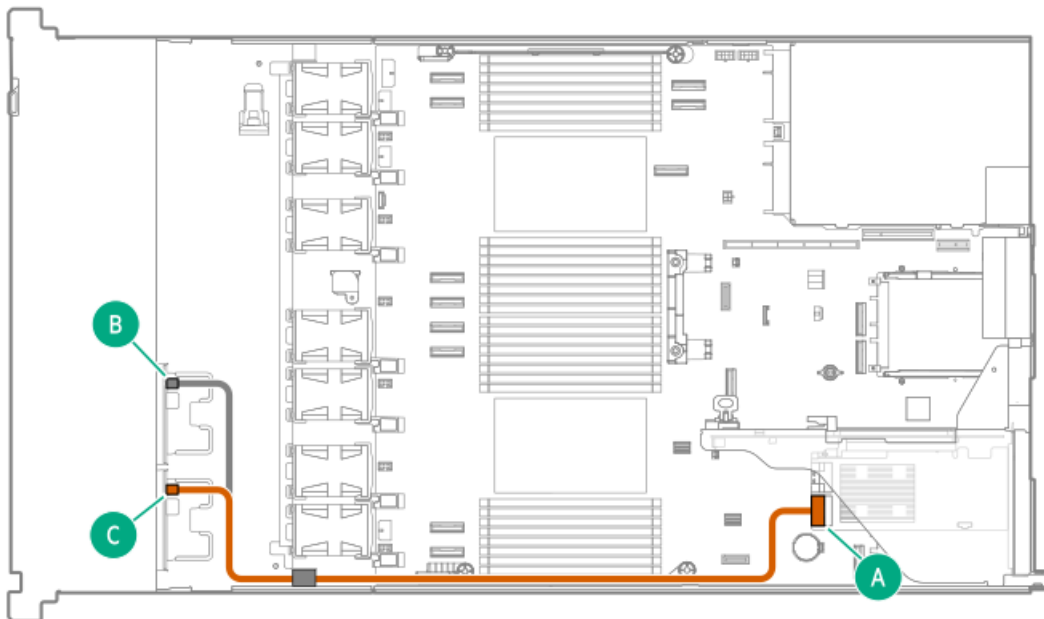
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75573-001	オレンジ色	ボックス4および5 : ドライブバックプレーン	スロット14 OCP Aのタイプoコントローラーポート1

2 SFF (2.5型) ボックス5 x4 NVMe : タイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75589-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	スロット14 OCP Aのタイプoコントローラーポート1

2 SFF (2.5型) ボックス4および5 x4 (x2 BW) NVMe : タイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75572-001	オレンジ色	ボックス4および5 : ドライブ バックプレーン	プライマリタイプpコント ローラーポート1

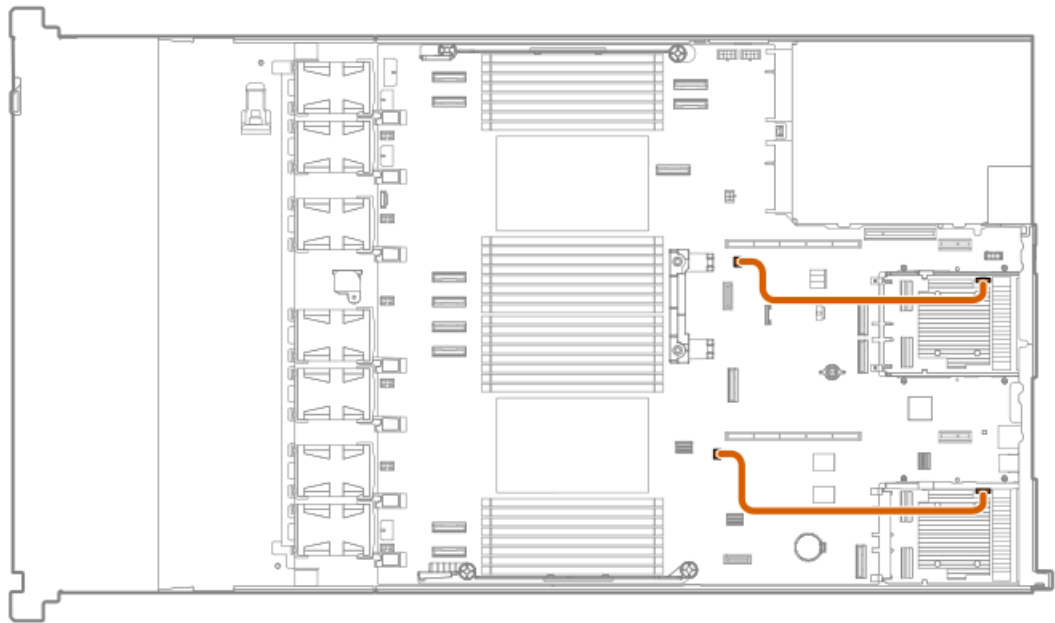
ストレージコントローラーのバックアップ電源ケーブル接続

ストレージコントローラーのバックアップ電源ケーブル接続の正確なルートは、以下によって異なります。

- コントローラーが取り付けられているライザーまたはOCPスロット
- コントローラー上のバックアップ電源ケーブルコネクターの位置

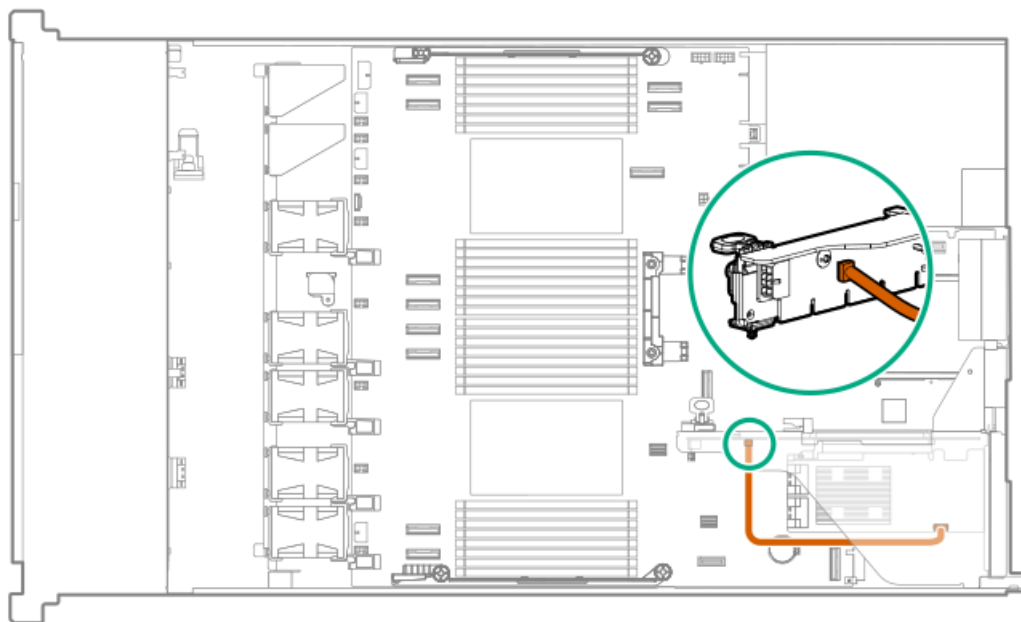
次の図は参照用にのみ使用してください。

ストレージコントローラーバックアップ電源のケーブル接続：タイプoストレージコントローラー



ケーブルの色	接続元	接続先
オレンジ色	ストレージバックアップ電源コネクター1	スロット14 OROCストレージバックアップ電源ケーブルコネクター
	ストレージバックアップ電源コネクター2	スロット15 OROCストレージバックアップ電源ケーブルコネクター

ストレージコントローラーのバックアップ電源ケーブル接続：プライマリライザーのタイプpストレージコントローラー



ケーブルの色

オレンジ色

接続元

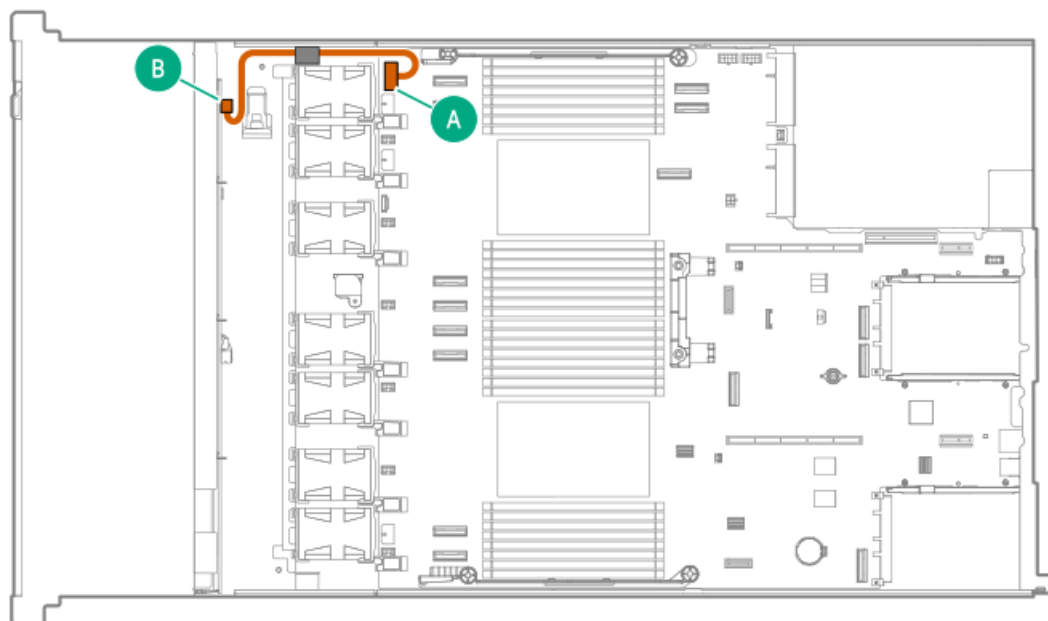
スロット1プライマリバッテリーライ
ザー：ストレージバックアップ電源コ
ネクター

接続先

プライマリタイプpコントローラー：ス
トレージバックアップ電源ケーブルコ
ネクター

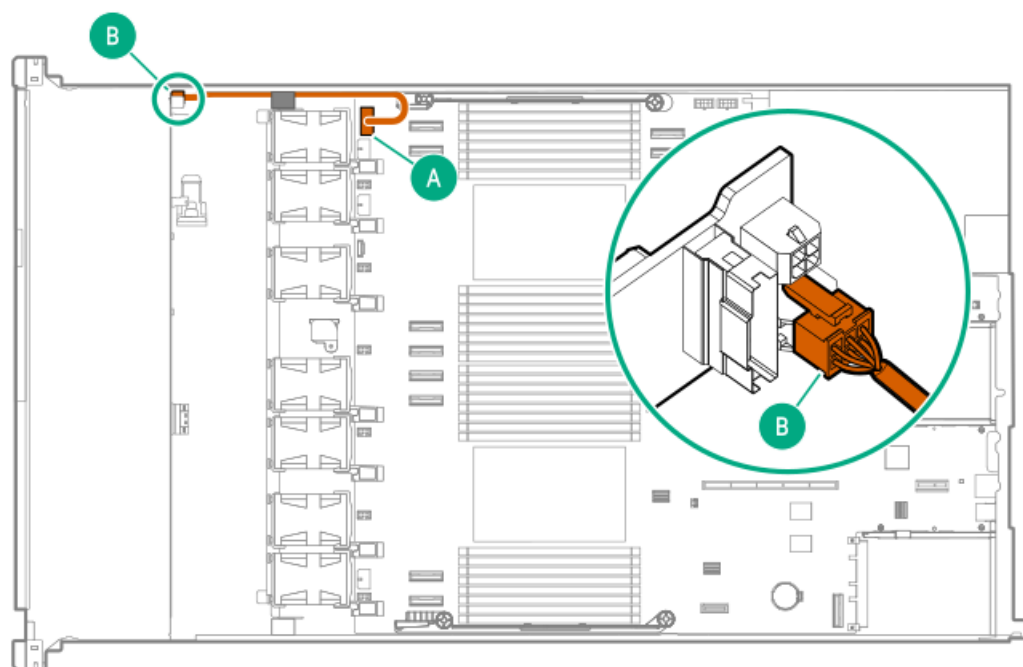
ドライブの電源ケーブル接続

4 LFF (3.5型) バックプレーン電源



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75565-001	オレンジ色	4 LFF (3.5型) バックプレーン	バックプレーンボックス1 電源コネクタ

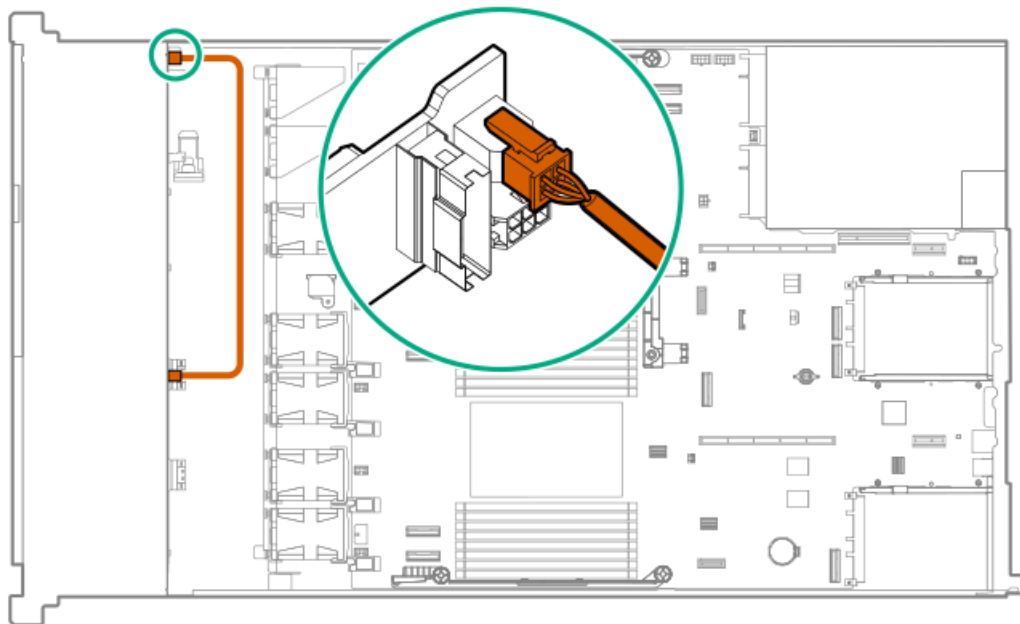
8 SFF (2.5型) バックプレーン電源



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75566-001	オレンジ色	8 SFF (2.5型) バックプレーン	バックプレーンボックス1 電源コネクタ

2 SFF (2.5型) バックプレーン電源

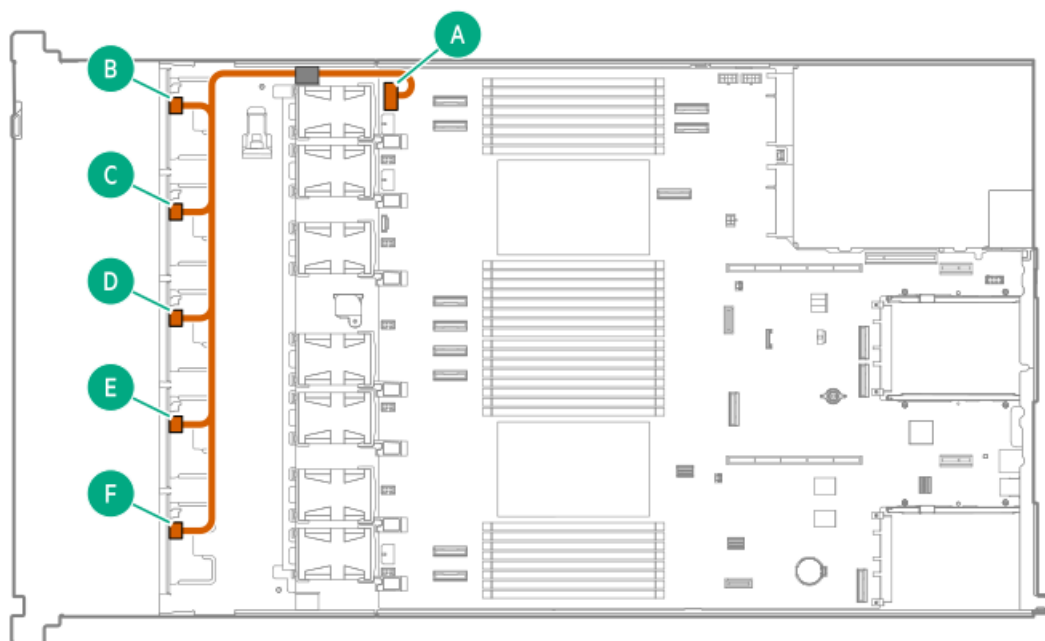
このケーブルは、8 SFF (2.5型) ドライブ構成でサポートされます。



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
869667-001	オレンジ色	2 SFF (2.5型) バックプレーン	8 SFF (2.5型) バックプレーン

混合ドライブタイプ構成：積み重ね式2 SFF (2.5型) / 4 EDSFFバックプレーン電源

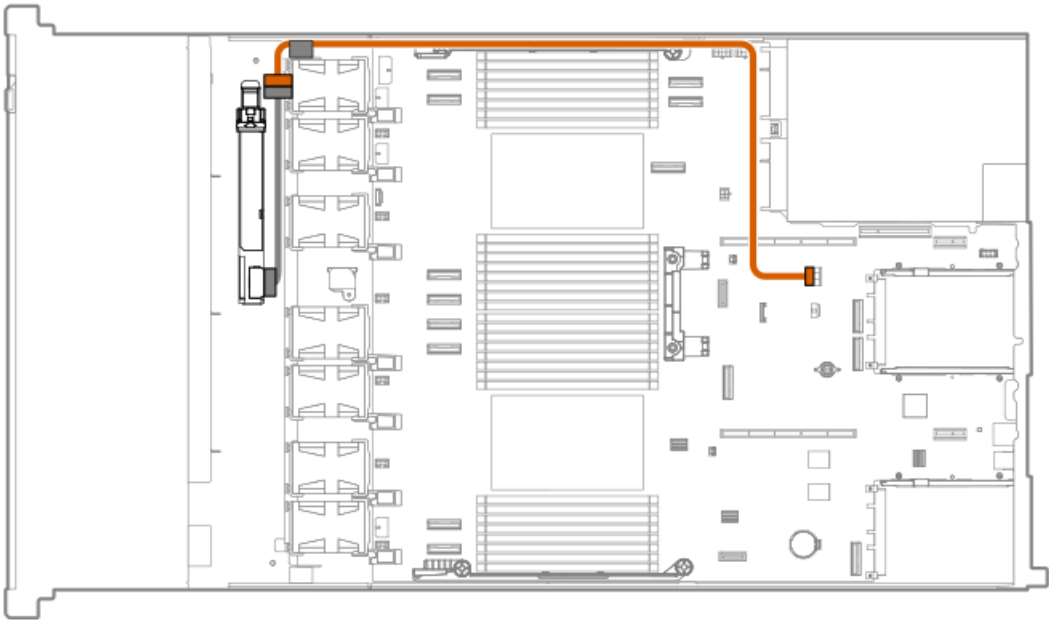
このケーブルは、10 SFF (2.5型) / 20 E3.Sサーバー、または混合ドライブタイプ構成を使用するサーバーでサポートされます。



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75316-001	オレンジ色	SFF (2.5型) / EDSFFバックプレーン	バックプレーンボックス1電源コネクタ

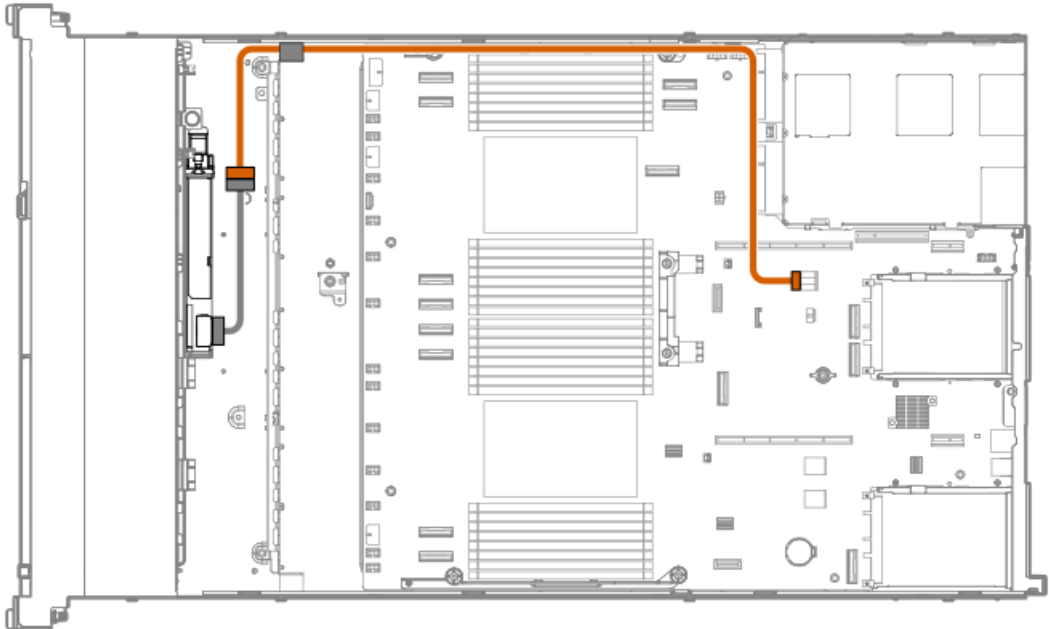
Energy Packのケーブル接続

Energy Packのケーブル接続：4 LFF（3.5型）ドライブ構成



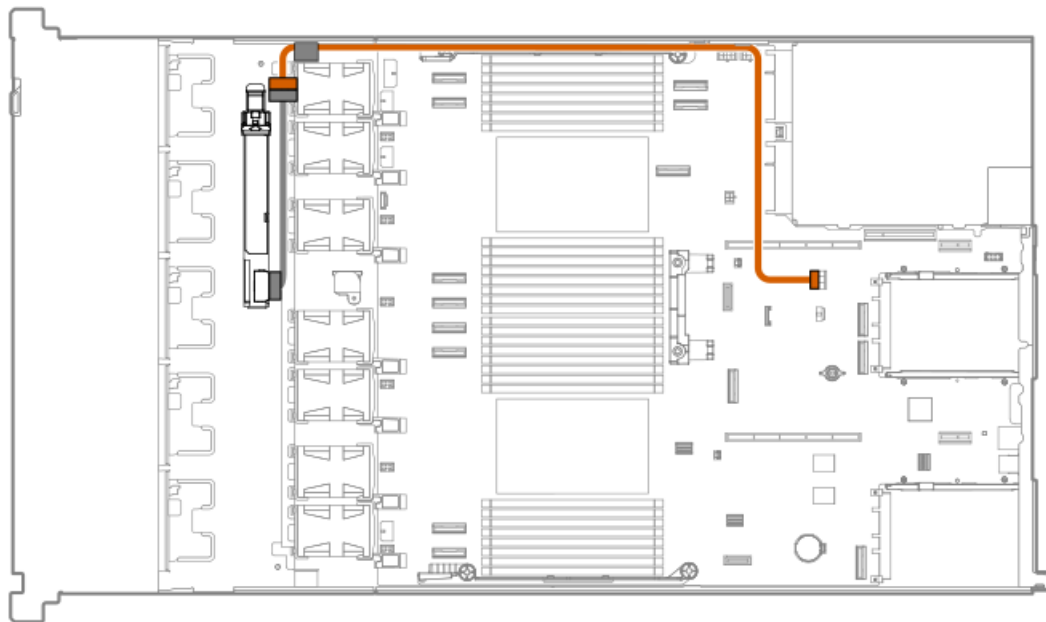
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P45618-001	オレンジ色	Energy Pack	Energy Packコネクター

Energy Packのケーブル接続：8 SFF（2.5型）ドライブ構成



ケーブルの部品番号	ケーブルの色	接続元	接続先
P45618-001	オレンジ色	Energy Pack	Energy Packコネクター

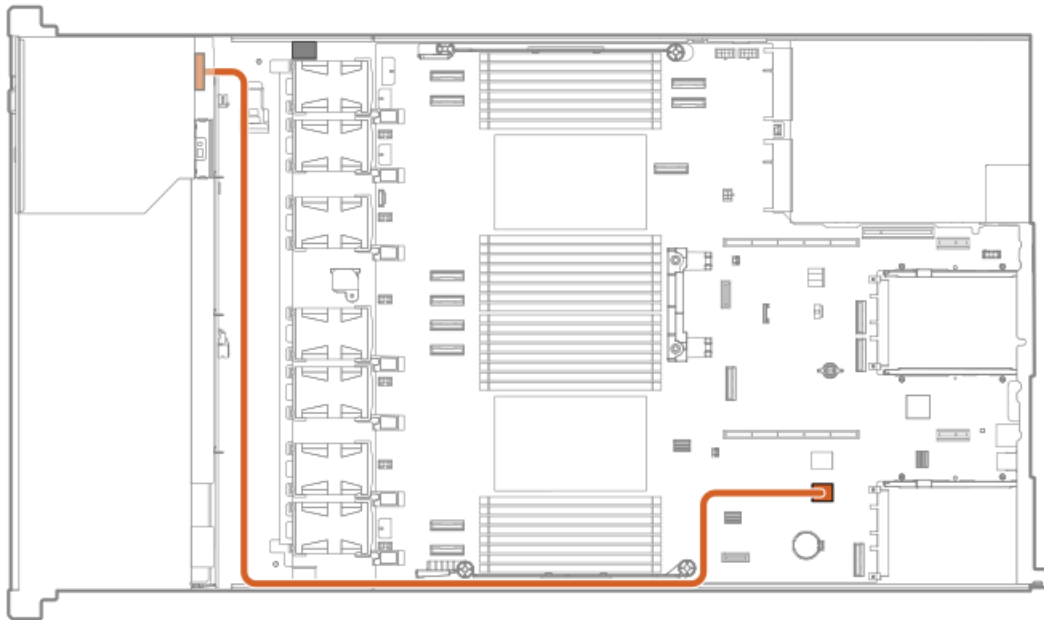
Energy Packのケーブル接続：混合ドライブタイプ構成



ケーブルの部品番号	ケーブルの色	接続元	接続先
P45618-001	オレンジ色	Energy Pack	Energy Packコネクター

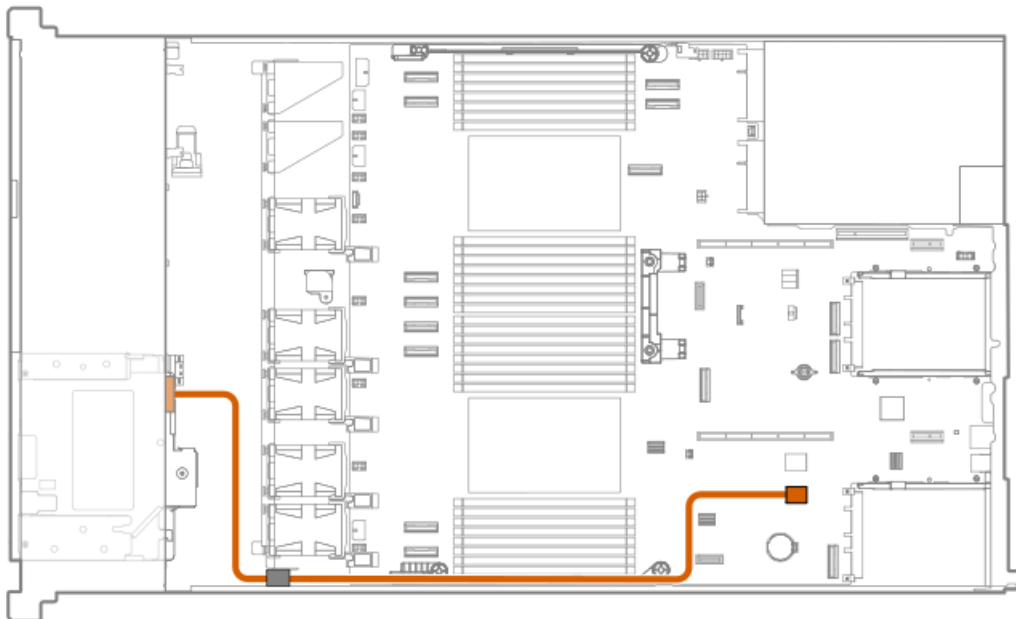
オプティカルディスクドライブのケーブル接続

4 LFF（3.5型）ドライブ構成：オプティカルディスクドライブのケーブル接続



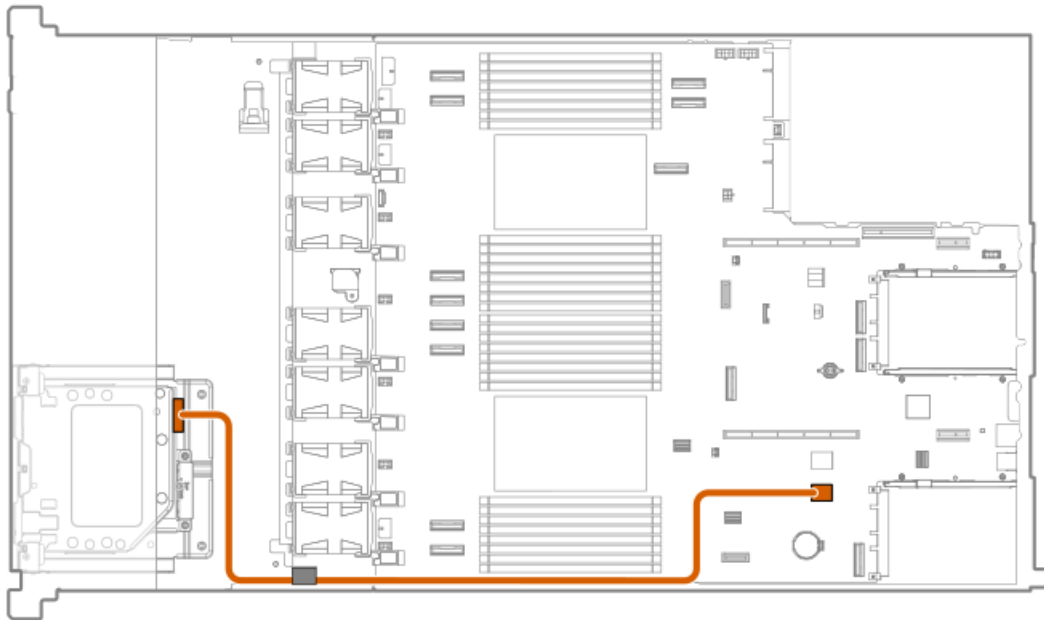
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P73776-001	オレンジ色	オプティカルディスクドライブ	内部USB 3.2 Gen1ポート

8 SFF（2.5型）ドライブ構成：オプティカルディスクドライブのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P73776-001	オレンジ色	オプティカルディスクドライブ	内部USB 3.2 Gen1ポート

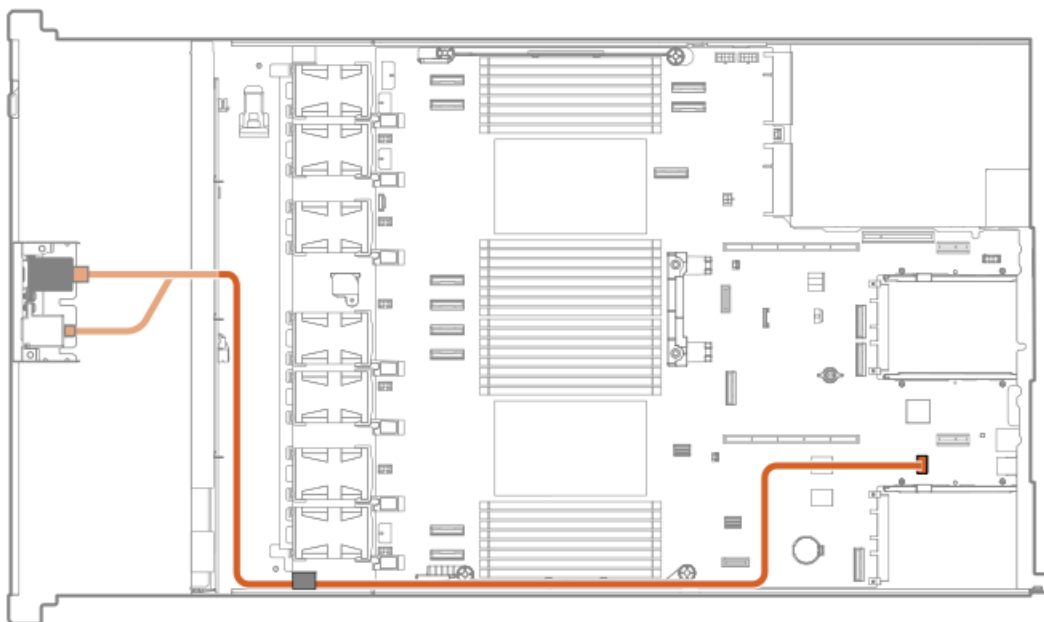
混合ドライブタイプ構成：オプティカルディスクドライブのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P73776-001	オレンジ色	オプティカルディスクドライブ	内部USB 3.2 Gen1ポート

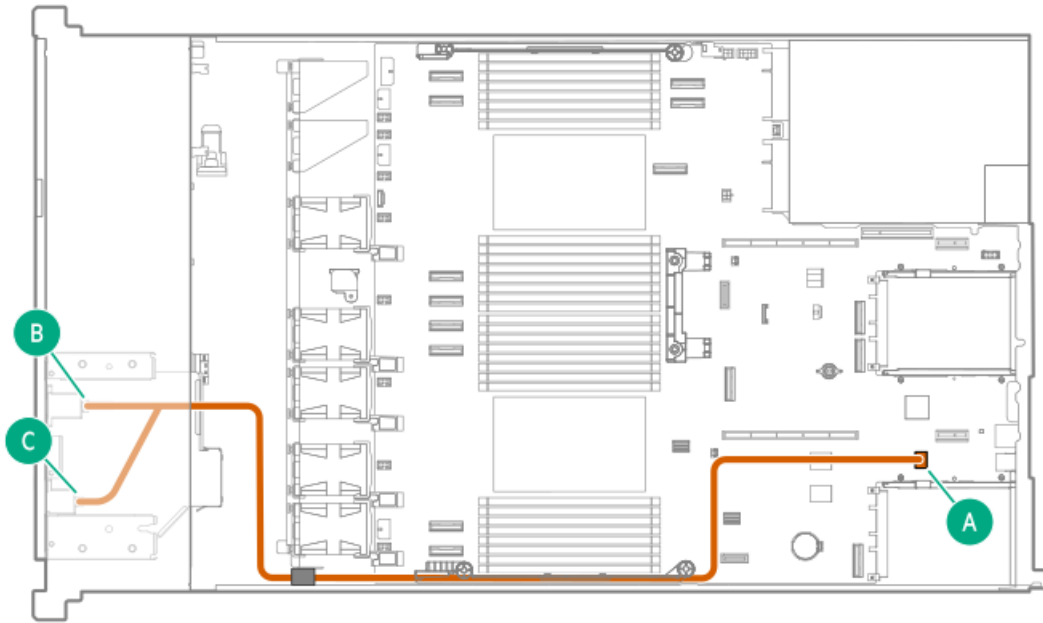
フロントディスプレイポート/USBのケーブル接続

4 LFF (3.5型) ドライブ構成 : ディスプレイポート/USBのケーブル接続



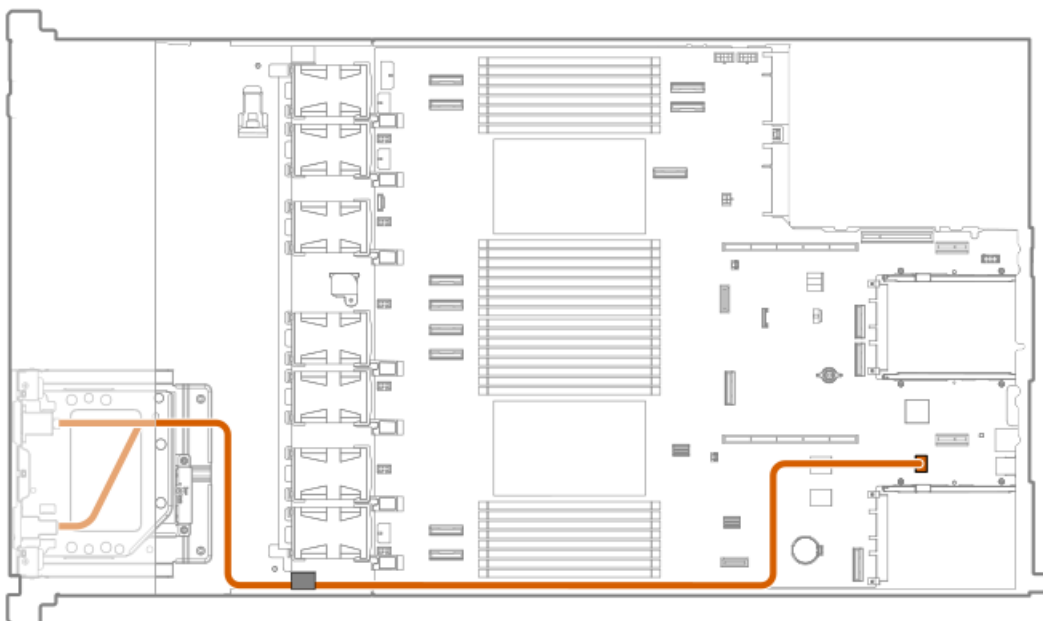
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P73948-001	オレンジ色	4 LFF (3.5型) フロント ディスプレイ/USB	ディスプレイポートとUSB 2.0ポート

8 SFF (2.5型) ドライブ構成 : ディスプレイポート/USBのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P73948-001	オレンジ色	8 SFF (2.5型) ディスプ レイ/USB/ODD	ディスプレイポートとUSB 2.0ポート

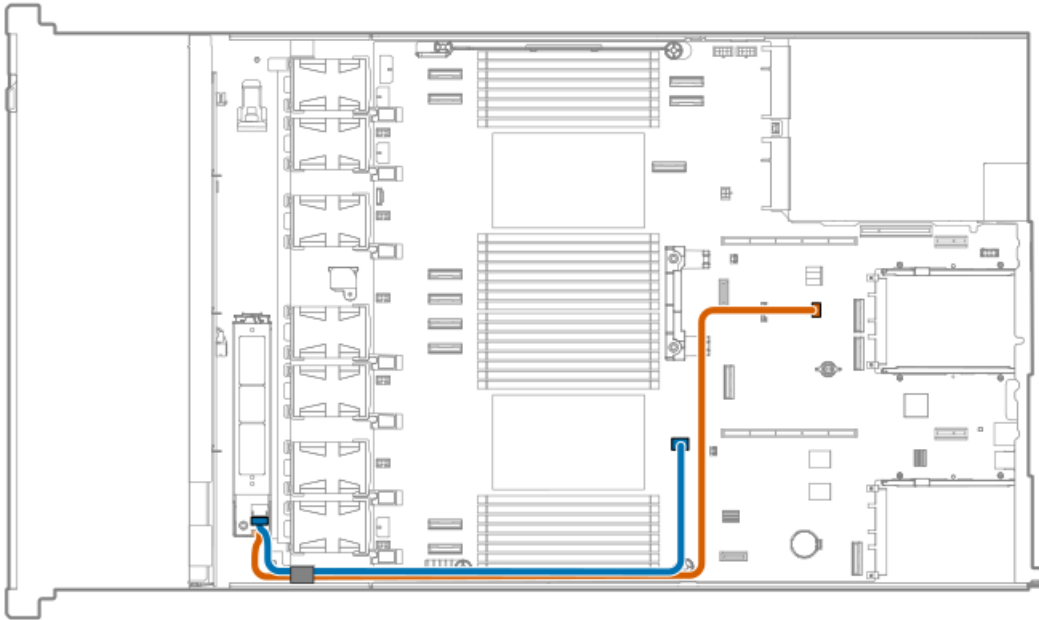
混合ドライブタイプ構成 : ディスプレイポート/USBのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P73948-001	オレンジ色	混合ドライブタイプディスプレイ/USB/ODD	ディスプレイポートとUSB 2.0ポート

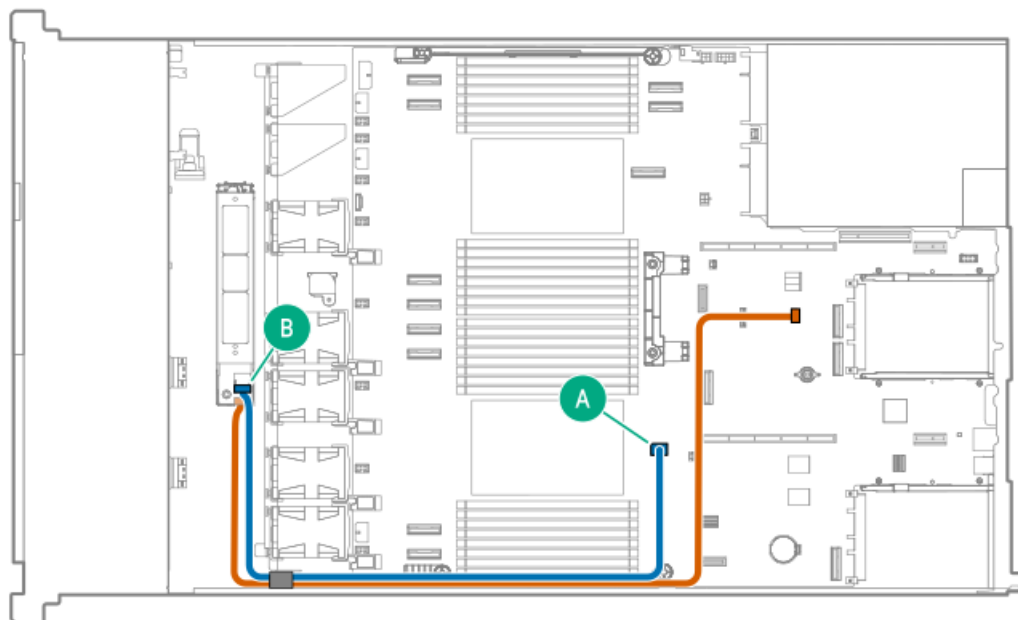
ブートデバイスの内部のケーブル接続

- 4 LFF (3.5型) ドライブ構成



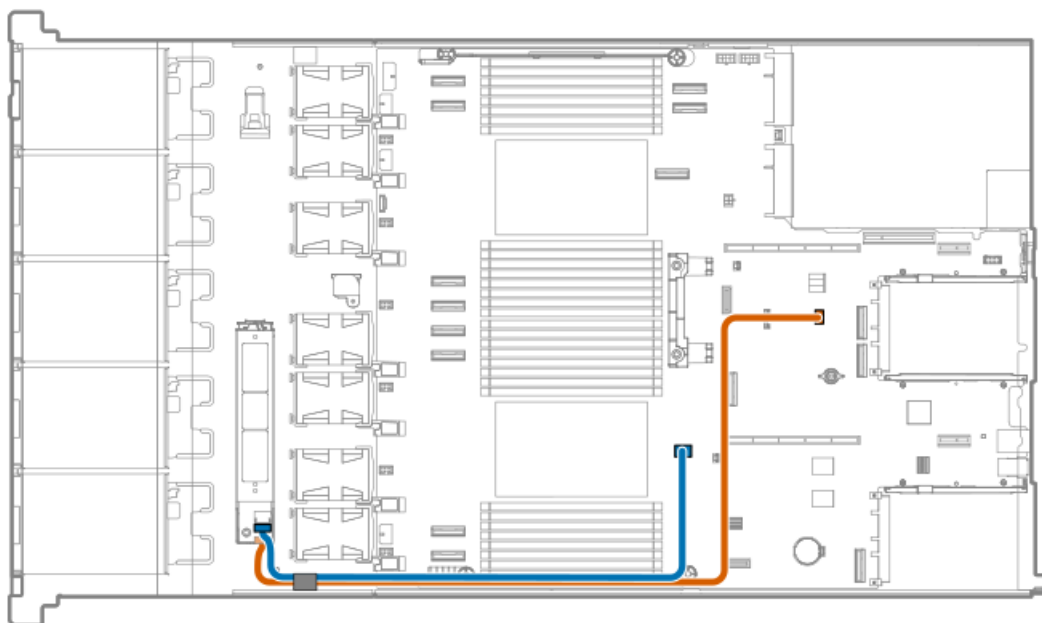
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P48956-001	オレンジ色	ブートデバイス電源コネクタ	NS204i-u電源コネクタ
P74839-001	青色	ブートデバイス信号コネクタ	NS204i-u信号コネクタ

- 8 SFF (2.5型) ドライブ構成



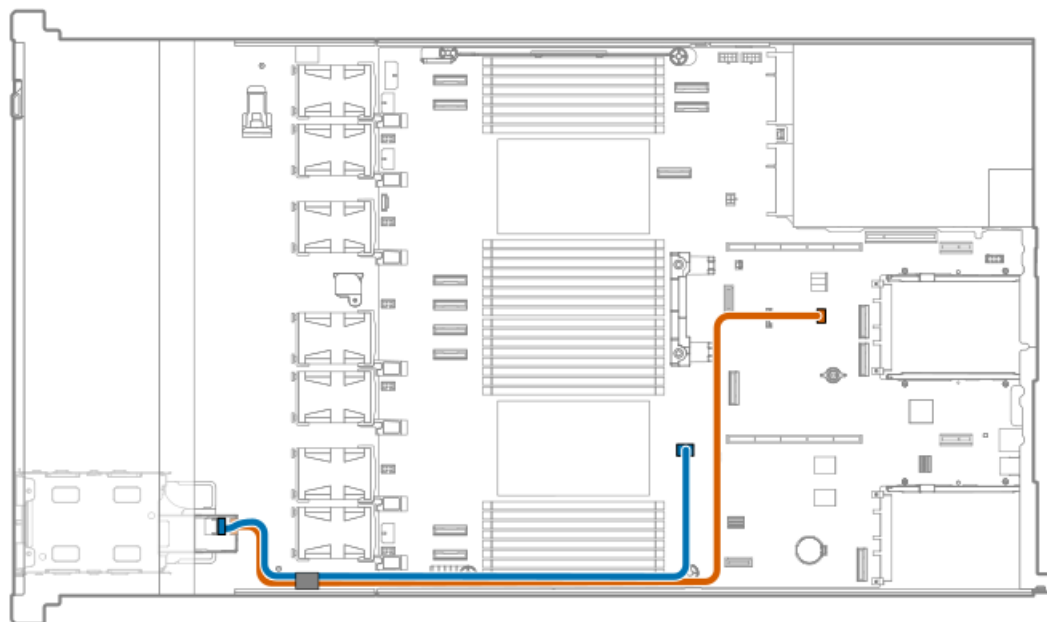
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P48956-001	オレンジ色	ブートデバイス電源コネクター	NS204i-u電源コネクター
P74839-001	青色	ブートデバイス信号コネクター	NS204i-u信号コネクター

• 混合ドライブタイプ構成



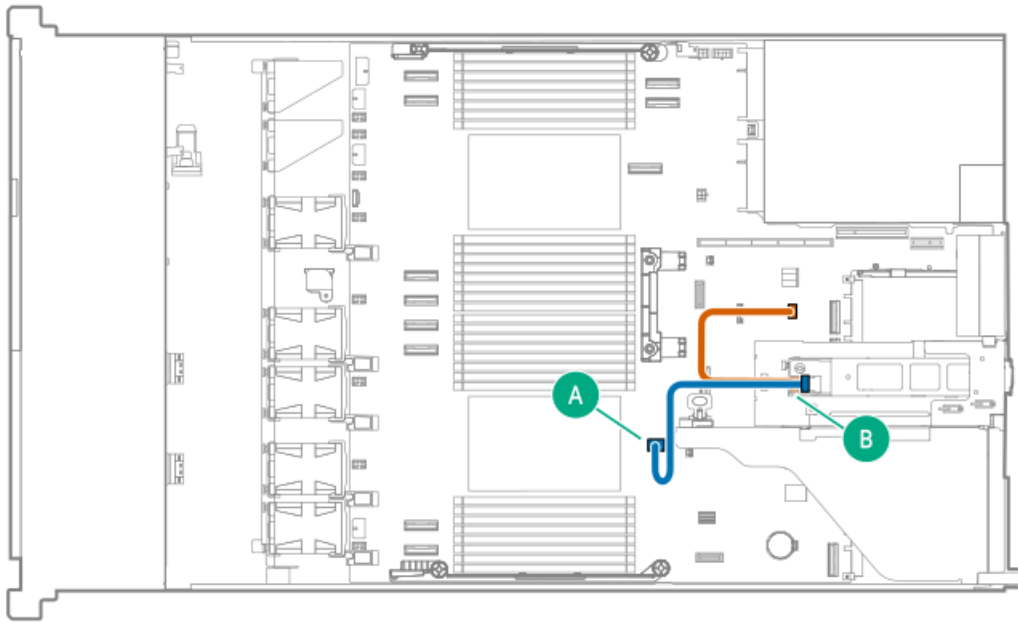
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P48956-001	オレンジ色	ブートデバイス電源コネクター	NS204i-u電源コネクター
P74839-001	青色	ブートデバイス信号コネクター	NS204i-u信号コネクター

混合ドライブタイプ構成のフロントパネルブートデバイス



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P48956-001	オレンジ色	ブートデバイス電源コネクター	NS204i-u電源コネクター
P74839-001	青色	ブートデバイス信号コネクター	NS204i-u信号コネクター

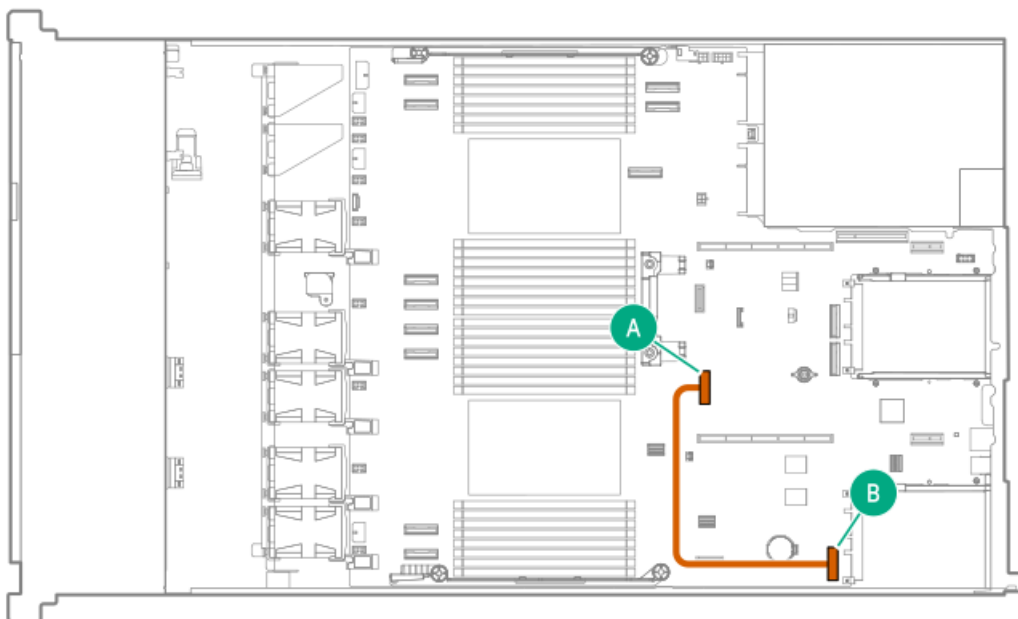
ライザーケーシングブートデバイスのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P54088-001	オレンジ色	ブートデバイス電源コネクター	NS204i-u電源コネクター
P71913-001	青色	ブートデバイス信号コネクター	NS204i-u信号コネクター

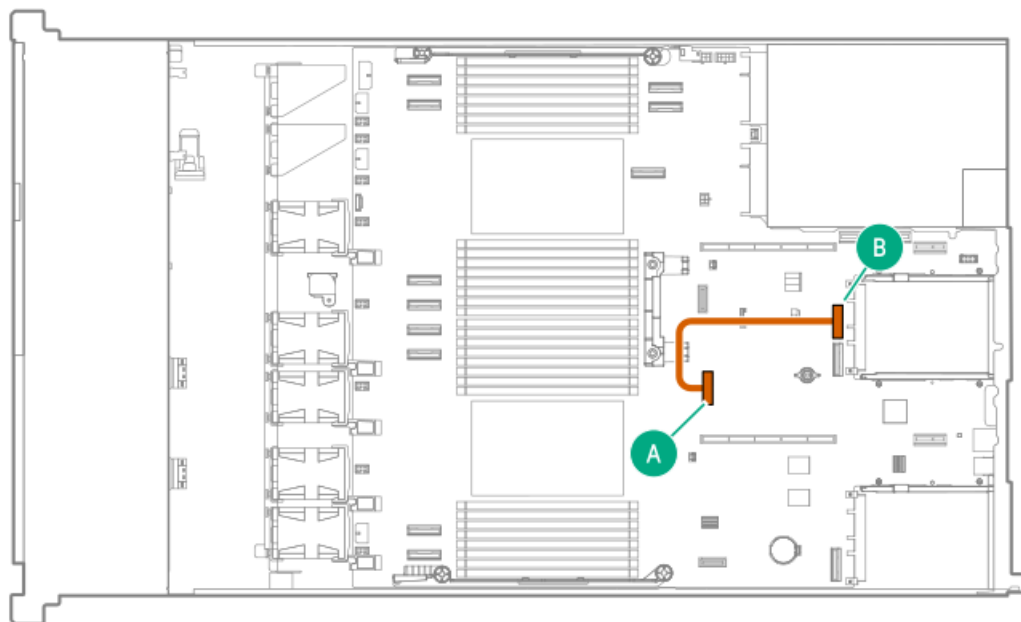
OCP帯域幅有効化のケーブル接続

スロット14 OCP A x16有効化



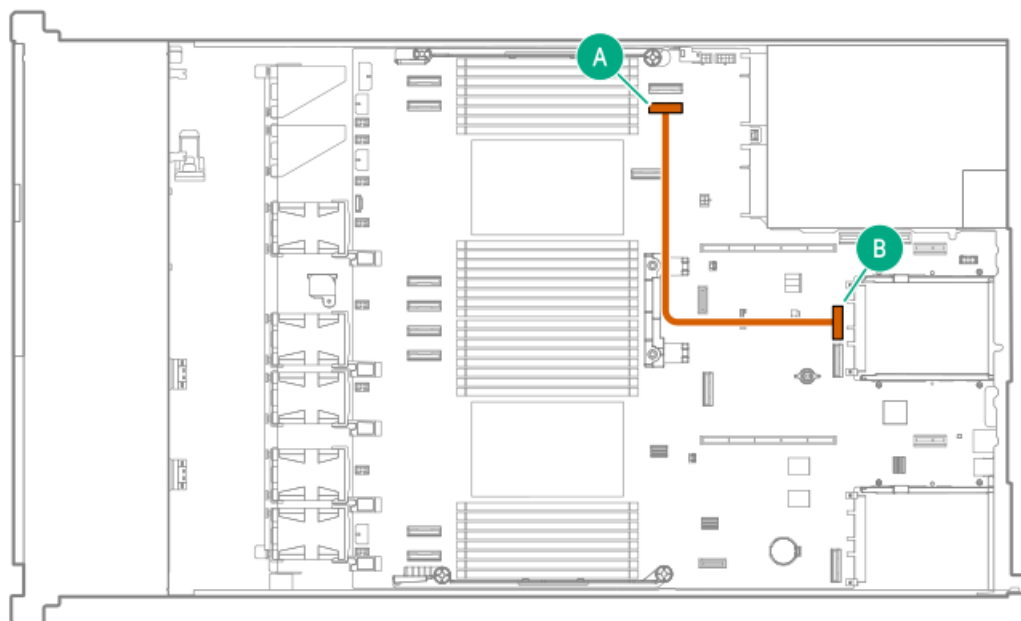
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P74890-001	オレンジ色	OCP A内部ポート1	MCIOポート12

CPU1とスロット15 OCP B x8有効化



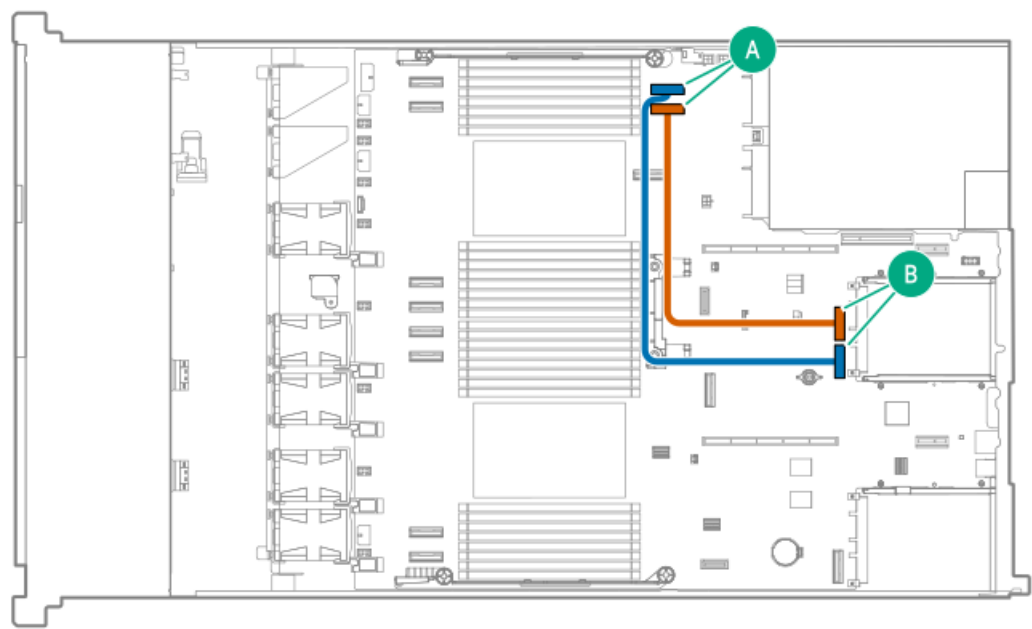
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P74889-001	オレンジ色	OCP B内部ポート1	MCIOポート12

CPU2とスロット15 OCP B x8有効化



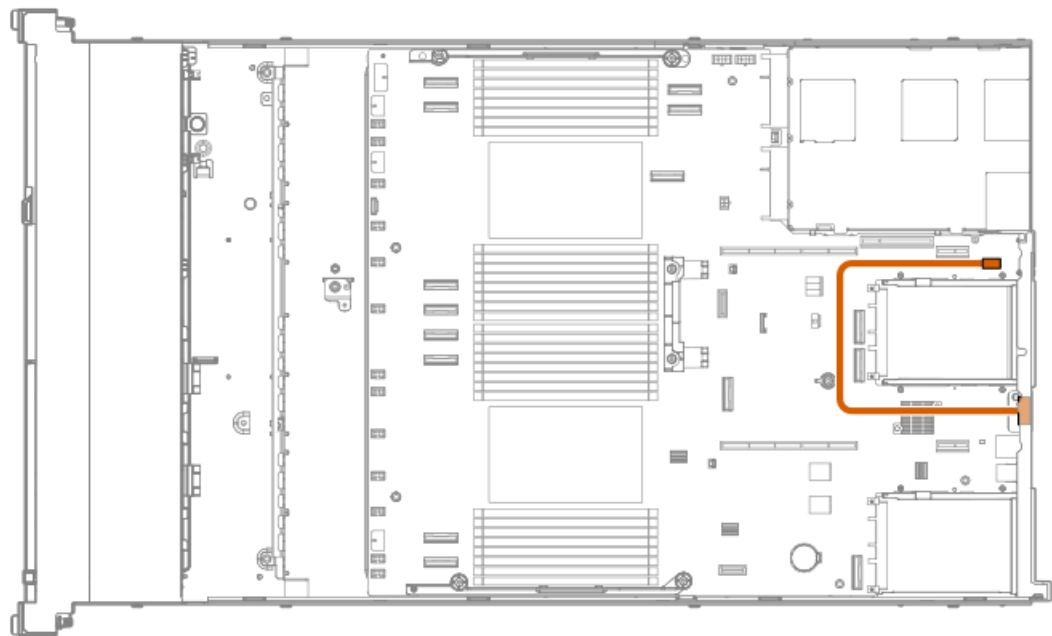
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P74891-001	オレンジ色	OCP B内部ポート1	MCIOポート10

CPU2とスロット15 OCP B x16有効化



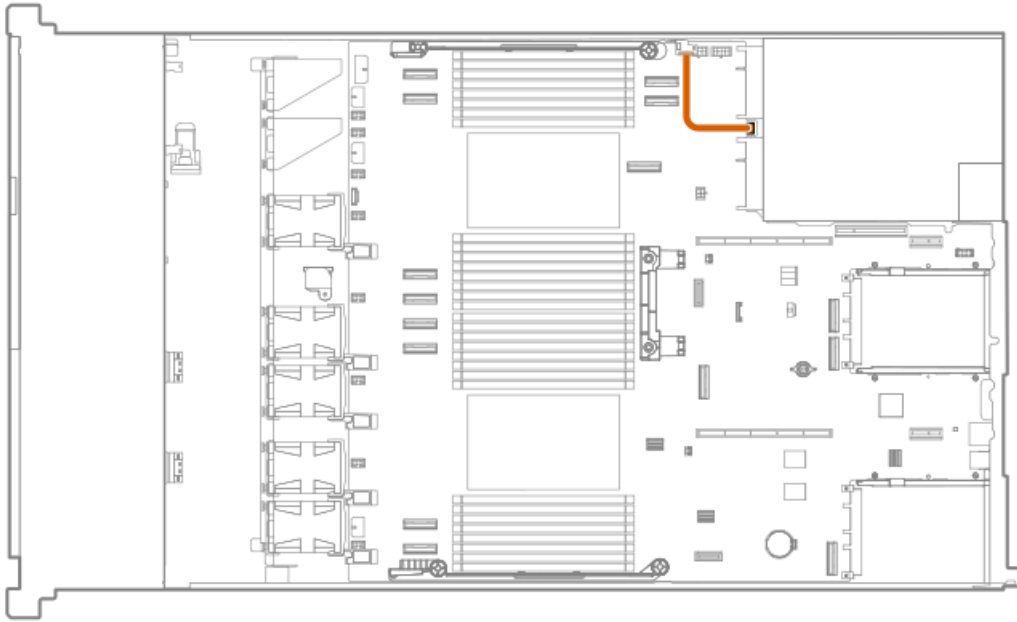
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P74891-001	オレンジ色	OCP B内部ポート1	MCIOポート10
P74891-001	青色	OCP B内部ポート2	MCIOポート9

シリアルポートのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P45623-001	オレンジ色	シリアルポート	シリアルポートケーブルコネクター

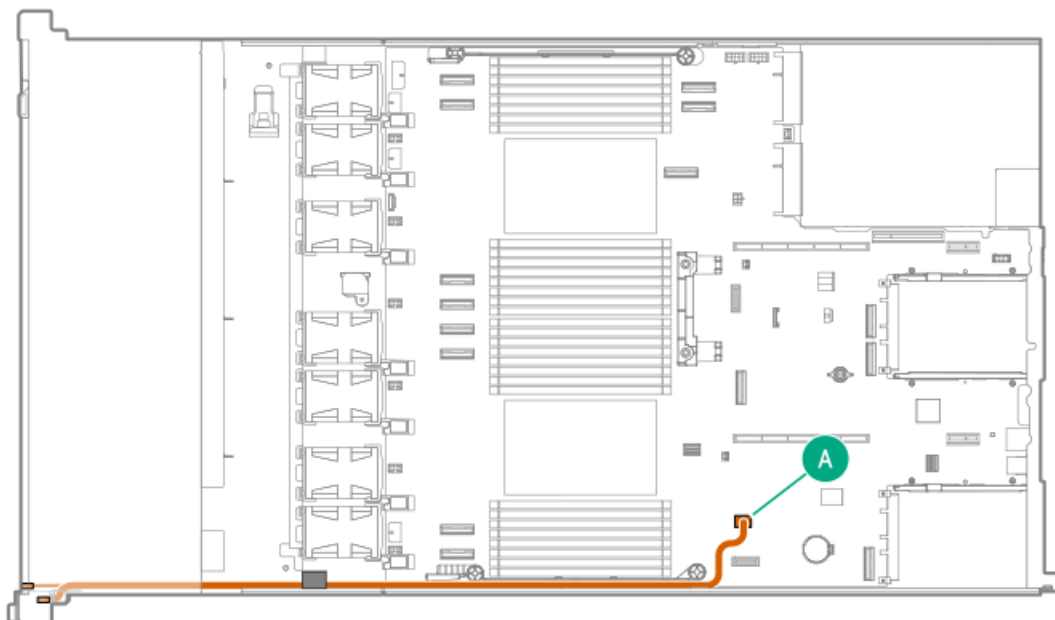
シャーシ侵入検知スイッチのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P47751-001	オレンジ色	侵入検知スイッチ	シャーシ侵入検知スイッチコネクター

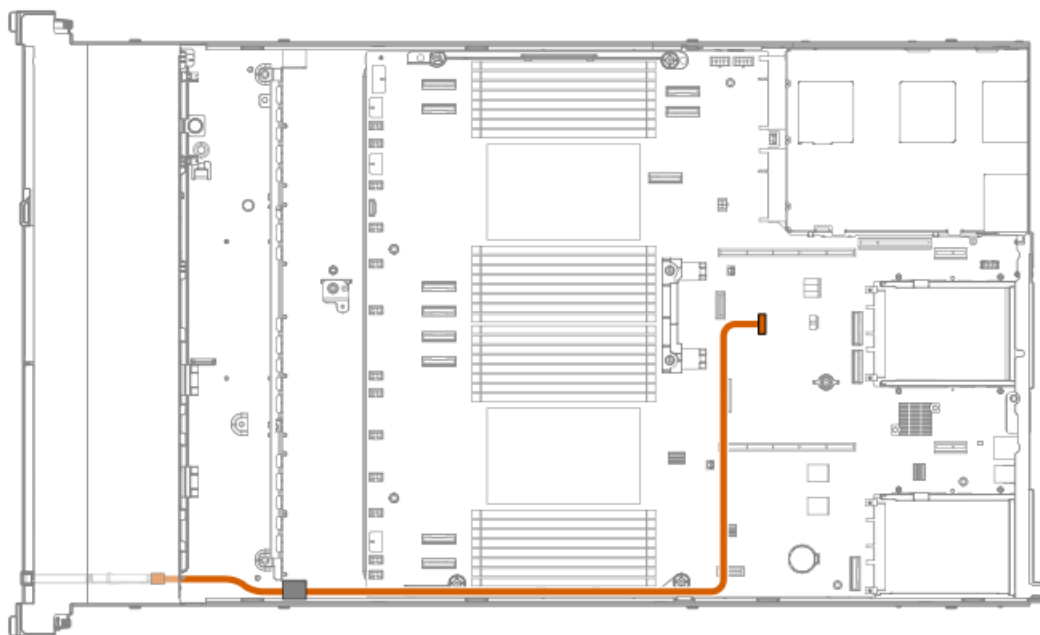
フロントI/Oのケーブル接続

フロントI/Oケーブルは、サーバーにあらかじめ取り付けられています。



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P71909-002	オレンジ色	右シャーシヤー	フロントI/Oコネクタ

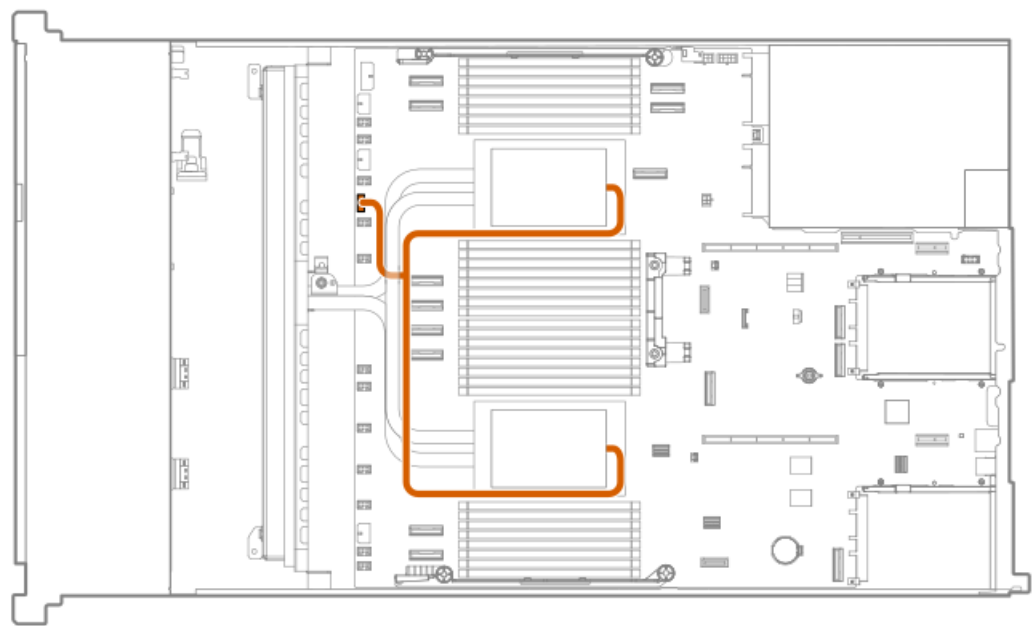
Systems Insight Displayのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P48971-001	オレンジ色	Systems Insight Display	SIDコネクタ モジュール

液冷モジュールのケーブル接続

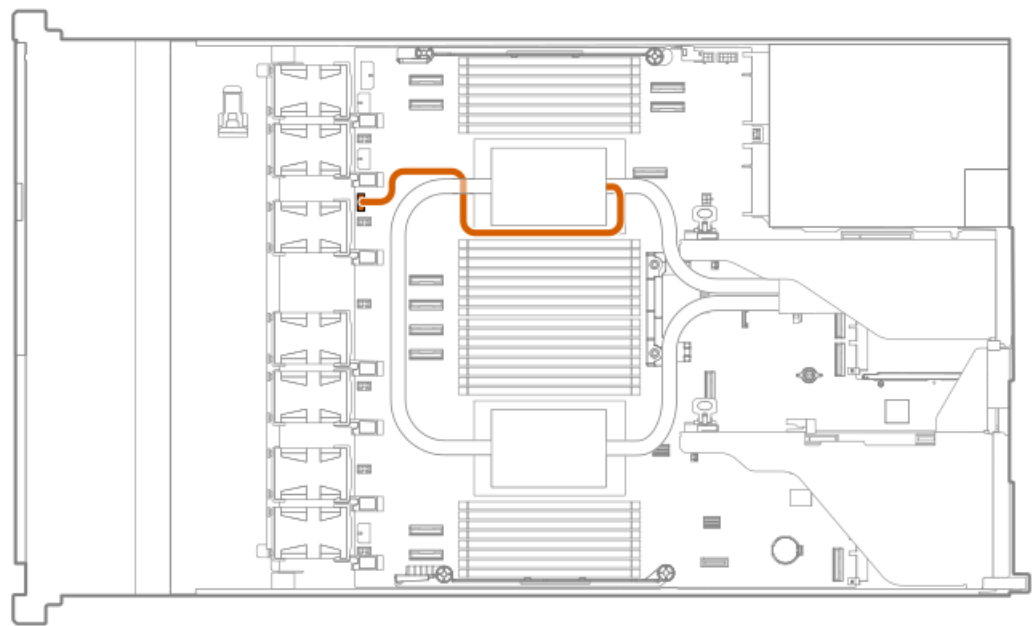
クローズドループ液冷モジュールのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
オプションキット：P74800-B21 ¹	オレンジ色	液冷ヒートシンク	液冷モジュールコネクター

¹ 液冷ヒートシンクとファンのキットは工場に取り付けられるオプションです。

直接液冷モジュールのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
オプションキット : P74208-B21 ¹	オレンジ色	コールドプレートモジュール	液冷モジュールコネクター

¹ 直接液冷コールドプレートモジュールは工場に取り付けられるオプションです。

構成関連情報

次の関連情報を使用して、サーバーの構成と管理に関するドキュメントを見つけます。

- 一部のユーティリティが、使用しているサーバーに適用しない場合があります。この章に記載されている製品とサーバーの互換性については、製品のQuickSpecs (<https://www.hpe.com/info/quickspecs>) を参照してください。
- HPEファクトリーエクスプレスから注文された製品は、この章の一部またはすべての構成で既に構成されている可能性があります。追加の設定が必要かどうかを判断するには、HPEファクトリーエクスプレスの注文を確認してください。
- 最新の製品リリースノートを含む、バージョン固有のソフトウェアおよびファームウェアのドキュメントにワンストップでアクセスするには、次のクイックリンクページを参照してください。
<https://www.hpe.com/support/hpeproductdocs-quicklinks>

サブトピック

[ファームウェアまたはシステムROMのアップデート](#)

[サーバーの構成](#)

[ストレージコントローラーの構成](#)

[HPE NS204i-uブートデバイスV2の管理](#)

[オペレーティングシステムの展開](#)

[セキュリティの構成](#)

[サーバー管理](#)

[LinuxベースのハイパフォーマンスコМПユーティングクラスターの管理](#)

ファームウェアまたはシステムROMのアップデート

実行する操作	使用
Service Packのダウンロード	- Service Pack for ProLiant https://www.hpe.com/servers/spp/download - SPPとそのエコシステムの概要を理解する https://www.hpe.com/support/SPP-overview-videos-en
Service Packを1台のサーバーに展開する	Smart Update Manager https://www.hpe.com/support/hpesmartupdatemanager-quicklinks
Service Packを複数のサーバーに展開する	HPE OneView https://www.hpe.com/support/hpeoneview-quicklinks
単一サーバーでのiLOまたはシステムファームウェアのアップデート	iLOユーザーガイド https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks
- 分散されたサーバーインフラストラクチャでサーバーまたはサーバーグループファームウェアのポリシーベース管理を可能にする - 構成されたファームウェアベースラインへのサーバーの準拠を監視する - 自動iLOファームウェアアップデートを受け取る - ベースラインアップデートアラートを受け取る	HPE Compute Ops Management https://www.hpe.com/support/hpe-gl-com-quicklinks

サーバーの構成

単一サーバー (GUI)

- Intelligent Provisioning
<https://www.hpe.com/support/hpeintelligentprovisioning-quicklinks>
- iLOリモートコンソールまたはWebインターフェイス
<https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks>
- UEFIシステムユーティリティ
<https://www.hpe.com/support/hpeuefisystemutilities-quicklinks>
- HPE Compute Ops Management
<https://www.hpe.com/support/hpe-gl-com-quicklinks>

単一サーバー (スクリプト)

- RESTful インターフェイスツール
<https://www.hpe.com/support/restfulinterface/docs>
- Python iLO Redfishライブラリ (python-ilorest-library)
<https://github.com/HewlettPackard/python-ilorest-library>
- Scripting Tools for Windows PowerShell
<https://www.hpe.com/info/powershell/docs>
- iLO RESTful API
<https://servermanagementportal.ext.hpe.com/>
- HPE Compute Ops Management API
<https://developer.greenlake.hpe.com/>

複数のサーバー (UIまたはスクリプトのいずれか)

- HPE OneView¹
<https://www.hpe.com/support/hpeoneview-quicklinks>
- HPE Compute Ops Management
<https://www.hpe.com/support/hpe-gl-com-quicklinks>
 - サーバー設定: ファームウェアベースラインなどのサーバー固有のパラメーターを定義し、それらをサーバーグループに適用します。
 - サーバーグループ: 関連のサーバー設定でカスタム定義セットにサーバーを編成し、グループ固有のポリシーを適用して、グループ内のサーバー全体で一貫した構成を作成します。

¹ HPE OneViewを実行しているサーバーの場合、特定の設定の削除または変更には、iLOなどの別のツールを使用しないでください。HPE OneViewとiLOを使用して、同じサーバーを管理する方法については、iLOユーザーガイド (<https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks>) を参照してください。

ストレージコントローラーの構成

コントローラタイプ

HPE SR Gen 11コントローラ

ドキュメント

HPE SR Gen11コントローラユーザーガイド

<https://hpe.com/support/SR-Gen11-UG>

構成ガイド :

- HPE Smart Storage Administrator GUI User Guide

<https://www.hpe.com/support/SSA-UG>

- HPE Smart Storage Administrator CLI User Guide

<https://www.hpe.com/support/SSACLI-UG>

HPE MR Gen11コントローラ

HPE MR Gen11コントローラユーザーガイド

<https://hpe.com/support/MR-Gen11-UG>

構成ガイド :

- HPE MR Storage Administrator User Guide

<https://www.hpe.com/support/MRSA>

- HPE StorCLI User Guide

<https://www.hpe.com/support/StorCLI>

HPE NS204i-uブートデバイスV2の管理

HPE NS204i-uブートデバイスV2のサポートされている機能とメンテナンス情報について詳しくは、HPE NS204ブートデバイスユーザーガイドを参照してください。

<https://www.hpe.com/support/NS204-UG>

オペレーティングシステムの展開

サポートされているオペレーティングシステムのリストについては、次のHPEサーバーサポート&認定マトリックスを参照してください。

<https://www.hpe.com/support/Servers-Certification-Matrices>

実行する操作	参照
HPE Compute Ops Managementを使用してOSを展開する	HPE Compute Ops Managementユーザーガイド https://www.hpe.com/support/hpe-gl-com-quicklinks
Intelligent Provisioningを使用してOSを展開する	Intelligent Provisioningユーザーガイド https://www.hpe.com/support/hpeintelligentprovisioning-quicklinks
iLO仮想メディアを使用してOSを展開する	iLOユーザーガイド https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks
サーバーがPXEサーバーから起動するように構成する	UEFI System Utilities User Guide for HPE Compute servers https://www.hpe.com/support/UEFIGen12-UG-en
サーバーがSANから起動するように構成する	HPE Boot from SAN Configuration Guide https://www.hpe.com/info/boot-from-san-config-guide

セキュリティの構成

実行する操作	参照
サーバーセキュリティのベストプラクティスを実装する。	- HPEコンピュートセキュリティリファレンスガイド https://www.hpe.com/info/server-security-reference-ja - HPE iLO 7セキュリティテクノロジーの概要 https://www.hpe.com/support/ilo7-security-en
サーバー構成ロック機能が有効にされているHPE Trusted Supply Chainサーバーおよびその他のサーバーのサーバー構成ロック機能を構成して使用する。	Server Configuration Lock User Guide for HPE ProLiant servers and HPE Synergy https://www.hpe.com/info/server-config-lock-UG-en

サーバー管理

監視する対象	参照
単一サーバー	HPE iLO https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks
複数のサーバー	HPE OneView https://www.hpe.com/support/hpeoneview-quicklinks
単一または複数のサーバー	HPE Compute Ops Management https://www.hpe.com/support/hpe-gl-com-quicklinks

Linuxベースのハイパフォーマンスコンピューティングクラスターの管理

実行する操作	使用
クラスターのプロビジョニング、管理、および監視を行います。	HPE Performance Cluster Manager https://www.hpe.com/support/hpcm_manuals
アプリケーションを最適化します。	HPE Performance Analysis Tools https://www.hpe.com/info/perftools
オンノードとオフノードの両方で、ポイントツーポイント通信および集合通信の低レイテンシと高帯域幅を実現するために、ソフトウェアライブラリを最適化します。	HPE Cray Programming Environment User Guide https://www.hpe.com/info/cray-pe-user-guides

トラブルシューティング

サブトピック

NMI機能

フロントパネルのLED電源障害コード

トラブルシューティングの資料

NMI機能

システムが従来のデバッグメソッドに応答しない場合、管理者はNMIクラッシュダンプを使用して、クラッシュダンプファイルを作成することができます。

クラッシュダンプのログ解析は、オペレーティングシステム、デバイスドライバー、およびアプリケーションでのハングなど、信頼性に関わる問題を診断するために重要です。クラッシュが起きると多くの場合、システムがフリーズし、管理者はシステムの電源を一度切って入れ直すことしかできません。システムをリセットすると、問題の解析をサポートできる情報が消去されます。ただし、NMIを使って、システムリセットの前にメモリダンプを実行し、その情報を保持できます。

管理者はiLO生成NMI機能を使って、OSに強制的にNMIハンドラーを開始させ、クラッシュダンプログを生成することができます。

フロントパネルのLED電源障害コード

次の表は、電源障害コードと影響を受けているサブシステムのリストを提供します。すべての電源障害がすべてのサーバーに適用されるわけではありません。

サブシステム	LEDの動作
システムボード	1回の点滅
プロセッサ	2回の点滅
メモリ	3回の点滅
ライザーボードのPCIeスロット	4回の点滅
OCPアダプター	5回の点滅
ストレージコントローラー	6回の点滅
システムボードPCIeのスロット	7回の点滅
電源バックプレーン	8回の点滅
ストレージバックプレーン	9回の点滅
電源装置	10回の点滅
ライザーボードに取り付けられたPCIe拡張カード	11回の点滅
シャーシ	12回の点滅
GPUカード	13回の点滅

トラブルシューティングの資料

トラブルシューティングのサポートが必要な場合は、お使いのサーバーに関する最新の記事を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/dl360gen12-troubleshooting>

安全、保証および規制に関する情報

サブトピック

[規定に関する情報](#)

[保証情報](#)

規定に関する情報

安全、環境、および規定に関する情報については、Hewlett Packard Enterpriseサポートセンターからサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照してください。

<https://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

規定に関する追加情報

Hewlett Packard Enterpriseは、REACH（欧州議会と欧州理事会の規則EC No 1907/2006）のような法的な要求事項に準拠する必要に応じて、弊社製品の含有化学物質に関する情報をお客様に提供することに全力で取り組んでいます。この製品の含有化学物質情報レポートは、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/reach>

RoHS、REACHを含むHewlett Packard Enterprise製品の環境と安全に関する情報と準拠のデータについては、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/ecodata>

企業プログラム、製品のリサイクル、エネルギー効率などのHewlett Packard Enterpriseの環境に関する情報については、次を参照してください。

サブトピック

[Notices for Eurasian Economic Union \(ユーラシア経済連合\)](#)

[Turkey RoHS material content declaration](#)

[Ukraine RoHS material content declaration](#)

Notices for Eurasian Economic Union (ユーラシア経済連合)



Manufacturer and Local Representative Information

Manufacturer information:

Hewlett Packard Enterprise Company, 1701 E Mossy Oaks Road, Spring, TX 77389 U.S.

Local representative information Russian:

- **Russia**
ООО "Хьюлетт Паккард Энтерпрайз", Российская Федерация, 125171, г. Москва, Ленинградское шоссе, 16А, стр.3, Телефон: +7 499 403 4248 Факс: +7 499 403 4677
- **Kazakhstan**
ТОО «Хьюлетт-Паккард (К)», Республика Казахстан, 050040, г. Алматы, Бостандыкский район, проспект Аль-Фараби, 77/7, Телефон/факс: +7 727 355 35 50

Local representative information Kazakh:

- **Russia**
ЖШС "Хьюлетт Паккард Энтерпрайз", Ресей Федерациясы, 125171, Мәскеу, Ленинград тас жолы, 16А блок 3, Телефон: +7 499 403 4248 Факс: +7 499 403 4677
- **Kazakhstan**
ЖШС «Хьюлетт-Паккард (К)», Қазақстан Республикасы, 050040, Алматы қ., Бостандық ауданы, Өл-Фараби даңғылы, 77/7, Телефон/факс: +7 727 355 35 50

Manufacturing date:

The manufacturing date is defined by the serial number.

CCSYWWZZZZ (product serial number format)

CCSYWWZZZZ
| WW = Week of manufacture (calendar week)
| Y = Year of manufacture (decade, year)

If you need help identifying the manufacturing date, contact tre@hpe.com.

Turkey RoHS material content declaration

Ukraine RoHS material content declaration

Обладнання відповідає вимогам Технічного регламенту щодо обмеження використання деяких небезпечних речовин в електричному та електронному обладнанні, затвердженого постановою Кабінету Міністрів України від 3 грудня 2008 № 1057

保証情報

ご使用の製品の保証に関する情報を確認するには、[標準保証確認ツール](#)を参照してください。

仕様

サブトピック

- 環境仕様
- 機械仕様
- 電源装置の仕様

環境仕様

仕様	値
温度範囲	–
動作時	10° C～35° C
非動作時	–30° C～60° C
相対湿度（ただし結露しないこと）	–
動作時	8%～90% 28° C、最高湿球温度（結露しないこと）
非動作時	5%～95% 38.7° C、最高湿球温度（結露しないこと）
高度	–
動作時	3,050m（10,000フィート） この値は、取り付けられているオプションのタイプや数によって制限される場合があります。高度の許容最大変化率は457 m/分です。
非動作時	9,144 m（30,000フィート） 高度の許容最大変化率は457m/分（1,500フィート/分）です。

サポートされる標準動作温度

海拔0 mで10° ～35° C。海拔3,050 mまでは、高度が305 m上昇するごとに1.0° C低くなります。直射日光が当たらないようにしてください。最大変化率は20° C/時です。上限と変化率は、取り付けられているオプションのタイプと数によって制限される可能性があります。

気温が30° Cを超えているか、ファンが故障している場合は、標準動作のサポート中にシステムパフォーマンスが低下することがあります。

サポートされる拡張時の動作周囲温度

承認済みのハードウェア構成については、サポートされるシステムの吸気範囲が次のように拡大されます。

- 海拔0 mで5～10° Cおよび35～40° C。この温度は、900 m～3050 mまでは、高度が175 m上昇するごとに1.0° C低くなります。
- 海拔0 mで40° ～45° C。この温度は、900 m～3,050 mまでは、高度が125 m上昇するごとに1.0° C低くなります。

このシステムの承認済みのハードウェア構成については、Extended Ambient Temperature Guidelines for HPE Gen12 Serversを参照してください。

<https://www.hpe.com/support/ASHRAEGen12>

機械仕様

仕様	値
寸法	–
高さ	42.90 cm (16.89インチ)
奥行き、8 + 2 SFF (2.5型)	75.31 cm (29.65インチ)
奥行き、4 LFF (3.5型)	77.31 cm (30.44インチ)
奥行き、10 SFF (2.5型) / 20 EDSFF	77.31 cm (30.43インチ)
幅	43.46 cm (17.11インチ)
重量 (概算値)	–
重量、8 + 2 SFF (2.5型) 最小 (ドライブ1台、プロセッサ1個、ヒートシンク1個、電源装置1台、Smartアレイコントローラー1台、ファン5台搭載)	14.87 kg (32.71ポンド)
重量、8 + 2 SFF (2.5型) 最大 (ドライブ10台、プロセッサ2個、ヒートシンク2個、電源装置2台、Smartアレイコントローラー1台、ファン7台搭載)	19.94 kg (43.96ポンド)
重量、4 LFF (3.5型) 最小 (ドライブ1台、プロセッサ1個、ヒートシンク1個、電源装置1台、Smartアレイコントローラー1台、ファン5台搭載)	15.25 kg (33.55ポンド)
重量、4 LFF (3.5型) 最大 (ドライブ4台、プロセッサ2個、ヒートシンク2個、電源装置2台、Smartアレイコントローラー1台、ファン7台搭載)	20.92 kg (46.02ポンド)
重量、10 SFF (2.5型) / 20 EDSFF最小 (ドライブ1台、プロセッサ2個、ヒートシンク2個、電源装置1台、Smartアレイコントローラー1台、ファン7台搭載)	14.92 kg (32.82ポンド)
重量、10 SFF (2.5型) / 20 EDSFF最大 (ドライブ20台、プロセッサ2個、ヒートシンク2個、電源装置2台、Smartアレイコントローラー1台、ファン7台搭載)	21.38 kg (47.04ポンド)

電源装置の仕様

取り付けられたオプションや、サーバーを購入した地域によって、サーバーは以下の電源装置のいずれかで構成されます。サポートされている電源装置の仕様について詳しくは、[Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト](#)にあるQuickSpecsを参照してください。

サブトピック

- [HPE 800 W FS Platinum LHパワーサプライ \(HPE 800 W Flex Slot Platinum Hot-plug Low Halogen Power Supply\)](#)
- [HPE 1000 W FS Titaniumパワーサプライ \(HPE 1000 W Flex Slot Titanium Hot-plug Power Supply\)](#)
- [HPE 1600 W FS Platinum LHパワーサプライ \(HPE 1600 W Flex Slot Platinum Hot-plug Low Halogen Power Supply\)](#)
- [HPE 1600 W FS DC-48Vパワーサプライ \(HPE 1600 W Flex Slot -48 VDC Hot-plug Power Supply\)](#)
- [HPE 1800-2200 W FS Titaniumパワーサプライ \(HPE 1800-2200 W Flex Slot Titanium Power Supply\)](#)

HPE 800 W FS Platinum LHパワーサプライ (HPE 800 W Flex Slot Platinum Hot-plug Low Halogen Power Supply)

仕様	値
入力要件	–
定格入力電圧	100～127 VAC 200～240 VAC 240 VDC (中国のみ)
定格入力周波数	50～60 Hz 240 VDC時には該当しません
定格入力電流	9.4 A (100 VAC時) 4.5 A (200 VAC時) 3.8 A (240 VDC時 (中国のみ))
最大定格入力電力	940 W (100 VAC時) 900 W (200 VAC時) 897 W (240 VDC 時 (中国のみ))
BTU/時	3067 (100 VAC時) 2958 (200 VAC時) 2949 (240 VAC (中国のみ))
電源装置出力	–
安定時定格電力	800 W (100～127 VAC入力時) 800 W (100～240 VAC入力時) 800 W (240 VDC入力時 (中国のみ))
最大ピーク電力	800 W (100～127 VAC入力時) 800 W (100～240 VAC入力時) 800 W (240 VDC入力時 (中国のみ))

HPE 1000 W FS Titaniumパワーサプライ (HPE 1000 W Flex Slot Titanium Hot-plug Power Supply)

仕様	値
入力要件	—
定格入力電圧	100～127 VAC 200～240 VAC 240 VDC（中国）
定格入力周波数	50～60 Hz
定格入力電流	11.3 A（100 VAC時） 6.1A（200 VAC時）
最大定格入力電力	1130 W（100 VAC時） 1090 W（200 VAC時）
BTU/時	3764（100 VAC時） 3629（200 VAC時）
電源装置出力	—
安定時定格電力	1000 W（100～127 VAC時） 1000 W（200～240 VAC入力時）
最大ピーク電力	1000 W（100～127 VAC時） 1000 W（200～240 VAC時）

HPE 1600 W FS Platinum LHパワーサプライ（HPE 1600 W Flex Slot Platinum Hot-plug Low Halogen Power Supply）

仕様	値
入力要件	—
定格入力電圧	200～240 VAC 240 VDC（中国のみ）
定格入力周波数	50～60 Hz
定格入力電流	8.7 A（200 VAC時） 7.5 A（230 VAC時） 7.2 A（240 VDC時）
最大定格入力電力	1734 W（200 VAC時） 1720 W（240 VAC時）
BTU/時	5918（200 VAC時） 5891（230 VAC時）
電源装置出力	—
安定時定格電力	1600 W（200～240 VAC入力時） 1600 W（240 VDC入力時）
最大ピーク電力	1ミリ秒1600 W（ターボモード）（200～240 VAC入力時）

HPE 1600 W FS DC-48Vパワーサプライ (HPE 1600 W Flex Slot -48 VDC Hot-plug Power Supply)

仕様	値
入力要件	—
定格入力電圧	-40 VDC~-72 VDC
定格入力周波数	DC
定格入力電流	45 A DC (-40 VDC入力時) 36.6 A DC (-48 VDC入力時) 24.4 A DC (-72 VDC入力時)
最大定格入力のワット数定格	1798 W (-40 VDC入力時) 1758 W (-48 VDC入力時) 1755 W (-72 VDC入力時)
BTU/時	6026 (-40 VDC入力時) 6000 (-48 VDC入力時) 5989 (-72 VDC入力時)
電源装置出力	—
安定時定格電力	1600 W (-40 VDC~-72 VDC時)
最大ピーク電力	1600 W (-40 VDC~-72 VDC時)

HPE 1800-2200 W FS Titaniumパワーサプライ (HPE 1800-2200 W Flex Slot Titanium Power Supply)

仕様	値
入力要件	–
定格入力電圧	200～240 VAC 240 VDC（中国のみ）
定格入力周波数	50～60 Hz
定格入力電流	10 A（200 VAC時） 10 A（240 VAC時） 10 A（240 VDC時、中国のみ）
最大定格入力電力	1946 W（200 VAC時） 2375 W（240 VAC時） 2375 W（240 VDC時、中国のみ）
BTU/時	6497（200 VAC時） 7962（240 VAC時）
電源装置出力	–
安定時定格電力	1800 W（200 VAC時） 2200 W（240 VAC時）
最大ピーク電力	1ミリ秒2200 W（ターボモード）（200～240 VAC入力時）

サポートと他のリソース

サブトピック

[Hewlett Packard Enterpriseサポートへのアクセス](#)
[HPE製品登録](#)
[アップデートへのアクセス](#)
[カスタマーセルフリペア（CSR）](#)
[リモートサポート](#)
[ドキュメントに関するご意見、ご指摘](#)

Hewlett Packard Enterpriseサポートへのアクセス

- ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise WorldwideのWebサイトにアクセスします。
<https://www.hpe.com/info/assistance>
- ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard EnterpriseサポートセンターのWebサイトにアクセスします。
<https://www.hpe.com/support/hpesc>

収集される情報

- テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）
- 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- オペレーティングシステム名およびバージョン

- ファームウェアバージョン
- エラーメッセージ
- 製品固有のレポートおよびログ
- アドオン製品またはコンポーネント
- 他社製品またはコンポーネント

HPE製品登録

Hewlett Packard Enterpriseサポートセンターおよび購入したサポートサービスのメリットを最大限に活用するため、契約と製品をHPESCのアカウントに追加してください。

- 契約と製品を追加すると、パーソナライゼーションの強化、ワークスペースのアラート機能、ダッシュボードを通じた有益な情報が提供され、環境の管理が容易になります。
- また、問題を自己解決するための推奨事項やカスタマイズされた製品知識も提供されるほか、ケースを作成する必要がある場合は、合理化されたケース作成によって解決までの時間が短縮されます。

契約と製品を追加する方法については、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=cep-help_ja_ip&page=GUID-8C7F13D9-5EC3-4E5C-9DE2-A5E7823066D6.html を参照してください。

アップデートへのアクセス

- 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。ご使用の製品のドキュメントで、ソフトウェアの推奨されるアップデート方法を確認してください。
- 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかにアクセスします。

Hewlett Packard Enterpriseサポートセンター

<https://www.hpe.com/support/hpesc>

マイHPEソフトウェアセンター

<https://www.hpe.com/software/hpesoftwarecenter>

- eNewslettersおよびアラートをサブスクライブするには、以下にアクセスします。

<https://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

- お客様のエンタイトルメントを表示およびアップデートするには、または契約と標準保証をお客様のプロファイルにリンクするには、Hewlett Packard Enterpriseサポートセンター More Information on Access to Support Materialsページをご覧ください。

<https://www.hpe.com/support/AccessToSupportMaterials>



重要

Hewlett Packard Enterpriseサポートセンターからアップデートにアクセスするには、製品エンタイトルメントが必要な場合があります。関連するエンタイトルメントでHPEアカウントをセットアップしておく必要があります。

カスタマーセルフリペア (CSR)

Hewlett Packard Enterpriseカスタマーセルフリペア (CSR) プログラムでは、ご使用の製品をお客様ご自身で修理することができます。CSR部品を交換する必要がある場合、お客様のご都合のよいときに交換できるよう直接配送されます。ただし、一部の部品は、CSRが適用されません。

CSRについて詳しくは、お近くの正規保守代理店にお問い合わせください。

リモートサポート

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントをHewlett Packard Enterpriseに安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。Hewlett Packard Enterpriseでは、ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くお勧めします。

ご使用の製品にリモートサポートの追加詳細情報が含まれる場合は、検索を使用してその情報を見つけてください。

HPE リモートITサポートサービス接続入門

https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=a00041232.ja_jp

HPE Tech Care Service

<https://www.hpe.com/jp/techcare>

HPE Complete Care Service

<https://www.hpe.com/jp/completecure>

ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterpriseでは、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、Hewlett Packard Enterpriseサポートセンターポータル (<https://www.hpe.com/support/hpesc>) のフィードバックボタンとアイコン (開いているドキュメントの下部にある) からお寄せください。このプロセスにより、すべてのドキュメント情報が取得されます。